

出産・育児等を機に離職した女性の再就職等に係る調査研究事業

労働者アンケート調査結果

平成 27 年 3 月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

◆目次◆

I. 調査概要	5
1. 労働者調査の目的	5
2. 調査対象・対象数	5
3. 調査方法	5
4. 回収数	5
5. 実施時期	5
6. 調査項目	6
II. 基本集計結果	7
1. 属性	7
(1) 年齢	7
(2) 居住地域	8
(3) 婚姻関係	8
(4) 子どもの人数	9
(5) 子ども（長子・末子）の年齢	9
(6) 今後、子どもをもうける希望	10
(7) 祖父母との同居・近居の状況	11
(8) 世帯年収	11
(9) 現在の仕事の状況	12
(10) 配偶者・パートナーの仕事の状況	13
(11) 最終学歴	14
2. 出産・育児等を機に離職した仕事について	15
(1) 離職した仕事について、最初の仕事（初職）かどうか	15
(2) これまで（調査時点）に働いた会社数	16
(3) 離職の経験	16
(4) 直近の就職をする前の離職期間	17
(5) これまで（調査時点）の離職のうち、最も離職期間が長かった期間	18
(6) 出産・育児等を機に離職した仕事について	18
(7) 出産・育児等を機に離職した理由	23
(8) 離職した当時の再就職についての意向	24
(9) 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて	25
3. 再就職の状況	26
(1) 再就職時の仕事について	26
(2) 再就職の際の求職期間	32
(3) 再就職時の末子年齢	33
(4) 現在の勤務先での勤続年数	33
(5) 再就職後、仕事に慣れるまでの期間	34

(6) 再就職した理由	34
(7) 再就職先を決める際に重視したこと等	35
(8) 離職期間中、求職活動を始める前に取り組んでいたこと	38
(9) 求職活動中に利用した機関や情報サービス	39
(10) 求職活動中に利用した支援／利用しなかった支援	40
(11) 再就職にあたっての不安	43
(12) 再就職活動で苦労した事	47
(13) 再雇用制度の利用状況	48
4. 再就職後の働き方	51
(1) 雇用形態変更への希望・経験	52
(2) 再就職先で受けた支援	53
(3) 利用経験のある両立支援制度、利用を希望する両立支援制度	54
(4) 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴	57
(5) 現在の仕事の満足度	60
(6) 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについて	60
(7) キャリア意識	62
(8) 働き方の理想と実際	63
(9) 配偶者控除や社会保険料の適用等を理由とした就業調整	65
Ⅲ. クロス集計結果	66
1. 属性別（従業員規模・業種・最終学歴）	66
2. ライフコース別	93
3. 離職前の仕事のやりがい別	103
4. 再就職後の職種別	117
5. 雇用形態変更についての希望・経験別	132
6. 再就職時に正社員を希望していた人の実現状況別	143
7. 出産前後でのキャリア意識の変化別	157
Ⅳ. アンケート調査票	162

I. 調査概要

1. 労働者調査の目的

以下の点を明らかにするために、労働者調査を実施した。

- 出産・育児等を機に離職し、再就職した女性について、再就職の実態や課題を把握する。
- 離職前の仕事の積み上げ経験や、離職中に準備していたことと、再就職後、仕事に慣れたと感じるまでの期間の長さに関するかどうかを把握する。
- 出産・育児等を機とした離職の理由（やりがいやキャリア形成が見込めないなど主に仕事理由、育児等のため自発的に離職など主に出産・育児理由）によって、離職期間の長さや、求職活動を始める前に（離職中に）取り組んでいたこと、再就職後の働き方・キャリア意識などに違いがみられるかどうかを把握する。
- 有資格者や専門職であった場合の方が、再就職にあたっての不安や課題が少ない、就労条件や職務内容について自分の希望とのギャップが少ないといった傾向があるかどうかを把握する。
- 非正規雇用社員から正規雇用社員に転換している人は、職種、企業からの支援や、配偶者の働き方などに特徴があるかどうかを把握する。

2. 調査対象・対象数

出産・育児等を機に離職し、その後再就職した女性 約 2,000 人（回収ベース）

－現在の就労状況が「正規雇用社員（以下、「正社員」という）」：1,000 人程度

－現在の就労状況が「非正規雇用社員（以下、「非正社員」という）」：1,000 人程度

※既婚、子どもあり、末子が小学6年生以下を対象。

※非正社員は、パート・アルバイト・契約社員・嘱託社員。派遣社員は除く。

※業種は、農林水産業、鉱業、公務を除く全業種（建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業・不動産業、飲食店・宿泊業、医療・福祉、教育・学習支援業、その他サービス業）。

3. 調査方法

ネット調査会社の登録モニターを利用したウェブアンケート調査

4. 回収数

全体	2,061 件
正社員	1,030 件
非正社員（フルタイム勤務）	289 件
非正社員（短時間勤務）	742 件

5. 実施時期

2014年11月21日～11月25日

6. 調査項目

(1) 属性	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢 ・居住地域 ・婚姻関係 ・子どもの人数、子どもの年齢 ・今後、子どもをもうける希望 ・祖父母との同居・近居の状況 ・世帯年収 ・配偶者の働き方 ・最終学歴
(2) 出産・育児等を機に離職した仕事について	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの転職・離職経験（結婚・出産・育児等を理由としないものも含む） ・出産・育児等を機に離職した仕事について（就業形態、職種、従業員規模、仕事のやりがい） ・離職の理由 ・離職時の再就職についての意向 ・離職当時、再就職でキャリアや自分の能力を活かすことについての考え
(3) 再就職の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・再就職後の就業状況（就業形態、職種、役職、従業員規模） ・求職期間 ・再就職時の末子年齢 ・現在の勤務先での勤続年数 ・再就職後、仕事に慣れるまでの期間 ・再就職した理由 ・再就職先を決める際に重視したこと等 ・離職期間中、求職活動を始める前に取り組んでいたこと ・求職活動中に利用した機関や情報サービス ・再就職にあたっての不安 ・再就職活動で苦労したこと ・再雇用制度の利用状況
(4) 再就職後の働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の就業状況（就業形態、就業時間） ・雇用形態変更への希望・経験 ・再就職先で受けた支援 ・活用した／活用したい両立支援制度 ・再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴 ・現在の仕事の満足度 ・出産・育児等を機に仕事を辞めたことについて ・理想の働き方、実際の働き方 ・就業調整の有無

Ⅱ. 基本集計結果

1. 属性

○正社員、非正社員とも、年齢は『30代』が5～6割、子どもの人数は「2人」が4～5割強、今後子どもをもうけることを希望する人は正社員は4割弱、非正社員は2割強を占めている。

○祖父母と同居している人は1～2割、近居している人は5～6割を占めている。

○現在の就業形態は、正社員は「正社員（フルタイム）」が93.8%、フルタイムの非正社員は「パート・アルバイト」が71.6%、「契約社員」が23.5%を占めている。短時間の非正社員は「パート・アルバイト」が97.0%を占めている。

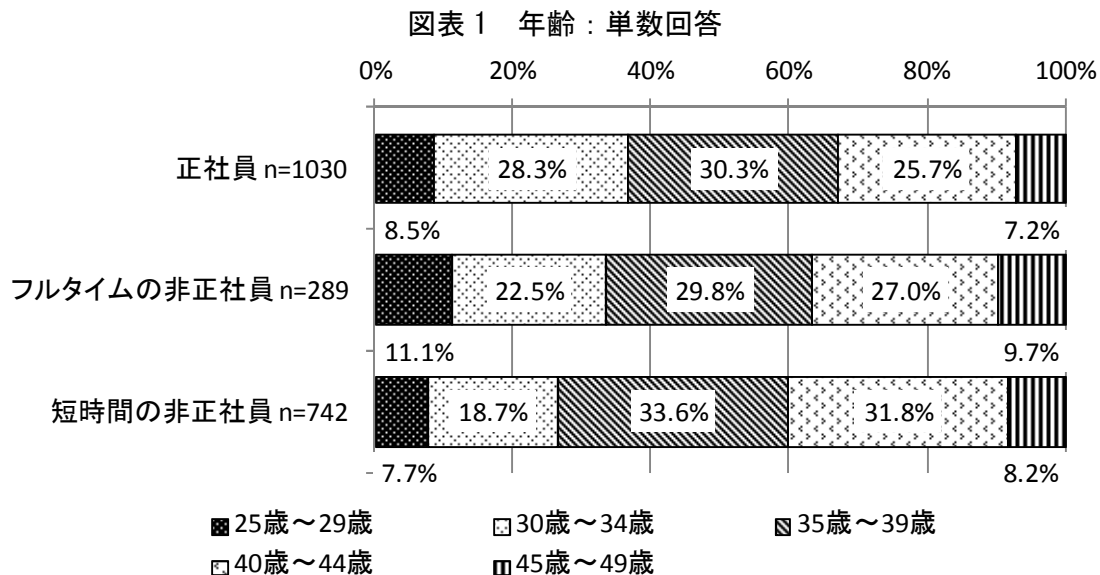
○現在の勤務先の業種は、正社員及びフルタイムの非正社員はそれぞれ「医療・福祉」が3割強、「その他サービス業」が2割前後を占めている。短時間の非正社員は、「医療・福祉」「卸売業、小売業」がそれぞれ2割前後を占めている。

○最終学歴は、正社員は「大学」が31.7%、「高校」が24.6%を占めている。フルタイムの非正社員は「高校」が35.6%、「専修学校（専門課程）」が21.5%、短時間の非正社員は「高校」が32.9%、「短大・高専」が24.0%を占めている。

(1) 年齢

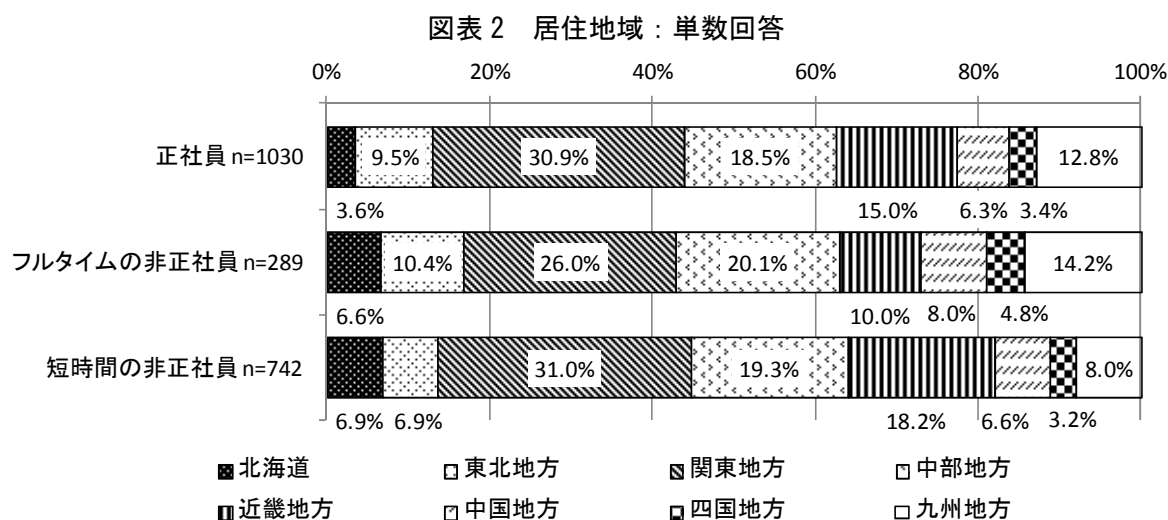
年齢をみると、正社員、非正社員ともに「35歳～39歳」が最も割合が高く、『30代』が5～6割を占めている。

短時間の非正社員は、他と比較してやや年齢層が高く、「40歳～44歳」（31.8%）と「45歳～49歳」（8.2%）を合わせた『40代』も4割を占めている。



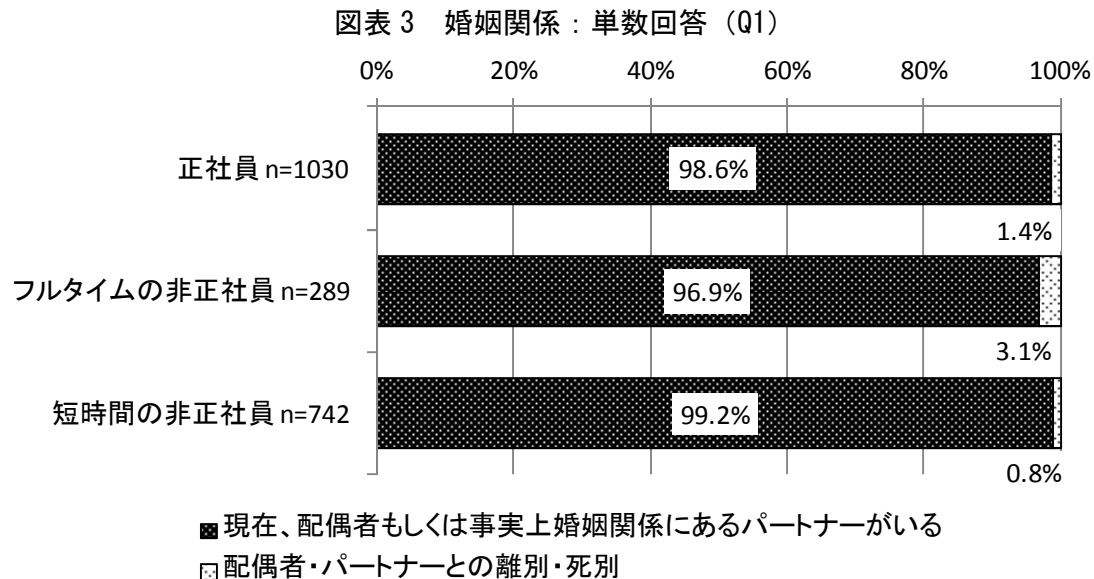
(2) 居住地域

居住地域をみると、正社員、非正社員とも「関東地方」が最も割合が高く、3割前後を占めている。次いで、「中部地方」が2割前後となっている。



(3) 婚姻関係

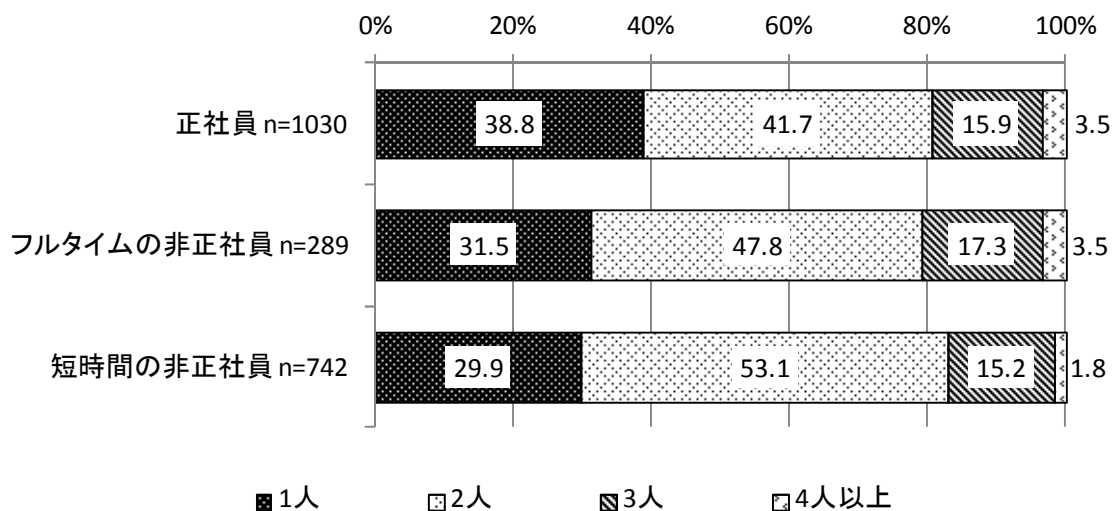
婚姻関係をみると、正社員、非正社員とも、ほぼ「現在、配偶者もしくは事実上婚姻関係にあるパートナーがいる」となっている。



(4) 子どもの人数

子どもの人数をみると、正社員は「1人」(38.8%)、と「2人」(41.7%)がほぼ同じ割合である。フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員は、「2人」が47.8%、53.1%と約半数を占め、次いで「1人」が31.5%、29.9%で約3割を占めている。

図表4 子どもの人数：単数回答 (SQ4)

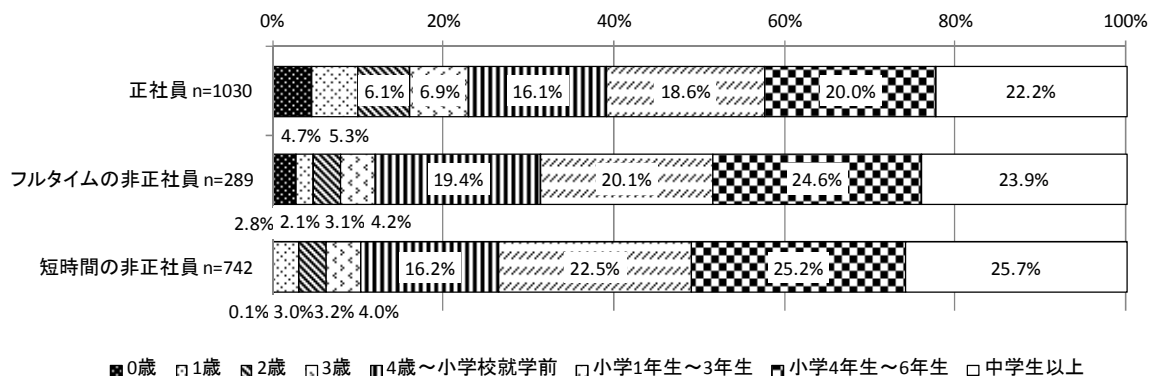


(5) 子ども（長子・末子）の年齢

長子の年齢をみると、正社員が低く、フルタイムの非正社員、短時間の非正社員の順に、年齢が高くなる傾向にあり、短時間の非正社員では、「中学生以上」が約4分の1、「小学1年生～3年生」と「小学4年生～6年生」を合わせた『小学生』が約半数を占めている。

一方、正社員は、『小学生』が4割弱を占めるが、「0歳」、「1歳」、「2歳」、「3歳」を合わせた『3歳以下』も2割強を占めている。

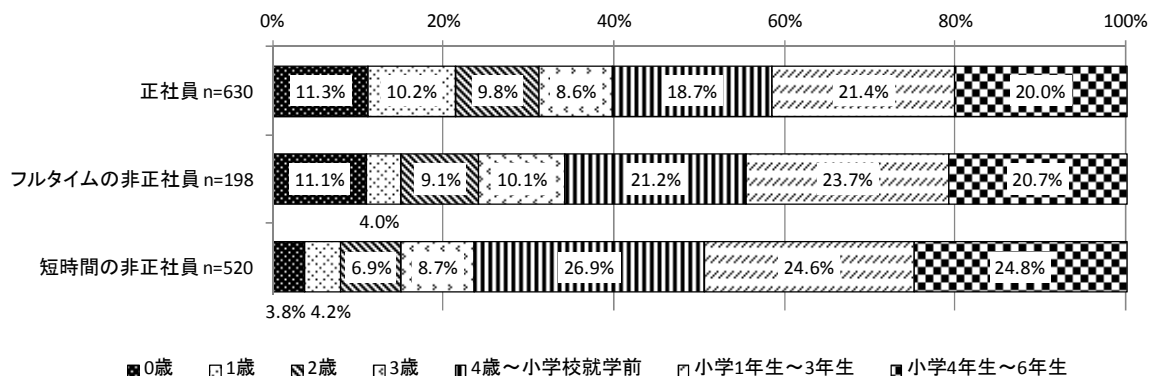
図表5 子どもの年齢（長子）：単数回答 (SQ5)



末子についても、同様に、正社員が低く、フルタイムの非正社員、短時間の非正社員の順に年齢が高くなる傾向にある。短時間の非正社員では、「小学1年生～3年生」と「小学4年生～6年生」を合わせた『小学生』が約半数を占めている。

正社員及びフルタイムの非正社員では、『小学生』は4割強を占めているが、「0歳」、「1歳」「2歳」、「3歳」を合わせた『3歳以下』も3～4割を占めている。

図表6 子どもの年齢（末子）：単数回答（SQ5）

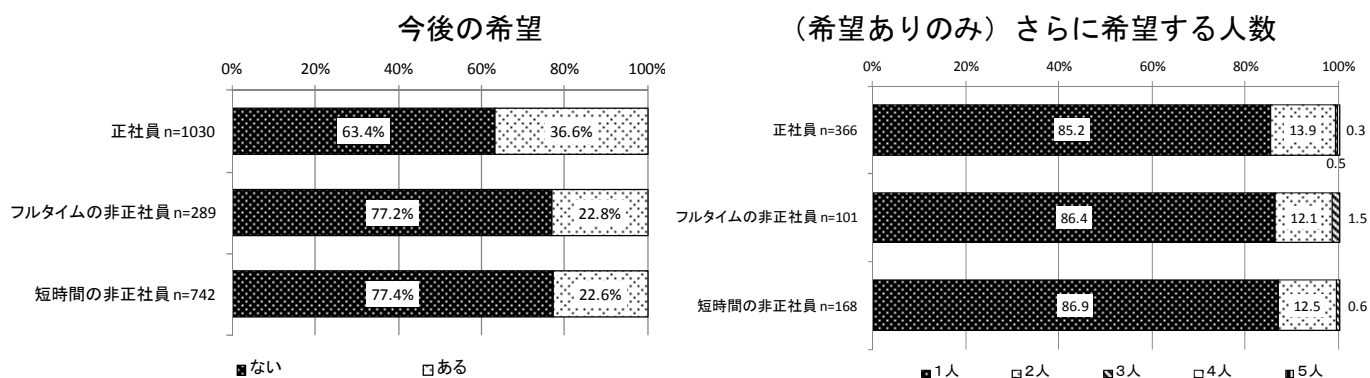


(6) 今後、子どもをもうける希望

今後の子どもをもうける希望をみると、「ある」と回答した割合は、非正社員に比べて、正社員の方が高く、36.6%となっている。

また、希望ありと回答した人について、具体的な人数をみると、正社員、非正社員とも「1人」が8割以上、「2人」が1割強を占めている。

図表7 今後、子どもをもうける希望と人数：単数回答（Q2）

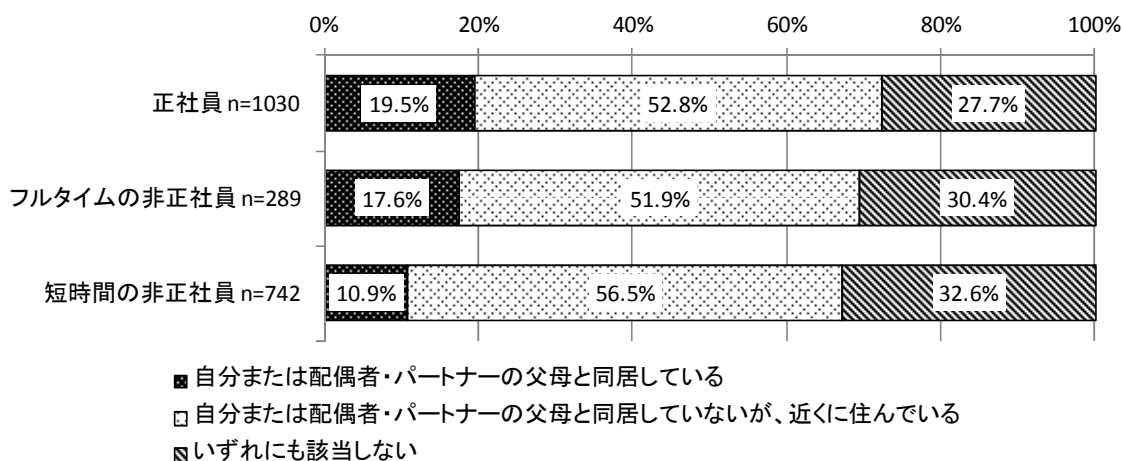


(7) 祖父母との同居・近居の状況

祖父母との同居・近居の状況をみると、正社員は他と比較して、「自分または配偶者・パートナーの父母と同居している」（19.5%）割合が最も高い。

短時間の非正社員は、他と比較して、「自分または配偶者・パートナーの父母と同居していないが、近くに住んでいる」（56.5%）、「いずれにも該当しない」（32.6%）の割合がいずれも最も高く、祖父母と同居・近居していない人が多い傾向にある。

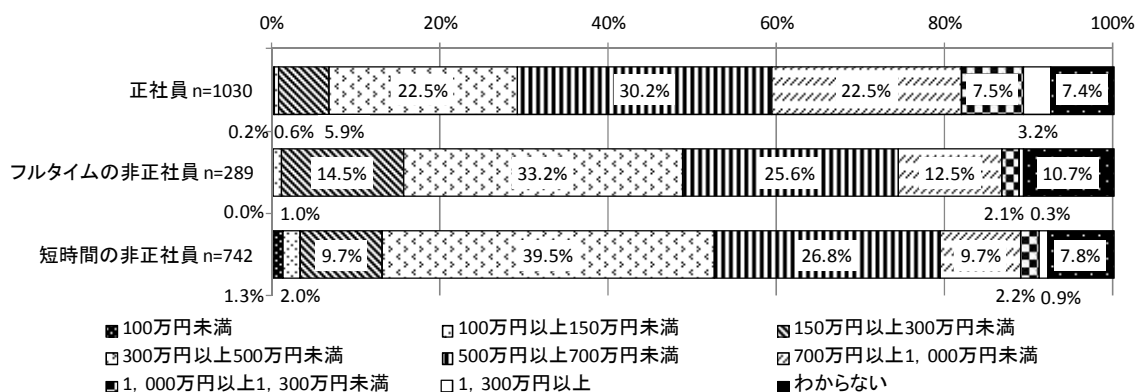
図表 8 祖父母との同居・近居の状況：単数回答（Q3）



(8) 世帯年収

世帯年収をみると、短時間の非正社員、フルタイムの非正社員、正社員の順に高くなる傾向がみられる。正社員では、「500万円以上 700万円未満」が最も割合が高く、30.2%となっている。一方、フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員は、「300万円以上 500万円未満」が最も割合が高く、それぞれ33.2%、39.5%となっている。

図表 9 世帯年収：単数回答（Q4）

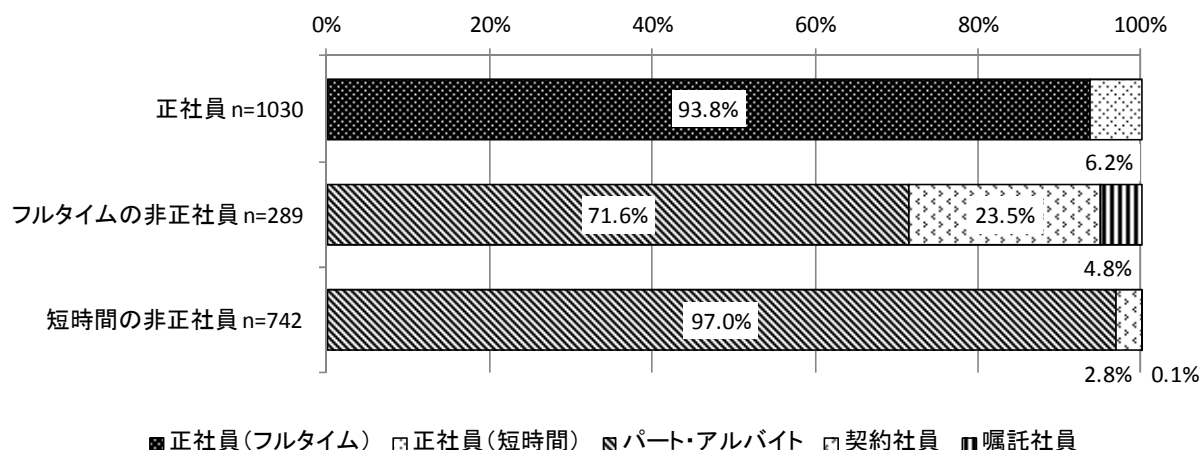


(9) 現在の仕事の状況

①就業形態

現在の就業形態をみると、正社員は「正社員（フルタイム）」が93.8%で大半を占め、「正社員（短時間）」は6.2%である。フルタイムの非正社員は、短時間の非正社員と比較して「契約社員」が23.5%と割合が高い。短時間の非正社員は、「パート・アルバイト」が97.0%を占めている。

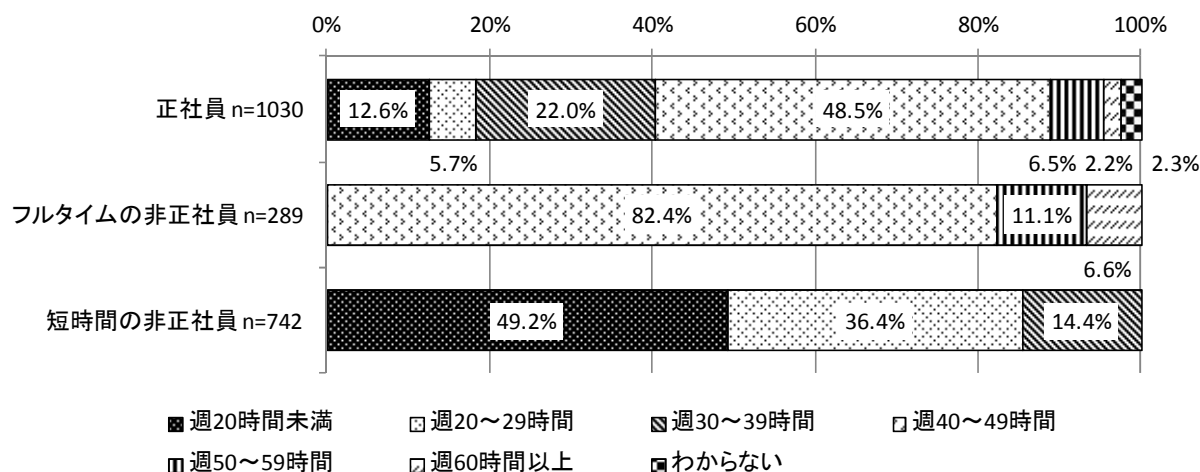
図表 10 現在の就業形態：単数回答（SQ2）



②現在の週当たり平均労働時間（残業時間を含む）

現在の週当たり平均労働時間をみると、正社員は「週 40～49 時間」が 48.5%で最も割合が高く、次いで「週 30～39 時間」が 22.0%を占めている。フルタイムの非正社員は、「週 40～49 時間」が 82.4%を占めている。短時間の非正社員は、「週 20 時間未満」（49.2%）及び「週 20～29 時間」（36.4%）の割合が高くなっている。

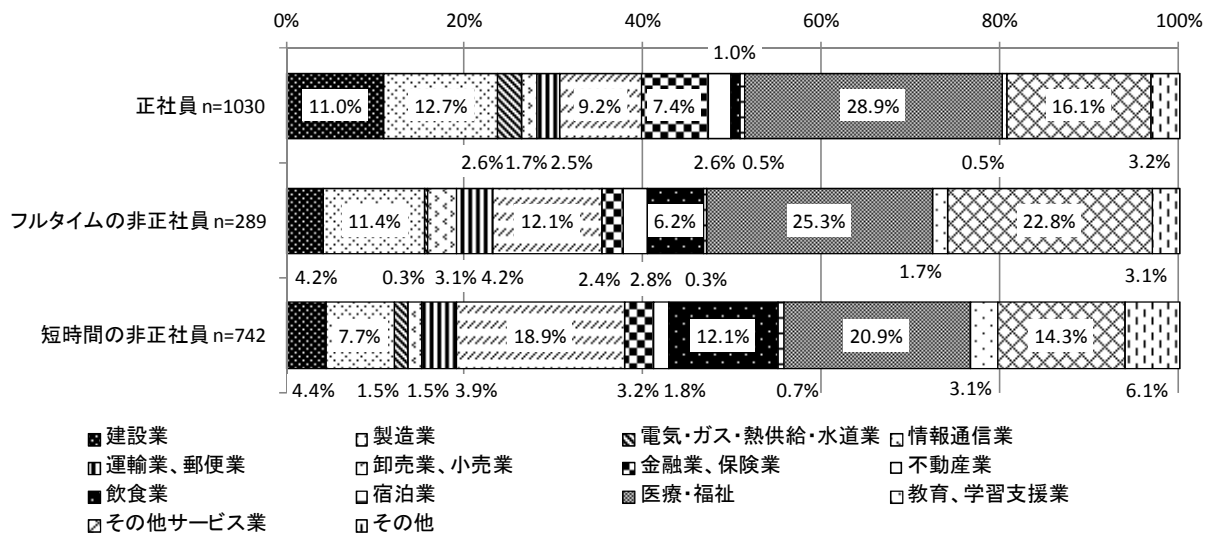
図表 11 現在の週当たり平均労働時間（残業時間を含む）：単数回答（SQ3）



③業種

業種をみると、正社員は「医療・福祉」が 28.9%と最も割合が高く、次いで「その他サービス業」が 16.1%を占めている。フルタイムの非正社員も正社員と同じ傾向にあり、「医療・福祉」が 25.3%、次いで「その他サービス業」が 22.8%を占めている。短時間の非正社員は、「医療・福祉」が 20.9%、次いで「卸売業、小売業」が 18.9%となっている。

図表 12 業種：単数回答 (SQ1)



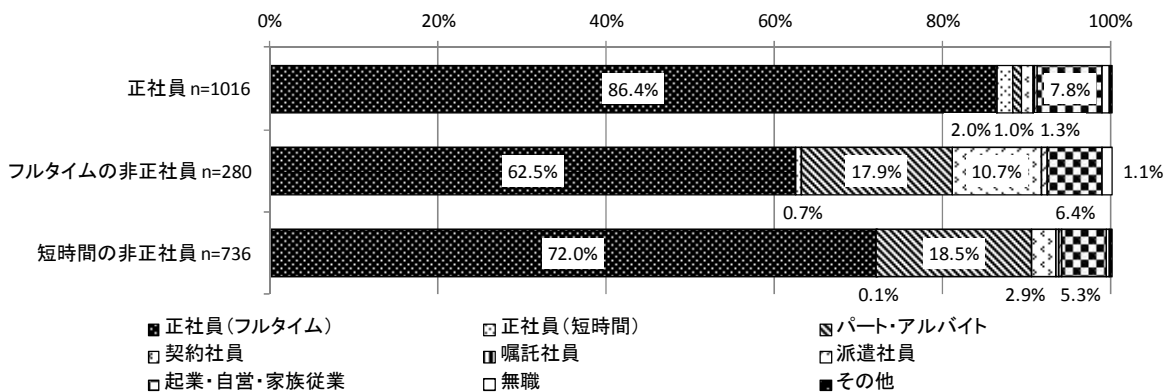
(10) 配偶者・パートナーの仕事の状況

①就業形態

配偶者・パートナーの就業形態をみると、正社員は「正社員（フルタイム）」が 86.4%で最も割合が高く、次いで、「起業・自営・家族従業」が 7.8%となっている。

フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員は、「正社員（フルタイム）」がそれぞれ 62.5%、72.0%であり、次いで「パート・アルバイト」が 17.9%、18.5%を占めている。

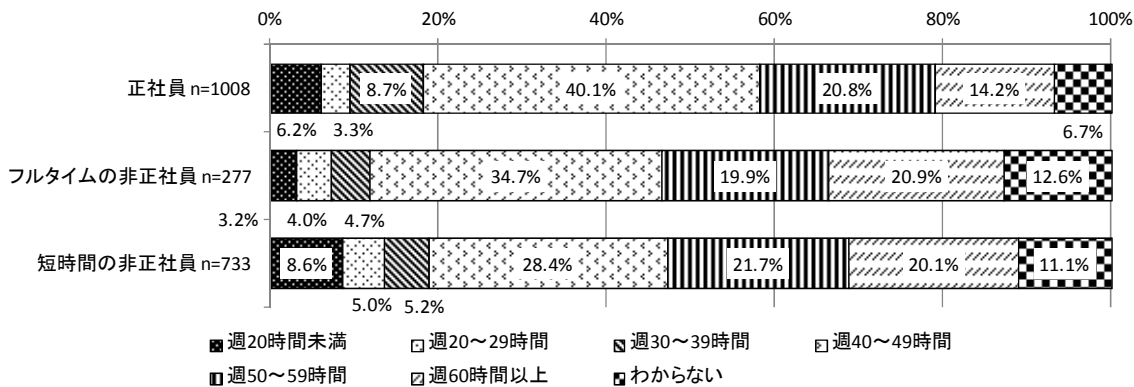
図表 13 配偶者・パートナーの就業形態：単数回答 (Q5)



②週平均労働時間

配偶者・パートナーが働いている人について配偶者・パートナーの、一週間の平均労働時間（残業時間を含む）をみると、正社員、非正社員とも「週 40～49 時間」の割合が最も高く、3～4 割程度を占めている。また、「週 50～59 時間」と「週 60 時間以上」を合わせた『50 時間以上』の割合は、正社員では 35.0%、フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員では、4 割強となっている。

図表 14 配偶者・パートナーの週平均労働時間（残業時間を含む）：単数回答（Q6）



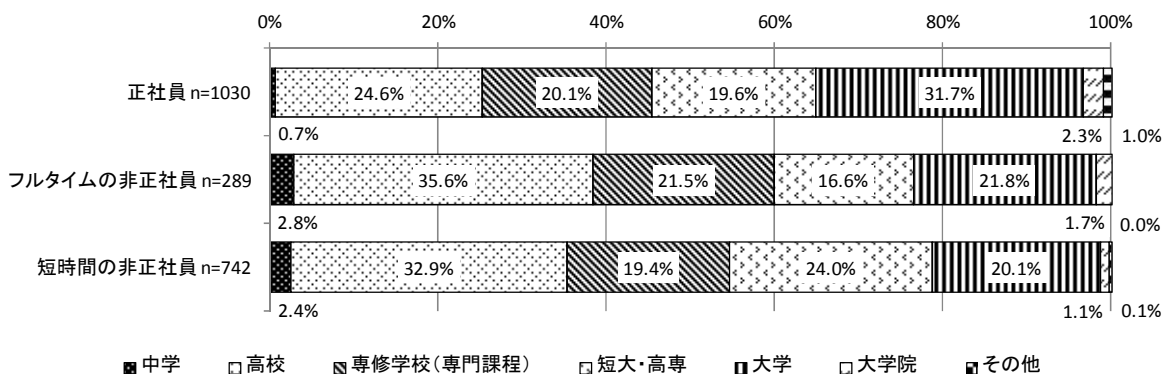
(11) 最終学歴

最終学歴をみると、正社員は「大学」が 31.7%で最も割合が多く、次いで「高校」が 24.6%となっている。

フルタイムの非正社員は、「高校」が 35.6%で最も割合が高く、次いで「大学」及び「専修学校（専門課程）」がそれぞれ 2 割強となっている。

短時間の非正社員は、「高校」が 32.9%で最も割合が高く、次いで「短大・高専」が 24.0%となっている。

図表 15 最終学歴：単数回答（Q7）



2. 出産・育児等を機に離職した仕事について

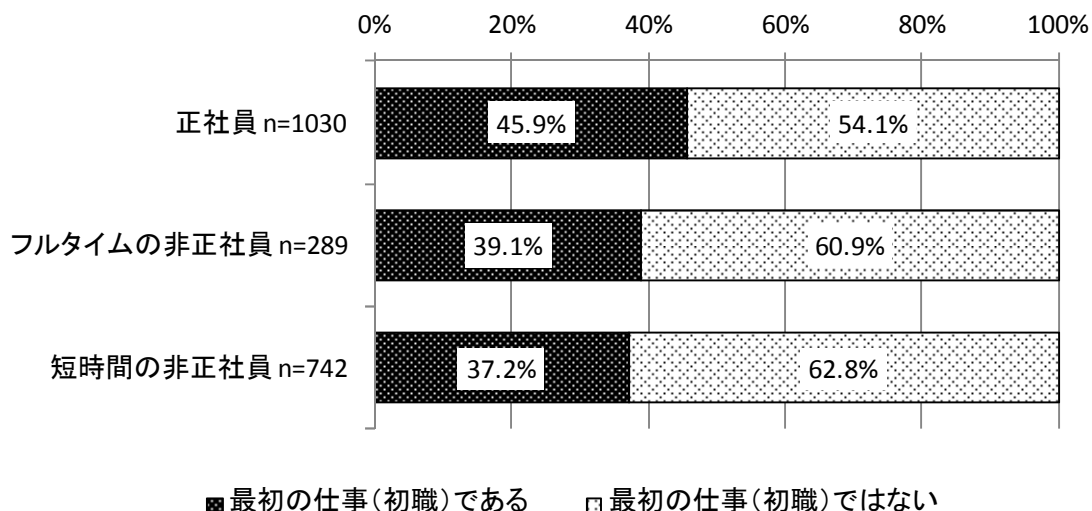
- 出産・育児等を機に離職した仕事が、「最初の仕事（初職）である」割合は、正社員は5割弱、フルタイム及び短時間の非正社員は4割弱である。（※就業形態は再就職後である。以下同様。）
- 離職した仕事の就業形態は、正社員は「正社員（フルタイム）」が81.9%、フルタイム及び短時間の非正社員は、それぞれ「正社員（フルタイム）」が6割弱、「パート・アルバイト」が3割弱を占めている。
- 離職した仕事の職種は、正社員は「専門職・技術職」が24.2%、「その他一般事務」が16.7%である。フルタイムの非正社員は「サービス（調理、接客等）」「専門職・技術職」がそれぞれ2割強、短時間の非正社員は、「専門職・技術職」「その他一般事務」がそれぞれ2割弱を占めている。
- 離職した仕事の従業員規模は、正社員、非正社員とも「50人以下」が3～4割と多い。また、「1,001人以上」も1～2割を占めており、小規模の企業と、大企業に勤めていた人がそれぞれ一定程度いることがうかがえる。
- 離職前の仕事のやりがいは、「非常に感じていた」が2割前後、「ある程度感じていた」が5～6割で、両者を合わせて、やりがいを感じていた人が7～8割を占めている。
- 出産・育児等を機に離職した理由は、「家事・育児に専念するため、自発的にやめた」が4～6割で最も多く、次いで「勤務時間が長い（残業など）・不規則など、時間的に両立が難しかった」や、「配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった」があげられている。
- 離職した当時、ほとんどの人が再就職の意向を有しており、「再び就業するつもりはなかった」との回答は5%前後にとどまっている。また、正社員は、「（仕事を辞めた後、）すぐにでも就業したいと思っていた」割合が高く、非正社員は「子ども（末子）がある程度の年齢になったら就業したいと思っていた」、もしくは「特に時期を決めていないがいずれ就業したいと思っていた」割合が高い。

(1) 離職した仕事について、最初の仕事（初職）かどうか

出産・育児等を機に離職した仕事について、最初の仕事（初職）かどうかをみると、正社員は他と比較して、「最初の仕事（初職）である」（45.9%）割合が最も高い。

フルタイムの非正社員、短時間の非正社員は、「最初の仕事（初職）である」割合は、それぞれ39.1%、37.2%となっている。

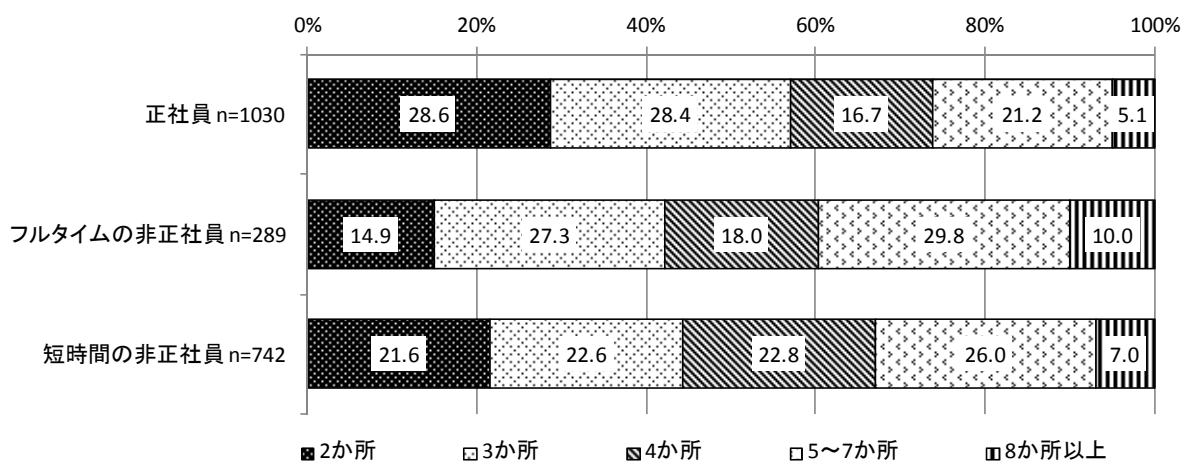
図表 16 離職した仕事について、最初の仕事（初職）かどうか：単数回答（Q10）



(2) これまで（調査時点）に働いた会社数

これまで（調査時点）に働いた会社数をみると、正社員は「2か所」（28.6%）と「3か所」（28.4%）がそれぞれ3割弱を占めている。フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員は、正社員に比べて多い傾向にあり、「5～7か所」（29.8%、26.0%）と「8か所以上」（10.0%、7.0%）を合わせた『5か所以上』も3～4割を占めている。

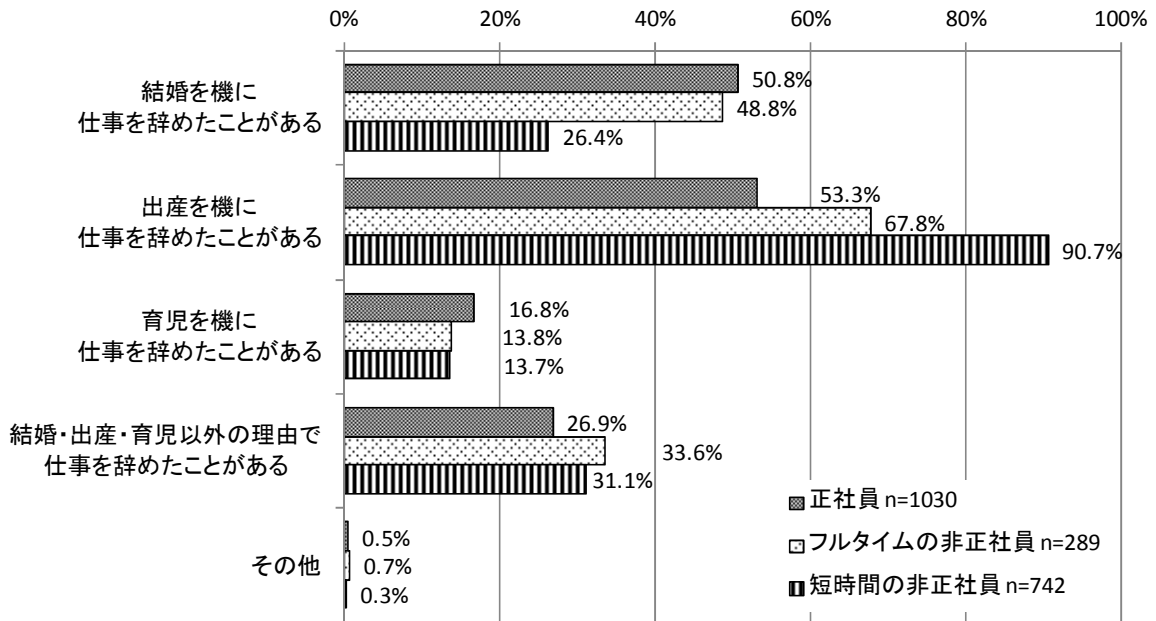
図表 17 これまで（調査時点）に働いた会社数：数値回答（Q8）



(3) 離職の経験

離職の経験については、短時間の非正社員は「出産を機に仕事辞めたことがある」（90.7%）が約9割にのぼっており、出産により退職したことがある人が多い。正社員及びフルタイムの非正社員は、「出産を機に仕事を辞めたことがある」人はそれぞれ 53.3%、67.8%であり、「結婚を機に仕事を辞めたことがある」人が 50.8%、48.8%で約半数となっている。

図表 18 離職の経験：複数回答（SQ6）



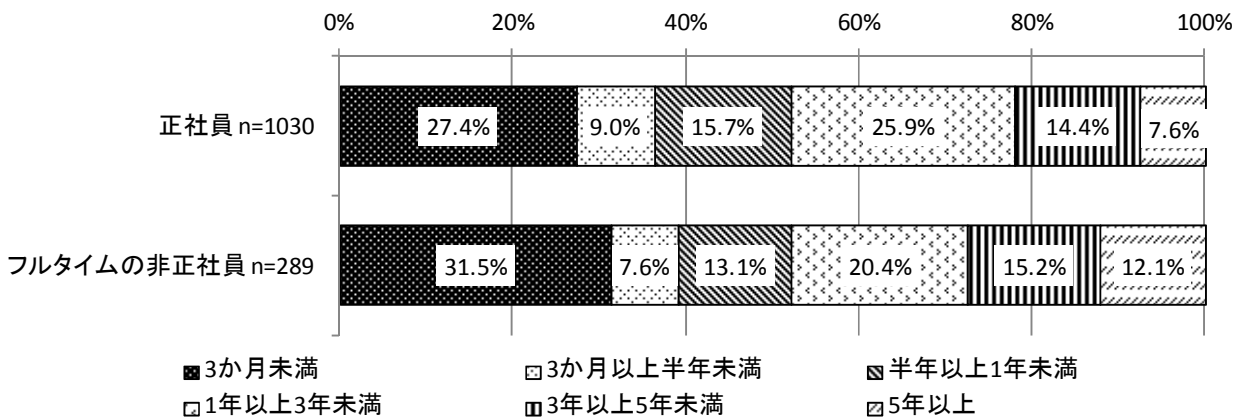
注) 出産・育児を機に離職した経験のある人を調査の対象とし、サンプル数が不足する場合には結婚を機に離職した経験のある人も調査の対象に含めることとした。

(4) 直近の就職をする前の離職期間

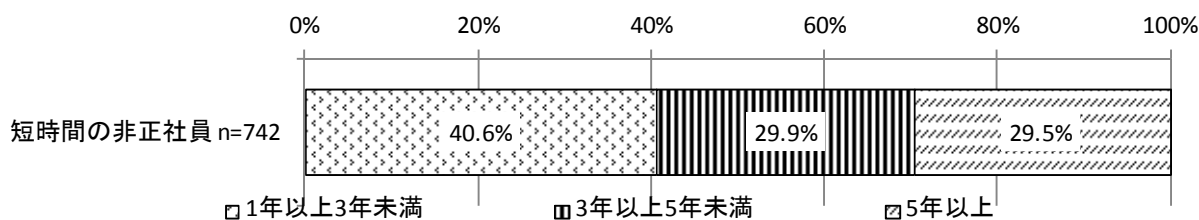
直近の就職をする前の離職期間をみると、正社員及びフルタイムの非正社員は「3か月未満」、「3か月以上半年未満」、「半年以上1年未満」を合わせた『1年未満』と、「1年以上3年未満」、「3年以上5年未満」、「5年以上」を合わせた『1年以上』の割合が、ほぼ半々となっている。短時間の非正社員については、「1年以上3年未満」（40.6%）が最も割合が高く、「3年以上5年未満」（29.9%）及び「5年以上」（29.5%）もそれぞれ約3割を占めている。

図表 19 直近の就職をする前の離職期間：単数回答（SQ7）

【正社員／フルタイムの非正社員】



【短時間の非正社員】



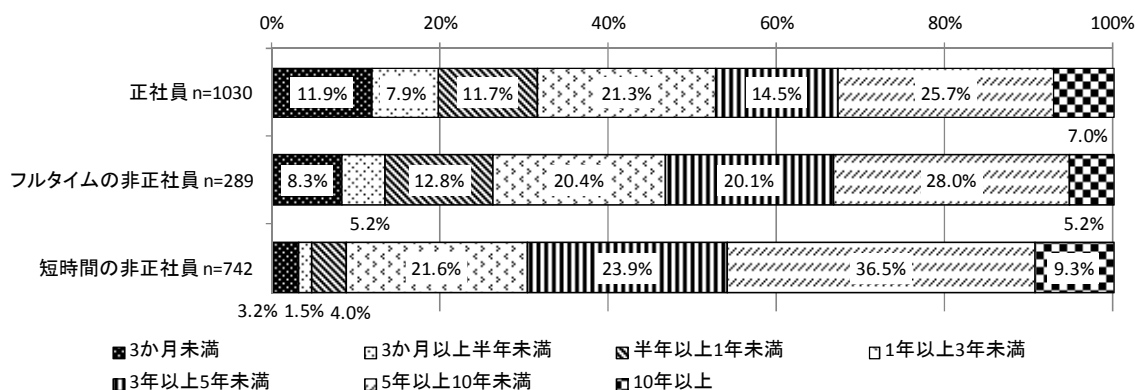
注) 直近の就職をする前の離職期間については、一定の期間をおいてから再就職している人を対象とした方が、再就職にあたっての課題や、再就職後のキャリア形成への影響などを分析できると考え、短時間の非正社員については、1年以上の人を調査の対象とした。正社員及びフルタイムの非正社員については、調査対象数を確保するため、離職期間が1年未満の人も対象に含めることとした。

(5) これまで（調査時点）の離職のうち、最も離職期間が長かった期間

これまで（調査時点）の離職のうち、最も離職期間が長かった期間をみると、「5年以上10年未満」の割合がそれぞれ最も高く、正社員（25.7%）、フルタイムの非正社員（28.0%）、短時間の非正社員（36.5%）となっている。

また、正社員、フルタイムの非正社員、短時間の非正社員の順に、離職期間が長くなる傾向がみられる。

図表 20 これまで（調査時点）の離職のうち、最も離職期間が長かった期間：単数回答（Q9）

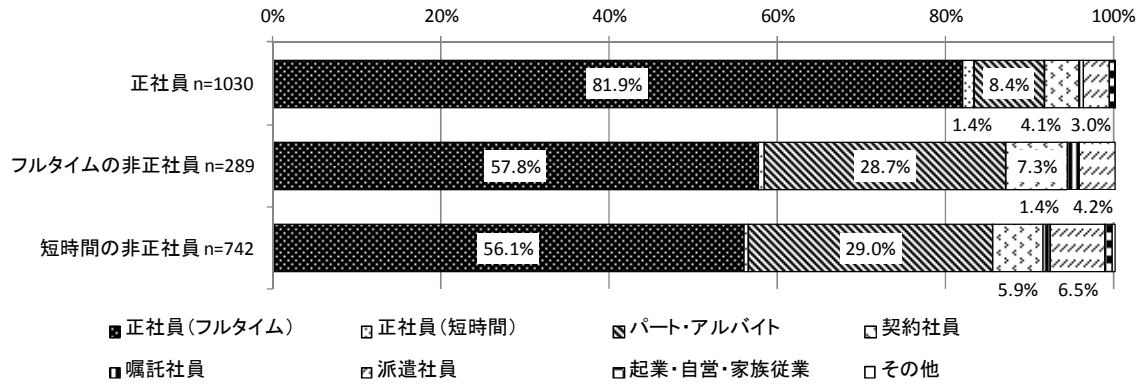


(6) 出産・育児等を機に離職した仕事について

①就業形態

出産・育児等を機に離職した仕事の就業形態をみると、正社員は「正社員（フルタイム）」が81.9%で大半を占めている。一方、フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員は、「正社員（フルタイム）」が6割弱、「パート・アルバイト」が3割弱を占めている。

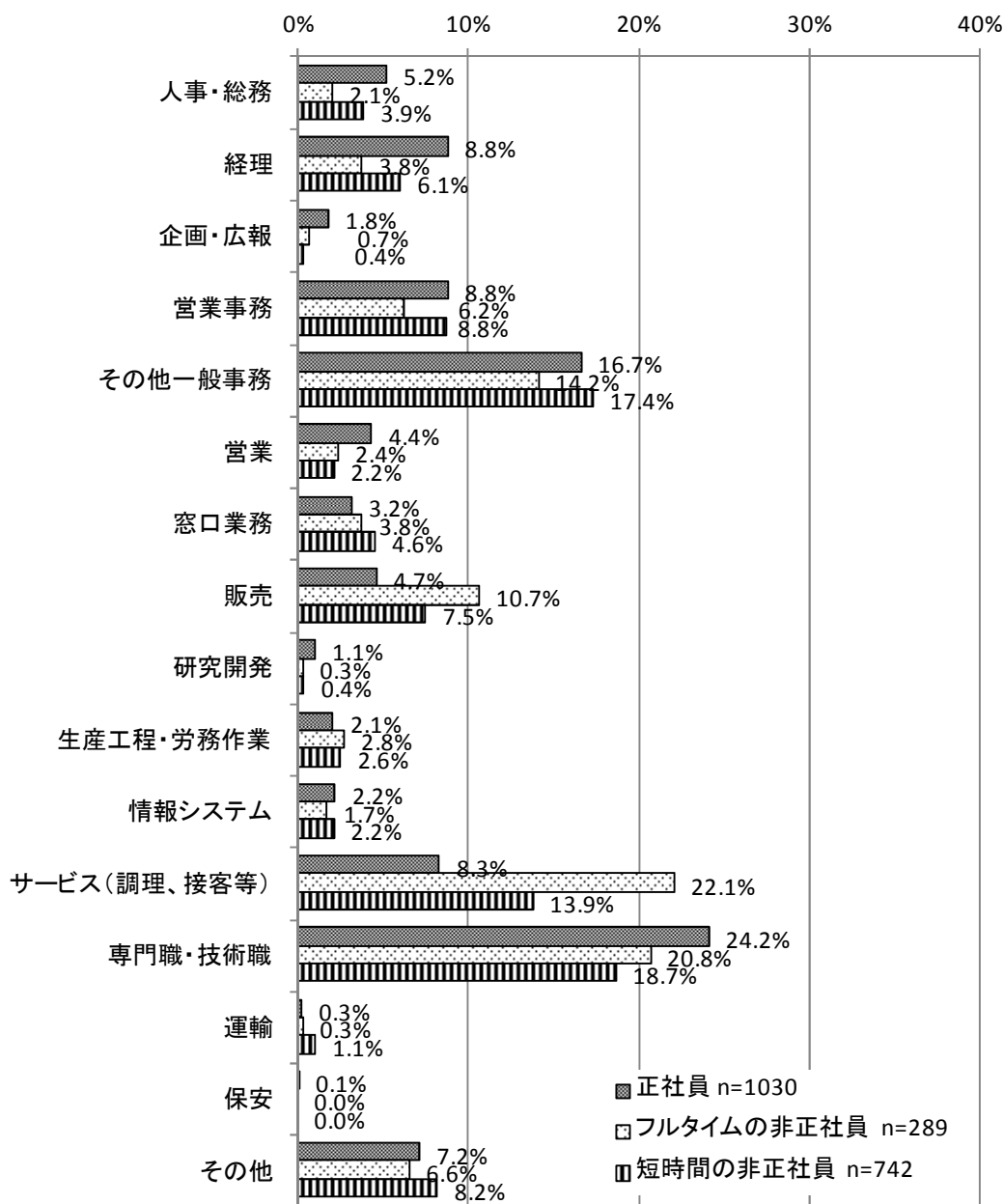
図表 21 就業形態：単数回答（Q11）



②職種

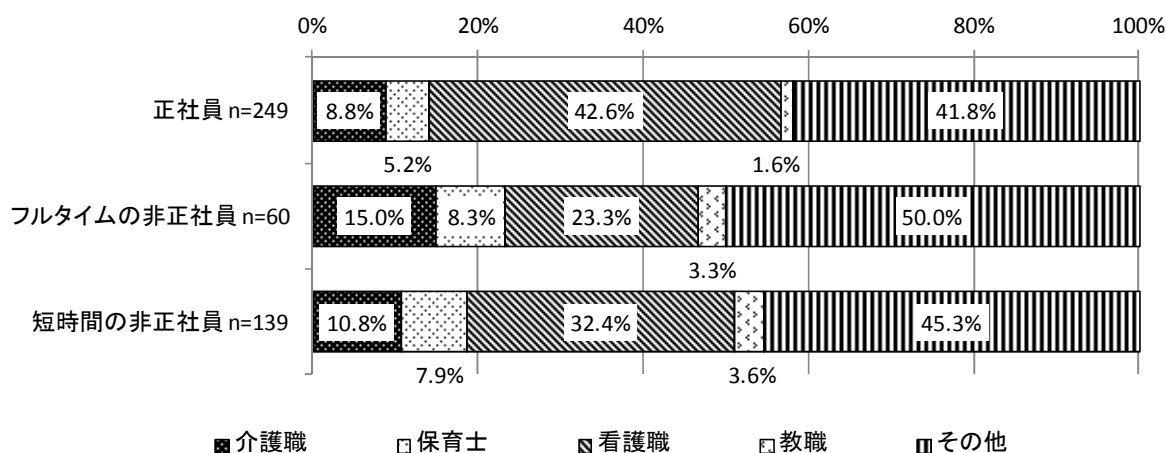
出産・育児等を機に離職した仕事の職種をみると、正社員は「専門職・技術職」(24.2%)の割合が高い傾向にある。次いで「その他一般事務」(16.7%)である。フルタイムの非正社員は、「サービス(調理、接客等)」(22.1%)、「専門職・技術職」(20.8%)の割合が高くなっている。短時間の非正社員は、「専門職・技術職」(18.7%)、「その他一般事務」(17.4%)の割合が高くなっている。

図表 22 職種：単数回答 (Q12)



離職前の職種が「専門職・技術職」であった人について、具体的にみると、正社員は他と比較して、「看護職」（42.6%）の割合が高く、フルタイムの非正社員は「介護職」（15.0%）の割合が高くなっている。

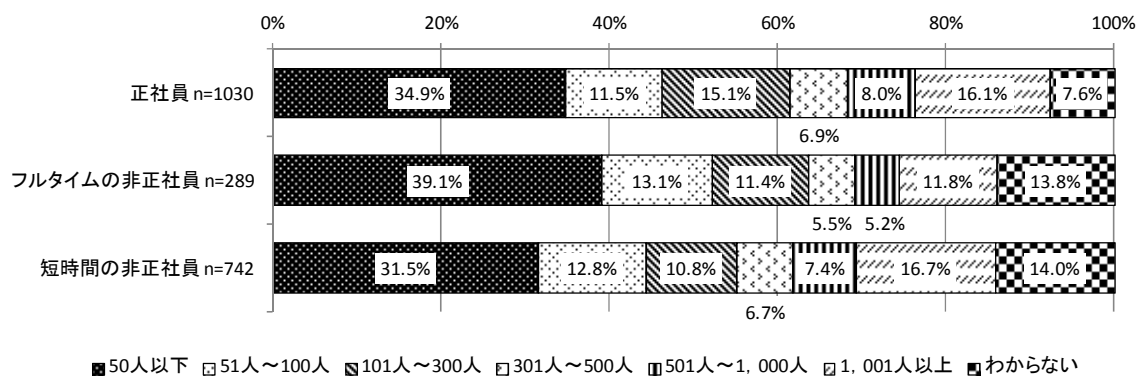
図表 23 専門職・技術職の具体的な内容（初職）：単数回答（Q13）



③従業員規模

出産・育児等を機に離職した勤務先の従業員規模をみると、正社員、非正社員とも「50人以下」の割合が最も高く、3～4割を占めている。次いで、正社員及び短時間の非正社員は、「1,000人以上」（16.1%、16.7%）が続いており、小規模の企業と、大企業に勤めていた人がそれぞれ一定程度いることがうかがえる。

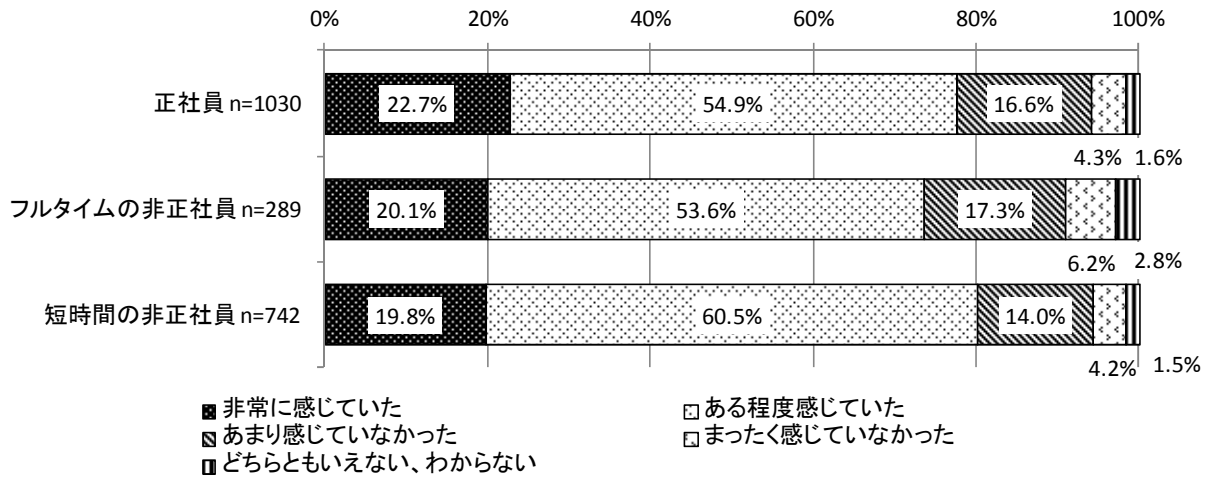
図表 24 従業員規模：単数回答（Q14）



④ 離職前の仕事のやりがい

離職前の仕事のやりがいをみると、正社員、非正社員とも「非常に感じていた」と「ある程度感じていた」を合わせたやりがいを感じていた人の割合は、7～8割程度を占めている。

図表 25 離職前の仕事のやりがい：単数回答（Q15）

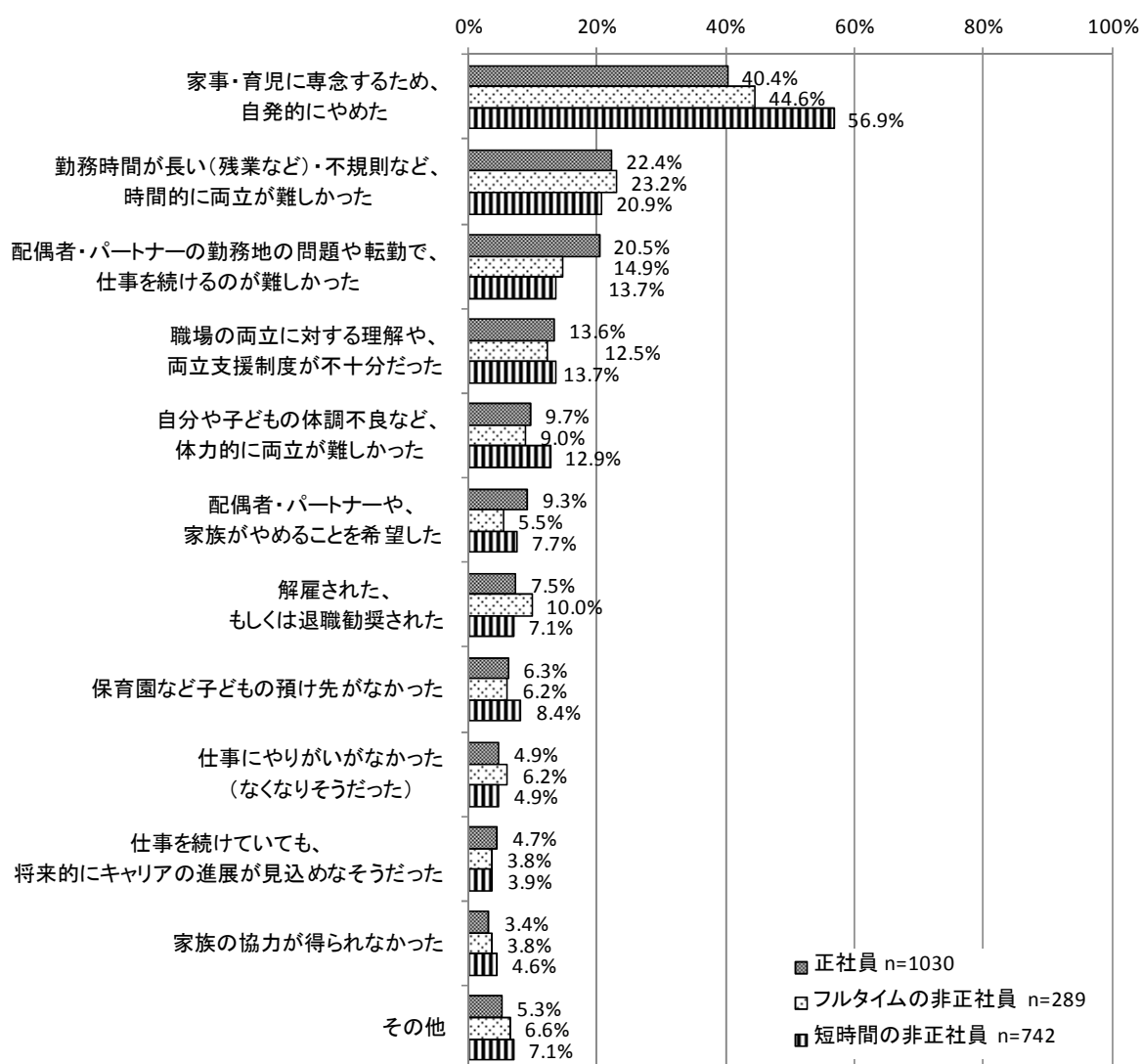


(7) 出産・育児等を機に離職した理由

出産・育児等を機に離職した理由をみると、正社員、非正社員とも「家事・育児に専念するため、自発的にやめた」が最も割合が高い。次いで、「勤務時間が長い（残業など）・不規則など、時間的に両立が難しかった」、「配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった」が続いている。

就業形態別にみると、短時間の非正社員は他と比較して、「家事・育児に専念するため、自発的にやめた」（56.9%）の割合が高く、正社員は「配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった」（20.5%）がやや高くなっている。

図表 26 出産・育児等を機に離職した理由：複数回答（Q16）

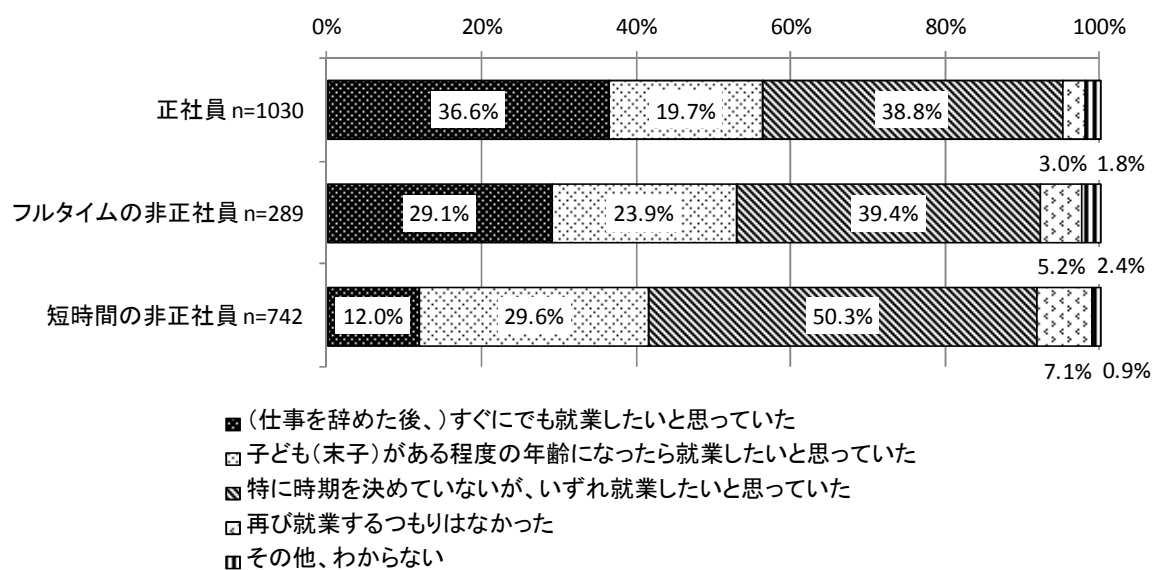


(8) 離職した当時の再就職についての意向

離職した当時の再就職についての意向をみると、正社員、非正社員ともほとんどの人が、離職時に再就職の意向を有しており「再び就業するつもりはなかった」との回答は5%前後にとどまっている。

就業形態別にみると、短時間の非正社員、フルタイムの非正社員、正社員の順に再就職の意向が強くなる傾向にあり、正社員は他と比較して、「(仕事を辞めた後、) すぐにでも就業したいと思っていた」(36.6%)の割合が高い。一方、短時間の非正社員は、「子ども(末子)がある程度の年齢になったら就業したいと思っていた」(29.6%)や、「特に時期を決めていないが、いずれ就業したいと思っていた」(50.3%)の割合が高い。

図表 27 離職した当時の再就職についての意向：単数回答 (Q17)

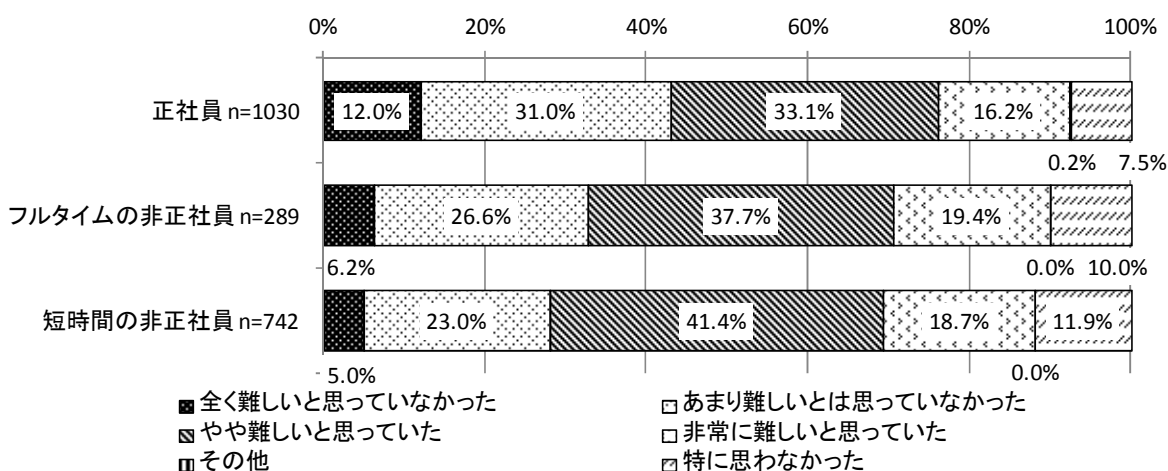


(9) 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて

離職当時、再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて、どのように思っていたかをみると、正社員、非正社員とも「やや難しいと思っていた」が最も割合が高く、3～4割強を占めている。次いで、「あまり難しいと思っていなかった」、「非常に難しいと思っていた」の順となっている。

就業形態別にみると、正社員は他と比較して「全く難しいと思っていなかった」（12.0％）の割合が高く、キャリアや自分の能力を活かした再就職を難しいと思っていなかった人（「全く難しいと思っていなかった」及び「あまり難しいと思っていなかった」）と、難しいと思っていた人（「非常に難しいと思っていた」及び「やや難しいと思っていた」）が概ね半々である。フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員は、難しいと思っていた人の方が多くなっている。

図表 28 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて：単数回答（Q18）



3. 再就職の状況

- 求職活動中の就業形態の希望と、再就職後の就業形態の差をみると、正社員及び短時間の非正社員は、希望と実際の差が比較的少ない。一方、フルタイムの非正社員は、「正社員（フルタイム／短時間）」を希望していた割合が31.5%に対し、実際は5.5%しか正社員に就けておらず、希望が叶わず「パート・アルバイト」等で再就職した人が一定程度みられる。
- 再就職後の職種は、正社員は「その他一般事務」「専門職・技術職」がそれぞれ2割強、フルタイムの非正社員は「その他一般事務」が約4分の1、「サービス（調理、接客等）」「専門職・技術職」がそれぞれ2割弱、短時間の非正社員は「サービス（調理、接客等）」「その他一般事務」がそれぞれ2割前後を占めている。正社員、非正社員とも、特に「その他一般事務」を求職活動中に希望しながら、実現しなかった人が比較的多い。
- 現在の勤務先の従業員規模は「50人以下」が4～5割、「1,001人以上」が1割強である。
- 再就職後、仕事に慣れるまでの期間は、「再就職後、3か月くらい」までが4割強、「再就職後、半年くらい」が2～3割を占めている。
- 再就職した理由は、「子どもの教育費や生活費がかかるなど、経済的理由のため」が7～8割強で最も多く、次いで「生活を充実させたり、変化を持たせたりしたいと思ったから」があげられている。正社員は、非正社員に比べて「自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから」が20.9%で割合が高くなっている。
- 再就職先を決める際に重視したこととしては、「仕事内容が希望に合っていること」「希望する雇用形態であること」「職場が近いこと」「残業がない、少ないこと」が多くあげられている。
- 求職活動中の利用機関・情報サービスは、「ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口」が4～6割で最も多い。また、非正社員は正社員に比べて「新聞の折り込みチラシ、新聞の求人欄」「求人サイト、就職関連サイト」の利用割合が高い。
- 再就職前に不安のあった人は8割前後にのぼり、「子育てと両立できるか」「仕事についていけるか」「職場の人とうまくやっていけるか」などを不安に感じている人が多い。ただし、そのうち半数程度は、実際に再就職してみると「思っていたほど、心配はなかった」と答えている。
- 再就職活動で苦労したことは、「希望する条件に合う仕事が見つからない」「子どもが小さいため、家族などの支援体制がないと断られてしまう」が多くあげられている。
- 再雇用制度について、「制度があったかどうかわからない」が最も割合が高く半数前後を占め、制度の利用者は1割未満である。利用した（したい）理由では、「退職前のスキルや知識を活かして働くことができるから」「以前勤めていた会社に愛着がある（あった）から」などの割合が高い。

(1) 再就職時の仕事について

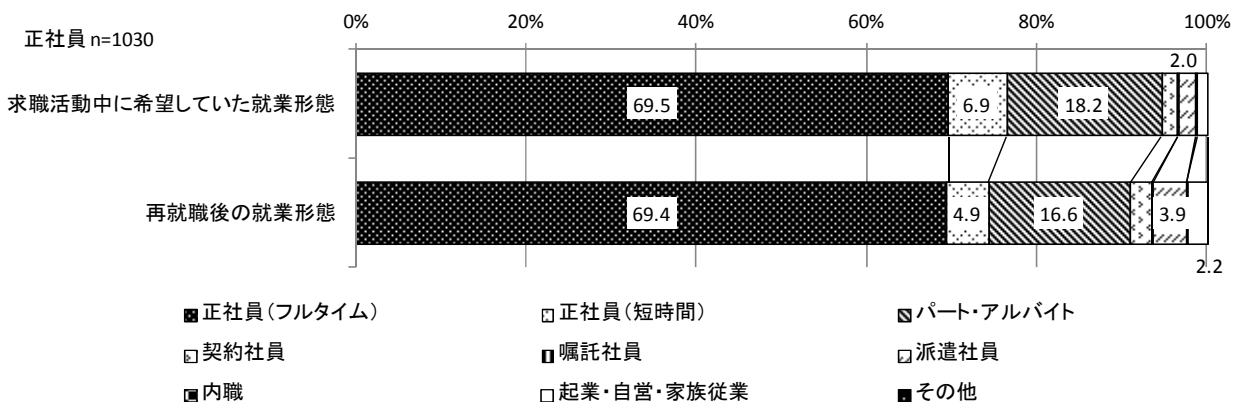
①求職活動中の就業形態の希望と、再就職後の就業形態

求職活動中に希望していた就業形態と再就職後の就業形態をみると、正社員は求職活動中に希望していた就業形態は「正社員（フルタイム）」が69.5%、「パート・アルバイト」が18.2%を占め、再就職後の就業形態は「正社員（フルタイム）」が69.4%、「パート・アルバイト」が16.6%と希望と実際の差はあまりみられない。

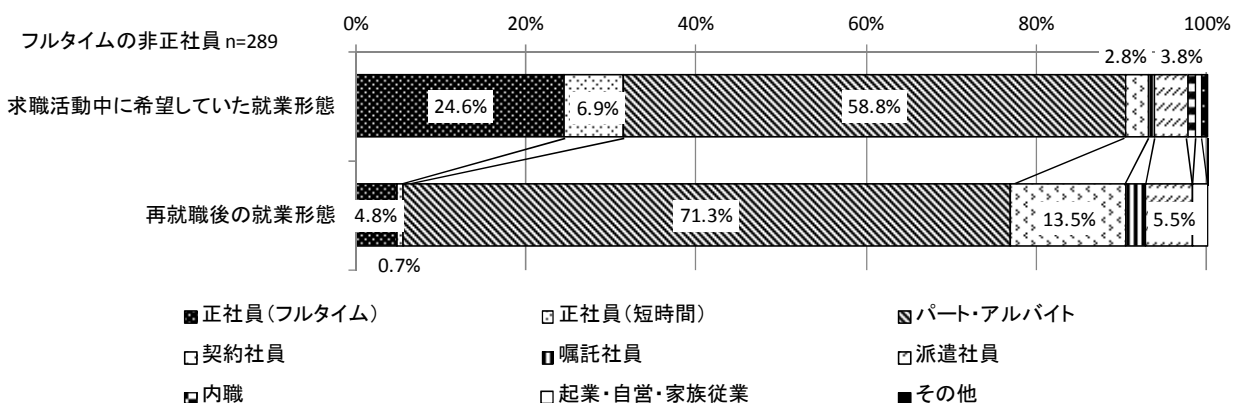
フルタイムの非正社員は、「正社員（フルタイム）」を希望（24.6%）と実際（4.8%）の差が大きく、正社員に就くことができなかった人が、「パート・アルバイト」（希望58.8%、実際71.3%）や、「契約社員」（希望2.8%、実際13.5%）になっている。

短時間の非正社員は、フルタイムの非正社員と同様に、「パート・アルバイト」の希望（82.9%）に比べて、実際（90.3%）の方が多く、「正社員（フルタイム）」、「正社員（短時間）」は希望より実際の方が少ないが、その差はフルタイムの非正社員に比べると小さい傾向にある。

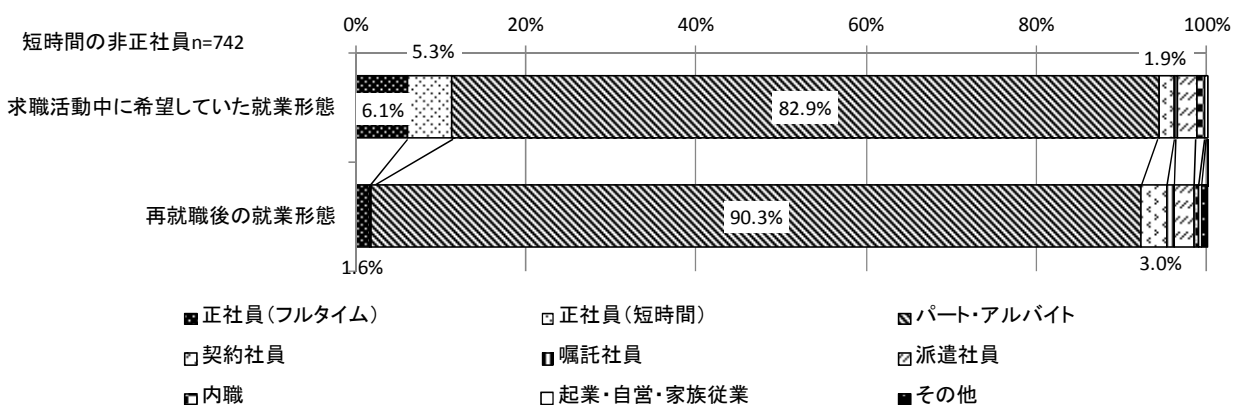
図表 29 求職活動中の就業形態の希望と、再就職後の就業形態【正社員】：単数回答（Q19）



図表 30 求職活動中の就業形態の希望と、再就職後の就業形態【フルタイムの非正社員】：単数回答（Q19）



図表 31 求職活動中の就業形態の希望と、再就職後の就業形態【短時間の非正社員】：単数回答（Q19）



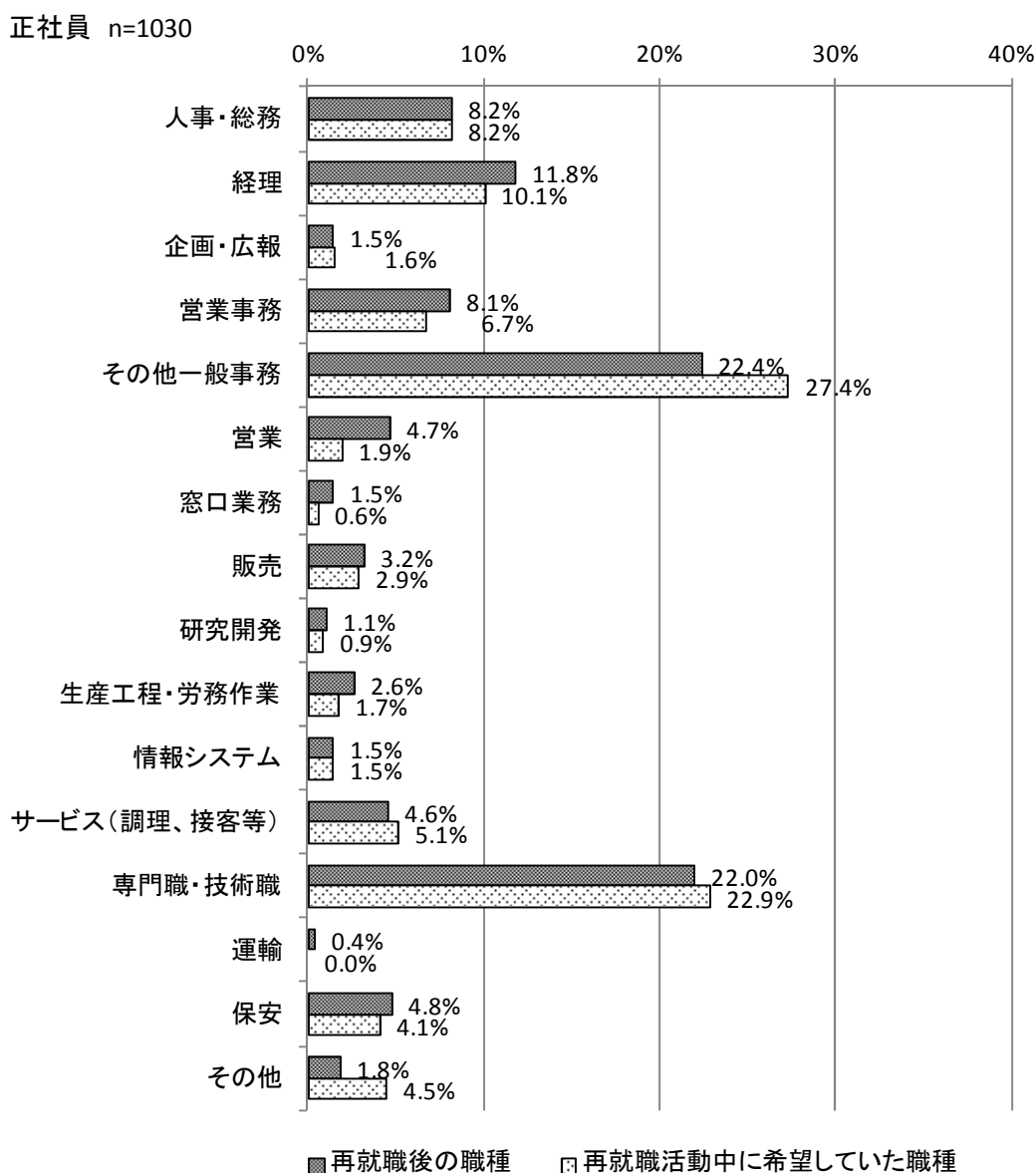
②求職活動中の職種の希望と、再就職後の職種

求職活動中に希望していた職種と再就職後の職種をみると、正社員は「その他一般事務」で希望（27.4%）と実際（22.4%）にやや差がみられるが、それ以外はあまり差がなく、「専門職・技術職」はともに2割強となっている。

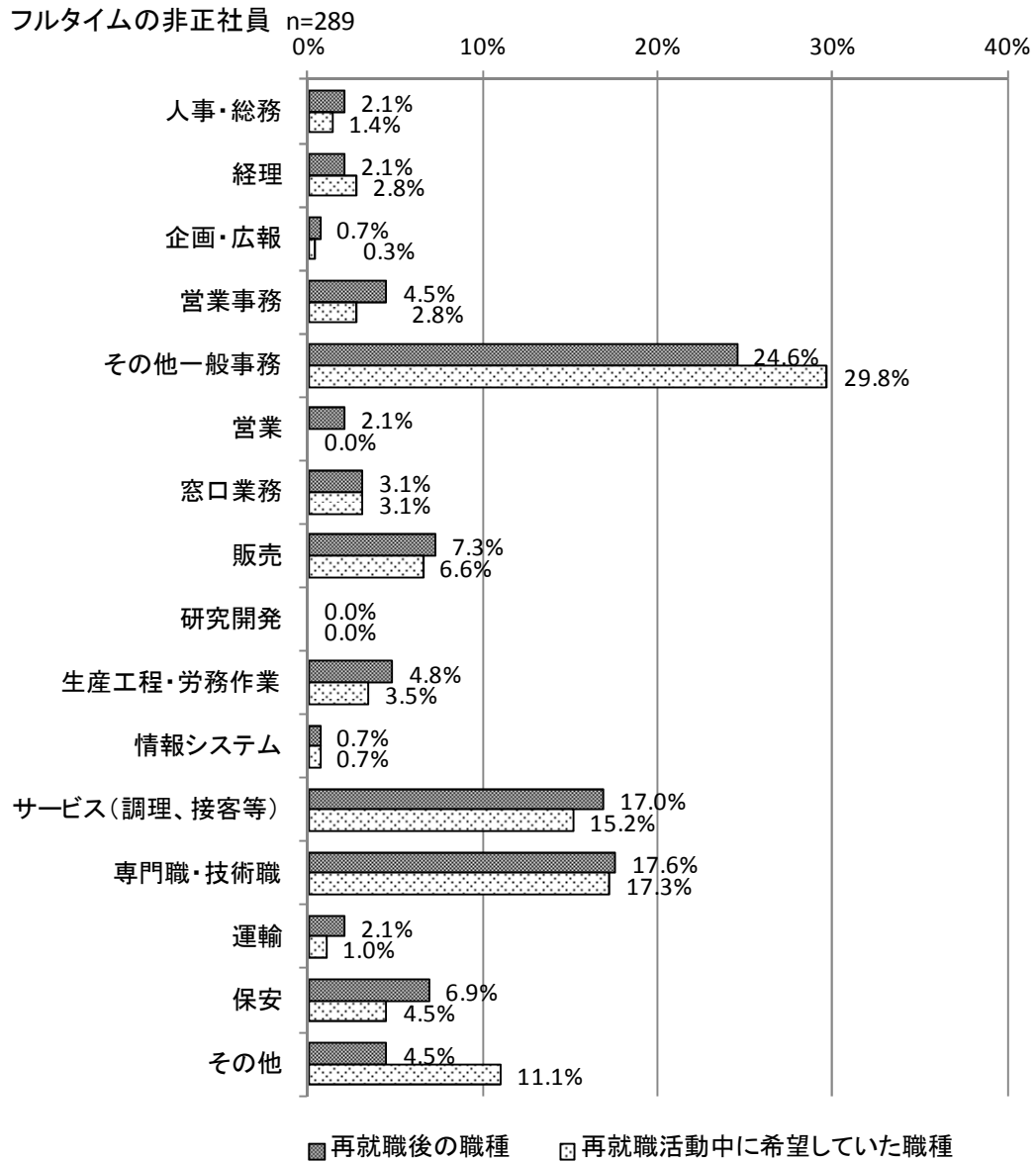
フルタイムの非正社員は、「その他一般事務」で、希望（29.8%）と実際（24.6%）にやや差がみられるが、それ以外はあまり差がなく、「サービス（調理、接客等）」、「専門職・技術職」はともに2割弱となっている。

短時間の非正社員は、他と比較して「その他一般事務」の希望（27.1%）と実際（17.5%）の差が最も大きい。また、「サービス（調理、接客等）」や、「販売」では、希望（15.4%、7.1%）に対して実際（21.2%、12.0%）の割合が高くなっている。

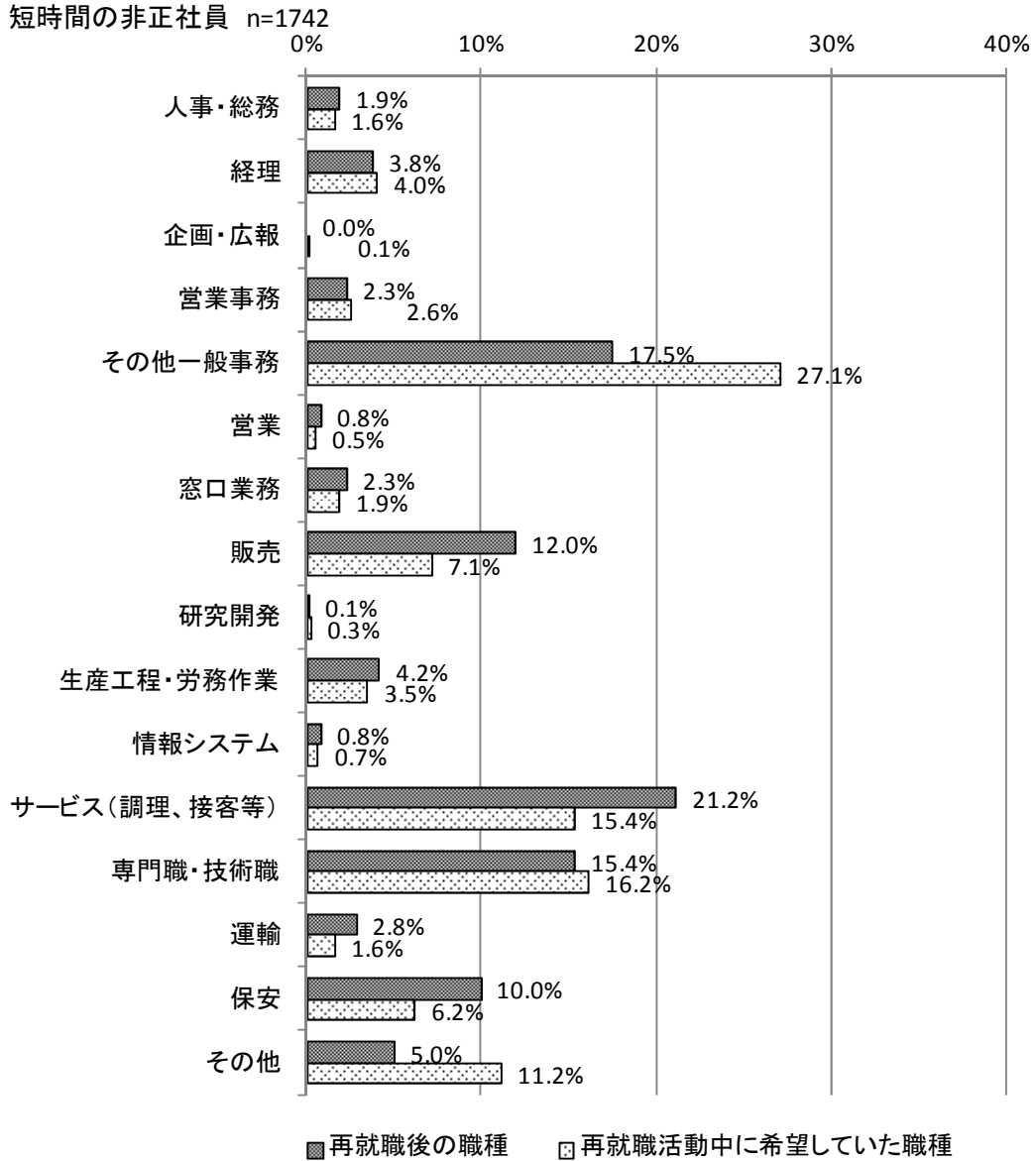
図表 32 求職活動中の職種の希望と、再就職後の職種【正社員】：単数回答（Q20）



図表 33 求職活動中の職種の希望と、再就職後の職種【フルタイムの非正社員】：単数回答（Q20）

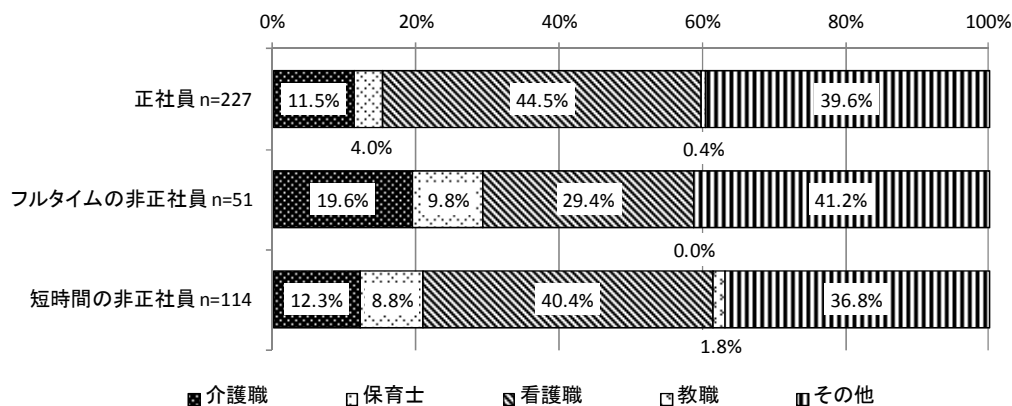


図表 34 求職活動中の職種の希望と、再就職後の職種【短時間の非正社員】：単数回答（Q20）



さらに、再就職後の職種が「専門職・技術職」の人についてその具体的な内容をみると、正社員及び短時間の非正社員は、フルタイムの非正社員と比較して、「看護職」の割合が4割強と高い。一方、フルタイムの非正社員は、他と比較して「介護職」（19.6%）の割合が高い。

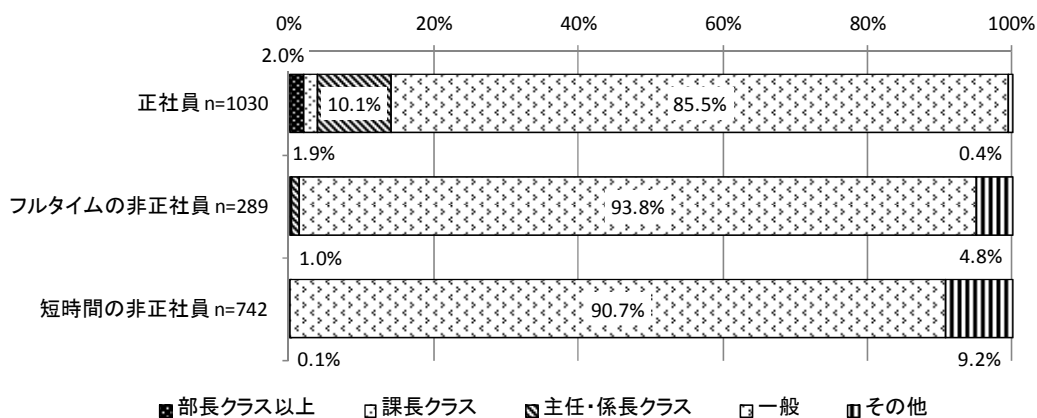
図表 35 専門職・技術職の具体的な内容（再就職後）：単数回答（Q21）



③ 役職

現在の役職をみると、正社員では、「一般」が85.5%、次いで「主任・係長クラス」が10.1%となっている。フルタイムの非正社員、短時間の非正社員は、「一般」が9割以上を占めている。

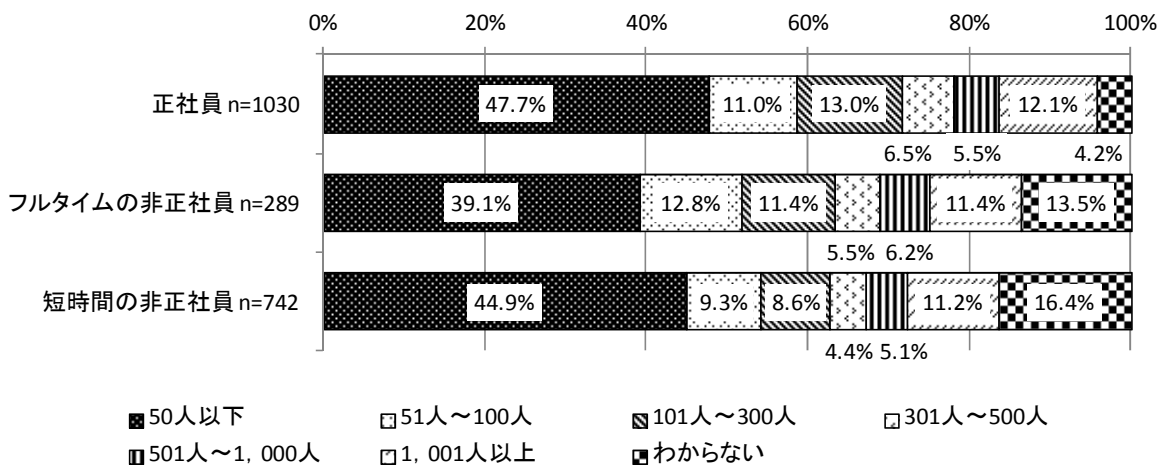
図表 36 役職：単数回答（Q22）



④従業員規模

現在の勤務先の従業員規模をみると、正社員、非正社員とも「50人以下」が最も割合が高く、4～5割前後を占めている。また、「1,001人以上」の割合は、1割強となっている。

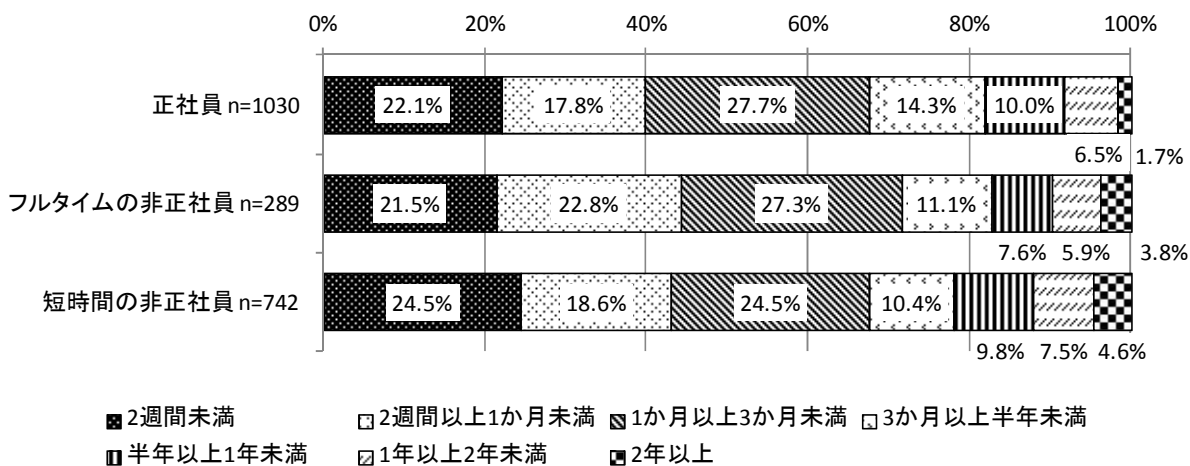
図表 37 従業員規模：単数回答（Q23）



(2) 再就職の際の求職期間

再就職の際の求職期間をみると、正社員、非正社員とも「1か月以上3か月未満」が2～3割で最も割合が高い。また、「2週間未満」、「2週間以上1か月未満」を合わせた『1か月未満』の割合は、4割前後となっている。

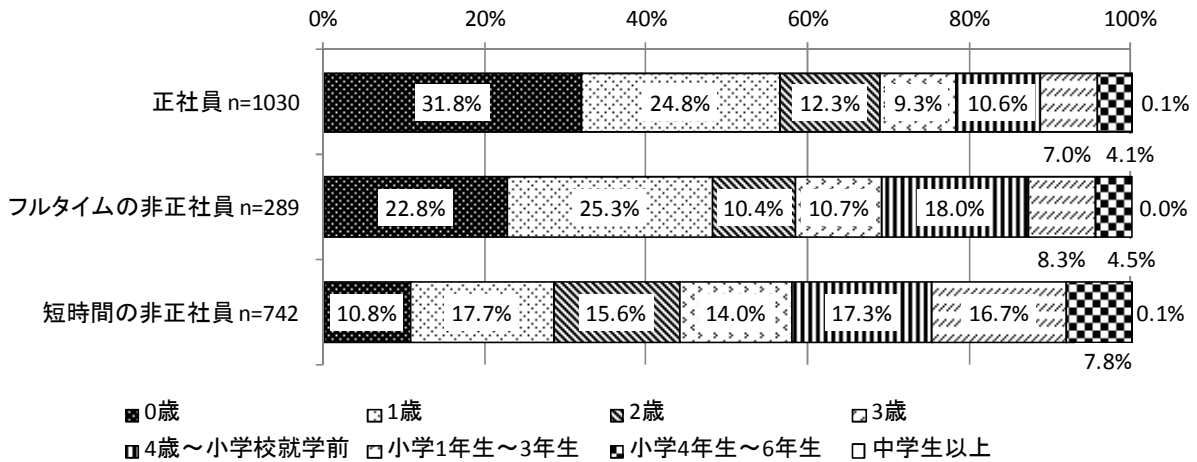
図表 38 再就職の際の求職期間：単数回答（Q24）



(3) 再就職時の末子年齢

再就職時の末子の年齢をみると、正社員、フルタイムの非正社員、短時間の非正社員の順に年齢が高くなっている。「正社員」は、「0歳」（31.8%）と「1歳」（24.8%）を合わせると半数以上を占めており、比較的孩子が小さい時期に再就職している人が多い傾向にある。一方、短時間の非正社員は、2歳以上で71.5%であり、子どもがある程度大きくなってから再就職している人が多い。

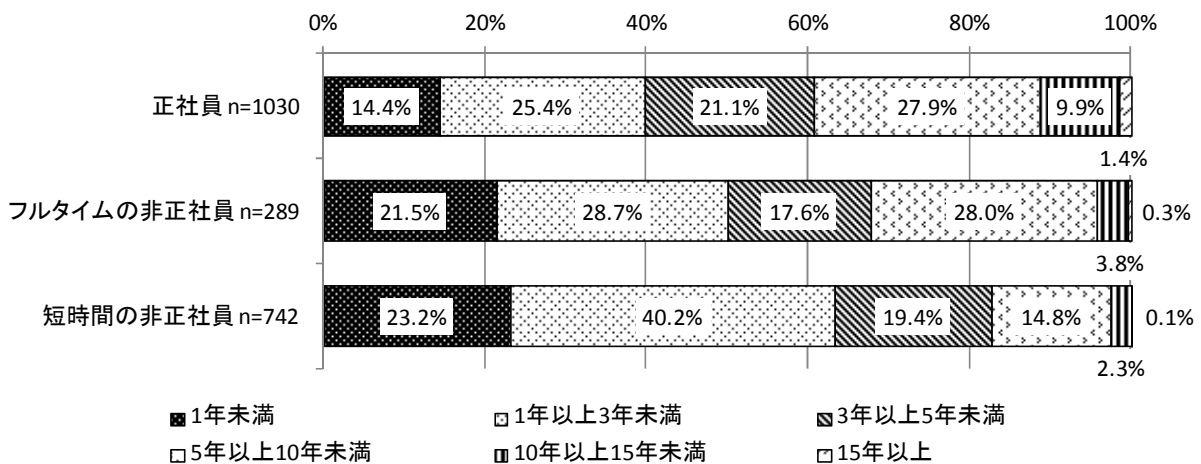
図表 39 再就職時の末子年齢：単数回答（Q25）



(4) 現在の勤務先での勤続年数

現在の勤務先での勤続年数をみると、短時間の非正社員、フルタイムの非正社員、正社員の順に長くなる傾向にあり、正社員は他と比較して「10年以上15年未満」（9.9%）の割合が高く、「5年以上10年未満」（27.9%）を合わせると約4割を占めている。一方、短時間の非正社員は、他と比較して「1年未満」（23.2%）、「1年以上3年未満」（40.2%）の割合が高い。

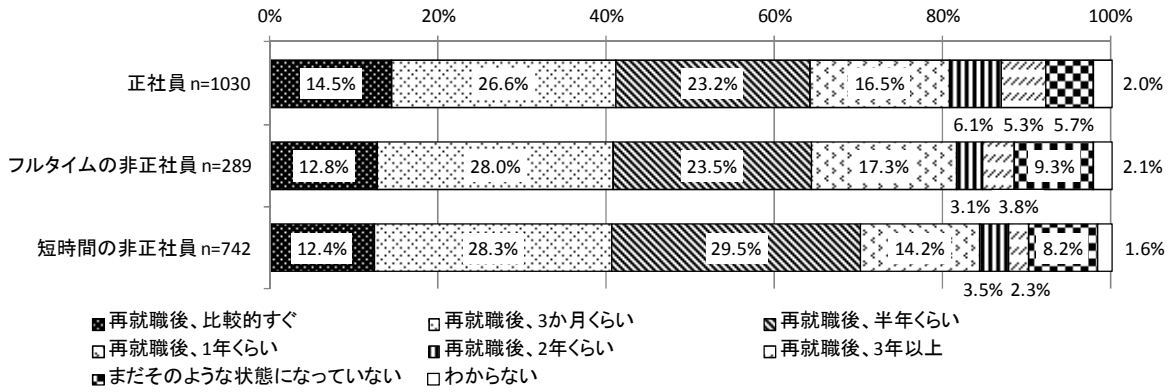
図表 40 現在の勤務先での勤続年数：単数回答（Q26）



(5) 再就職後、仕事に慣れるまでの期間

再就職後、「仕事に慣れた、仕事をこなせるようになった」と感じるようになるまでの期間をみると、正社員、非正社員とも「再就職後、3か月くらい」までが4割以上、「再就職後、半年くらい」までが6割以上となっている。

図表 41 再就職後、仕事に慣れるまでの期間：単数回答（Q27）

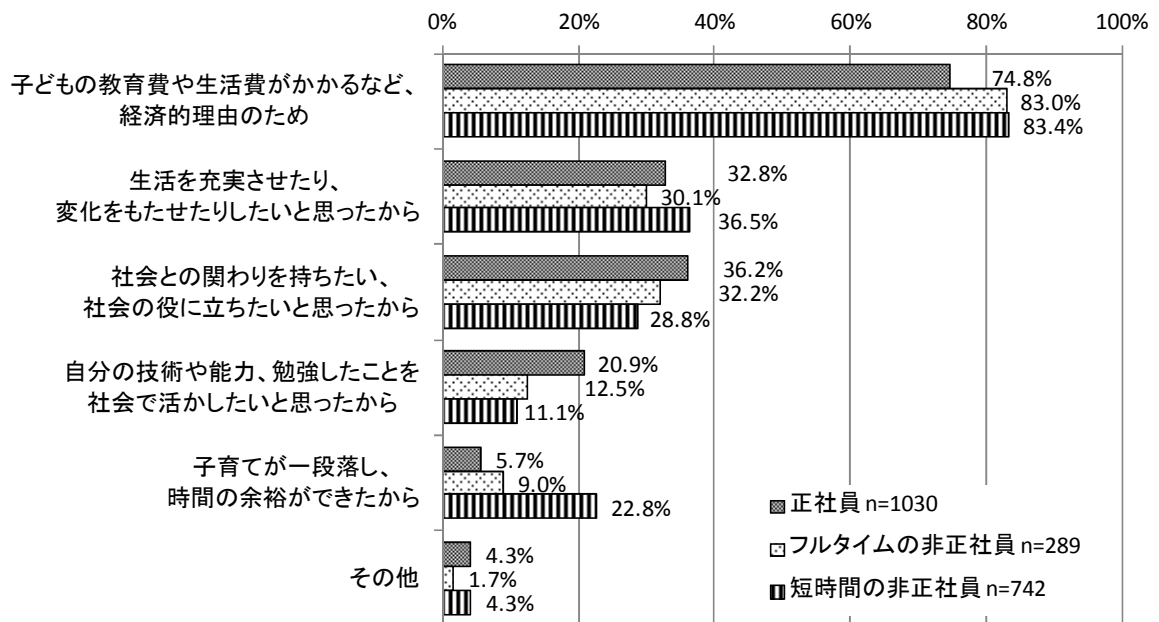


(6) 再就職した理由

再就職した理由をみると、正社員、非正社員とも「子どもの教育費や生活費がかかるなど、経済的理由のため」が7～8割前後で最も多い。

ただし、正社員は、他と比較して「社会との関わりを持ちたい、社会の役に立ちたいと思ったから」（36.2%）や、「自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから」（20.9%）の割合が高い傾向にある。一方、短時間の非正社員は、他と比較して「子育てが一段落し、時間の余裕ができたから」（22.8%）の割合が高い。

図表 42 再就職した理由：複数回答（Q28）

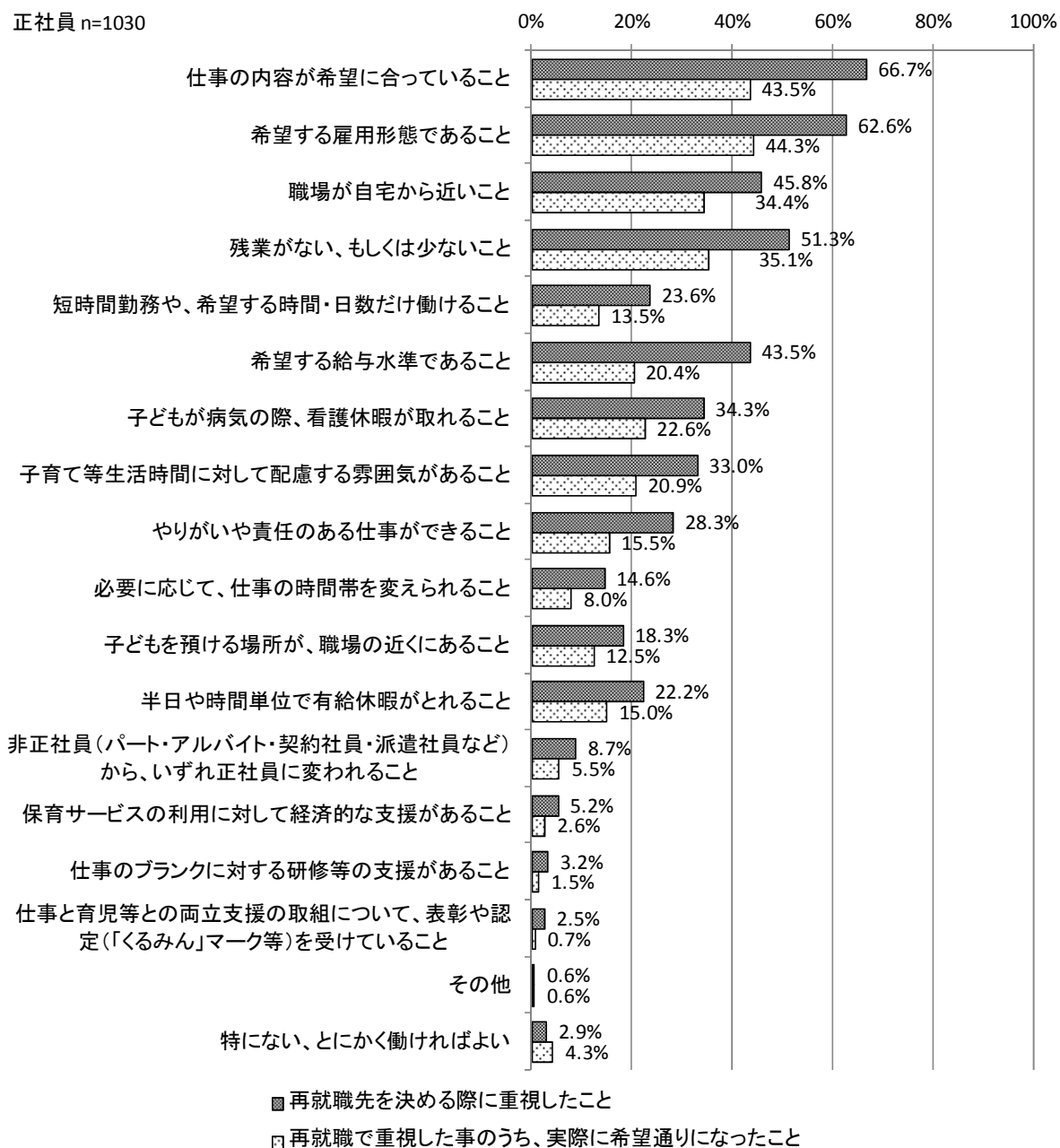


(7) 再就職先を決める際に重視したこと等

再就職先を決める際に重視したことをみると、正社員は「仕事の内容が希望に合っていること」(66.7%)、「希望する雇用形態であること」(62.6%)、「残業がない、もしくは少ないこと」(51.3%)などが上位にあげられている。

重視したことのうち、希望通りになったこととの差をみると、「仕事の内容が希望に合っていること」(差 23.2 ポイント)、「希望する給与水準であること」(差 23.1 ポイント)などで、両者の差が大きくなっている。

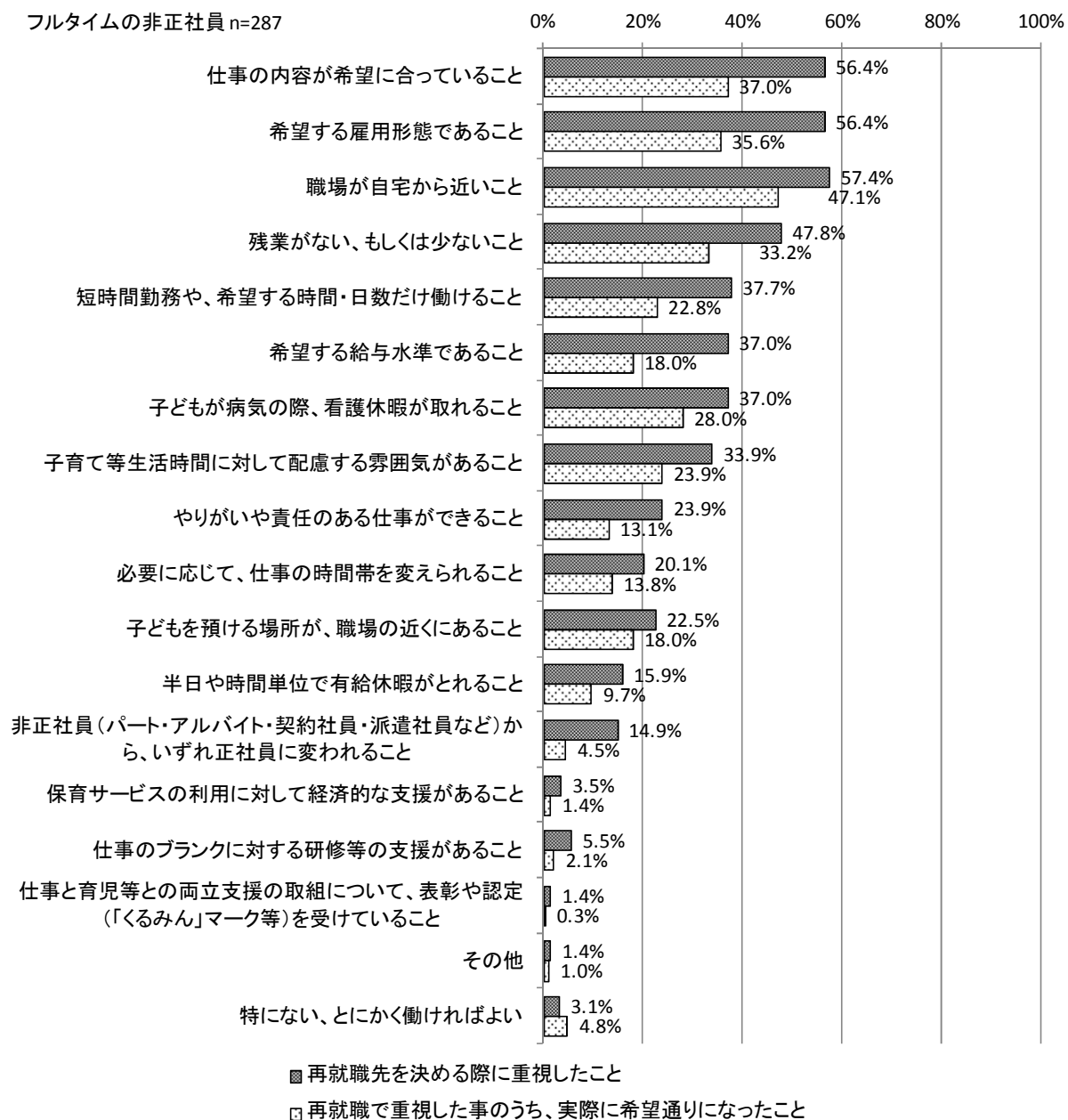
図表 43 再就職先を決める際に重視したこと等【正社員】：複数回答 (Q29)



フルタイムの非正社員については、「職場が自宅から近いこと」(57.4%)、「仕事の内容が希望に合っていること」(56.4%)、「希望する雇用形態であること」(56.4%)などが上位にあげられている。

重視したことのうち、希望通りになったこととの差をみると、「希望する雇用形態であること」(差 20.8 ポイント)、「仕事の内容が希望に合っていること」(差 19.4 ポイント)、「希望する給与水準であること」(差 19.0 ポイント)などで両者の差が大きくなっている。

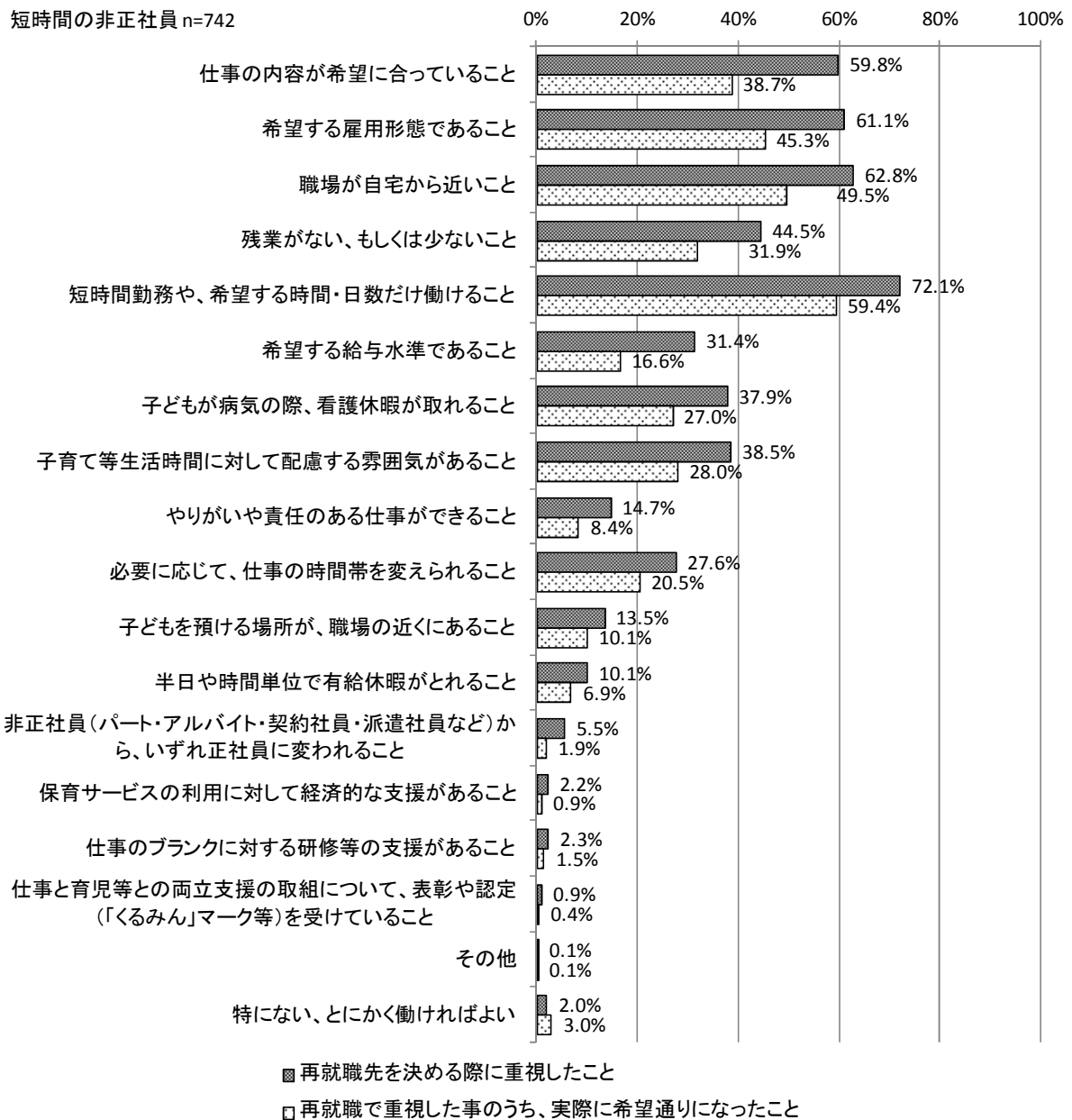
図表 44 再就職先を決める際に重視したこと等【フルタイムの非正社員】：複数回答 (Q29)



短時間の非正社員については「短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること」(72.1%)、「職場が自宅から近いこと」(62.8%)、「希望する雇用形態であること」(61.1%)などが上位にあげられている。

重視したことのうち、希望通りになったこととの差をみると、「仕事の内容が希望に合っていること」(差 21.1 ポイント)、「希望する雇用形態であること」(差 15.8 ポイント)などで両者の差が大きくなっている。

図表 45 再就職先を決める際に重視したこと等【短時間の非正社員】：複数回答 (Q29)

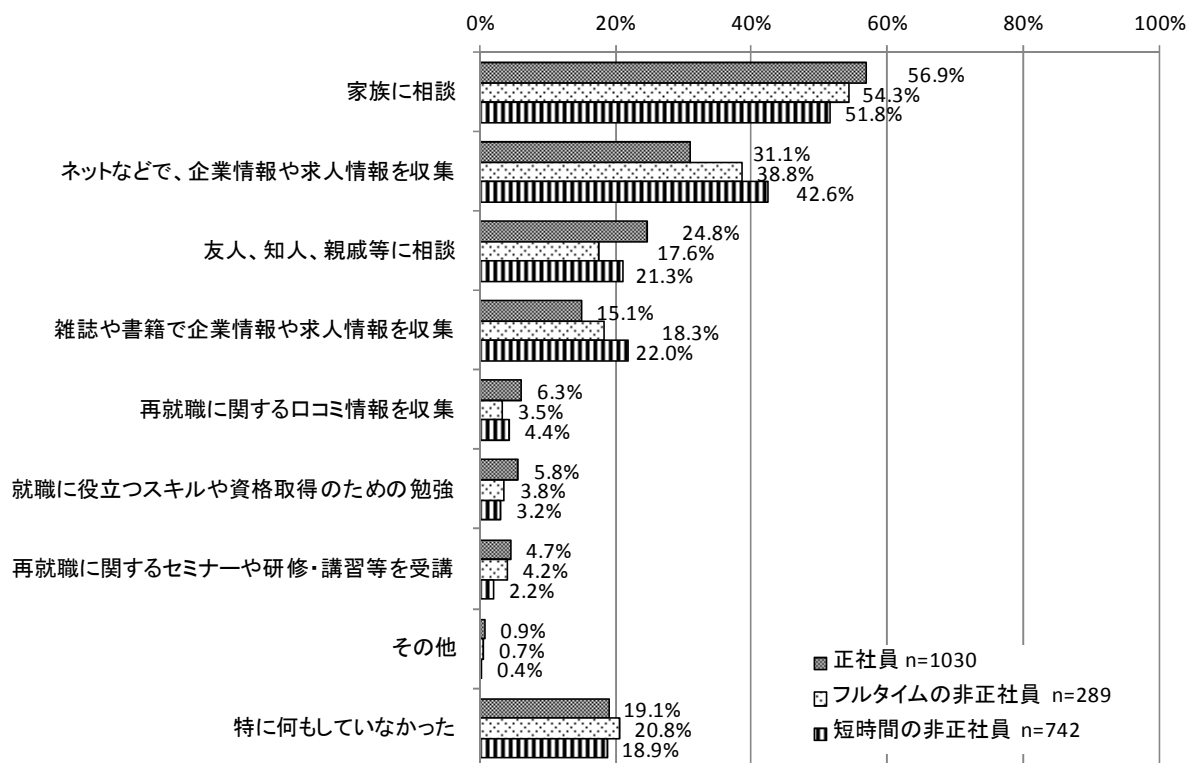


(8) 離職期間中、求職活動を始める前に取り組んでいたこと

離職期間中、求職活動を始める前に取り組んでいたことをみると、正社員、非正社員とも「家族に相談」、「ネットなどで、企業情報や求人情報を収集」が上位にあげられている。

また、就業形態別にみると、正社員は他と比較して「家族に相談」（56.9％）の割合が高い一方、短時間の非正社員は、「ネットなどで、企業情報や求人情報を収集」（42.6％）、「雑誌や書籍で企業情報や求人情報を収集」（22.0％）などの割合が高い傾向にある。

図表 46 離職期間中、求職活動を始める前に取り組んでいたこと：複数回答（Q30）



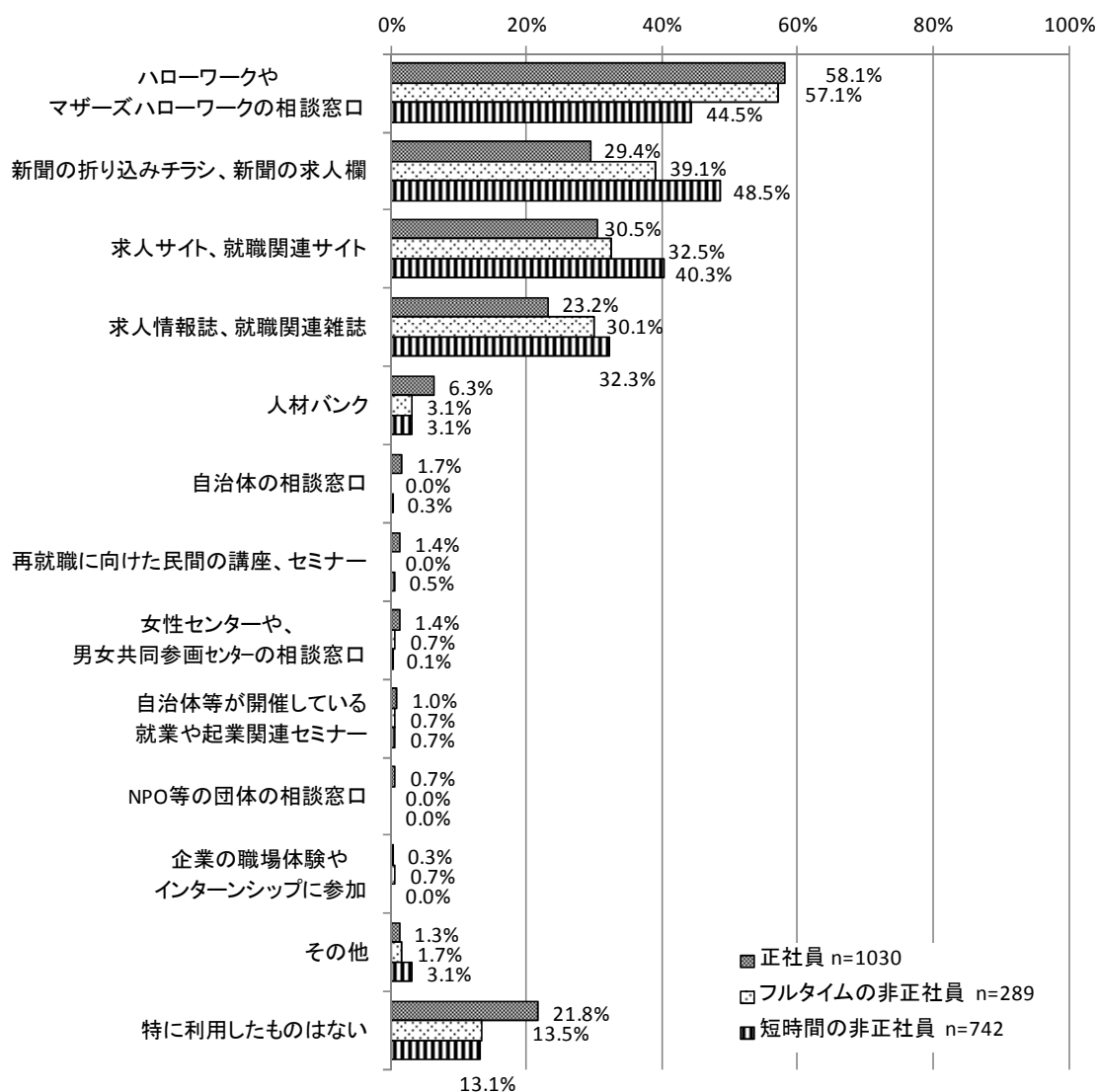
(9) 求職活動中に利用した機関や情報サービス

求職活動中に利用したサービスや機関をみると正社員及びフルタイムの非正社員は、「ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口」がそれぞれ 58.1%、57.1%で最も多くあげられている。

短時間の非正社員は、「新聞の折り込みチラシ、新聞の求人欄」(48.5%) が最も割合が高く、他と比較して、「求人サイト、就職関連サイト」(40.3%) や「求人情報誌、就職関連雑誌」(32.3%) の利用も多い傾向にある。

一方、「特に利用したものはない」は、正社員で割合が高く、21.8%と2割強を占めている。

図表 47 求職活動中に利用した機関や情報サービス：複数回答 (Q31)



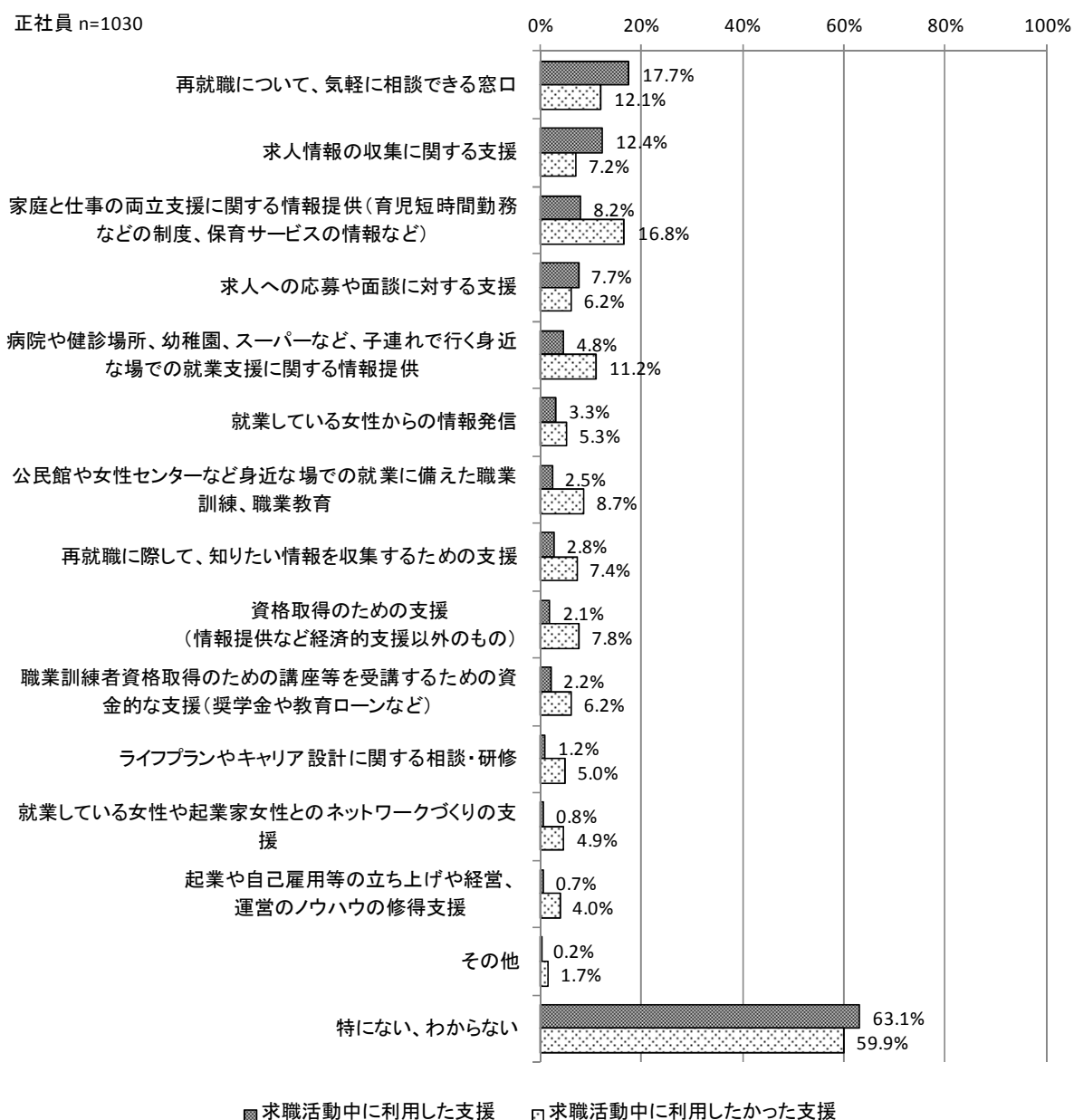
(10) 求職活動中に利用した支援／利用しなかった支援

求職活動中に利用した支援をみると、正社員は「再就職について、気軽に相談できる窓口」(17.7%)、「求人情報の収集に関する支援」(12.4%)などが上位にあげられている。

利用しなかった支援をみると、「家庭と仕事の両立支援に関する情報提供(育児短時間勤務などの制度、保育サービスの情報など)」(16.8%)、「再就職について、気軽に相談できる窓口」(12.1%)などが上位にあげられている。そのほか、利用したものとの差が大きいものとしては、「病院や健診場所、幼稚園、スーパーなど、子連れで行く身近な場での就業支援に関する情報提供」(差 6.4 ポイント)などがあげられる。

また、「特にない、わからない」は、利用経験、利用希望とも6割前後となっている。

図表 48 求職活動中に利用した支援／利用しなかった支援【正社員】：複数回答 (Q32)

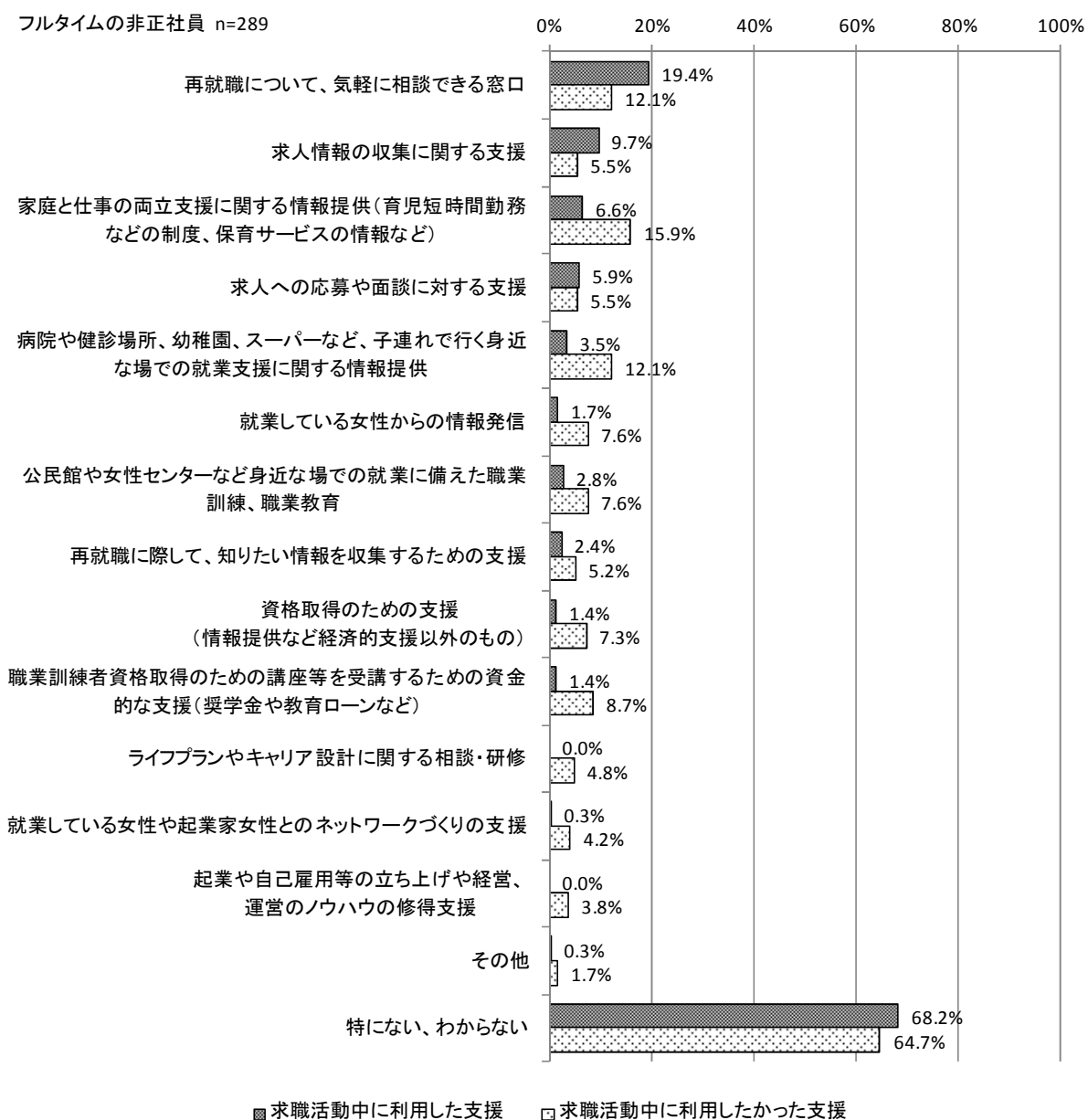


フルタイムの非正社員は「再就職について、気軽に相談できる窓口」(19.4%)が最も多く、次いで「求人情報の収集に関する支援」(9.7%)が上位にあげられている。

利用しなかった支援をみると、「家庭と仕事の両立支援に関する情報提供(育児短時間勤務などの制度、保育サービスの情報など)」(15.9%)、「再就職について、気軽に相談できる窓口」(12.1%)、「病院や健診場所、幼稚園、スーパーなど、子連れで行く身近な場での就業支援に関する情報提供」(12.1%)などがあげられている。

また、「特にない、わからない」は利用経験、利用希望とも6~7割となっている。

図表 49 求職活動中に利用した支援／利用しなかった支援
【フルタイムの非正社員】：複数回答(Q32)

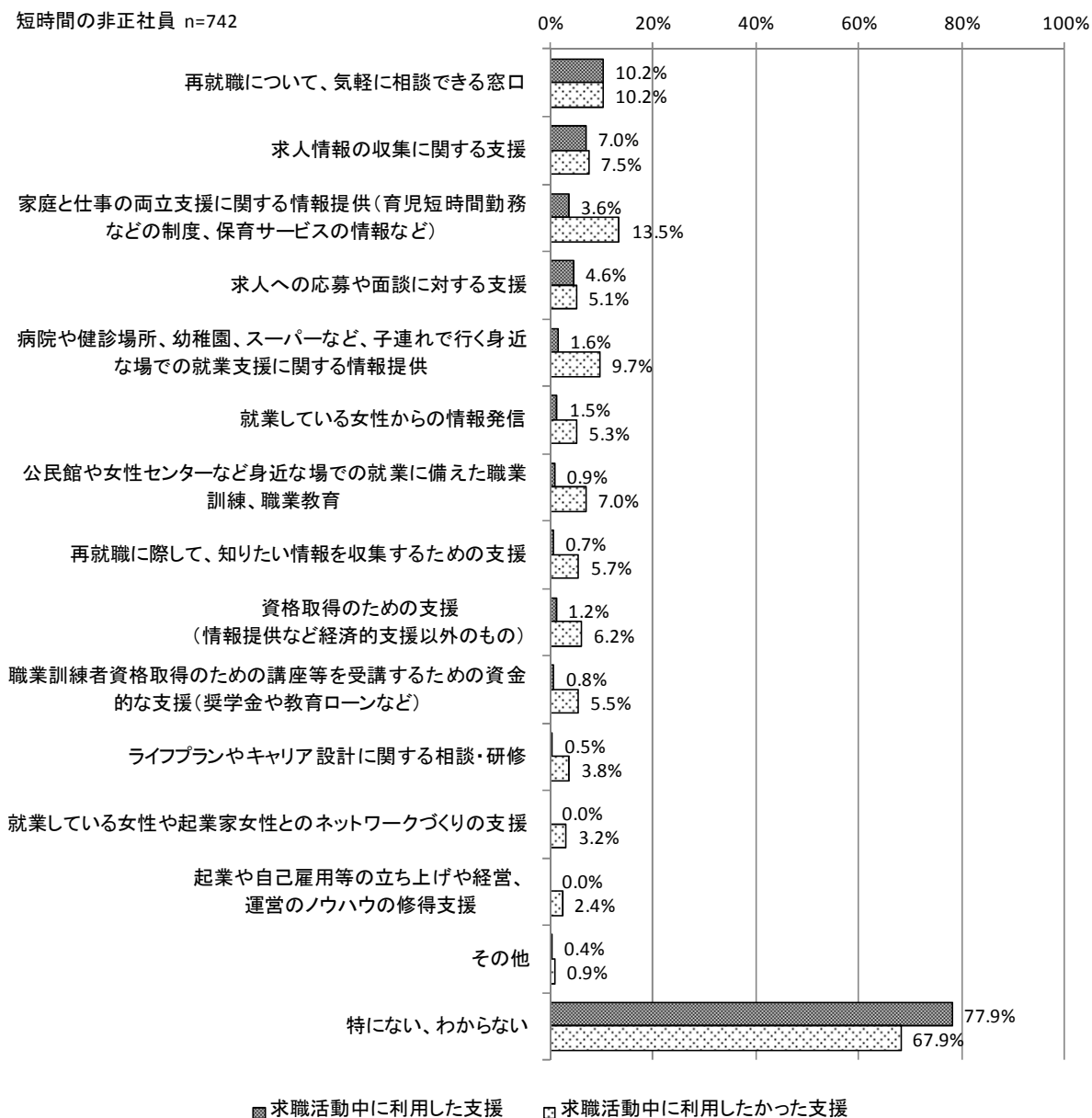


短時間の非正社員は「再就職について、気軽に相談できる窓口」(10.2%)、「求人情報の収集に関する支援」(7.0%)などが上位であるが、いずれも正社員、フルタイムの非正社員に比べると利用割合は低い。

利用しなかった支援をみると、「家庭と仕事の両立支援に関する情報提供(育児短時間勤務などの制度、保育サービスの情報など)」(13.5%)、「再就職について、気軽に相談できる窓口」(10.2%)、「病院や健診場所、幼稚園、スーパーなど、子連れで行く身近な場での就業支援に関する情報提供」(9.7%)などが上位にあげられている。

また、「特にない、わからない」は利用経験、利用希望とも7～8割前後となっている。

図表 50 求職活動中に利用した支援／利用しなかった支援
【短時間の非正社員】：複数回答(Q32)

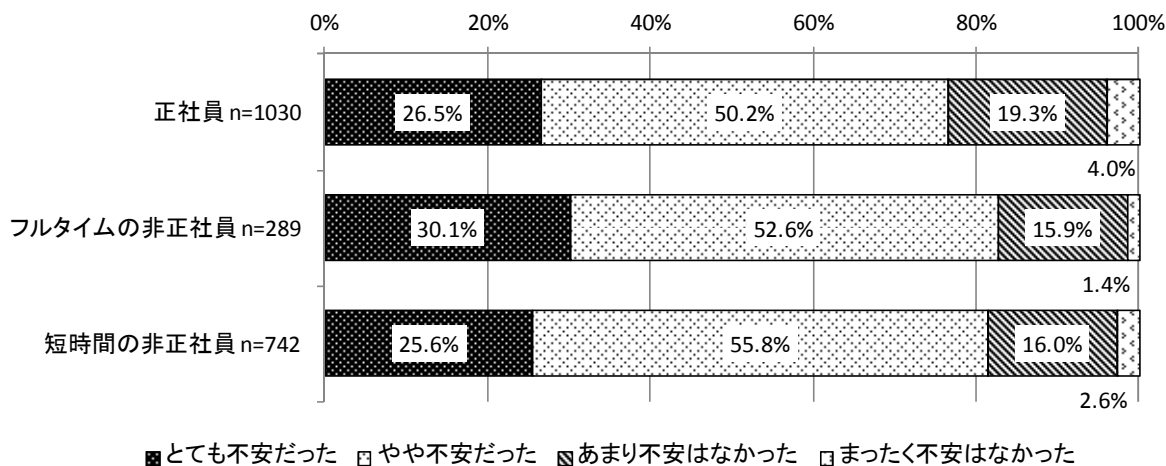


(11) 再就職にあたっての不安

①再就職にあたっての不安

再就職にあたっての不安をみると、正社員、非正社員とも「とても不安だった」と「やや不安だった」を合わせた、不安のあった人が8割前後を占めている。

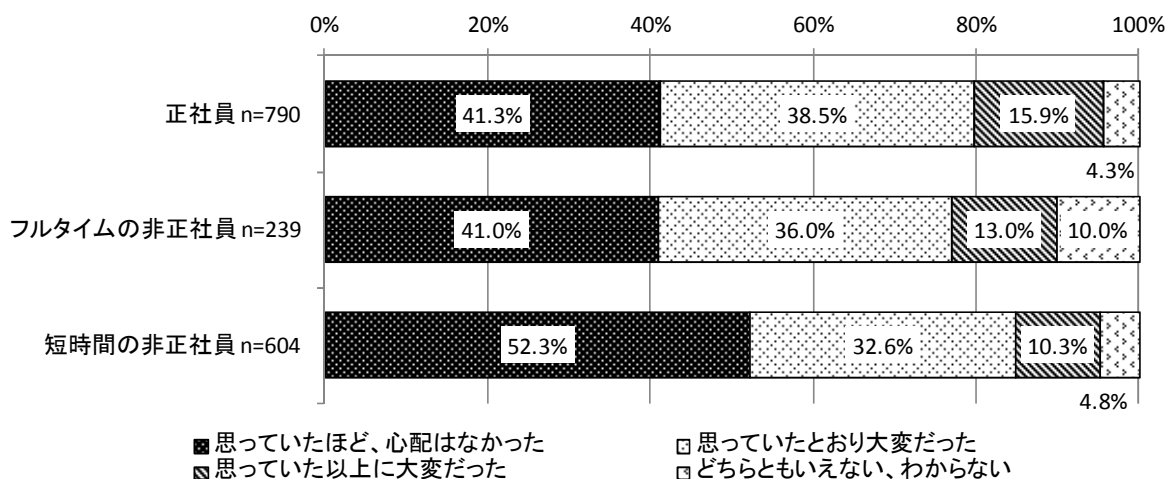
図表 51 再就職にあたっての不安：単数回答（Q33）



②再就職前に感じていた不安と実際

再就職前に不安を感じていた人について、実際に再就職後どうだったかをきいたところ、正社員、非正社員とも「思っていたほど、心配はなかった」が4～5割強で最も割合が高い。一方で、「思っていたとおりに大変だった」が3～4割、「思っていた以上に大変だった」も1割以上を占めており、短時間の非正社員、フルタイムの非正社員、正社員の順に、実際に再就職してみて大変だったとする割合が高くなる傾向がみられる。

図表 52 再就職前に感じていた不安と実際：単数回答（Q34）



③再就職前に不安だったことと、実際に働いてみると心配なかったこと

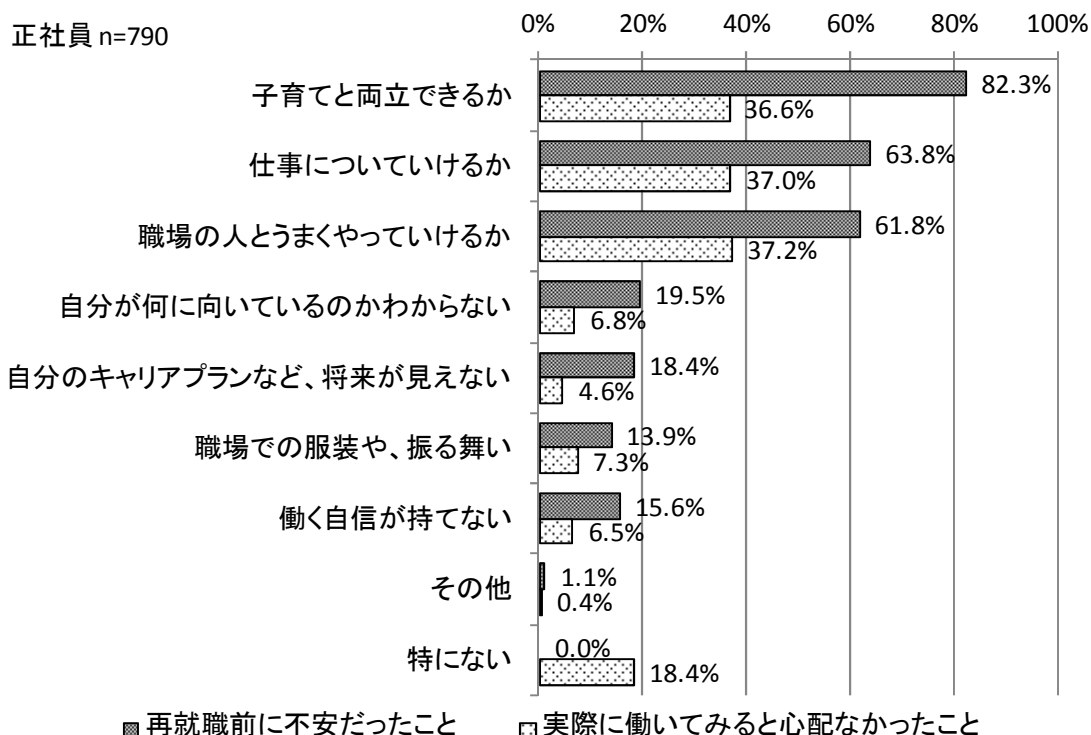
再就職前に不安があった人について、具体的にその内容と、実際に働いてみると思っていたほど心配はなかったことをきいた。

正社員は「子育てと両立できるか」(82.3%)、「仕事についていけるか」(63.8%)、「職場の人とうまくやっていけるか」(61.8%)などが上位にあげられている。

実際に働いてみると心配なかったこととの差をみると、「子育てと両立できるか」(差 45.7 ポイント)、「仕事についていけるか」(差 26.8 ポイント)などで、差が大きくなっている。

図表 53 再就職前に不安だったことと、実際に働いてみると心配なかったこと

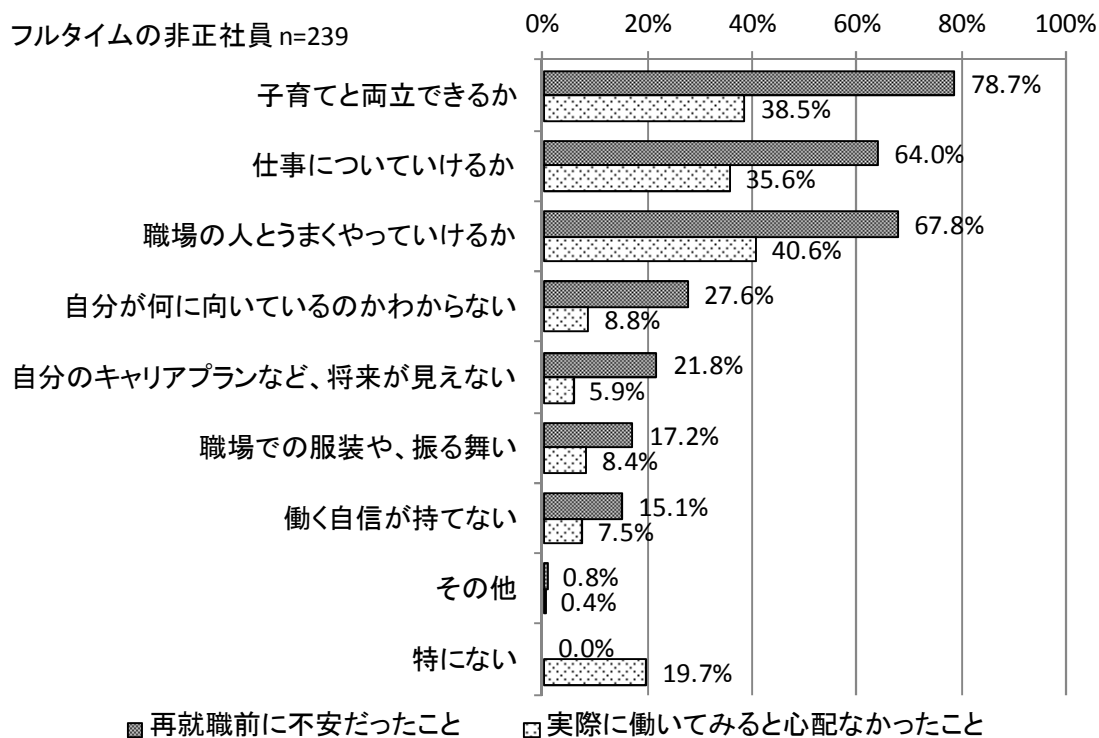
【正社員】：複数回答 (Q35)



フルタイムの非正社員については「子育てと両立できるか」(78.7%)、「職場の人とうまくやっていけるか」(67.8%)、「仕事についていけるか」(64.0%)などが上位にあげられている。

実際に働いてみると心配なかったこととの差をみると、「子育てと両立できるか」(差 40.2 ポイント)、「仕事についていけるか」(差 28.4 ポイント)などで、差が大きくなっている。

図表 54 再就職前に不安だったことと、実際に働いてみると心配なかったこと
【フルタイムの非正社員】：複数回答 (Q35)

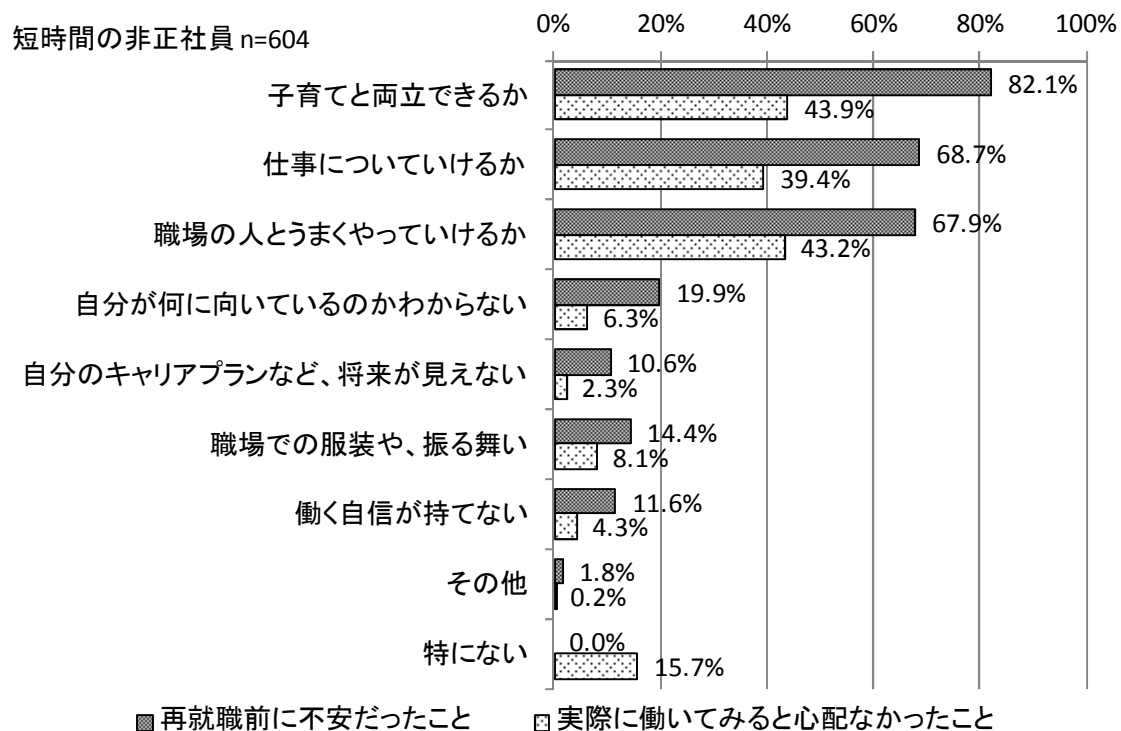


短時間の非正社員については「子育てと両立できるか」(82.1%)、「仕事についていけるか」(68.7%)、「職場の人とうまくやっていけるか」(67.9%)などが上位にあげられている。

実際に働いてみると心配なかったこととの差をみると、「子育てと両立できるか」(差 38.2 ポイント)、「仕事についていけるか」(差 29.3 ポイント)などで、差が大きくなっている。

図表 55 再就職前に不安だったことと、実際に働いてみると心配なかったこと

【短時間の非正社員】：複数回答 (Q35)

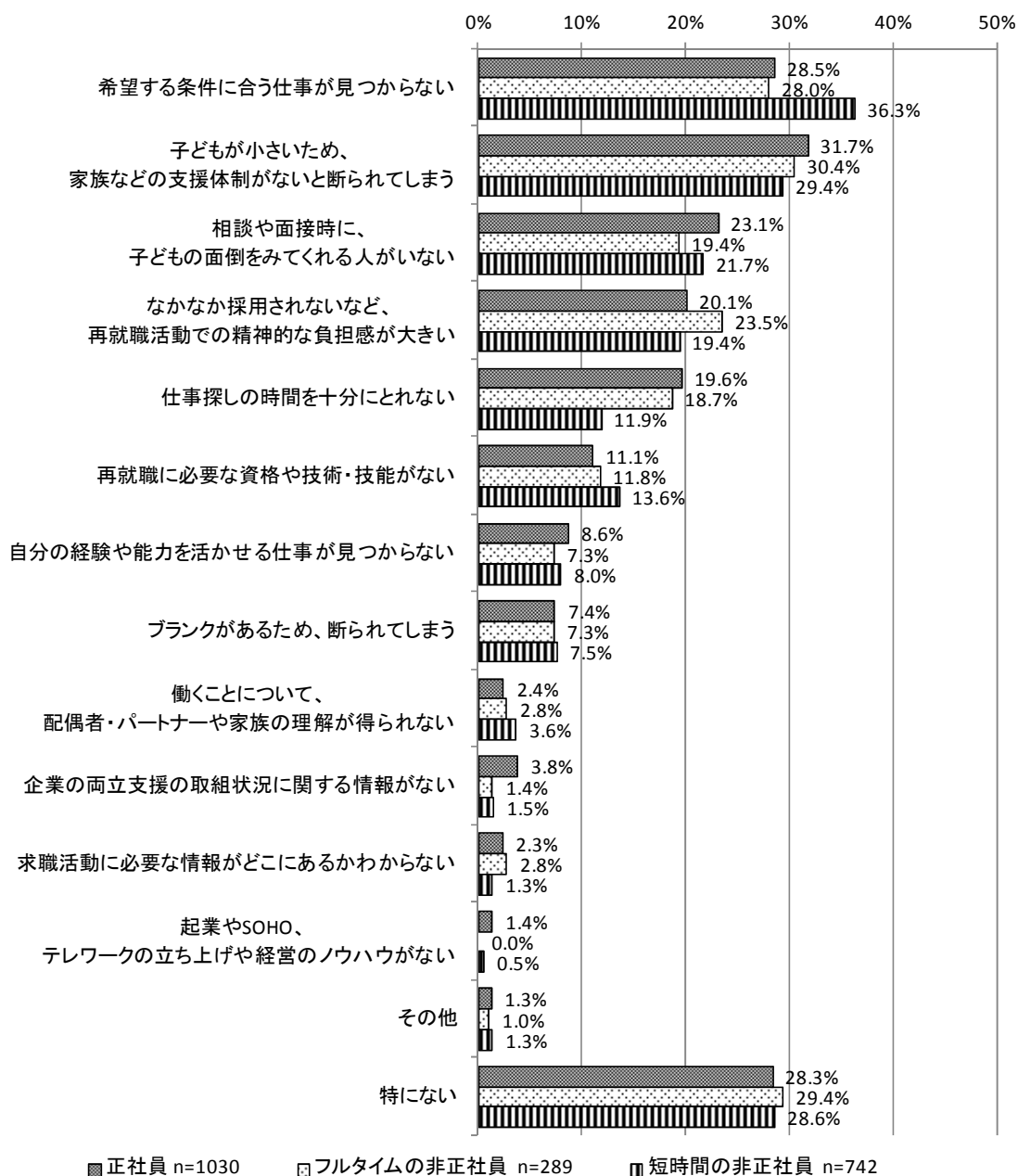


(12) 再就職活動で苦労した事

再就職活動で苦労した事をみると、正社員、非正社員とも「子どもが小さいため、家族などの支援体制がないと断られてしまう」、「希望する条件に合う仕事が見つからない」、「相談や面談時に、子どもの面倒をみてくれる人がいない」、「なかなか採用されないなど、再就職活動での精神的な負担感が大きい」などが上位にあげられている。

また、正社員及びフルタイムの非正社員は、短時間の非正社員と比べて、「仕事探しの時間を十分にとれない」(19.6%、18.7%)、短時間の非正社員は、他と比較して「希望する条件に合う仕事が見つからない」(36.3%)の割合が高い傾向がみられる。

図表 56 再就職活動で苦労した事：複数回答（Q36）

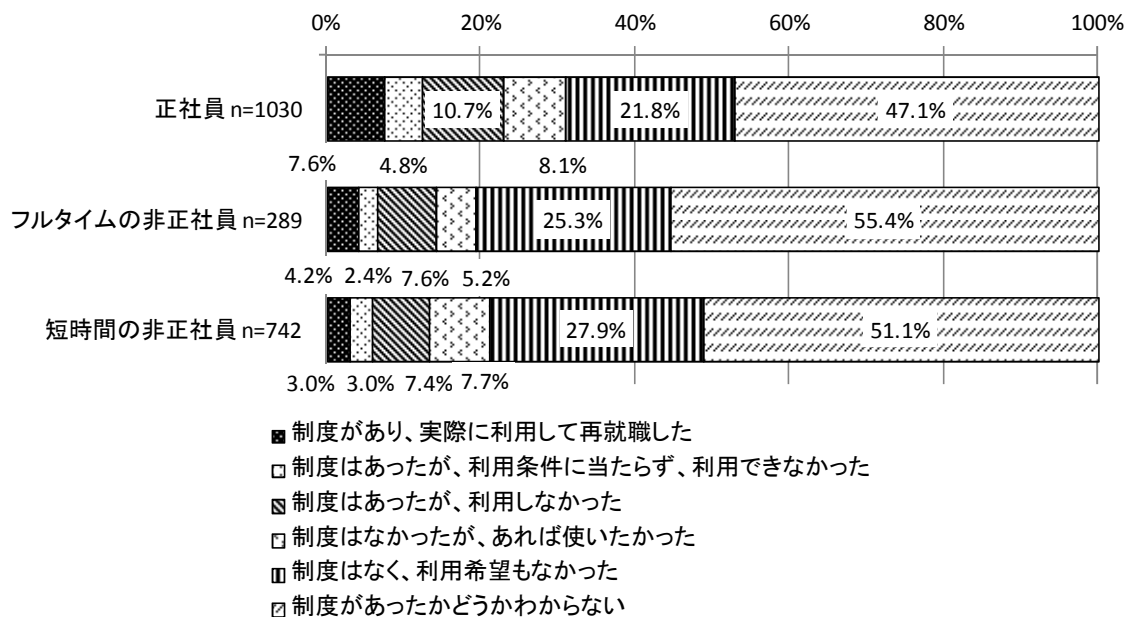


(13) 再雇用制度の利用状況

①以前勤めていた会社の再雇用制度の利用経験

再就職にあたって、以前勤めていた会社の再雇用制度を利用したかどうかをみると、正社員、非正社員とも「制度があったかどうかわからない」が半数前後で最も多く、次いで「制度はなく、利用希望もなかった」が2～3割を占めている。また、正社員では、他と比較して「制度があり、実際に利用して再就職した」(7.6%)の割合がやや高い。

図表 57 以前勤めていた会社の再雇用制度の利用経験：単数回答 (Q37)

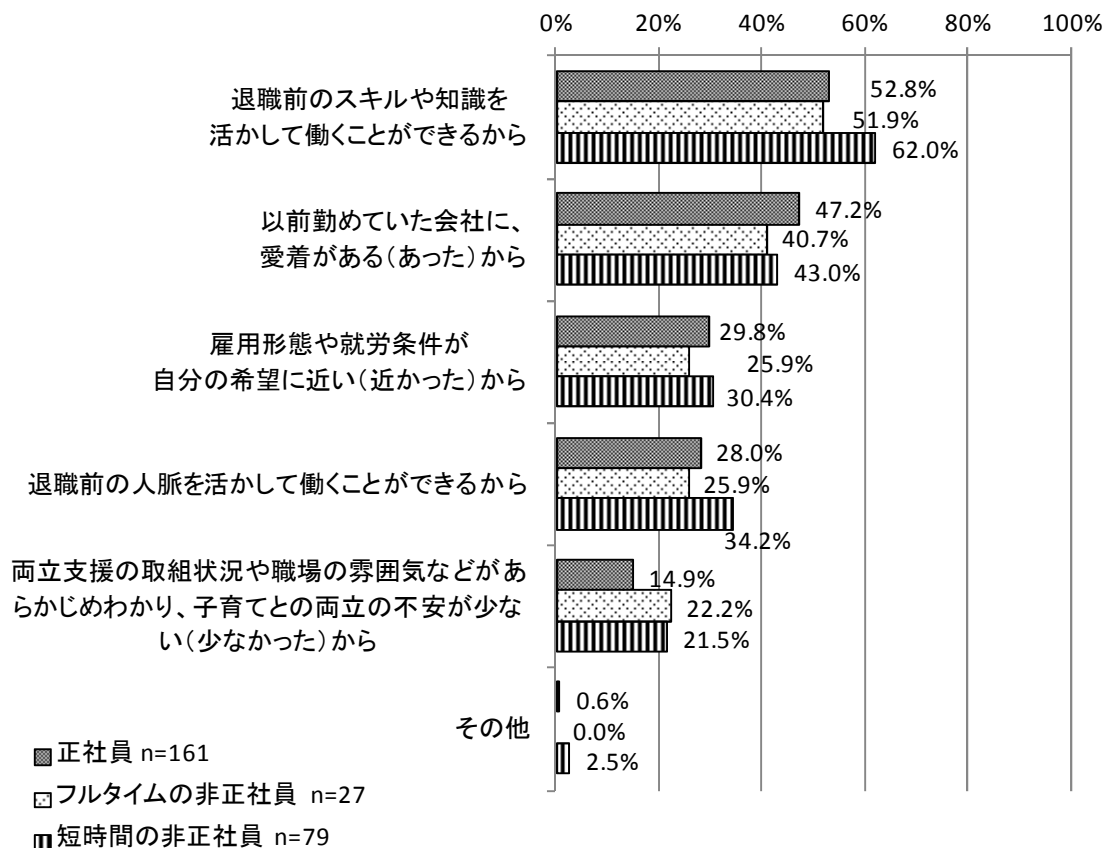


②再雇用制度を利用した／利用したいと思う理由

再就職にあたって、「制度があり、実際に利用して再就職した」もしくは「制度はなかったが、あれば使いたかった」と回答した人について、再雇用制度を利用した理由／利用したい理由をみると、「退職前のスキルや経験を活かして働くことができるから」、「以前勤めていた会社に、愛着がある(あった)から」などが上位にあげられている。

短時間の非正社員は、他と比較して「退職前のスキルや知識を活かして働くことができるから」(62.0%)、「退職前の人脈を活かして働くことができるから」(34.2%)の割合が高い傾向にある。

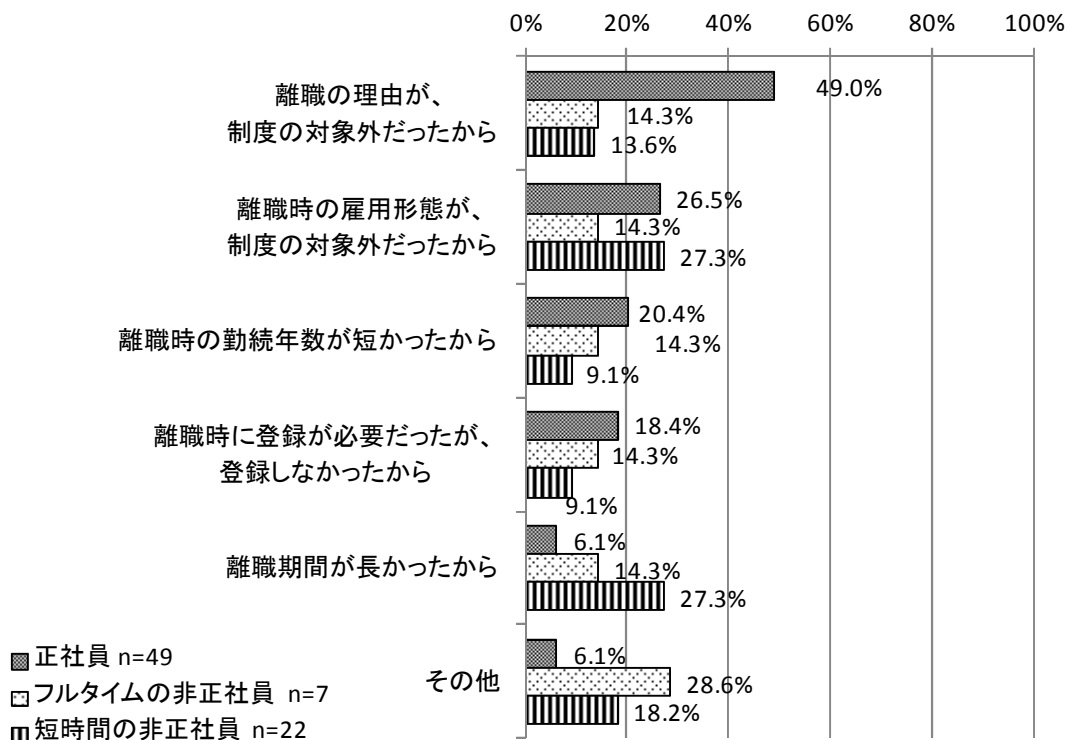
図表 58 再雇用制度を利用した／利用したいと思う理由：複数回答 (Q38)



③再雇用制度の利用条件に当てはまらなかった理由

再就職の際に、「再雇用制度はあったが、利用条件に当たらず、利用できなかった」と回答した人について、利用条件に当てはまらなかった理由を具体的にみると、正社員は「離職の理由が、制度の対象外だったから」(49.0%)、短時間の非正社員は「離職期間が長かったから」(27.3%)などの割合が高い。※サンプル数が少ないため留意が必要

図表 59 再雇用制度の利用条件に当てはまらなかった理由：複数回答 (Q39)



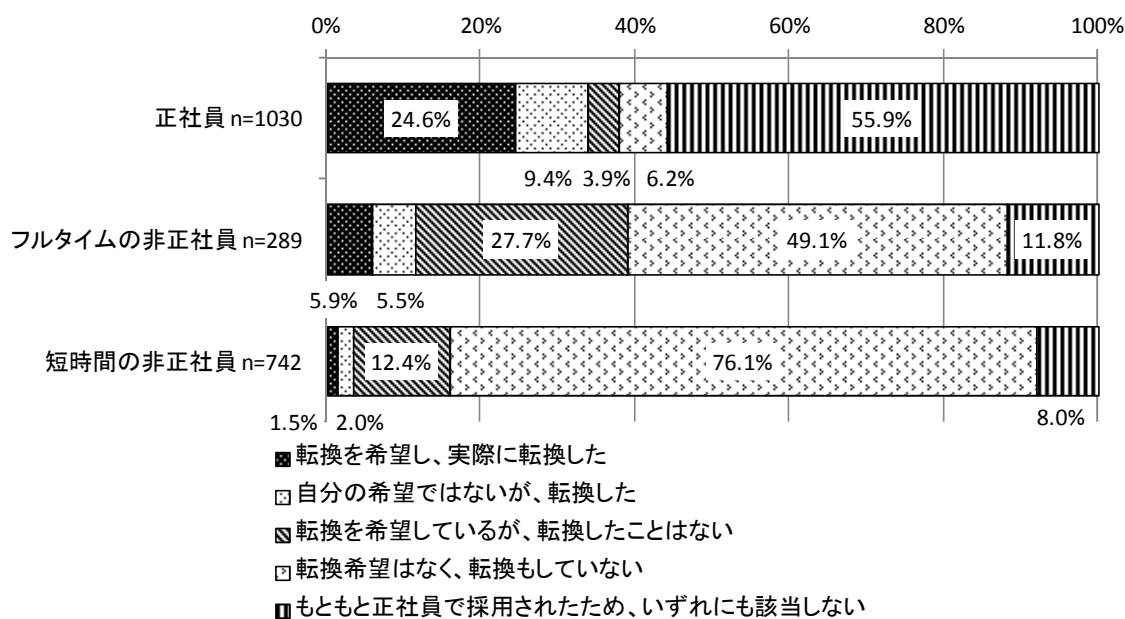
4. 再就職後の働き方

- 雇用形態の変更（非正社員から正社員などへの転換）については、正社員は「転換を希望し、実際に転換した」が24.6%、フルタイムの非正社員は「転換希望はなく、転換もしていない」が49.1%、「転換を希望しているが、転換したことはない」が27.7%、短時間の非正社員は「転換希望はなく、転換もしていない」が76.1%を占めている。
- 再就職先での支援は、「職務内容に関する研修」が2割前後あげられている。
- 利用経験のある両立支援制度、もしくは利用を希望する両立支援制度は、「短時間勤務制度」「子の看護休暇制度」「半日単位、時間単位等の休暇制度」などが多い。また、正社員は、非正社員に比べて、利用経験、利用ニーズとも高くなっている。
- 再就職先の職場について、②所定時間内で仕事を終えることを奨励している、⑤上司が仕事と育児の両立に理解がある、⑥同僚が仕事と育児の両立に理解があるについては、『あてはまる』（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）割合が6～8割と比較的高いが、⑦男性で、育児や介護をしている人がいる、⑨ロールモデルがいるに『あてはまる』（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）割合は、1～2割前後にとどまっている。
- 現在の仕事に満足している割合（「満足している」及び「まあ満足している」）は、フルタイムの非正社員が65.4%、正社員が72.6%、短時間の非正社員が79.1%である。
- 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについて、4分の1前後は後悔している（「とても後悔している」及び「やや後悔している」）。後悔している理由は、「経済的に厳しくなった」のが6割弱で最も割合が高く、次いで、「再就職したが希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなったたりした」「今後再就職しようとしても良い就職先がない」などが続いている。
- 現在のキャリア意識は、「仕事以外の生活を充実させたい」が35%程度、「やりがいのある仕事をしたい」が4分の1前後を占めている。最初の子を持つ前と比べて、前者は大きく増加し、後者は特に短時間の非正社員において大きく減少している。
- 子どもが小さいうちは、正社員は「フルタイムだが残業のない仕事」、フルタイムの非正社員は「短時間勤務・短日勤務制度」を希望する割合が高いが、実際の働き方は、正社員、フルタイムの非正社員とも希望に比べて「残業もあるフルタイムの仕事」の割合が高くなっている。短時間の非正社員は、「家でできる仕事」を希望する割合が高いが、実際の働き方は、希望に比べて「短時間勤務・短日勤務制度」の割合が高くなっている。

(1) 雇用形態変更への希望・経験

非正社員から正社員への変更など雇用形態変更の希望・経験をみると、現在正社員である者は、他と比較して「転換を希望し、実際に転換した」(24.6%)の割合が高く、約4分の1を占めている。フルタイムの非正社員は、「転換希望はなく、転換もしていない」(49.1%)が約半数を占めている一方、「転換を希望しているが、転換したことはない」(27.7%)も3割弱にのぼっている。短時間の非正社員は、「転換希望はなく、転換もしていない」(76.1%)の割合が高くなっている。

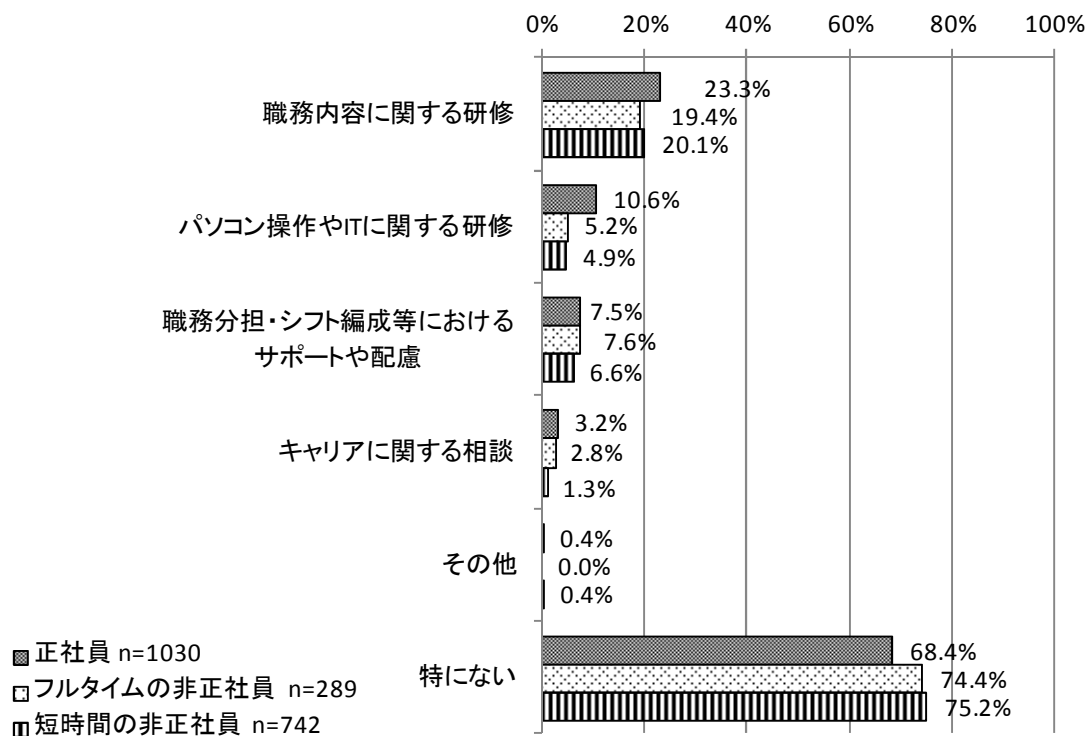
図表 60 雇用形態変更への希望・経験：単数回答 (Q40)



(2) 再就職先で受けた支援

再就職先で受けた業務習熟のための支援をみると、「職務内容に関する研修」が2割前後、次いで、正社員は「パソコン操作やITに関する研修」(10.6%)、フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員は「職務分担・シフト編成等におけるサポートや配慮」(7.6%、6.6%)があげられているが正社員、非正社員とも「特にない」が7割前後となっている。

図表 61 再就職先で受けた支援：複数回答 (Q41)

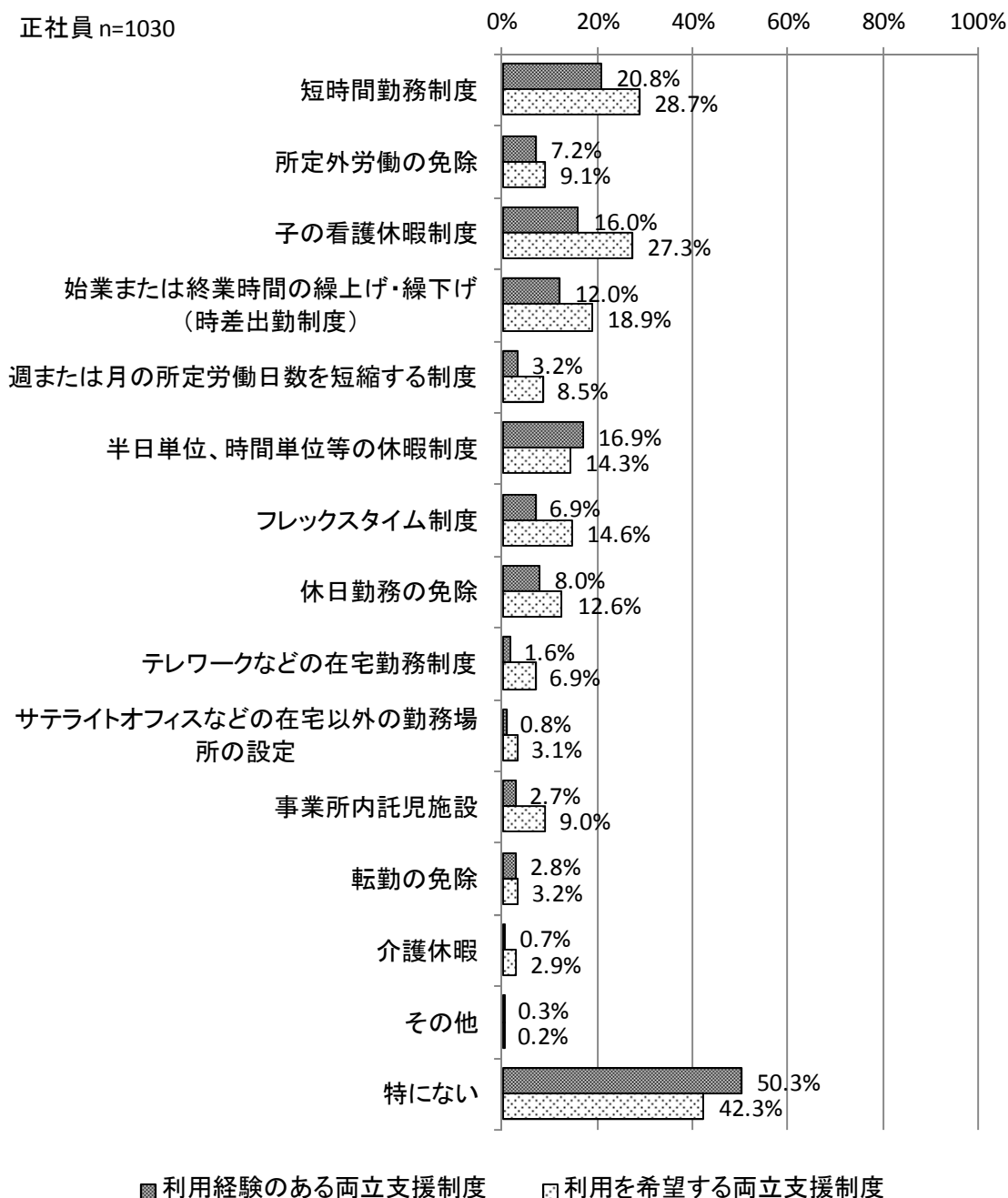


(3) 利用経験のある両立支援制度、利用を希望する両立支援制度

利用経験のある両立支援制度をみると、正社員は、「短時間勤務制度」(20.8%)、「半日単位、時間単位等の休暇制度」(16.9%)、「子の看護休暇制度」(16.0%)などが上位にあげられている。

利用を希望する両立支援制度は、「短時間勤務制度」(28.7%)、「子の看護休暇制度」(27.3%)、「始業または就業時間の繰上げ・繰下げ(時差出勤制度)」(18.9%)などが上位にあげられている。

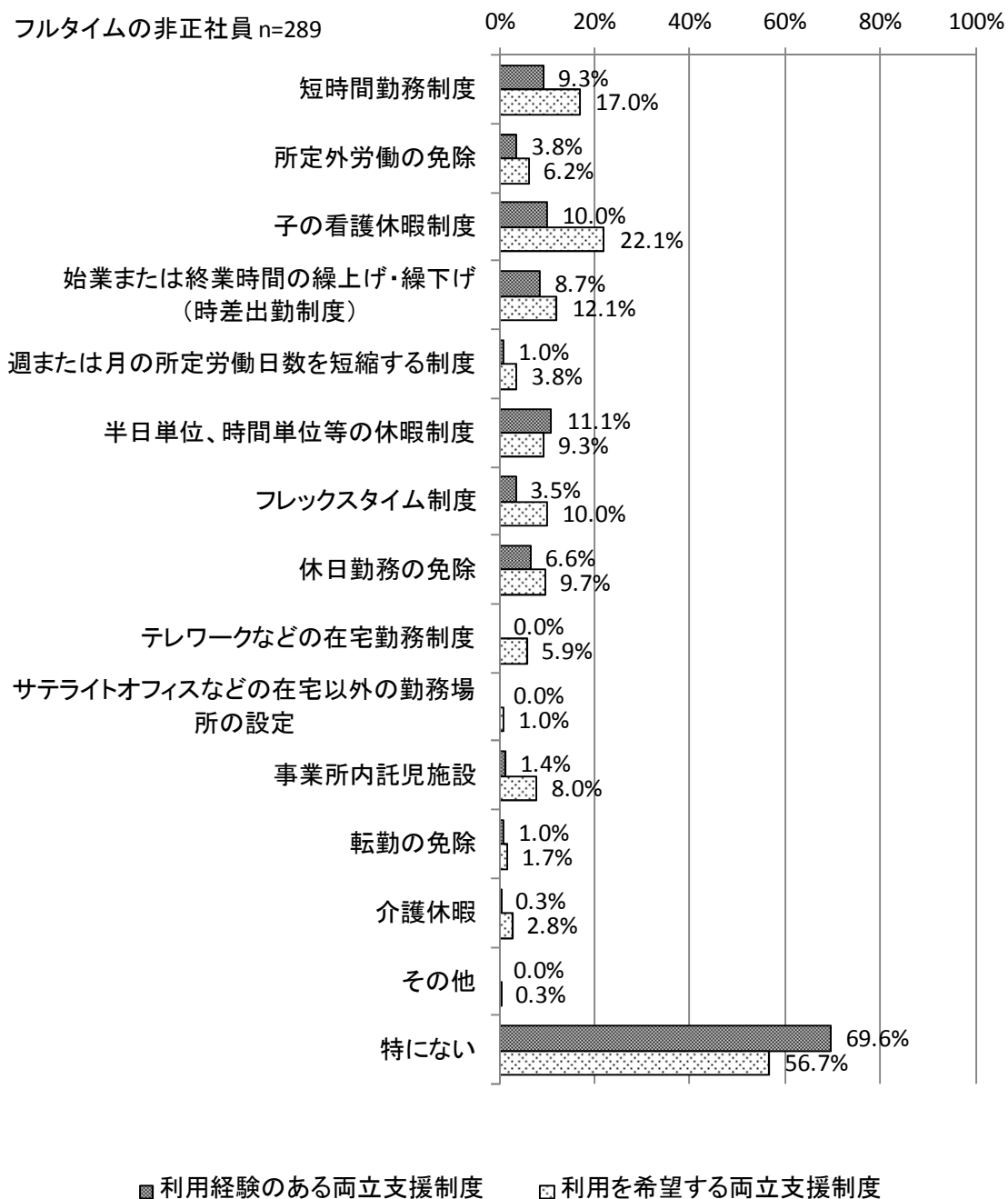
図表 62 利用経験のある両立支援制度、利用を希望する両立支援制度【正社員】：複数回答(Q42)



フルタイムの非正社員については、「半日単位、時間単位等の休暇制度」(11.1%)、「子の看護休暇制度」(10.0%)などが上位にあげられている。

利用を希望する両立支援制度は、「子の看護休暇制度」(22.1%)、「短時間勤務制度」(17.0%)などが上位にあげられている。

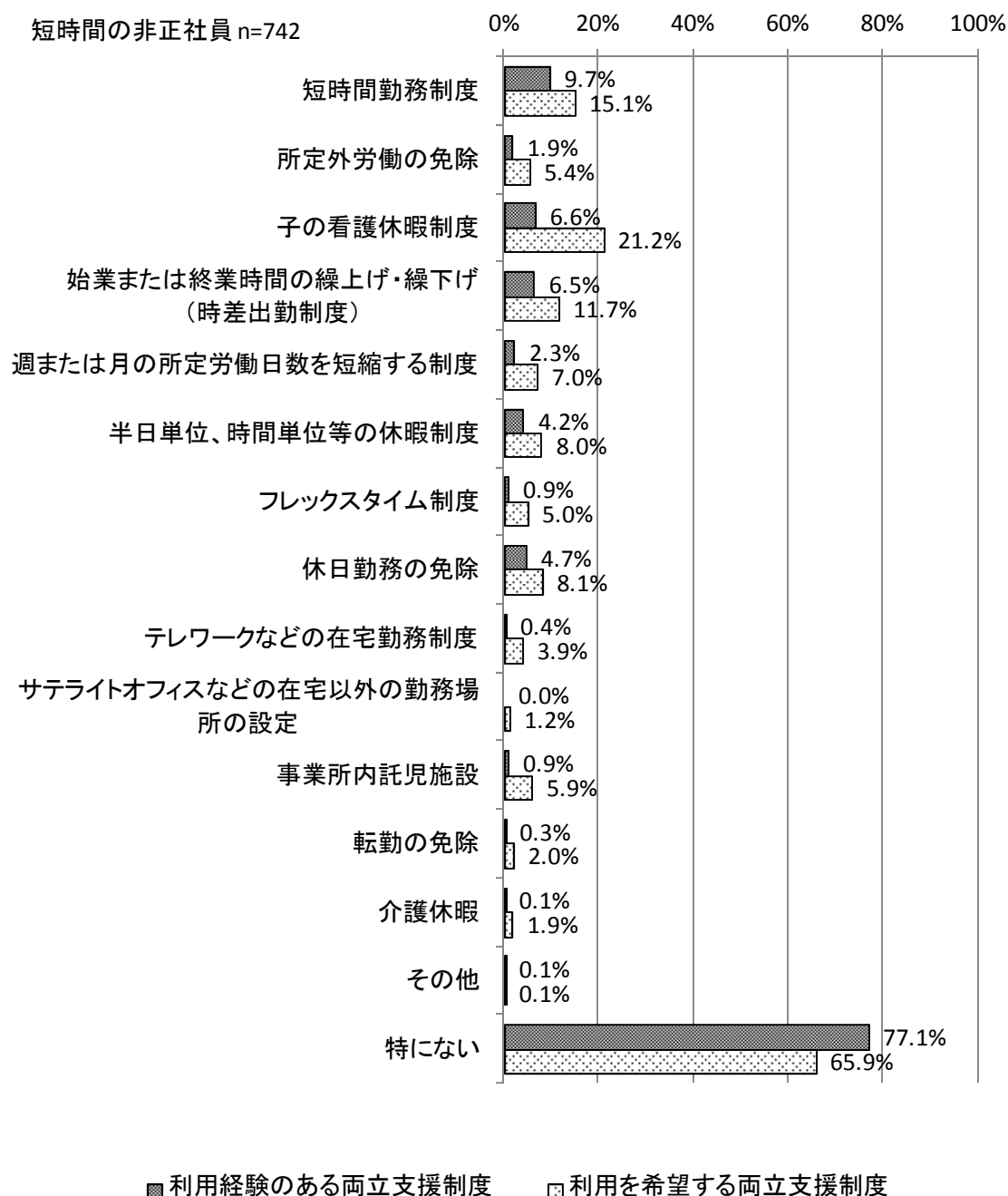
図表 63 利用経験のある両立支援制度、利用を希望する両立支援制度【フルタイムの非正社員】：複数回答 (Q42)



短時間の非正社員については「短時間勤務制度」(9.7%)や、「子の看護休暇制度」(6.6%)などが上位であるが、いずれも1割以下にとどまっており、正社員、フルタイムの非正社員に比べると利用割合は低い。

利用を希望する両立支援制度は、「子の看護休暇制度」(21.2%)、「短時間勤務制度」(15.1%)などが上位にあげられている。

図表 64 利用経験のある両立支援制度、利用を希望する両立支援制度【短時間の非正社員】：複数回答 (Q42)



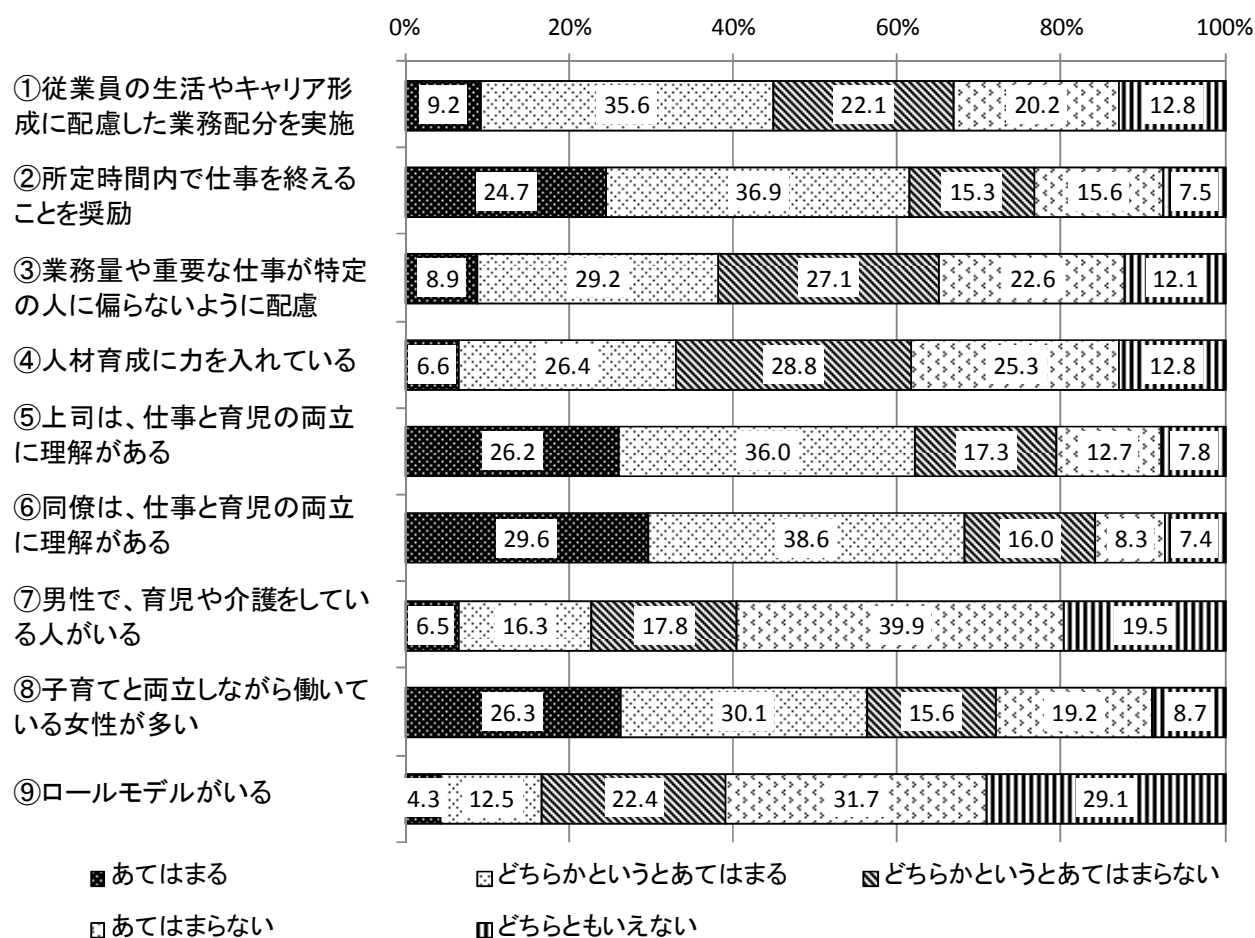
(4) 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴

正社員について再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴をみると、正社員は「⑥同僚は、仕事と育児の両立に理解がある」、「⑤上司は、仕事と育児の両立に理解がある」、「②所定時間内で仕事を終えることを奨励している」について、あてはまる（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）と回答した人の割合が比較的高く、いずれも6割を超えている。

一方、「⑨ロールモデルがいる」、「⑦男性で、育児や介護をしている人がいる」については、あてはまる（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）と回答した人の割合は、2割前後にとどまっている。

図表 65 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴【正社員】：単数回答（Q43）

正社員 n=1030

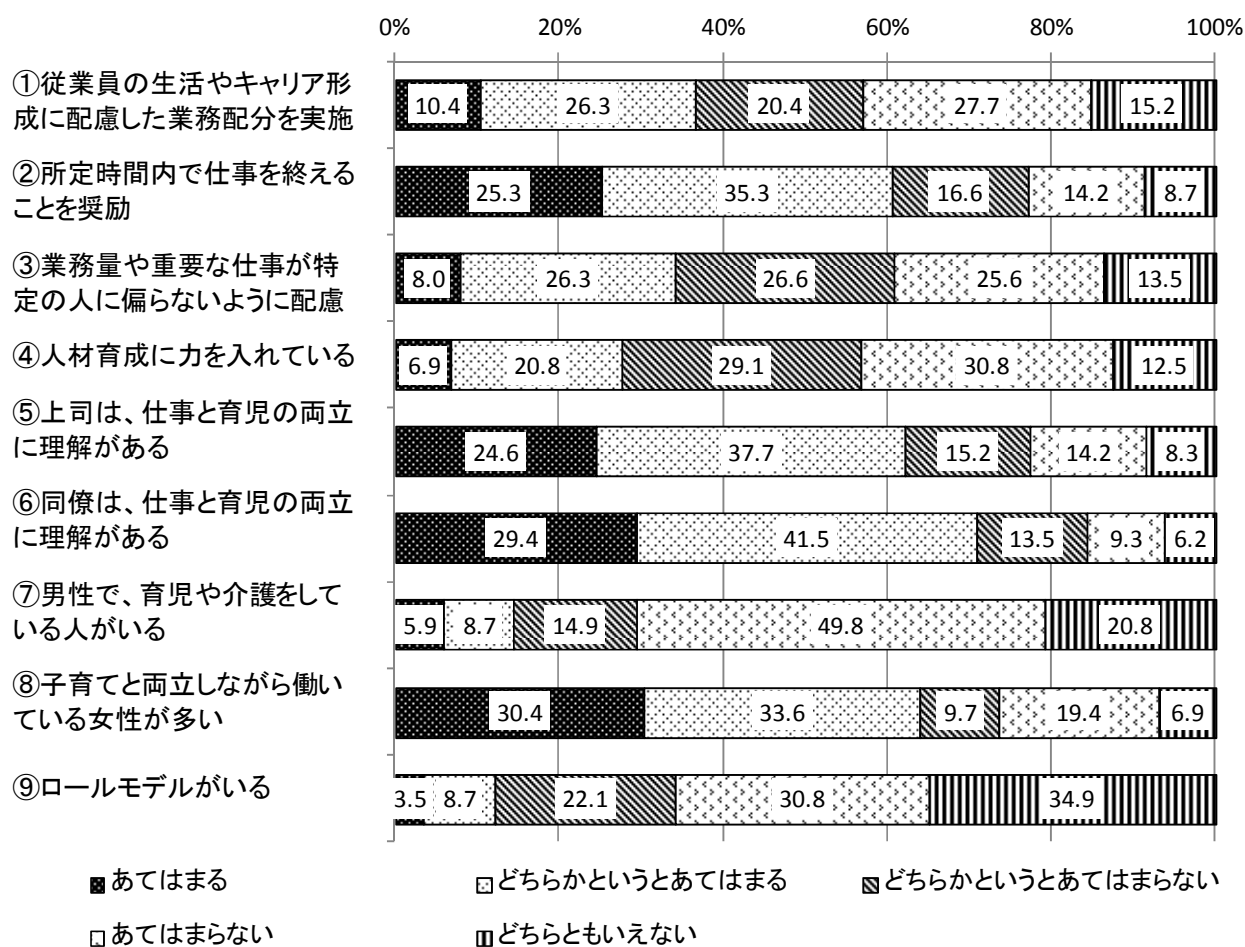


フルタイムの非正社員については、正社員と同様に「⑥同僚は、仕事と育児の両立に理解がある」、「⑤上司は、仕事と育児の両立に理解がある」、「②所定時間内で仕事を終わることを奨励している」については、あてはまる（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）と回答した人の割合が比較的高く、いずれも6割を超えている。

一方、「⑨ロールモデルがいる」、「⑦男性で、育児や介護をしている人がいる」については、あてはまると（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）回答した人の割合は、1割強にとどまっている。

図表 66 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴【フルタイムの非正社員】：単数回答 (Q43)

フルタイムの非正社員 n=289

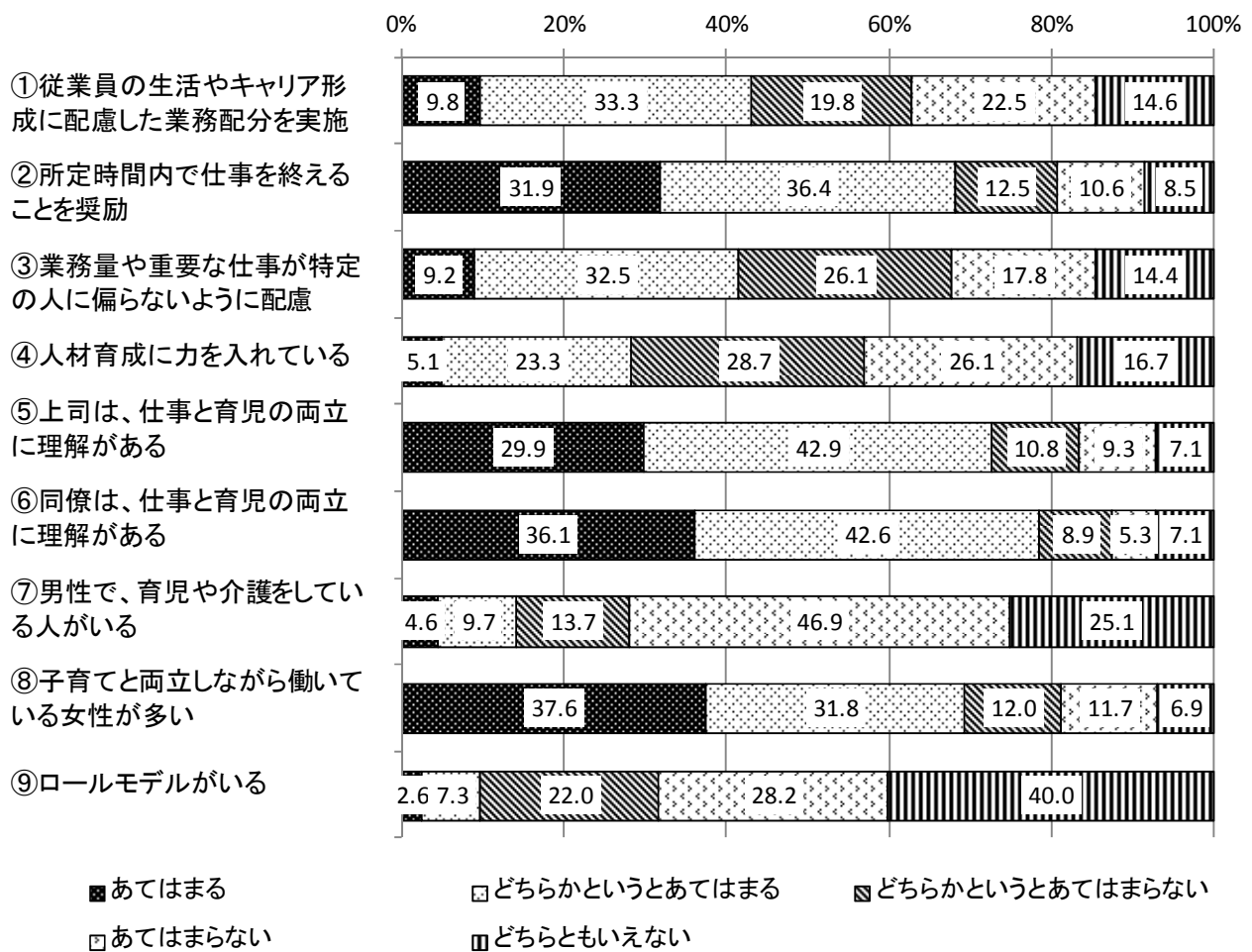


短時間の非正社員については、「⑥同僚は、仕事と育児の両立に理解がある」、「⑤上司は、仕事と育児の両立に理解がある」、「②所定時間内で仕事を終わることを奨励している」については、あてはまる（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）と回答した人の割合が比較的高く、いずれも7～8割前後を占めている。

一方、「⑨ロールモデルがいる」、「⑦男性で、育児や介護をしている人がいる」については、あてはまる（「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」）と回答した人の割合は、1割前後と低くなっている。

図表 67 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴【短時間の非正社員】: 単数回答(Q43)

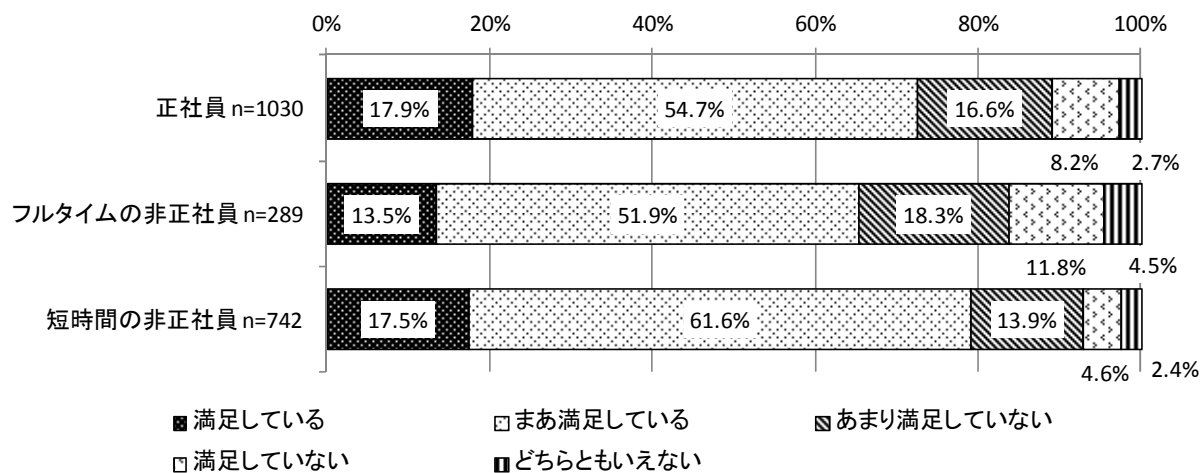
短時間の非正社員 n=742



(5) 現在の仕事の満足度

現在の仕事の満足度をみると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた満足している割合は、フルタイムの非正社員（65.4%）、正社員（72.6%）、短時間の非正社員（79.1%）の順に高くなっている。

図表 68 現在の仕事の満足度：単数回答（Q44）

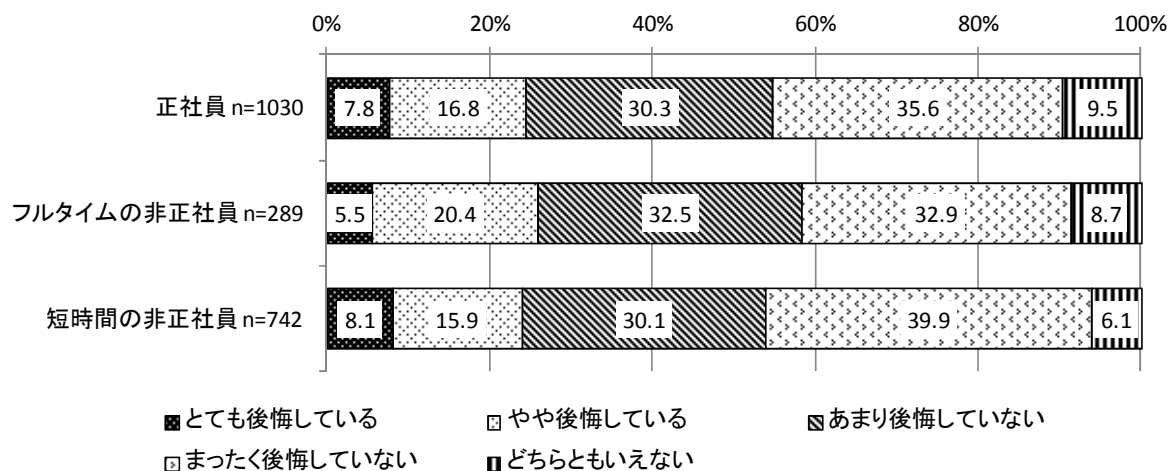


(6) 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについて

① 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔

出産・育児等を機に仕事を辞めたことについて、後悔しているかどうかきいたところ、正社員、非正社員とも後悔している（「とても後悔している」及び「やや後悔している」）割合は、4分の1前後となっている（正社員 24.6%、フルタイムの非正社員 25.9%、短時間の非正社員 24.0%）。一方、「まったく後悔していない」割合は、フルタイムの非正社員（32.9%）、正社員（35.6%）、短時間の非正社員（39.9%）の順に高くなっている。

図表 69 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについて：単数回答（Q45）

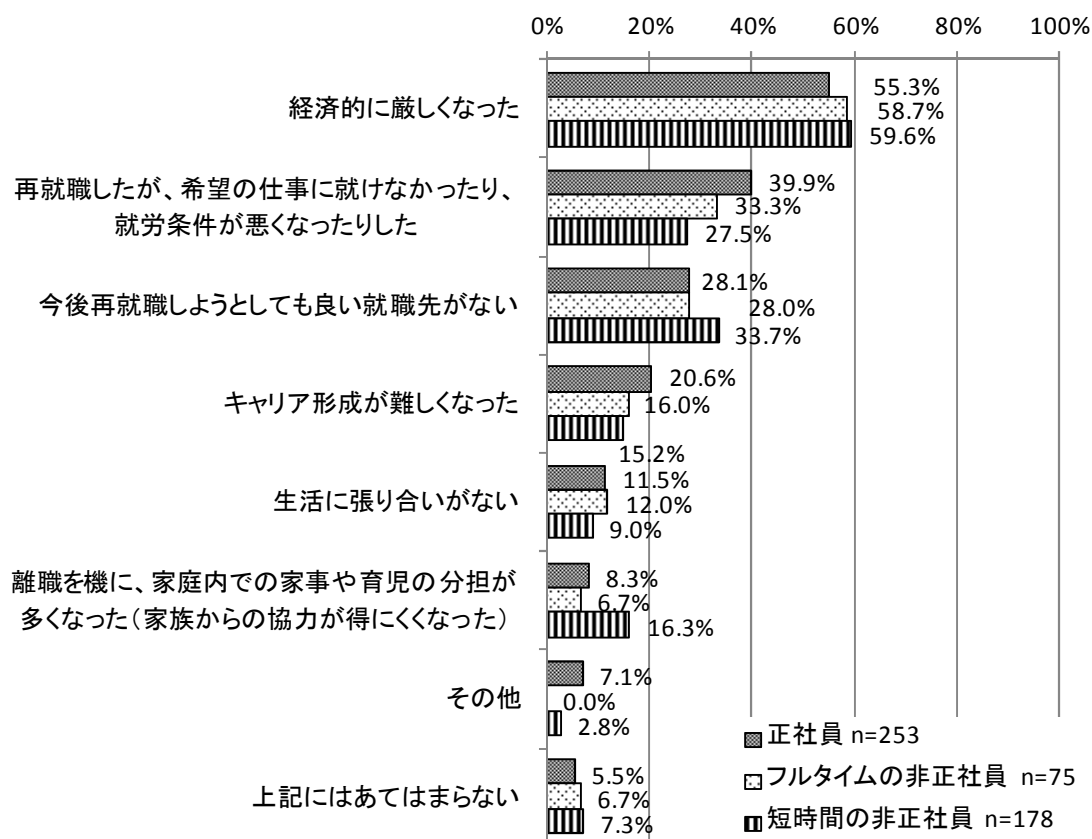


②後悔している理由

出産・育児等を機に仕事を辞めたことについて、後悔していると回答した人にその理由をきいたところ、「経済的に厳しくなった」、「再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなったりした」、「今後再就職しようとしても良い就職先がない」などが上位にあげられている。

正社員は、他と比較して「再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなったりした」(39.9%) や、「キャリア形成が難しくなった」(20.6%)、短時間の非正社員は「今後再就職しようとしても良い就職先がない」(33.7%) や、「退職を機に、家庭内での家事や育児の分担が多くなった(家族からの協力が得にくくなった)」(16.3%) などの割合が高い傾向にある。

図表 70 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由：複数回答（Q46）

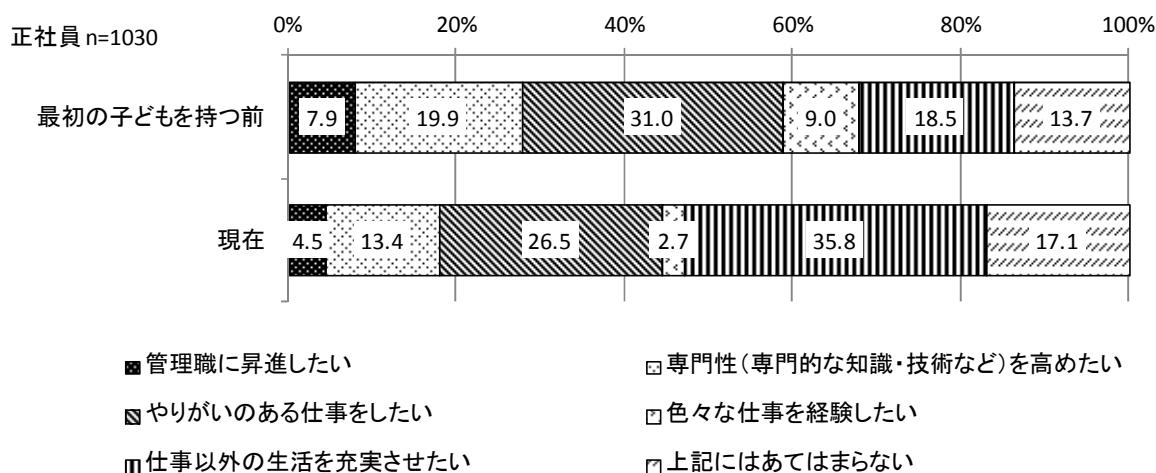


(7) キャリア意識

現在のキャリア意識をみると、正社員は「仕事以外の生活を充実させたい」(35.8%)が最も高く、最初の子どもの持つ前(18.5%)の2倍近くとなっている。次いで「やりがいのある仕事をしたい」(26.5%)となっているが、最初の子どもの持つ前(31.0%)と比べると、その割合は減少している。

また、現在、「管理職に昇進したい」(4.5%)や、「専門性(専門的な知識・技術など)を高めたい」(13.4%)と考える割合は、最初の子どもの持つ前に比べて減少している。

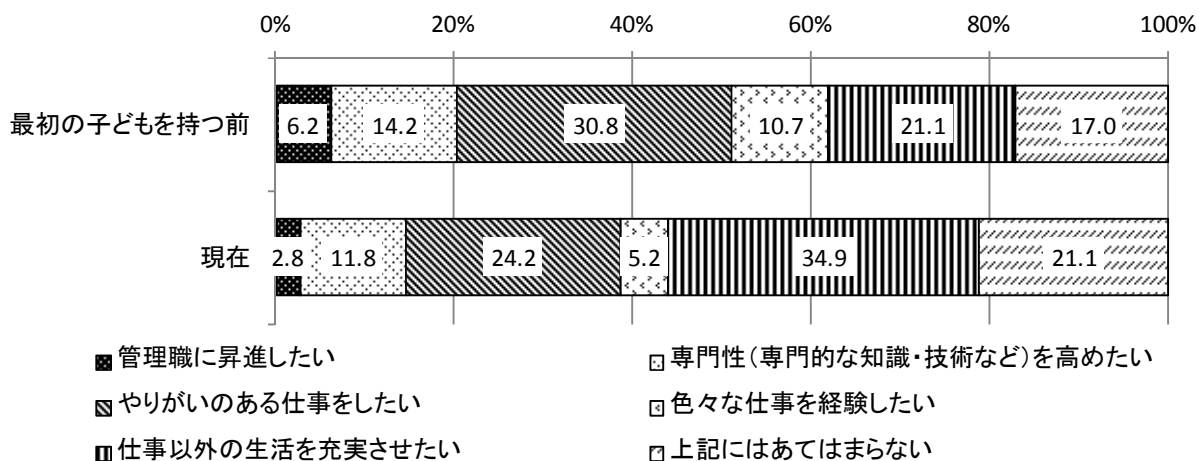
図表 71 キャリア意識【正社員】：単数回答 (Q47)



フルタイムの非正社員について、現在のキャリア意識をみると、正社員と同様、「仕事以外の生活を充実させたい」(34.9%)が最も高く、次いで「やりがいのある仕事をしたい」(24.2%)となっている。最初の子どもの持つ前からのキャリア意識の変化についても、正社員と同様の傾向となっている。

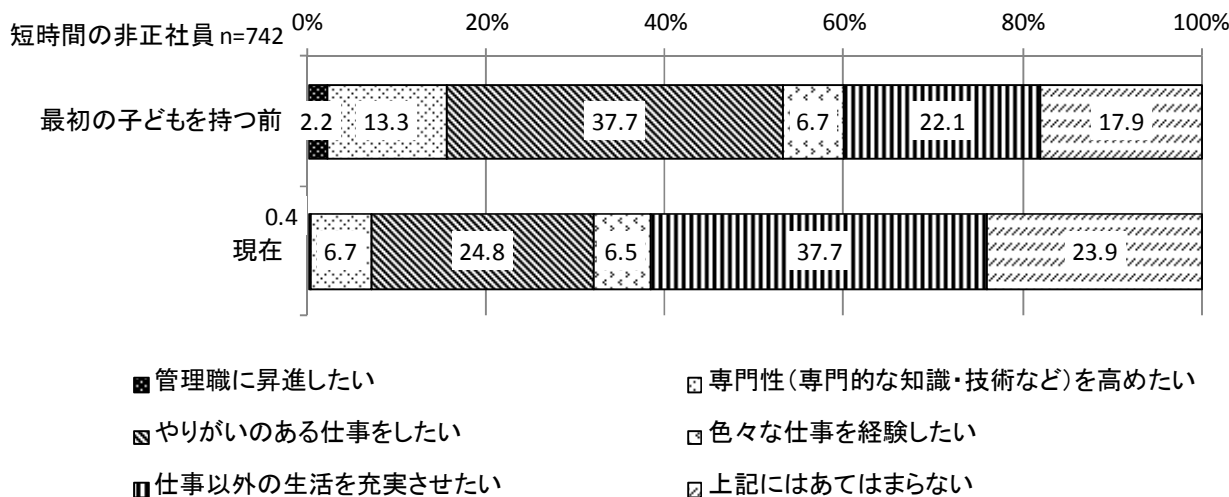
図表 72 キャリア意識【フルタイムの非正社員】：単数回答 (Q47)

フルタイムの非正社員 n=289



短時間の非正社員について、現在のキャリア意識をみると、「仕事以外の生活を充実させたい」(37.7%)が最も高く、次いで「やりがいのある仕事をしたい」(24.8%)、「上記にはあてはまらない」(23.9%)となっている。最初の子どもの持つ前は、「やりがいのある仕事をしたい」は37.7%であったが、現在は大きく減少している。

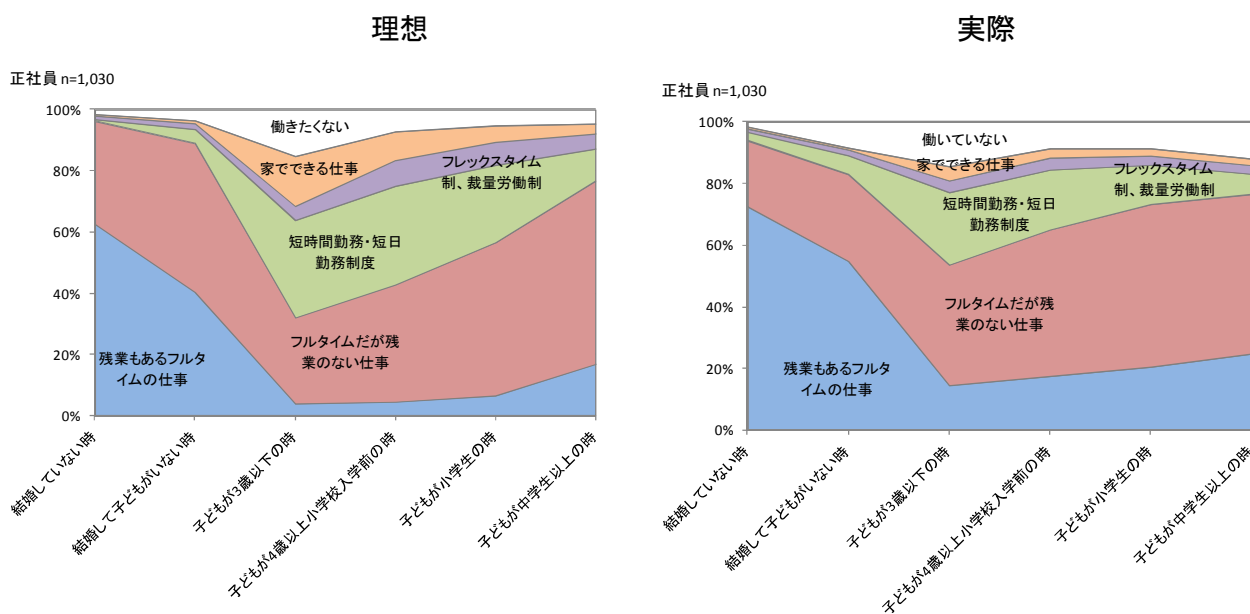
図表 73 キャリア意識【短時間の非正社員】：単数回答 (Q47)



(8) 働き方の理想と実際

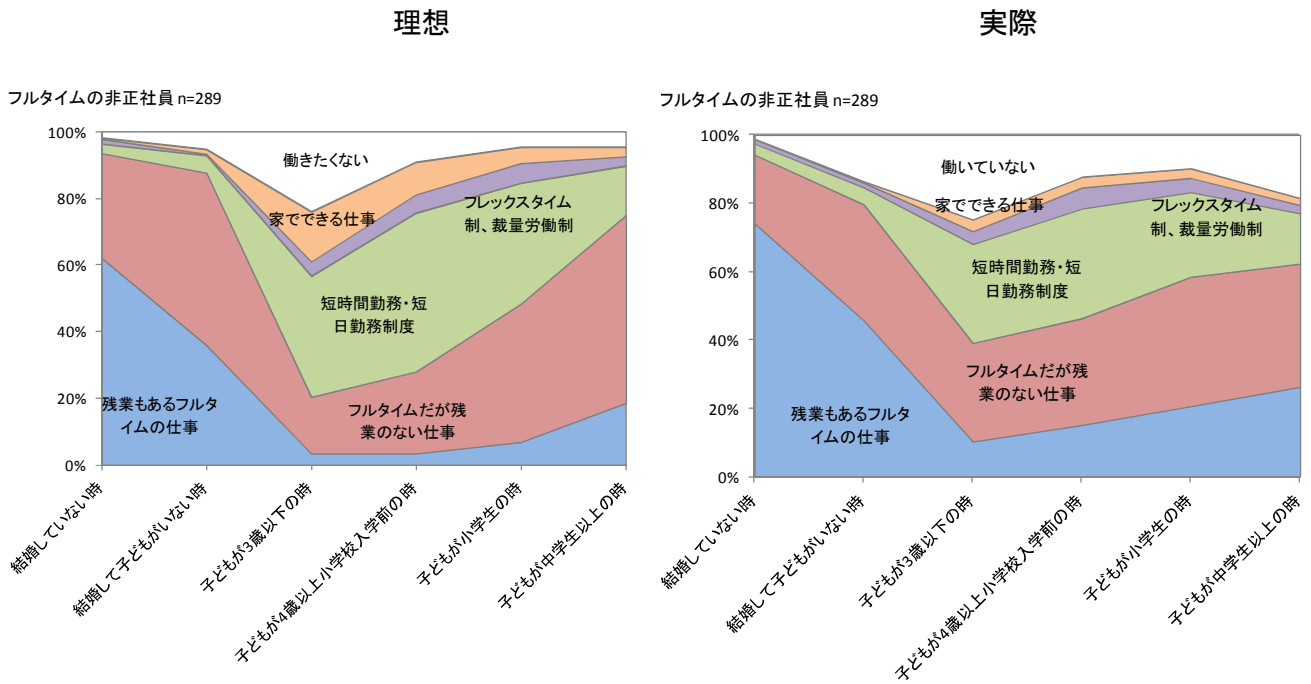
働き方の理想と実際をみると、正社員は、「子どもが小学生の時」までは、「フルタイムだが残業のない仕事」の希望が多い。また、同時期において、「短時間勤務・短日勤務制度」や「家でできる仕事」については、理想に比べて実際の方が少ない傾向がみられる。

図表 74 働き方の理想と実際【正社員】：単数回答 (Q48)



フルタイムの非正社員については、正社員と同様に「子どもが小学生の時」までは、「残業もあるフルタイムの仕事」を理想とする割合は非常に少ないが、実際には7～15%前後となっている。また、同時期において、「短時間勤務・短日勤務制度」や「家でできる仕事」については、理想に比べて実際の方が少ない傾向にある。

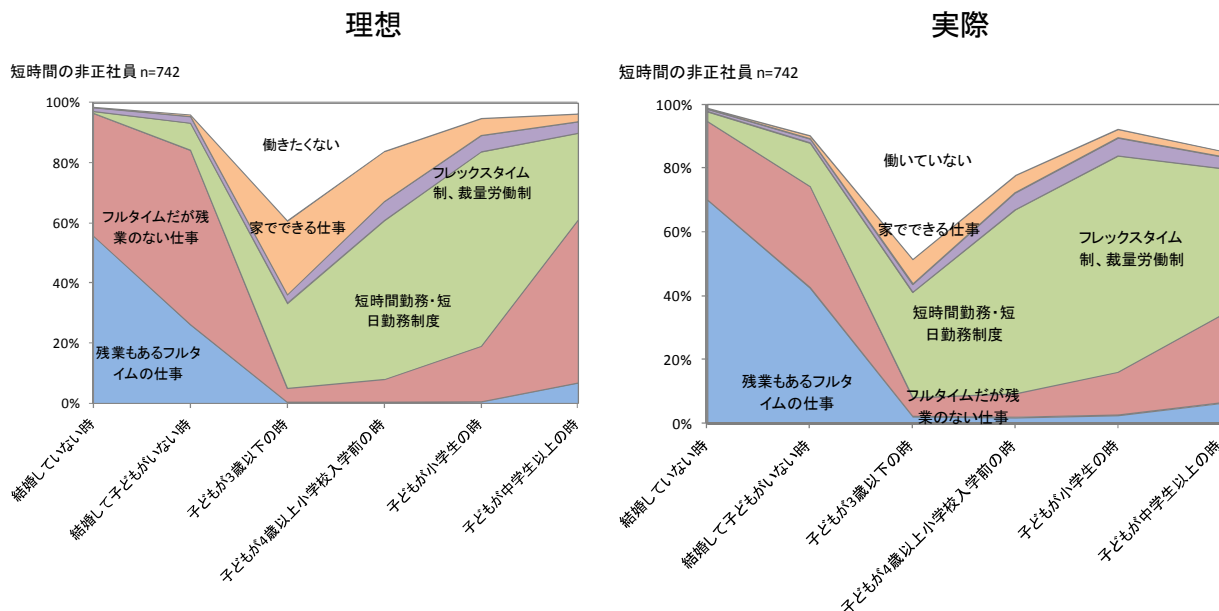
図表 75 理想の働き方と、実際の働き方【フルタイムの非正社員】：単数回答（Q48）



短時間の非正社員については、「子どもが小学生の時」までは、「家でできる仕事」が、理想よりも実際の方が少ない傾向にある。

さらに、「子どもが3歳以下の時」、「子どもが中学生以上の時」では、理想の働き方で「働きたくない」(39.4%、3.6%)と回答した割合に比べて、実際に「働いていない」(48.5%、14.6%)割合が特に多くなっている。

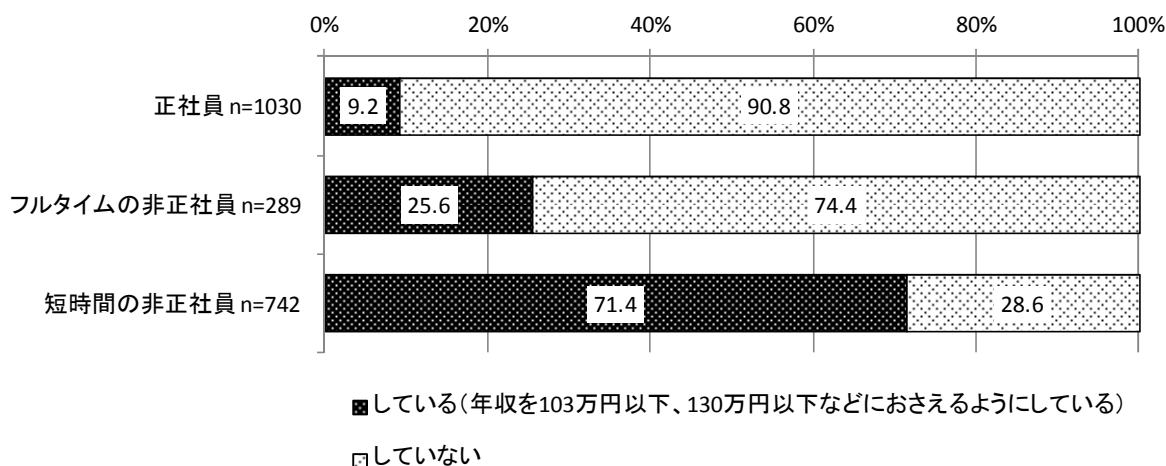
図表 76 理想の働き方と、実際の働き方【短時間の非正社員】：単数回答 (Q48)



(9) 配偶者控除や社会保険料の適用等を理由とした就業調整

配偶者控除や社会保険料の適用等を理由とした就業調整の有無をみると、「している（年収を103万円以下、130万円以下などにおさえるようにしている）」の割合は、短時間の非正社員が最も高く71.4%、次いでフルタイムの非正社員が25.6%、正社員が9.2%となっている。

図表 77 配偶者控除や社会保険料の適用等を理由とした就業調整：単数回答 (Q49)



Ⅲ. クロス集計結果

1. 属性別（従業員規模・業種・最終学歴）

<従業員規模>

- 従業員規模（離職前）が大きいほど、出産・育児等を機に離職した仕事は初職かつ「正社員（フルタイム）」の割合が高い一方、「50人以下」は初職ではなく、「パート・アルバイト」の割合が高い。
- 離職前及び再就職後の職種は、他と比較して「301人～1,000人」は「専門職・技術職」の割合が高い。
- 再就職後、「職務内容に関する研修」や「パソコン操作やITに関する研修」などの支援は、『301人以上』の企業で実施割合が高い。
- 再就職後の従業員規模が大きいほど、「短時間勤務制度」や「半日単位、時間単位等の休暇制度」などの両立支援制度の利用が進んでいるほか、①従業員の生活やキャリア形成に配慮した業務配分を実施、③業務量や重要な仕事が特定の人に偏らないよう配慮、④人材育成に力を入れている、⑧子育てと両立しながら働いている女性が多いなど、両立環境が整っている傾向がみられる。
- 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由は、「50人以下」は「経済的に厳しくなった」、「51人～300人」は「再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなった」「今后再就職しようとしても良い就職先がない」、『301人以上』は、「キャリア形成が難しくなった」の割合が高い。

<業種>

- 再就職後の業種が「製造業」「金融業、保険業」「医療・福祉」の場合は、他と比較して現在の就業形態が「正社員（フルタイム）」、「卸売業、小売業」「飲食業」は「非正社員（短時間）」、「その他サービス業」は「非正社員（フルタイム）」の割合が高い。また、「金融業、保険業」は「1,001人以上」、「医療・福祉」は「301人～1,000人」の規模の企業が多い。
- 求職活動中に利用した機関や情報サービスは、再就職後の業種が「製造業」「医療・福祉」の場合は「ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口」、「金融業、保険業」は「求人情報誌、就職関連雑誌」、「飲食業」は「新聞の折込チラシ・新聞の求人欄」「求人情報誌、就職関連雑誌」「求人サイト、就職関連サイト」を利用した割合が高い。
- 再就職先で受けた支援について、再就職の業種が「金融業、保険業」の場合は「職務内容に関する研修」「パソコン操作やITに関する研修」などの実施割合が高い。
- 再就職後の業種が「製造業」の場合は「半日・時間単位等の休暇制度」、「金融業、保険業」は「短時間勤務制度」「子の看護休暇制度」「半日・時間単位等の休暇制度」など制度利用が進んでいる傾向がみられる。
- 再就職後の業種が「金融業、保険業」の場合は、④人材育成に力を入れている、⑧子育てと両立しながら働いている女性が多いに『あてはまる』割合が高い。また、「飲食業」「医療・福祉」も⑧子育てと両立しながら働いている女性が多い。

<最終学歴>

- 出産・育児等を機に離職した仕事について、「中学・高校」は初職ではなく、「大学・大学院」は初職である割合が高い。
- 離職前、再就職後のいずれの仕事についても、「中学・高校」は、「パート・アルバイト」、「サービス（調理、接客等）」、「50人以下」の割合が高い。一方、「大学・大学院」は、「正社員（フルタイム）」、「1,001人以上」の割合が高い。

- 出産・育児等を機に離職した理由では、「中学・高校」は「家事・育児に専念するために、自発的にやめた」、「大学・大学院」は配偶者の転勤等や、勤務時間の長さ（残業など）が多い。
- 「大学・大学院」は離職した当時、「(仕事を辞めた後、) すぐにでも就業したいと思っていた」割合が高い。
- 再就職した理由は、「中学・高校」は「子どもの教育費や生活費がかかるなど、経済的理由のため」、「大学・大学院」は「社会との関わりを持ちたい、社会の役に立ちたいと思ったから」「自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから」の割合が高い。
- 最初の子どもを持つ前のキャリア意識をみると、他と比較して「大学・大学院」は「専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい」（22.2%）割合が高い。ただし、現在のキャリア意識については、あまり差は見られない。

(1) 従業員規模

① 出産・育児等を機に離職した仕事について

従業員規模（離職前）別に、出産・育児等を機に離職した仕事が初職かどうかをみると、他と比較して「50人以下」は「最初の仕事（初職）ではない」（69.5%）、「301人～1,001人」、「1,001人以上」は「最初の仕事（初職）である」（59.2%、53.1%）の割合が高い。

図表 78 出産・育児等を機に離職した際の従業員規模別 離職した仕事について、初職かどうか：単数回答（Q10）

		合計	Q10 離職した仕事について初職かどうか	
			最初の仕事（初職）である	最初の仕事（初職）ではない
全体		2061 100.0	862 41.8	1199 58.2
出産・育児等を機に離職した際の従業員規模	50人以下	706 100.0	215 30.5	491 69.5
	51人～300人	520 100.0	241 46.3	279 53.7
	301人～1,000人	289 100.0	171 59.2	118 40.8
	1,001人以上	324 100.0	172 53.1	152 46.9

従業員規模（離職前）別に、出産・育児等を機に離職した際の就業形態をみると、他と比較して『51人以上』は「正社員（フルタイム）」、「50人以下」は「パート・アルバイト」（26.6%）の割合が高い。

図表 79 出産・育児等を機に離職した際の従業員規模別 出産・育児等を機に離職した際の就業形態：単数回答（Q11）

		合計	Q11 出産・育児等を機に離職した際の就業形態								
			正社員（フルタイム）	正社員（短時間）	パート・アルバイト	契約社員	嘱託社員	派遣社員	内職	起業・自営・家族従業	その他
全体		2061 100.0	1427 69.2	20 1.0	385 18.7	107 5.2	17 0.8	91 4.4	0 0.0	12 0.6	2 0.1
出産・育児等を機に離職した際の従業員規模	50人以下	706 100.0	463 65.6	10 1.4	188 26.6	16 2.3	6 0.8	15 2.1	0 0.0	6 0.8	2 0.3
	51人～300人	520 100.0	395 76.0	3 0.6	60 11.5	38 7.3	5 1.0	18 3.5	0 0.0	1 0.2	0 0.0
	301人～1,000人	289 100.0	234 81.0	1 0.3	33 11.4	11 3.8	2 0.7	7 2.4	0 0.0	1 0.3	0 0.0
	1,001人以上	324 100.0	245 75.6	4 1.2	26 8.0	23 7.1	1 0.3	23 7.1	0 0.0	2 0.6	0 0.0

従業員規（離職前）別に、出産・育児等を機に離職した際の職種をみると、他と比較して「1,001人以上」は「営業事務」（15.1%）、「301人～1,000人」は「専門職・技術職」（28.4%）の割合が高い。

図表 80 出産・育児等を機に離職した際の従業員規模別 出産・育児等を機に離職した際の職種：単数回答（Q12）

		合計	Q12 出産・育児等を機に離職した際の職種								
			人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発
全体		2061 100.0	89 4.3	147 7.1	24 1.2	174 8.4	342 16.6	68 3.3	78 3.8	135 6.6	15 0.7
出産・育児等を機に離職した際の従業員規模	50人以下	706 100.0	18 2.5	71 10.1	8 1.1	41 5.8	135 19.1	22 3.1	18 2.5	38 5.4	2 0.3
	51人～300人	520 100.0	31 6.0	38 7.3	10 1.9	42 8.1	78 15.0	15 2.9	14 2.7	30 5.8	4 0.8
	301人～1,000人	289 100.0	12 4.2	14 4.8	3 1.0	27 9.3	33 11.4	6 2.1	16 5.5	18 6.2	2 0.7
	1,001人以上	324 100.0	25 7.7	21 6.5	3 0.9	49 15.1	55 17.0	20 6.2	22 6.8	26 8.0	4 1.2

		合計								その他	わからない
			生産工程・労務作業	情報システム	サービス（調理、接客等）	専門職・技術職	運輸	保安			
全体		2061 100.0	49 2.4	44 2.1	253 12.3	448 21.7	12 0.6	1 0.0	154 7.5	28 1.4	
出産・育児等を機に離職した際の従業員規模	50人以下	633 100.0	12 1.7	7 1.0	109 15.4	153 21.7	3 0.4	0 0.0	61 8.6	8 1.1	
	51人～300人	841 100.0	19 3.7	9 1.7	48 9.2	121 23.3	3 0.6	0 0.0	51 9.8	7 1.3	
	301人～1,000人	841 100.0	7 2.4	16 5.5	28 9.7	82 28.4	0 0.0	1 0.3	22 7.6	2 0.7	
	1,001人以上	576 100.0	4 1.2	8 2.5	27 8.3	46 14.2	3 0.9	0 0.0	7 2.2	4 1.2	

②再就職の状況

従業員規模（再就職後）別に、再就職後の就業形態をみると、他と比較して「51人～300人」は「正社員（フルタイム）」（42.4%）の割合が高い。

図表 81 再就職後の従業員規模別 再就職後の就業形態：単数回答（Q19）

		合計	Q19 再就職後の就業形態								
			正社員（フルタイム）	正社員（短時間）	パート・アルバイト	契約社員	嘱託社員	派遣社員	内職	起業・自営・家族従業	その他
全体		2061 100.0	741 36.0	54 2.6	1047 50.8	87 4.2	16 0.8	73 3.5	5 0.2	31 1.5	7 0.3
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	339 36.2	25 2.7	486 51.9	24 2.6	2 0.2	31 3.3	2 0.2	26 2.8	2 0.2
	51人～300人	450 100.0	191 42.4	11 2.4	203 45.1	25 5.6	7 1.6	12 2.7	0 0.0	0 0.0	1 0.2
	301人～1,000人	229 100.0	92 40.2	7 3.1	98 42.8	14 6.1	3 1.3	14 6.1	1 0.4	0 0.0	0 0.0
	1,001人以上	241 100.0	92 38.2	9 3.7	106 44.0	16 6.6	1 0.4	10 4.1	0 0.0	4 1.7	3 1.2

従業員規模（再就職後）別に、再就職後の職種をみると、他と比較して「1,001人以上」は「営業」（14.5%）、「301人～1,000人」は「専門職・技術職」（31.4%）の割合が高い。

図表 82 再就職後の従業員規模別 再就職後の職種：単数回答（Q20）

		合計	Q20 再就職後の職種								
			人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発
全体		2061 100.0	104 5.0	156 7.6	17 0.8	113 5.5	432 21.0	60 2.9	41 2.0	143 6.9	12 0.6
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	50 5.3	113 12.1	7 0.7	54 5.8	228 24.3	10 1.1	19 2.0	44 4.7	2 0.2
	51人～300人	450 100.0	23 5.1	28 6.2	2 0.4	21 4.7	94 20.9	7 1.6	7 1.6	16 3.6	3 0.7
	301人～1,000人	229 100.0	15 6.6	8 3.5	2 0.9	18 7.9	36 15.7	3 1.3	2 0.9	17 7.4	4 1.7
	1,001人以上	241 100.0	13 5.4	7 2.9	5 2.1	17 7.1	45 18.7	35 14.5	9 3.7	29 12.0	2 0.8

		合計	再就職後の職種							わからない
			生産工程・労務作業	情報システム	サービス（調理、接客等）	専門職・技術職	運輸	保安	その他	
全体		2061 100.0	72 3.5	23 1.1	253 12.3	392 19.0	31 1.5	0 0.0	143 6.9	69 3.3
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	35 3.7	4 0.4	103 11.0	163 17.4	9 1.0	0 0.0	64 6.8	32 3.4
	51人～300人	450 100.0	21 4.7	14 3.1	49 10.9	107 23.8	4 0.9	0 0.0	41 9.1	13 2.9
	301人～1,000人	229 100.0	4 1.7	1 0.4	23 10.0	72 31.4	3 1.3	0 0.0	17 7.4	4 1.7
	1,001人以上	241 100.0	2 0.8	3 1.2	26 10.8	28 11.6	5 2.1	0 0.0	7 2.9	8 3.3

従業員規模（再就職後）別に、求職活動中に利用した機関や情報サービスをみると、他と比較して「51人～300人」は「ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口」（58.2%）、「301人～1,000人」は「求人サイト、就職関連サイト」（44.5%）、「人材バンク」（12.2%）、「1,001人以上」は「求人情報誌、就職関連雑誌」（36.1%）、「求人サイト、就職関連サイト」（40.2%）の割合が高い。

図表 83 再就職後の従業員規模別 求職活動中に利用した機関や情報サービス：複数回答（Q31）

		合計	Q31 再就職に向けた求職活動中に利用した機関や情報サービス						
			新聞の折り込みチラシ、新聞の求人欄	ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口	求人情報誌、就職関連雑誌	求人サイト、就職関連サイト	人材バンク	自治体の相談窓口	女性センターや男女共同参画センターの相談窓口
全体		2061 100.0	776 37.7	1093 53.0	566 27.5	707 34.3	97 4.7	19 0.9	17 0.8
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	333 35.5	521 55.6	217 23.2	278 29.7	29 3.1	5 0.5	4 0.4
	51人～300人	450 100.0	161 35.8	262 58.2	119 26.4	154 34.2	29 6.4	5 1.1	6 1.3
	301人～1,000人	229 100.0	90 39.3	116 50.7	67 29.3	102 44.5	28 12.2	4 1.7	5 2.2
	1,001人以上	241 100.0	100 41.5	117 48.5	87 36.1	97 40.2	7 2.9	5 2.1	2 0.8

		合計	女性センターなどで自治体等が開催している就業や起業関連セミナー					再就職に向けた民間の講座、セミナー		NPO等の団体の相談窓口	企業の職場体験やインターンシップに参加	その他	特に利用したものはない
			全体		2061 100.0	17 0.8	18 0.9	7 0.3	5 0.2	41 2.0	361 17.5		
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	4 0.4	3 0.3	2 0.2	2 0.2	19 2.0	185 19.7					
	51人～300人	450 100.0	5 1.1	7 1.6	1 0.2	1 0.2	8 1.8	58 12.9					
	301人～1,000人	229 100.0	5 2.2	4 1.7	3 1.3	2 0.9	6 2.6	33 14.4					
	1,001人以上	241 100.0	3 1.2	3 1.2	1 0.4	0 0.0	3 1.2	47 19.5					

③再就職後の働き方

従業員規模（再就職後）別に、再就職先で受けた支援をみると、他と比較して「50人以下」は「特にない」(81.4%)、「301人～1,000人」、「1,001人以上」は「職務内容に関する研修」(32.8%、41.5%)、「パソコン操作やITに関する研修」(13.1%、16.6%)の割合が高く、大企業の方が研修等を実施している傾向がみられる。また、「301人～1,000人」は「職務分担・シフト編成等におけるサポートや配慮」(12.7%)の割合も高くなっている。

図表 84 再就職後の従業員規模別 再就職先で受けた支援：複数回答（Q41）

		合計	Q41 再就職先で受けた支援					特にない
			職務内容に関する研修	パソコン操作やITに関する研修	職務分担・シフト編成等におけるサポートや配慮	キャリアに関する相談	その他	
全体		2061 100.0	445 21.6	160 7.8	148 7.2	51 2.5	7 0.3	1478 71.7
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	124 13.2	51 5.4	45 4.8	16 1.7	3 0.3	763 81.4
	51人～300人	450 100.0	101 22.4	32 7.1	35 7.8	11 2.4	3 0.7	316 70.2
	301人～1,000人	229 100.0	75 32.8	30 13.1	29 12.7	7 3.1	0 0.0	130 56.8
	1,001人以上	241 100.0	100 41.5	40 16.6	26 10.8	11 4.6	0 0.0	122 50.6

従業員規模（再就職後）別に、利用経験のある両立支援制度をみると、他と比較して「1,001人以上」は「短時間勤務制度」（21.6%）、「半日単位、時間単位等の休暇制度」（17.0%）の割合が高く、従業員規模が大きくなるほど、制度利用が多い傾向がみられる。

図表 85 再就職後の従業員規模別 利用経験のある両立支援制度：複数回答（Q42）

		合計	Q42 利用経験のある両立支援制度							
			短時間勤務制度	所定外労働の免除	子の看護休暇制度	始業または終業時間の繰上げ・繰下げ	週又は月の所定労働日数を短縮する制度	半日単位、時間単位等の休暇制度	フレックスタイム制度	休日勤務の免除
全体		2061 100.0	313 15.2	99 4.8	243 11.8	197 9.6	53 2.6	237 11.5	88 4.3	136 6.6
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	118 12.6	39 4.2	99 10.6	90 9.6	23 2.5	90 9.6	27 2.9	51 5.4
	51人～300人	450 100.0	80 17.8	18 4.0	56 12.4	39 8.7	12 2.7	58 12.9	28 6.2	33 7.3
	301人～1,000人	229 100.0	41 17.9	20 8.7	38 16.6	30 13.1	7 3.1	36 15.7	15 6.6	21 9.2
	1,001人以上	241 100.0	52 21.6	17 7.1	40 16.6	29 12.0	10 4.1	41 17.0	14 5.8	20 8.3

		合計	テレワークなどの在宅勤務制度	テレワーク等以外の勤務場所の設定	事業所内託児施設	転勤の免除	介護休暇	その他	特にない
			全体		2061 100.0	19 0.9	8 0.4	39 1.9	34 1.6
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	9 1.0	2 0.2	2 0.2	7 0.7	0 0.0	1 0.1	627 66.9
	51人～300人	450 100.0	3 0.7	2 0.4	16 3.6	7 1.6	4 0.9	1 0.2	264 58.7
	301人～1,000人	229 100.0	4 1.7	3 1.3	12 5.2	11 4.8	3 1.3	1 0.4	117 51.1
	1,001人以上	241 100.0	3 1.2	1 0.4	5 2.1	8 3.3	2 0.8	0 0.0	122 50.6

従業員規模（再就職後）別に、再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴をみると、「301人～1,000人」、「1,001人以上」は「①従業員の生活やキャリア形成に配慮した業務配分をしている」、「③業務量や重要な仕事特定の人の人に偏らないように配慮している」について、「どちらかというあてはまる」の割合が高く、従業員規模が大きくなるほど、仕事と家庭の両立に関する環境が整っている傾向がみられる。また、「④人材育成に力を入れている」、「⑧子育てと両立しながら働いている女性が多い」についても、「あてはまる」もしくは「どちらかというあてはまる」の割合が高い。一方、「50人以下」は④、⑧について、「あてはまらない」の割合が高い。

「⑨ロールモデルがいる」については、他と比較して、「50人以下」は「あてはまらない」(37.0%)、「301人～1,000人」は「どちらかというあてはまる」(16.6%)及び「どちらかというあてはまらない」(30.1%)、「1,001人以上」は「どちらかというあてはまる」(18.7%)の割合が高い。

図表 86 再就職後の従業員規模別 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴:単数回答 (Q43)

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_①従業員の生活やキャリア形成に配慮した業務配分をしている				
			あてはまる	どちらかというあてはまる	どちらかというあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	198 9.6	690 33.5	434 21.1	455 22.1	284 13.8
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	86 9.2	290 30.9	189 20.2	232 24.8	140 14.9
	51人～300人	450 100.0	49 10.9	133 29.6	108 24.0	101 22.4	59 13.1
	301人～1,000人	229 100.0	17 7.4	101 44.1	45 19.7	40 17.5	26 11.4
	1,001人以上	241 100.0	35 14.5	100 41.5	45 18.7	44 18.3	17 7.1

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_③業務量や重要な仕事特定の人の人に偏らないよう配慮している				
			あてはまる	どちらかというあてはまる	どちらかというあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	183 8.9	618 30.0	550 26.7	439 21.3	271 13.1
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	87 9.3	274 29.2	235 25.1	214 22.8	127 13.6
	51人～300人	450 100.0	41 9.1	126 28.0	120 26.7	107 23.8	56 12.4
	301人～1,000人	229 100.0	17 7.4	87 38.0	66 28.8	37 16.2	22 9.6
	1,001人以上	241 100.0	29 12.0	85 35.3	63 26.1	43 17.8	21 8.7

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_④人材育成に力を入れている				
			あてはまる	どちらかというとはまる	どちらかというとはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	126 6.1	505 24.5	594 28.8	544 26.4	292 14.2
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	40 4.3	185 19.7	268 28.6	299 31.9	145 15.5
	51人～300人	450 100.0	28 6.2	115 25.6	136 30.2	108 24.0	63 14.0
	301人～1,000人	229 100.0	18 7.9	67 29.3	77 33.6	48 21.0	19 8.3
	1,001人以上	241 100.0	37 15.4	92 38.2	55 22.8	37 15.4	20 8.3

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_⑧子育てと両立しながら働いている女性が多い				
			あてはまる	どちらかというとはまる	どちらかというとはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
合計		2061 100.0	638 31.0	643 31.2	278 13.5	341 16.5	161 7.8
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	227 24.2	259 27.6	128 13.7	222 23.7	101 10.8
	51人～300人	450 100.0	147 32.7	158 35.1	58 12.9	66 14.7	21 4.7
	301人～1,000人	229 100.0	88 38.4	76 33.2	28 12.2	24 10.5	13 5.7
	1,001人以上	241 100.0	98 40.7	87 36.1	35 14.5	15 6.2	6 2.5

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_⑨ロールモデルがいる				
			あてはまる	どちらかというとはまる	どちらかというとはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	73 3.5	208 10.1	458 22.2	624 30.3	698 33.9
再就職後の従業員規模	50人以下	937 100.0	19 2.0	65 6.9	173 18.5	347 37.0	333 35.5
	51人～300人	450 100.0	23 5.1	48 10.7	113 25.1	130 28.9	136 30.2
	301人～1,000人	229 100.0	9 3.9	38 16.6	69 30.1	52 22.7	61 26.6
	1,001人以上	241 100.0	20 8.3	45 18.7	58 24.1	51 21.2	67 27.8

従業員規模（再就職後）別に、出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由をみると、「50人以下」は「経済的に厳しくなった」（64.0%）、「51人～300人」は「再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなった」（45.1%）、「今後再就職しようとしても良い就職先がない」（36.3%）、「301人～1,000人」、「1,001人以上」は、「キャリア形成が難しくなった」（30.5%、21.9%）の割合が高い。また、「1,001人以上」も「経済的に厳しくなった」（64.1%）の割合が高い。

図表 87 再就職後の従業員規模別 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由：
複数回答（Q46）

		合計	Q46 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由							
			経済的に厳しくなった	再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなった	今後再就職しようとしても良い就職先がない	キャリア形成が難しくなった	生活に張り合いがない	離職を機に、家庭内での家事や育児の負担が多くなった	その他	上記にはあてはまらない
合計		506 100.0	290 57.3	175 34.6	152 30.0	91 18.0	54 10.7	55 10.9	23 4.5	32 6.3
再就職後の従業員規模	50人以下	236 100.0	151 64.0	61 25.8	65 27.5	34 14.4	25 10.6	30 12.7	12 5.1	15 6.4
	51人～300人	102 100.0	45 44.1	46 45.1	37 36.3	19 18.6	14 13.7	8 7.8	4 3.9	8 7.8
	301人～1,000人	59 100.0	27 45.8	28 47.5	16 27.1	18 30.5	5 8.5	6 10.2	4 6.8	2 3.4
	1,001人以上	64 100.0	41 64.1	27 42.2	19 29.7	14 21.9	8 12.5	7 10.9	2 3.1	2 3.1

(2) 業種

①属性

業種（再就職後）別に、現在の就業形態をみると、他と比較して「製造業」、「金融業、保険業」、「医療・福祉」は、「正社員（フルタイム）」（59.3%、71.0%、56.7%）、「卸売業、小売業」、「飲食業」は「非正社員（短時間）」（51.9%、76.3%）、「その他サービス業」は「非正社員（フルタイム）」（19.5%）の割合が高い傾向にある。

図表 88 業種別 現在の就業形態：単数回答（SQ2）

		合計	SQ2 現在の就業形態		
			正社員（フルタイム）	非正社員（短時間）	非正社員（フルタイム）
全体		2061 100.0	1030 50.0	742 36.0	289 14.0
業種	製造業	221 100.0	131 59.3	57 25.8	33 14.9
	卸売業、小売業	270 100.0	95 35.2	140 51.9	35 13.0
	金融業、保険業	107 100.0	76 71.0	24 22.4	7 6.5
	飲食業	118 100.0	10 8.5	90 76.3	18 15.3
	医療・福祉	526 100.0	298 56.7	155 29.5	73 13.9
	その他サービス業	338 100.0	166 49.1	106 31.4	66 19.5

②再就職の状況

業種（再就職後）別に、再就職後の職種をみると、他と比較して「製造業」は「生産工程・労務作業」（21.3%）、「卸売業、小売業」は「販売」（33.3%）、「金融業、保険業」は「営業事務」（15.0%）及び「営業」（26.2%）、「飲食業」は「サービス（調理、接客等）」（71.2%）、「医療・福祉」は「専門職・技術職」（60.5%）の割合が高い傾向にある。

図表 89 業種別 再就職後の職種：単数回答（Q20）

		合計	Q20 再就職後の職種								
			人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発
全体		2061 100.0	104 5.0	156 7.6	17 0.8	113 5.5	432 21.0	60 2.9	41 2.0	143 6.9	12 0.6
業種	製造業	221 100.0	17 7.7	19 8.6	4 1.8	22 10.0	55 24.9	1 0.5	3 1.4	7 3.2	4 1.8
	卸売業、小売業	270 100.0	5 1.9	15 5.6	3 1.1	20 7.4	63 23.3	6 2.2	6 2.2	90 33.3	1 0.4
	金融業、保険業	107 100.0	6 5.6	3 2.8	1 0.9	16 15.0	32 29.9	28 26.2	8 7.5	4 3.7	0 0.0
	飲食業	118 100.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	1 0.8	11 9.3	0 0.0	0 0.0	7 5.9	0 0.0
	医療・福祉	526 100.0	15 2.9	9 1.7	1 0.2	6 1.1	50 9.5	1 0.2	7 1.3	6 1.1	0 0.0
	その他サービス業	338 100.0	30 8.9	31 9.2	5 1.5	14 4.1	81 24.0	8 2.4	6 1.8	17 5.0	2 0.6

		合計	再就職後の職種							わからない
			生産工程・労務作業	情報システム	サービス（調理、接客等）	専門職・技術職	運輸	保安	その他	
全体		2061 100.0	72 3.5	23 1.1	253 12.3	392 19.0	31 1.5	0 0.0	143 6.9	69 3.3
業種	製造業	221 100.0	47 21.3	0 0.0	13 5.9	15 6.8	2 0.9	0 0.0	8 3.6	4 1.8
	卸売業、小売業	270 100.0	8 3.0	2 0.7	25 9.3	4 1.5	1 0.4	0 0.0	11 4.1	10 3.7
	金融業、保険業	107 100.0	0 0.0	1 0.9	4 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	3 2.8
	飲食業	118 100.0	1 0.8	0 0.0	84 71.2	2 1.7	3 2.5	0 0.0	5 4.2	3 2.5
	医療・福祉	526 100.0	0 0.0	0 0.0	33 6.3	318 60.5	2 0.4	0 0.0	62 11.8	16 3.0
	その他サービス業	338 100.0	3 0.9	10 3.0	74 21.9	21 6.2	2 0.6	0 0.0	18 5.3	16 4.7

業種（再就職後）別に、現在の勤務先の従業員規模をみると、他と比較して「金融業、保険業」は「1,001人以上」（53.3%）、「医療・福祉」は「301人～1,000人」（11.6%）の割合が高い傾向にある。

図表 90 業種別 勤務先の従業員規模：単数回答（Q23）

		合計	Q23 勤務先の従業員規模						
			50人以下	51人～100人	101人～300人	301人～500人	501人～1,000人	1,001人以上	わからない
全体		2061 100.0	937 45.5	219 10.6	231 11.2	116 5.6	113 5.5	241 11.7	204 9.9
業種	製造業	221 100.0	102 46.2	28 12.7	33 14.9	9 4.1	13 5.9	19 8.6	17 7.7
	卸売業、小売業	270 100.0	121 44.8	30 11.1	18 6.7	7 2.6	17 6.3	40 14.8	37 13.7
	金融業、保険業	107 100.0	20 18.7	2 1.9	5 4.7	7 6.5	7 6.5	57 53.3	9 8.4
	飲食業	118 100.0	48 40.7	11 9.3	4 3.4	2 1.7	5 4.2	11 9.3	37 31.4
	医療・福祉	526 100.0	215 40.9	67 12.7	84 16.0	61 11.6	28 5.3	39 7.4	32 6.1
	その他サービス業	338 100.0	165 48.8	38 11.2	39 11.5	21 6.2	19 5.6	28 8.3	28 8.3

業種（再就職後）別に、求職活動中に利用した機関や情報サービスをみると、他と比較して「製造業」、「医療・福祉」は「ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口」（64.7%、58.2%）、「金融業、保険業」は「求人情報誌、就職関連雑誌」（34.6%）及び「特に利用したものはない」（23.4%）、「飲食業」は「新聞の折り込みチラシ、新聞の求人欄」（51.7%）、「求人情報誌、就職関連雑誌」（50.8%）、「求人サイト、就職関連サイト」（44.9%）の割合が高い。

図表 91 業種別 求職活動中に利用した機関や情報サービス：複数回答（Q31）

		合計	Q31 再就職に向けた求職活動中に利用した機関や情報サービス						
			新聞の折り込みチラシ、新聞の求人欄	ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口	求人情報誌、就職関連雑誌	求人サイト、就職関連サイト	人材バンク	自治体の相談窓口	女性センターや男女共同参画センターの相談窓口
全体		2061 100.0	776 37.7	1093 53.0	566 27.5	707 34.3	97 4.7	19 0.9	17 0.8
業種	製造業	221 100.0	93 42.1	143 64.7	62 28.1	82 37.1	12 5.4	4 1.8	2 0.9
	卸売業、小売業	270 100.0	110 40.7	121 44.8	78 28.9	92 34.1	5 1.9	2 0.7	1 0.4
	金融業、保険業	107 100.0	40 37.4	57 53.3	37 34.6	34 31.8	3 2.8	2 1.9	1 0.9
	飲食業	118 100.0	61 51.7	39 33.1	60 50.8	53 44.9	2 1.7	0 0.0	1 0.8
	医療・福祉	526 100.0	168 31.9	306 58.2	95 18.1	155 29.5	42 8.0	2 0.4	0 0.0
	その他サービス業	338 100.0	114 33.7	163 48.2	95 28.1	126 37.3	16 4.7	3 0.9	5 1.5

		合計	女性センターなどで自治体等が開催している就業や起業関連セミナー					再就職に向けた民間の講座、セミナー	NPO等の団体の相談窓口	企業の職場体験やインターンシップに参加	その他	特に利用したものはない
			女性センターなどで自治体等が開催している就業や起業関連セミナー	再就職に向けた民間の講座、セミナー	NPO等の団体の相談窓口	企業の職場体験やインターンシップに参加	その他					
全体		2061 100.0	17 0.8	18 0.9	7 0.3	5 0.2	41 2.0	361 17.5				
業種	製造業	221 100.0	3 1.4	3 1.4	0 0.0	0 0.0	1 0.5	25 11.3				
	卸売業、小売業	270 100.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	1 0.4	2 0.7	56 20.7				
	金融業、保険業	107 100.0	1 0.9	1 0.9	0 0.0	0 0.0	1 0.9	25 23.4				
	飲食業	118 100.0	1 0.8	0 0.0	1 0.8	0 0.0	3 2.5	12 10.2				
	医療・福祉	526 100.0	2 0.4	4 0.8	3 0.6	3 0.6	17 3.2	94 17.9				
	その他サービス業	338 100.0	3 0.9	4 1.2	1 0.3	0 0.0	8 2.4	65 19.2				

③再就職後の働き方

業種（再就職後）別に、再就職先で受けた支援をみると、他と比較して「金融業、保険業」は「職務内容に関する研修」（55.1%）、「パソコン操作やITに関する研修」（17.8%）の割合が高い。一方、「卸売業、小売業」、「飲食業」は「特にない」（76.7%、82.2%）の割合が高い。

図表 92 業種別 再就職先で受けた支援：複数回答（Q41）

		合計	Q41 再就職先で受けた支援					
			職務内容に関する研修	パソコン操作やITに関する研修	職務分担・シフト編成等におけるサポートや配慮	キャリアに関する相談	その他	特にない
全体		2061	445	160	148	51	7	1478
		100.0	21.6	7.8	7.2	2.5	0.3	71.7
業種	製造業	221	40	18	14	3	0	164
		100.0	18.1	8.1	6.3	1.4	0.0	74.2
	卸売業、小売業	270	50	11	19	4	1	207
		100.0	18.5	4.1	7.0	1.5	0.4	76.7
	金融業、保険業	107	59	19	10	6	0	43
		100.0	55.1	17.8	9.3	5.6	0.0	40.2
	飲食業	118	17	1	3	2	1	97
	100.0	14.4	0.8	2.5	1.7	0.8	82.2	
医療・福祉	526	113	37	49	21	2	364	
	100.0	21.5	7.0	9.3	4.0	0.4	69.2	
その他サービス業	338	73	33	28	9	0	236	
	100.0	21.6	9.8	8.3	2.7	0.0	69.8	

業種（再就職後）別に、利用経験のある両立支援制度をみると、他と比較して「製造業」は「半日単位、時間単位等の休暇制度」（18.6%）、「金融業、保険業」は「短時間勤務制度」（23.4%）、「子の看護休暇制度」（25.2%）、「半日単位、時間単位等の休暇制度」（16.8%）、「卸売業、小売業」、「飲食業」は「特にない」（70.4%、85.6%）の割合が高く、特に金融業、保険業で制度利用が進んでいる傾向がみられる。

図表 93 業種別 利用経験のある両立支援制度：複数回答（Q42）

		合計	Q42 利用経験のある両立支援制度							
			短時間勤務制度	所定外労働の免除	子の看護休暇制度	始業または終業時間の繰上げ・繰下げ	週又は月の所定労働日数を短縮する制度	半日単位、時間単位等の休暇制度	フレックスタイトム制度	休日勤務の免除
全体		2061 100.0	313 15.2	99 4.8	243 11.8	197 9.6	53 2.6	237 11.5	88 4.3	136 6.6
業種	製造業	221 100.0	34 15.4	14 6.3	22 10.0	21 9.5	7 3.2	41 18.6	10 4.5	11 5.0
	卸売業、小売業	270 100.0	35 13.0	8 3.0	20 7.4	21 7.8	7 2.6	24 8.9	10 3.7	9 3.3
	金融業、保険業	107 100.0	25 23.4	5 4.7	27 25.2	15 14.0	3 2.8	18 16.8	6 5.6	7 6.5
	飲食業	118 100.0	8 6.8	3 2.5	7 5.9	1 0.8	0 0.0	2 1.7	1 0.8	5 4.2
	医療・福祉	526 100.0	84 16.0	23 4.4	55 10.5	54 10.3	11 2.1	67 12.7	19 3.6	47 8.9
	その他サービス業	338 100.0	59 17.5	28 8.3	47 13.9	41 12.1	10 3.0	26 7.7	21 6.2	26 7.7

		合計							
			テレワークなどの在宅勤務制度	テレワーク等以外の勤務場所の設定	事業所内託児施設	転勤の免除	介護休暇	その他	特にない
全体		2061 100.0	19 0.9	8 0.4	39 1.9	34 1.6	9 0.4	4 0.2	1291 62.6
業種	製造業	221 100.0	4 1.8	2 0.9	4 1.8	3 1.4	2 0.9	0 0.0	131 59.3
	卸売業、小売業	270 100.0	0 0.0	1 0.4	1 0.4	3 1.1	0 0.0	1 0.4	190 70.4
	金融業、保険業	107 100.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	5 4.7	1 0.9	0 0.0	45 42.1
	飲食業	118 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	1 0.8	0 0.0	0 0.0	101 85.6
	医療・福祉	526 100.0	2 0.4	0 0.0	27 5.1	8 1.5	1 0.2	1 0.2	306 58.2
	その他サービス業	338 100.0	5 1.5	2 0.6	2 0.6	7 2.1	2 0.6	0 0.0	209 61.8

業種（再就職後）別に、再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴をみると、「④人材育成に力を入れている」について、他と比較して「金融業、保険業」は「あてはまる」（11.2%）、「どちらかというにあてはまる」（41.1%）、「飲食業」は「あてはまらない」（31.4%）、「どちらともいえない」（21.2%）の割合が高い。

また、「⑧子育てと両立しながら働いている女性が多い」については、「金融業、保険業」、「飲食業」、「医療・福祉」は「あてはまる」（44.9%、41.5%、40.3%）の割合が高い。

図表 94 業種別 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴：単数回答（Q43）

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_④人材育成に力を入れている				
			あてはまる	どちらかというにあてはまる	どちらかというにあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	126 6.1	505 24.5	594 28.8	544 26.4	292 14.2
業種	製造業	221 100.0	10 4.5	51 23.1	64 29.0	66 29.9	30 13.6
	卸売業、小売業	270 100.0	13 4.8	57 21.1	86 31.9	75 27.8	39 14.4
	金融業、保険業	107 100.0	12 11.2	44 41.1	23 21.5	14 13.1	14 13.1
	飲食業	118 100.0	6 5.1	15 12.7	35 29.7	37 31.4	25 21.2
	医療・福祉	526 100.0	35 6.7	140 26.6	159 30.2	120 22.8	72 13.7
	その他サービス業	338 100.0	21 6.2	92 27.2	94 27.8	92 27.2	39 11.5

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_⑧子育てと両立しながら働いている女性が多い				
			あてはまる	どちらかというにあてはまる	どちらかというにあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	638 31.0	643 31.2	278 13.5	341 16.5	161 7.8
業種	製造業	221 100.0	57 25.8	72 32.6	33 14.9	41 18.6	18 8.1
	卸売業、小売業	270 100.0	76 28.1	84 31.1	44 16.3	39 14.4	27 10.0
	金融業、保険業	107 100.0	48 44.9	31 29.0	9 8.4	12 11.2	7 6.5
	飲食業	118 100.0	49 41.5	33 28.0	14 11.9	14 11.9	8 6.8
	医療・福祉	526 100.0	212 40.3	184 35.0	56 10.6	50 9.5	24 4.6
	その他サービス業	338 100.0	85 25.1	104 30.8	56 16.6	64 18.9	29 8.6

業種（再就職後）別に、最初の子どもの持つ前のキャリア意識をみると、他と比較して「金融業、保険業」は「管理職に昇進したい」（11.2%）及び「仕事以外の生活を充実させたい」（25.2%）、「飲食業」は「上記にはあてはまらない」（23.7%）、「医療・福祉」は「専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい」（29.5%）の割合が高い。

図表 95 業種別 キャリア意識_最初の子どもの持つ前：単数回答（Q47）

		合計	Q47 キャリア意識_最初の子どもの持つ前					上記にはあてはまらない
			管理職に昇進したい	専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい	やりがいのある仕事をしたい	色々な仕事を体験したい	仕事以外の生活を充実させたい	
全体		2061 100.0	115 5.6	345 16.7	688 33.4	174 8.4	416 20.2	323 15.7
業種	製造業	221 100.0	11 5.0	26 11.8	78 35.3	17 7.7	59 26.7	30 13.6
	卸売業、小売業	270 100.0	17 6.3	26 9.6	94 34.8	20 7.4	59 21.9	54 20.0
	金融業、保険業	107 100.0	12 11.2	12 11.2	31 29.0	14 13.1	27 25.2	11 10.3
	飲食業	118 100.0	4 3.4	7 5.9	45 38.1	10 8.5	24 20.3	28 23.7
	医療・福祉	526 100.0	23 4.4	155 29.5	154 29.3	41 7.8	76 14.4	77 14.6
	その他サービス業	338 100.0	20 5.9	48 14.2	111 32.8	37 10.9	65 19.2	57 16.9

業種（再就職後）別に、現在のキャリア意識をみると、他と比較して「卸売業、小売業」、「飲食業」は「上記にはあてはまらない」（25.2%、25.4%）、「金融業、保険業」は「やりがいのある仕事をしたい」（31.8%）、「医療・福祉」は「専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい」（16.0%）の割合が高い。

図表 96 業種別 キャリア形成に対する意識_現在：単数回答（Q47）

		合計	Q47 キャリア意識_最初の子どもの持つ前					上記にはあてはまらない
			管理職に昇進したい	専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい	やりがいのある仕事をしたい	色々な仕事を体験したい	仕事以外の生活を充実させたい	
全体		2061 100.0	57 2.8	222 10.8	527 25.6	91 4.4	750 36.4	414 20.1
業種	製造業	221 100.0	6 2.7	19 8.6	56 25.3	5 2.3	91 41.2	44 19.9
	卸売業、小売業	270 100.0	4 1.5	25 9.3	70 25.9	13 4.8	90 33.3	68 25.2
	金融業、保険業	107 100.0	5 4.7	9 8.4	34 31.8	3 2.8	37 34.6	19 17.8
	飲食業	118 100.0	2 1.7	5 4.2	33 28.0	10 8.5	38 32.2	30 25.4
	医療・福祉	526 100.0	14 2.7	84 16.0	134 25.5	25 4.8	180 34.2	89 16.9
	その他サービス業	338 100.0	10 3.0	39 11.5	79 23.4	13 3.8	122 36.1	75 22.2

業種（再就職後）別に、配偶者控除や社会保険料の適用等を理由とした就業調整の有無をみると、「製造業」、「金融業、保険業」、「医療・福祉」は、「していない」（74.7%、76.6%、75.3%）、「卸売業、小売業」、「飲食業」は「している（年収を103万円以下、130万円以下などにおさえるようにしている）」（49.6%、68.6%）の割合が高い。

図表 97 業種別 配偶者控除や社会保険料の適用等を理由とした就業調整：単数回答（Q49）

		合計	Q49 配偶者控除や社会保険料の適用等を理由とした就業調整	
			している（年収を103万円以下、130万円以下などにおさえるようにしている）	していない
全体		2061 100.0	699 33.9	1362 66.1
業種	製造業	221 100.0	56 25.3	165 74.7
	卸売業、小売業	270 100.0	134 49.6	136 50.4
	金融業、保険業	107 100.0	25 23.4	82 76.6
	飲食業	118 100.0	81 68.6	37 31.4
	医療・福祉	526 100.0	130 24.7	396 75.3
	その他サービス業	338 100.0	112 33.1	226 66.9

(3) 最終学歴

① 出産・育児等を機に離職した仕事について

最終学歴別に、出産・育児等を機に離職した仕事が初職かどうかをみると、他と比較して「中学・高校」は「最初の仕事（初職）ではない」（67.0%）、「大学・大学院」は「最初の仕事（初職）である」（50.7%）割合が高い。

図表 98 最終学歴別 離職した仕事について、初職かどうか：単数回答（Q10）

		合計	Q10 離職した仕事について初職かどうか	
			最初の仕事（初職）である	最初の仕事（初職）ではない
全体		2061 100.0	862 41.8	1199 58.2
最終学歴	中学・高校	633 100.0	209 33.0	424 67.0
	専修学校・短大・高専	841 100.0	355 42.2	486 57.8
	大学・大学院	576 100.0	292 50.7	284 49.3

最終学歴別に、出産・育児等を機に離職した際の就業形態をみると、他と比較して「中学・高校」は「パート・アルバイト」(27.6%)、「大学・大学院」は「正社員(フルタイム)」(76.0%)の割合が高い。

図表 99 最終学歴別 出産・育児等を機に離職した際の就業形態：単数回答 (Q11)

		合計	Q11 出産・育児等を機に離職した際の就業形態								
			正社員(フルタイム)	正社員(短時間)	パート・アルバイト	契約社員	嘱託社員	派遣社員	内職	起業・自営・家族従業	その他
全体		2061 100.0	1427 69.2	20 1.0	385 18.7	107 5.2	17 0.8	91 4.4	0 0.0	12 0.6	2 0.1
最終学歴	中学・高校	633 100.0	369 58.3	4 0.6	175 27.6	40 6.3	5 0.8	35 5.5	0 0.0	4 0.6	1 0.2
	専修学校・短大・高専	841 100.0	610 72.5	7 0.8	142 16.9	44 5.2	6 0.7	28 3.3	0 0.0	3 0.4	1 0.1
	大学・大学院	576 100.0	438 76.0	9 1.6	67 11.6	23 4.0	6 1.0	28 4.9	0 0.0	5 0.9	0 0.0

最終学歴別に、出産・育児等を機に離職した際の職種をみると、他と比較して「中学・高校」は「サービス(調理、接客等)」(17.7%)、「専修学校・短大・高専」は「専門職・技術職」(29.8%)の割合が高い。

図表 100 最終学歴別 出産・育児等を機に離職した際の職種：単数回答 (Q12)

		合計	Q12 出産・育児等を機に離職した際の職種								
			人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発
全体		2061 100.0	89 4.3	147 7.1	24 1.2	174 8.4	342 16.6	68 3.3	78 3.8	135 6.6	15 0.7
最終学歴	中学・高校	633 100.0	23 3.6	43 6.8	3 0.5	59 9.3	117 18.5	13 2.1	31 4.9	61 9.6	3 0.5
	専修学校・短大・高専	841 100.0	31 3.7	59 7.0	4 0.5	57 6.8	129 15.3	18 2.1	33 3.9	45 5.4	0 0.0
	大学・大学院	576 100.0	35 6.1	44 7.6	17 3.0	58 10.1	95 16.5	36 6.3	14 2.4	28 4.9	12 2.1

		合計								その他	わからない
			生産工程・労務作業	情報システム	サービス(調理、接客等)	専門職・技術職	運輸	保安			
全体		2061 100.0	49 2.4	44 2.1	253 12.3	448 21.7	12 0.6	1 0.0	154 7.5	28 1.4	
最終学歴	中学・高校	633 100.0	32 5.1	7 1.1	112 17.7	59 9.3	8 1.3	1 0.2	51 8.1	10 1.6	
	専修学校・短大・高専	841 100.0	13 1.5	11 1.3	98 11.7	251 29.8	3 0.4	0 0.0	77 9.2	12 1.4	
	大学・大学院	576 100.0	4 0.7	25 4.3	43 7.5	132 22.9	1 0.2	0 0.0	26 4.5	6 1.0	

最終学歴別に、離職した勤務先の従業員規模をみると、他と比較して「中学・高校」は「50人以下」(39.2%)、「大学・大学院」は「1,001人以上」(21.4%)の割合が高くなっている。

図表 101 最終学歴別 出産・育児等を機に離職した勤務先の従業員規模：単数回答 (Q14)

		合計	Q14 出産・育児等を機に離職した勤務先の従業員規模						
			50人以下	51人～100人	101人～300人	301人～500人	501人～1,000人	1,001人以上	わからない
全体		2061 100.0	706 34.3	251 12.2	269 13.1	137 6.6	152 7.4	324 15.7	222 10.8
最終学歴	中学・高校	633 100.0	248 39.2	94 14.8	74 11.7	30 4.7	32 5.1	74 11.7	81 12.8
	専修学校・短大・高専	841 100.0	293 34.8	95 11.3	117 13.9	66 7.8	55 6.5	124 14.7	91 10.8
	大学・大学院	576 100.0	162 28.1	62 10.8	76 13.2	41 7.1	63 10.9	123 21.4	49 8.5

最終学歴別に、出産・育児等を機に離職した理由をみると、他と比較して「中学・高校」は「家事・育児に専念するために、自発的にやめた」(52.1%)の割合が高く、「大学・大学院」は、「配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった」(23.3%)、「勤務時間が長い(残業など)・不規則など、時間的に両立が難しかった」(26.9%)の割合が高い。

図表 102 最終学歴別 出産・育児等を機に離職した理由：複数回答 (Q16)

		合計	Q16 出産・育児等を機に離職した理由					職場の両立に対する理解や、両立支援制度が不十分だった
			家事・育児に専念するため、自発的にやめた	配偶者・パートナーや、家族をやめることを希望した	配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった	保育園など子どもの預け先がなかった	家族の協力が得られなかった	
全体		2061 100.0	967 46.9	169 8.2	356 17.3	145 7.0	80 3.9	278 13.5
最終学歴	中学・高校	633 100.0	330 52.1	51 8.1	69 10.9	52 8.2	23 3.6	77 12.2
	専修学校・短大・高専	841 100.0	385 45.8	61 7.3	152 18.1	49 5.8	39 4.6	118 14.0
	大学・大学院	576 100.0	249 43.2	56 9.7	134 23.3	43 7.5	18 3.1	82 14.2

		合計	Q16 出産・育児等を機に離職した理由					その他
			勤務時間が長い(残業など)・不規則など、時間的に両立が難しかった	自分や子どもの体調不良など、体力的に両立が難しかった	仕事にやりがいがあった(なくなりそうだった)	仕事を続けていても、将来的にキャリアの進展が見込めなそうだった	解雇された、もしくは退職勧奨された	
全体		2061 100.0	453 22.0	222 10.8	104 5.0	88 4.3	159 7.7	127 6.2
最終学歴	中学・高校	633 100.0	103 16.3	66 10.4	31 4.9	22 3.5	52 8.2	38 6.0
	専修学校・短大・高専	841 100.0	193 22.9	92 10.9	41 4.9	37 4.4	58 6.9	59 7.0
	大学・大学院	576 100.0	155 26.9	63 10.9	32 5.6	29 5.0	49 8.5	26 4.5

最終学歴別に、離職した当時の再就職についての意向をみると、他と比較して「大学・大学院」は「(仕事を辞めた後、) すぐにでも就業したいと思っていた」(32.1%)の割合が高い。

図表 103 最終学歴別 離職した当時の再就職についての意向：単数回答 (Q17)

		合計	Q17 離職した当時の再就職についての意向				
			(仕事を辞めた後、) すぐにでも就業したいと思っていた	子ども(末子)がある程度の年齢になったら就業したいと思っていた	特に時期を決めていないが、いずれ就業したいと思っていた	再び就業するつもりはなかった	その他、わからない
全体		2061 100.0	550 26.7	492 23.9	887 43.0	99 4.8	33 1.6
最終学歴	中学・高校	633 100.0	145 22.9	165 26.1	272 43.0	41 6.5	10 1.6
	専修学校・短大・高専	841 100.0	217 25.8	211 25.1	362 43.0	36 4.3	15 1.8
	大学・大学院	576 100.0	185 32.1	113 19.6	249 43.2	22 3.8	7 1.2

②再就職の状況

最終学歴別に、再就職後の就業形態をみると、他と比較して「大学・大学院」は「正社員(フルタイム)」(44.3%)、「中学・高校」は「パート・アルバイト」(58.0%)の割合が高い。

図表 104 最終学歴別 再就職後の就業形態：単数回答 (Q19)

		合計	Q19 再就職後の就業形態								
			正社員(フルタイム)	正社員(短時間)	パート・アルバイト	契約社員	嘱託社員	派遣社員	内職	起業・自営・家族従業	その他
全体		2061 100.0	741 36.0	54 2.6	1047 50.8	87 4.2	16 0.8	73 3.5	5 0.2	31 1.5	7 0.3
最終学歴	中学・高校	633 100.0	198 31.3	7 1.1	367 58.0	33 5.2	2 0.3	15 2.4	1 0.2	6 0.9	4 0.6
	専修学校・短大・高専	841 100.0	282 33.5	18 2.1	459 54.6	31 3.7	5 0.6	27 3.2	3 0.4	13 1.5	3 0.4
	大学・大学院	576 100.0	255 44.3	29 5.0	217 37.7	23 4.0	9 1.6	31 5.4	1 0.2	11 1.9	0 0.0

最終学歴別に、再就職後の職種をみると、他と比較して「専修学校・短大・高専」は「専門職・技術職」（27.0%）の割合が高いが、それ以外は、あまり差は見られない。

図表 105 最終学歴別 再就職後の職種：単数回答（Q20）

		合計	Q20 再就職後の職種								
			人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発
全体		2061 100.0	104 5.0	156 7.6	17 0.8	113 5.5	432 21.0	60 2.9	41 2.0	143 6.9	12 0.6
最終学歴	中学・高校	633 100.0	33 5.2	52 8.2	2 0.3	36 5.7	138 21.8	24 3.8	13 2.1	59 9.3	1 0.2
	専修学校・短大・高専	841 100.0	29 3.4	57 6.8	3 0.4	35 4.2	162 19.3	24 2.9	18 2.1	52 6.2	0 0.0
	大学・大学院	576 100.0	41 7.1	46 8.0	12 2.1	41 7.1	131 22.7	11 1.9	10 1.7	32 5.6	11 1.9

		合計	Q20 再就職後の職種							わからない
			生産工程・労務作業	情報システム	サービス（調理、接客等）	専門職・技術職	運輸	保安	その他	
全体		2061 100.0	72 3.5	23 1.1	253 12.3	392 19.0	31 1.5	0 0.0	143 6.9	69 3.3
最終学歴	中学・高校	633 100.0	36 5.7	2 0.3	105 16.6	47 7.4	13 2.1	0 0.0	47 7.4	25 3.9
	専修学校・短大・高専	841 100.0	23 2.7	6 0.7	95 11.3	227 27.0	14 1.7	0 0.0	68 8.1	28 3.3
	大学・大学院	576 100.0	13 2.3	15 2.6	52 9.0	114 19.8	4 0.7	0 0.0	28 4.9	15 2.6

最終学歴別に、現在の勤務先の従業員規模をみると、他と比較して「中学・高校」は「50人以下」（50.4%）の割合が高く、「大学・大学院」は「1,001人以上」（15.3%）の割合が高い傾向がみられる。

図表 106 最終学歴別 勤務先の従業員規模：単数回答（Q23）

		合計	Q23 勤務先の従業員規模						わからない
			50人以下	51人～100人	101人～300人	301人～500人	501人～1,000人	1,001人以上	
合計		2061 100.0	937 45.5	219 10.6	231 11.2	116 5.6	113 5.5	241 11.7	204 9.9
最終学歴	中学・高校	633 100.0	319 50.4	73 11.5	50 7.9	23 3.6	28 4.4	65 10.3	75 11.8
	専修学校・短大・高専	841 100.0	391 46.5	85 10.1	98 11.7	56 6.7	42 5.0	86 10.2	83 9.9
	大学・大学院	576 100.0	222 38.5	61 10.6	81 14.1	36 6.3	43 7.5	88 15.3	45 7.8

最終学歴別に、再就職した理由をみると、他と比較して「中学・高校」は「子どもの教育費や生活費がかかるなど、経済的理由のため」(85.8%)の割合が高い。一方「大学・大学院」は「社会との関わりを持ちたい、社会の役に立ちたいと思ったから」(46.2%)、「自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから」(21.9%)の割合が高く、経済的理由及び時間的余裕以外の理由も多くあげられている。

図表 107 最終学歴別 再就職した理由：複数回答 (Q28)

		合計	Q28 再就職した理由					その他
			子どもの教育費や生活費がかかるなど、経済的理由のため	社会との関わりを持ちたい、社会の役に立ちたいと思ったから	自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから	生活を充実させたり、変化をもたせたりしたいと思ったから	子育てが一段落し、時間の余裕ができたから	
全体		2061 100.0	1629 79.0	680 33.0	333 16.2	696 33.8	254 12.3	81 3.9
最終学歴	中学・高校	633 100.0	543 85.8	154 24.3	54 8.5	194 30.6	73 11.5	27 4.3
	専修学校・短大・高専	841 100.0	685 81.5	257 30.6	149 17.7	292 34.7	127 15.1	34 4.0
	大学・大学院	576 100.0	391 67.9	266 46.2	126 21.9	207 35.9	54 9.4	20 3.5

最終学歴別に、再就職先を決める際に重視したことをみると、他と比較して「大学・大学院」は「仕事の内容が希望に合っていること」(66.8%)、「やりがいや責任のある仕事ができること」(26.9%)の割合がやや高い傾向がみられる。また、「中学・高校」、「専修学校・短大・高専」は、「子どもが病気の際、看護休暇が取れること」(38.7%、38.2%)の割合が高い。

図表 108 最終学歴別 再就職先を決める際に重視したこと：複数回答 (Q29)

		合計	Q29 再就職先を決める際に重視したこと								
			仕事の内容が希望に合っていること	やりがいや責任のある仕事ができること	希望する雇用形態であること	希望する給与水準であること	残業がない、もしくは少ないこと	短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること	必要に応じて、仕事の時間帯を変えられること	半日や時間単位で有給休暇がとれること	子どもが病気の際、看護休暇が取れること
全体		2061 100.0	1294 62.8	469 22.8	1261 61.2	788 38.2	996 48.3	887 43.0	413 20.0	350 17.0	741 36.0
最終学歴	中学・高校	633 100.0	382 60.3	125 19.7	394 62.2	213 33.6	299 47.2	246 38.9	108 17.1	96 15.2	245 38.7
	専修学校・短大・高専	841 100.0	521 62.0	186 22.1	503 59.8	325 38.6	392 46.6	386 45.9	183 21.8	156 18.5	321 38.2
	大学・大学院	576 100.0	385 66.8	155 26.9	357 62.0	246 42.7	298 51.7	252 43.8	118 20.5	94 16.3	172 29.9

		合計	Q29 再就職先を決める際に重視したこと								
			子育て等生活時間に対して配慮する雰囲気があること	職場が自宅から近いこと	子どもを預ける場所が、職場の近くにあること	保育サービスの利用に対して経済的な支援があること	非正社員から、いずれ正社員に変わること	仕事のプランクに対する研修等の支援があること	両立支援の取組について表彰や認定を受けていること	その他	特にない、とにかく働ければよい
全体		2061 100.0	724 35.1	1104 53.6	353 17.1	80 3.9	174 8.4	66 3.2	37 1.8	11 0.5	54 2.6
最終学歴	中学・高校	633 100.0	208 32.9	351 55.5	118 18.6	19 3.0	49 7.7	15 2.4	10 1.6	3 0.5	22 3.5
	専修学校・短大・高専	841 100.0	313 37.2	462 54.9	154 18.3	32 3.8	79 9.4	27 3.2	18 2.1	6 0.7	21 2.5
	大学・大学院	576 100.0	197 34.2	285 49.5	79 13.7	26 4.5	46 8.0	24 4.2	9 1.6	2 0.3	10 1.7

③再就職後の働き方

出産・育児等を機に離職したことを後悔している人について、その理由をみると、他と比較して「大学・大学院」は、「キャリア形成が難しくなった」(26.5%)が多くあげられている。

図表 109 最終学歴別 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由：複数回答 (Q46)

		合計	Q46 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由							上記にはあてはまらない
			経済的に厳しくなった	再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなった	今後再就職しようとしても良い就職先がない	キャリア形成が難しくなった	生活に張り合いがない	離職を機に、家庭内での家事や育児の負担が多くなった	その他	
全体		506 100.0	290 57.3	175 34.6	152 30.0	91 18.0	54 10.7	55 10.9	23 4.5	32 6.3
最終学歴	中学・高校	133 100.0	78 58.6	45 33.8	43 32.3	14 10.5	12 9.0	9 6.8	8 6.0	11 8.3
	専修学校・短大・高専	218 100.0	131 60.1	73 33.5	63 28.9	36 16.5	25 11.5	30 13.8	11 5.0	11 5.0
	大学・大学院	151 100.0	79 52.3	56 37.1	46 30.5	40 26.5	15 9.9	16 10.6	4 2.6	10 6.6

最終学歴別に、最初の子どもを持つ前のキャリア意識をみると、他と比較して「大学・大学院」は「専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい」(22.2%)の割合が高い。一方、現在のキャリア意識については、あまり差は見られない。

図表 110 最終学歴別 キャリア意識_最初の子どもを持つ前：単数回答 (Q47)

		合計	Q47 キャリア意識_最初の子どもを持つ前					上記にはあてはまらない
			管理職に昇進したい	専門性(専門的な知識・技術など)を高めたい	やりがいのある仕事をしたい	色々な仕事を体験したい	仕事以外の生活を充実させたい	
全体		2061 100.0	115 5.6	345 16.7	688 33.4	174 8.4	416 20.2	323 15.7
最終学歴	中学・高校	633 100.0	27 4.3	59 9.3	214 33.8	69 10.9	145 22.9	119 18.8
	専修学校・短大・高専	841 100.0	33 3.9	155 18.4	278 33.1	64 7.6	165 19.6	146 17.4
	大学・大学院	576 100.0	55 9.5	128 22.2	193 33.5	40 6.9	103 17.9	57 9.9

図表 111 最終学歴別 キャリア意識_現在：単数回答 (Q47)

		合計	Q47 キャリア意識_現在					上記にはあてはまらない
			管理職に昇進したい	専門性(専門的な知識・技術など)を高めたい	やりがいのある仕事をしたい	色々な仕事を体験したい	仕事以外の生活を充実させたい	
全体		2061 100.0	57 2.8	222 10.8	527 25.6	91 4.4	750 36.4	414 20.1
最終学歴	中学・高校	633 100.0	18 2.8	45 7.1	155 24.5	30 4.7	248 39.2	137 21.6
	専修学校・短大・高専	841 100.0	15 1.8	95 11.3	220 26.2	36 4.3	288 34.2	187 22.2
	大学・大学院	576 100.0	22 3.8	81 14.1	151 26.2	25 4.3	208 36.1	89 15.5

2. ライフコース別

- 離職前の職種は、他と比較して、ずっと正社員（1年未満の離職）は「専門職・技術職」（32.9%）、ずっと正社員（1年以上の離職）は「経理」（12.5%）、ずっと非正社員は「販売」（11.6%）及び「サービス（調理、接客等）」（25.7%）の割合が高い。再就職後の職種についても、おおむね同様の傾向がみられる。
- 現在の勤務先の業種は、ずっと正社員（1年未満の離職）は、「医療・福祉」（35.6%）、ずっと非正社員は「卸売業、小売業」（19.5%）の割合が高い。
- ずっと正社員の方は、出産・育児等により離職した仕事が初職であった割合が約半数と高い。また、ずっと正社員（1年未満の離職）は、離職した当ても早い時期に再就職を希望し、自分のキャリアや能力を活かすことについて、「全く難しいと聞いていなかった」の割合が高い。
- ずっと非正社員は、現在の勤務先での勤続年数が「1年未満」「1年以上3年未満」の割合が高く、勤続年数が短い傾向がみられる。
- ずっと正社員（1年以上の離職）は、出産・育児等による離職を後悔している理由として、「キャリア形成が難しくなった」の割合が高くなっている。

(1) 属性

①現在の就業形態

ライフコース別に、現在の就業形態をみると、他と比較して「ずっと正社員（1年未満の離職）」、「ずっと正社員（1年以上の離職）」は「正社員（フルタイム）」（93.6%、94.7%）、「正社員から非正社員」、「ずっと非正社員」は「パート・アルバイト」（68.0%、92.4%）の割合が高い。ただし、「正社員から非正社員」には、再就職後正社員に転換した人等も含まれており、「正社員（フルタイム）」も22.1%と2割強を占めている。

図表 112 ライフコース別 現在の就業形態：単数回答（SQ2）

		合計	SQ2 現在の就業形態				
			正社員（フルタイム）	正社員（短時間）	パート・アルバイト	契約社員	嘱託社員
全体		2061	966	64	927	89	15
		100.0	46.9	3.1	45.0	4.3	0.7
ライフコース	ずっと正社員（1年未満の離職）	343	321	22	0	0	0
		100.0	93.6	6.4	0.0	0.0	0.0
	ずっと正社員（1年以上の離職）	321	304	17	0	0	0
		100.0	94.7	5.3	0.0	0.0	0.0
	正社員から非正社員	729	161	12	496	54	6
		100.0	22.1	1.6	68.0	7.4	0.8
ずっと非正社員	421	0	0	389	25	7	
	100.0	0.0	0.0	92.4	5.9	1.7	
その他	247	180	13	42	10	2	
	100.0	72.9	5.3	17.0	4.0	0.8	

注) ライフコースは、初職及び出産・育児等による離職後再就職時の就業形態をもとに、以下のように分類した。以下同様。

「ずっと正社員」：初職及び出産・育児等による離職後再就職時の就業形態が正社員の人。

「正社員から非正社員」：初職が正社員で、出産・育児等による離職後再就職時の就業形態が非正社員の人。

なお、雇用形態の転換等によって、その後正社員になった人も含む。

「ずっと非正社員」：初職及び出産・育児等による離職後再就職時の就業形態が非正社員の人。

「その他」：上記のいずれにも該当しない人。

②業種

ライフコース別に、業種をみると、他と比較して「ずっと正社員（1年未満の離職）」は「医療・福祉」（35.6%）、「ずっと非正社員」は「卸売業、小売業」（19.5%）の割合が高い。

図表 113 ライフコース別 業種：単数回答（SQ1）

		合計	SQ1 業種						
			建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業
全体		2061 100.0	158 7.7	221 10.7	39 1.9	38 1.8	67 3.3	270 13.1	107 5.2
ライフコース	ずっと正社員（1年未満の離職）	343 100.0	26 7.6	41 12.0	8 2.3	9 2.6	9 2.6	24 7.0	17 5.0
	ずっと正社員（1年以上の離職）	321 100.0	36 11.2	43 13.4	14 4.4	6 1.9	6 1.9	33 10.3	29 9.0
	正社員から非正社員	729 100.0	49 6.7	75 10.3	9 1.2	11 1.5	26 3.6	103 14.1	32 4.4
	ずっと非正社員	421 100.0	21 5.0	35 8.3	4 1.0	8 1.9	17 4.0	82 19.5	6 1.4
	その他	247 100.0	26 10.5	27 10.9	4 1.6	4 1.6	9 3.6	28 11.3	23 9.3

		合計							
			不動産業	飲食業	宿泊業	医療・福祉	教育、学習支援業	その他サービス業	その他
全体		2061 100.0	48 2.3	118 5.7	11 0.5	526 25.5	33 1.6	338 16.4	87 4.2
ライフコース	ずっと正社員（1年未満の離職）	343 100.0	7 2.0	3 0.9	1 0.3	122 35.6	1 0.3	66 19.2	9 2.6
	ずっと正社員（1年以上の離職）	321 100.0	14 4.4	3 0.9	3 0.9	86 26.8	1 0.3	41 12.8	6 1.9
	正社員から非正社員	729 100.0	10 1.4	56 7.7	3 0.4	186 25.5	19 2.6	118 16.2	32 4.4
	ずっと非正社員	421 100.0	10 2.4	51 12.1	3 0.7	74 17.6	9 2.1	74 17.6	27 6.4
	その他	247 100.0	7 2.8	5 2.0	1 0.4	58 23.5	3 1.2	39 15.8	13 5.3

(2) 出産・育児等を機に離職した仕事について

①離職した仕事について、初職かどうか

ライフコース別に、出産・育児等を機に離職した仕事が初職かどうかをみると、「ずっと正社員（1年以上の離職）」、「正社員から非正社員」は、「最初の仕事（初職）である」（51.1%、53.9%）の割合が高く、「ずっと非正社員」、「その他」は「最初の仕事（初職）ではない」（82.2%、71.3%）の割合が高い。

図表 114 ライフコース別 離職した仕事について、初職かどうか：単数回答（Q10）

		合計	Q10 離職した仕事について、初職かどうか	
			最初の仕事（初職）である	最初の仕事（初職）ではない
全体		2061 100.0	862 41.8	1199 58.2
ライフコース	ずっと正社員（1年未満の離職）	343 100.0	159 46.4	184 53.6
	ずっと正社員（1年以上の離職）	321 100.0	164 51.1	157 48.9
	正社員から非正社員	729 100.0	393 53.9	336 46.1
	ずっと非正社員	421 100.0	75 17.8	346 82.2
	その他	247 100.0	71 28.7	176 71.3

②直近の就職をする前の離職期間

ライフコース別に、直近の就職をする前の離職期間をみると、他と比較して「正社員から非正社員」は「5年以上」（22.4%）、「ずっと非正社員」は「1年以上3年未満」（42.3%）及び「5年以上」（23.0%）の割合が高い。

図表 115 ライフコース別 直近の就職をする前の離職期間：単数回答（SQ7）

		合計	SQ7 直近の就職をする前の離職期間					
			3か月未満	3か月以上半年未満	半年以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
全体		2061 100.0	373 18.1	115 5.6	200 9.7	627 30.4	414 20.1	332 16.1
ライフコース	ずっと正社員（1年未満の離職）	343 100.0	180 52.5	59 17.2	104 30.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ずっと正社員（1年以上の離職）	321 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	167 52.0	99 30.8	55 17.1
	正社員から非正社員	729 100.0	100 13.7	23 3.2	46 6.3	208 28.5	189 25.9	163 22.4
	ずっと非正社員	421 100.0	32 7.6	9 2.1	17 4.0	178 42.3	88 20.9	97 23.0
	その他	247 100.0	61 24.7	24 9.7	33 13.4	74 30.0	38 15.4	17 6.9

③職種

ライフコース別に、出産・育児等を機に離職した際の職種をみると、他と比較して「ずっと正社員（1年未満の離職）」は「専門職・技術職」（32.9%）、「ずっと正社員（1年以上の離職）」は「経理」（12.5%）、「ずっと非正社員」は「販売」（11.6%）及び「サービス（調理、接客等）」（25.7%）の割合が高い。

また、ずっと正社員同士で比較すると、離職期間が1年以上の方が、1年未満に比べて「その他一般事務」（16.8%）の割合が高い。

図表 116 ライフコース別 出産・育児等を機に離職した際の職種：単数回答（Q12）

		合計	Q12 出産・育児等を機に離職した際の職種								
			人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発
全体		2061 100.0	89 4.3	147 7.1	24 1.2	174 8.4	342 16.6	68 3.3	78 3.8	135 6.6	15 0.7
ライフコース	ずっと正社員（1年未満の離職）	343 100.0	21 6.1	26 7.6	7 2.0	30 8.7	36 10.5	16 4.7	11 3.2	14 4.1	8 2.3
	ずっと正社員（1年以上の離職）	321 100.0	25 7.8	40 12.5	5 1.6	26 8.1	54 16.8	14 4.4	9 2.8	15 4.7	1 0.3
	正社員から非正社員	729 100.0	33 4.5	57 7.8	5 0.7	68 9.3	132 18.1	29 4.0	35 4.8	40 5.5	6 0.8
	ずっと非正社員	421 100.0	7 1.7	9 2.1	4 1.0	25 5.9	74 17.6	3 0.7	14 3.3	49 11.6	0 0.0
	その他	247 100.0	3 1.2	15 6.1	3 1.2	25 10.1	46 18.6	6 2.4	9 3.6	17 6.9	0 0.0

		合計	生産工程・労務作業	情報システム	サービス（調理、接客等）	専門職・技術職	運輸	保安	その他	わからない
			全体	2061 100.0	49 2.4	44 2.1	253 12.3	448 21.7	12 0.6	1 0.3
ライフコース	ずっと正社員（1年未満の離職）	343 100.0	4 1.2	7 2.0	26 7.6	113 32.9	1 0.3	0 0.0	24 7.5	5 1.6
	ずっと正社員（1年以上の離職）	321 100.0	5 1.6	7 2.2	22 6.9	67 20.9	2 0.6	0 0.0	52 7.1	7 1.0
	正社員から非正社員	729 100.0	21 2.9	17 2.3	56 7.7	169 23.2	2 0.3	0 0.0	33 7.8	14 3.3
	ずっと非正社員	421 100.0	10 2.4	6 1.4	108 25.7	58 13.8	7 1.7	0 0.0	24 9.7	1 0.4
	その他	247 100.0	9 3.6	7 2.8	41 16.6	41 16.6	0 0.0	1 0.3	21 6.1	1 0.3

④出産・育児等を機に離職した理由

ライフコース別に、出産・育児等を機に離職した理由をみると、他と比較して「ずっと正社員（1年未満の離職）」、「正社員から非正社員」は「勤務時間が長い（残業など）・不規則など、時間的に両立が難しかった」（27.4%、28.4%）、「ずっと非正社員」は「家事・育児に専念するため、自発的にやめた」（60.6%）の割合が高い。

ずっと正社員同士で比較すると、離職期間が1年以上の方が、1年未満に比べて「家事・育児に専念するため、自発的にやめた」（49.8%）の割合が高い。

図表 117 ライフコース別 出産・育児等を機に離職した理由：複数回答（Q16）

		合計	Q16 出産・育児等を機に離職した理由					
			家事・育児に専念するため、自発的にやめた	配偶者・パートナーや、家族がやめることを希望した	配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった	保育園など子どもの預け先がなかった	家族の協力が得られなかった	職場の両立に対する理解や、両立支援制度が不十分だった
全体		2061 100.0	967 46.9	169 8.2	356 17.3	145 7.0	80 3.9	278 13.5
ライフコース	ずっと正社員（1年未満の離職）	343 100.0	99 28.9	36 10.5	72 21.0	24 7.0	13 3.8	52 15.2
	ずっと正社員（1年以上の離職）	321 100.0	160 49.8	22 6.9	65 20.2	16 5.0	9 2.8	37 11.5
	正社員から非正社員	729 100.0	336 46.1	62 8.5	144 19.8	44 6.0	32 4.4	127 17.4
	ずっと非正社員	421 100.0	255 60.6	26 6.2	33 7.8	43 10.2	14 3.3	30 7.1
	その他	247 100.0	117 47.4	23 9.3	42 17.0	18 7.3	12 4.9	32 13.0

		合計	Q16 出産・育児等を機に離職した理由					
			勤務時間が長い（残業など）・不規則など、時間的に両立が難しかった	自分や子どもの体調不良など、体力的に両立が難しかった	仕事にやりがいがあった（なくなりそうだった）	仕事を続けていても、将来的にキャリアの進展が見込めなそうだった	解雇された、もしくは退職勧奨された	その他
全体		2061 100.0	453 22.0	222 10.8	104 5.0	88 4.3	159 7.7	127 6.2
ライフコース	ずっと正社員（1年未満の離職）	343 100.0	94 27.4	38 11.1	21 6.1	18 5.2	20 5.8	21 6.1
	ずっと正社員（1年以上の離職）	321 100.0	63 19.6	29 9.0	11 3.4	9 2.8	21 6.5	14 4.4
	正社員から非正社員	729 100.0	207 28.4	72 9.9	44 6.0	39 5.3	65 8.9	35 4.8
	ずっと非正社員	421 100.0	52 12.4	56 13.3	14 3.3	11 2.6	34 8.1	35 8.3
	その他	247 100.0	37 15.0	27 10.9	14 5.7	11 4.5	19 7.7	22 8.9

⑤離職した当時の再就職についての意向

ライフコース別に、離職した当時の再就職についての意向をみると、他と比較して「ずっと正社員（1年未満の離職）」は「(仕事を辞めた後、) すぐにでも就業したいと思っていた」(52.2%)、「正社員から非正社員」は「特に時期を決めていないが、いずれ就業したいと思っていた」(48.1%)の割合が高い。

ずっと正社員同士で比較すると、離職期間が1年未満の方が、離職した当時においても早い時期に再就職を希望する傾向が強かったことがわかる。

図表 118 ライフコース別 離職した当時の再就職についての意向：単数回答 (Q17)

		合計	Q17 離職した当時の再就職についての意向				
			(仕事を辞めた後、) すぐにでも就業したいと思っていた	子ども(末子)がある程度の年齢になったら就業したいと思っていた	特に時期を決めていないが、いずれ就業したいと思っていた	再び就業するつもりはなかった	その他、わからない
全体		2061 100.0	550 26.7	492 23.9	887 43.0	99 4.8	33 1.6
ライフコース	ずっと正社員(1年未満の離職)	343 100.0	179 52.2	44 12.8	111 32.4	4 1.2	5 1.5
	ずっと正社員(1年以上の離職)	321 100.0	99 30.8	74 23.1	124 38.6	16 5.0	8 2.5
	正社員から非正社員	729 100.0	140 19.2	194 26.6	351 48.1	37 5.1	7 1.0
	ずっと非正社員	421 100.0	67 15.9	118 28.0	197 46.8	32 7.6	7 1.7
	その他	247 100.0	65 26.3	62 25.1	104 42.1	10 4.0	6 2.4

⑥再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて

ライフコース別に、再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて、どのように思っていたかをみると、他と比較して「ずっと正社員（1年未満の離職）」は「全く難しいと思っていなかった」（15.5%）の割合が高い。

ずっと正社員同士で比較すると、離職期間が1年以上の方が、「非常に難しいと思っていた」（19.0%）の割合が高い。

図表 119 ライフコース別 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて：単数回答 (Q18)

		合計	Q18 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて					特に思わなかった
			全く難しいと思っていなかった	あまり難しいとは思っていなかった	やや難しいと思っていた	非常に難しいと思っていた	その他	
全体		2061 100.0	179 8.7	567 27.5	757 36.7	362 17.6	2 0.1	194 9.4
ライフコース	ずっと正社員（1年未満の離職）	343 100.0	53 15.5	106 30.9	121 35.3	46 13.4	2 0.6	15 4.4
	ずっと正社員（1年以上の離職）	321 100.0	40 12.5	92 28.7	105 32.7	61 19.0	0 0.0	23 7.2
	正社員から非正社員	729 100.0	43 5.9	207 28.4	287 39.4	122 16.7	0 0.0	70 9.6
	ずっと非正社員	421 100.0	19 4.5	90 21.4	171 40.6	85 20.2	0 0.0	56 13.3
	その他	247 100.0	24 9.7	72 29.1	73 29.6	48 19.4	0 0.0	30 12.1

(3) 再就職の状況

①再就職後の職種

ライフコース別に、再就職後の職種をみると、他と比較して「ずっと正社員（1年未満の離職）」は「専門職・技術職」（28.6%）、「ずっと正社員（1年以上の離職）」は「人事・総務」（10.9%）及び「経理」（16.2%）、「ずっと非正社員」は「販売」（12.8%）及び「サービス（調理、接客等）」（22.3%）の割合が高い。

図表 120 ライフコース別 再就職後の職種：単数回答（Q20）

		合計	Q20 再就職後の職種								
			人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発
全体		2061 100.0	104 5.0	156 7.6	17 0.8	113 5.5	432 21.0	60 2.9	41 2.0	143 6.9	12 0.6
ライフコース	ずっと正社員（1年未満の離職）	343 100.0	34 9.9	37 10.8	7 2.0	29 8.5	65 19.0	13 3.8	4 1.2	6 1.7	9 2.6
	ずっと正社員（1年以上の離職）	321 100.0	35 10.9	52 16.2	4 1.2	21 6.5	75 23.4	16 5.0	2 0.6	8 2.5	0 0.0
	正社員から非正社員	729 100.0	16 2.2	32 4.4	3 0.4	34 4.7	168 23.0	11 1.5	22 3.0	66 9.1	3 0.4
	ずっと非正社員	421 100.0	7 1.7	13 3.1	1 0.2	10 2.4	71 16.9	2 0.5	8 1.9	54 12.8	0 0.0
	その他	247 100.0	12 4.9	22 8.9	2 0.8	19 7.7	53 21.5	18 7.3	5 2.0	9 3.6	0 0.0

		合計	生産工程・労務作業	情報システム	サービス（調理、接客等）	専門職・技術職	運輸	保安	その他	わからない
			全体	2061 100.0	72 3.5	23 1.1	253 12.3	392 19.0	31 1.5	0 0.0
ライフコース	ずっと正社員（1年未満の離職）	343 100.0	5 1.5	3 0.9	12 3.5	98 28.6	0 0.0	0 0.0	10 3.6	5 1.8
	ずっと正社員（1年以上の離職）	321 100.0	4 1.2	5 1.6	8 2.5	68 21.2	1 0.3	0 0.0	12 9.4	6 4.7
	正社員から非正社員	729 100.0	30 4.1	5 0.7	115 15.8	136 18.7	11 1.5	0 0.0	15 7.1	4 1.9
	ずっと非正社員	421 100.0	21 5.0	4 1.0	94 22.3	54 12.8	16 3.8	0 0.0	75 9.7	35 4.5
	その他	247 100.0	12 4.9	6 2.4	24 9.7	36 14.6	3 1.2	0 0.0	31 4.6	19 2.8

②再就職時の末子年齢

ライフコース別に、再就職時の末子年齢をみると、他と比較して「ずっと正社員（1年未満の離職）」は「0歳」（42.6%）の割合が高く、子どもが小さいうちに再就職している人が多い傾向がみられる。

図表 121 ライフコース別 再就職時の末子年齢：単数回答（Q25）

	合計	Q25 再就職時の末子年齢								
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳～ 小学校 就学前	小学1 年生～ 3年生	小学4 年生～ 6年生	中学生 以上	
全体	2061 100.0	474 23.0	459 22.3	273 13.2	231 11.2	289 14.0	220 10.7	113 5.5	2 0.1	
ライフコ ース	ずっと正社員（1年 未満の離職）	343 100.0	146 42.6	83 24.2	39 11.4	23 6.7	26 7.6	15 4.4	11 3.2	0 0.0
	ずっと正社員（1年 以上の離職）	321 100.0	69 21.5	82 25.5	43 13.4	39 12.1	43 13.4	31 9.7	13 4.0	1 0.3
	正社員から非正社員	729 100.0	138 18.9	136 18.7	94 12.9	95 13.0	123 16.9	88 12.1	54 7.4	1 0.1
	ずっと非正社員	421 100.0	58 13.8	94 22.3	66 15.7	47 11.2	69 16.4	62 14.7	25 5.9	0 0.0
	その他	247 100.0	63 25.5	64 25.9	31 12.6	27 10.9	28 11.3	24 9.7	10 4.0	0 0.0

③現在の勤務先での勤続年数

ライフコース別に、現在の勤務先での勤続年数をみると、再就職後の就業形態が正社員かつ離職期間が短い方が、「5年以上10年未満」、「10年以上15年未満」の割合が高く、勤続年数が長い傾向がみられる。

一方、「ずっと非正社員」は他と比較して「1年未満」（25.9%）及び「1年以上3年未満」（37.8%）の割合が高く、勤続年数が短い傾向がみられる。

図表 122 ライフコース別 現在の勤務先での勤続年数：単数回答（Q26）

	合計	Q26 現在の勤務先での勤続年数						
		1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	
全体	2061 100.0	382 18.5	643 31.2	412 20.0	478 23.2	130 6.3	16 0.8	
ライフコ ース	ずっと正社員（1年 未満の離職）	343 100.0	52 15.2	86 25.1	65 19.0	97 28.3	38 11.1	5 1.5
	ずっと正社員（1年 以上の離職）	321 100.0	35 10.9	86 26.8	77 24.0	86 26.8	32 10.0	5 1.6
	正社員から非正社員	729 100.0	135 18.5	243 33.3	155 21.3	161 22.1	29 4.0	6 0.8
	ずっと非正社員	421 100.0	109 25.9	159 37.8	79 18.8	67 15.9	7 1.7	0 0.0
	その他	247 100.0	51 20.6	69 27.9	36 14.6	67 27.1	24 9.7	0 0.0

(4) 再就職後の働き方

① 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔

ライフコース別に、出産・育児等を機に仕事を辞めたことを後悔しているかについて、ずっと正社員同士で比較すると、離職期間が1年未満の方が「やや後悔している」(20.7%)の割合が高く、1年以上の方が「まったく後悔していない」(36.4%)の割合が高い。

図表 123 ライフコース別 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔:単数回答(Q45)

		合計	Q45 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔				
			とても後悔している	やや後悔している	あまり後悔していない	まったく後悔していない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	156 7.6	350 17.0	629 30.5	758 36.8	168 8.2
ライフコース	ずっと正社員(1年未満の離職)	343 100.0	28 8.2	71 20.7	106 30.9	103 30.0	35 10.2
	ずっと正社員(1年以上の離職)	321 100.0	30 9.3	49 15.3	96 29.9	117 36.4	29 9.0
	正社員から非正社員	729 100.0	55 7.5	150 20.6	229 31.4	249 34.2	46 6.3
	ずっと非正社員	421 100.0	25 5.9	49 11.6	139 33.0	172 40.9	36 8.6
	その他	247 100.0	18 7.3	31 12.6	59 23.9	117 47.4	22 8.9

ライフコース別に、出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由をみると、「ずっと正社員(1年以上の離職)」は、「キャリア形成が難しくなった」(25.3%)の割合が高い。

図表 124 ライフコース別 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由:複数回答(Q46)

		合計	Q46 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由							
			経済的に厳しくなった	再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなった	今後再就職しようとしても良い就職先がない	キャリア形成が難しくなった	生活に張り合いがない	離職を機に、家庭内での家事や育児の負担が多くなった	その他	上記にはあてはまらない
全体		506 100.0	290 57.3	175 34.6	152 30.0	91 18.0	54 10.7	55 10.9	23 4.5	32 6.3
ライフコース	ずっと正社員(1年未満の離職)	99 100.0	56 56.6	37 37.4	28 28.3	20 20.2	9 9.1	7 7.1	6 6.1	5 5.1
	ずっと正社員(1年以上の離職)	79 100.0	45 57.0	29 36.7	22 27.8	20 25.3	9 11.4	7 8.9	4 5.1	5 6.3
	正社員から非正社員	205 100.0	119 58.0	70 34.1	70 34.1	37 18.0	20 9.8	27 13.2	7 3.4	14 6.8
	ずっと非正社員	74 100.0	44 59.5	22 29.7	23 31.1	9 12.2	9 12.2	6 8.1	1 1.4	5 6.8
	その他	49 100.0	26 53.1	17 34.7	9 18.4	5 10.2	7 14.3	8 16.3	5 10.2	3 6.1

3. 離職前の仕事のやりがい別

- 離職前にやりがいを感じていた人の仕事の状況（離職前）をみると、他と比較して、就業形態は「正社員（フルタイム）」（72.0%）、職種は「専門職・技術職」（24.7%）、企業規模は「1,001人以上」（17.0%）の割合が高い。
- 離職前にやりがいを感じていた人は、出産・育児等を機に離職した理由として、勤務時間の長さ（残業等）や、配偶者の転勤等が多くあげられている。一方、やりがいを感じていなかった人は、「仕事にやりがいなかった（なくなりそうだった）」の割合が16.5%と高い。
- 離職前にやりがいを感じていた人は、離職した当時、「（仕事を辞めた後、）すぐに就業したいと思っていた」など、早い時期に再就職を希望していた割合が高い。
- 離職前にやりがいを感じていた人は、再就職の理由として、「社会との関わりを持ちたい、社会の役に立ちたいと思ったから」（35.6%）、「自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから」（18.2%）、「生活を充実させたり、変化をもたせたりしたいと思ったから」（36.1%）など、経済的理由及び時間的余裕以外の理由も多くあげられている。また、実際に再就職先を決める際にも、仕事の内容や、やりがい・責任を重視する傾向が強い。
- 離職前にやりがいを感じていた人ほど、現在の仕事の満足度が高い傾向にある。
- 離職前にやりがいを感じていた人は、出産・育児等を機に仕事を辞めたことを後悔している人が多く、その理由として「経済的に厳しくなった」（58.5%）や、「再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなった」（36.5%）が多くあげられている。

(1) 属性

①現在の就業形態

離職前の仕事のやりがい別に、現在の就業形態をみると、他と比較して「どちらともいえない、わからない」は「非正社員（フルタイム）」（22.9%）の割合が高い。

図表 125 離職前の仕事のやりがい別 現在の就業形態：単数回答（SQ2）

		合計	SQ2 現在の就業形態		
			正社員	非正社員 (短時間)	非正社員 (フルタイム)
全体		2061	1030	742	289
		100.0	50.0	36.0	14.0
離職前の仕事の やりがい	やりがいを感じていた	1608	799	596	213
		100.0	49.7	37.1	13.2
	やりがいを感じていなかった	418	215	135	68
		100.0	51.4	32.3	16.3
	どちらともいえない、 わからない	35	16	11	8
		100.0	45.7	31.4	22.9

注)「やりがいを感じていた」は、「非常に感じていた」又は「ある程度感じていた」を選択した人。

「やりがいを感じていなかった」は「まったく感じていなかった」又は「あまり感じていなかった」を選択した人。以下同様。

②今後、子どもをもうける希望

離職前の仕事のやりがい別に、今後、子どもをもうける希望をみると、離職前にやりがいを感じていた方が、希望が「ある」割合が高い傾向がみられる。

図表 126 離職前の仕事のやりがい別 今後、子どもをもうける希望：単数回答（Q2）

		合計	Q2 今後、子どもをもうける希望	
			ない	ある
全体		2061	1450	611
		100.0	70.4	29.6
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608	1115	493
		100.0	69.3	30.7
	やりがいを感じていなかった	418	310	108
	100.0	74.2	25.8	
	どちらともいえない、わからない	35	25	10
		100.0	71.4	28.6

(2) 出産・育児等を機に離職した仕事について

①離職した仕事について、初職かどうか

離職前の仕事のやりがい別に、出産・育児等を機に離職した仕事が初職かどうかをみると、離職前にやりがいを感じていた方が、「最初の仕事（初職）である」の割合が高い傾向にある。

図表 127 離職前の仕事のやりがい別 離職した仕事について、初職かどうか：単数回答（Q10）

		合計	Q10 離職した仕事について、初職かどうか	
			最初の仕事（初職）である	最初の仕事（初職）ではない
全体		2061	862	1199
		100.0	41.8	58.2
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608	710	898
		100.0	44.2	55.8
	やりがいを感じていなかった	418	148	270
	100.0	35.4	64.6	
	どちらともいえない、わからない	35	4	31
		100.0	11.4	88.6

②就業形態

離職前の仕事のやりがい別に、出産・育児等を機に離職した際の就業形態をみると、離職前にやりがいを感じていた方が、「正社員（フルタイム）」の割合が高く、「やりがいを感じていた」では72.0%となっている。

一方、「やりがいを感じていなかった」、「どちらともいえない、わからない」は「パート・アルバイト」（24.9%、42.9%）の割合が高い。

図表 128 離職前の仕事のやりがい別 出産・育児等を機に離職した際の就業形態：単数回答(Q11)

		合計	Q11 出産・育児等を機に離職した際の就業形態								
			正社員(フルタイム)	正社員(短時間)	パート・アルバイト	契約社員	嘱託社員	派遣社員	内職	起業・自営・家族従業	その他
全体		2061 100.0	1427 69.2	20 1.0	385 18.7	107 5.2	17 0.8	91 4.4	0 0.0	12 0.6	2 0.1
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	1158 72.0	15 0.9	266 16.5	79 4.9	13 0.8	65 4.0	0 0.0	10 0.6	2 0.1
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	253 60.5	4 1.0	104 24.9	26 6.2	4 1.0	26 6.2	0 0.0	1 0.2	0 0.0
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	16 45.7	1 2.9	15 42.9	2 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0

③職種

離職前の仕事のやりがい別に、出産・育児等を機に離職した際の職種をみると、他と比較して「やりがいを感じていた」は「専門職・技術職」(24.7%)、「やりがいを感じていなかった」は「その他一般事務」(21.3%)の割合が高い。

図表 129 離職前の仕事のやりがい別 出産・育児等を機に離職した際の職種：単数回答(Q12)

		合計	Q12 出産・育児等を機に離職した際の職種								
			人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発
全体		2061 100.0	89 4.3	147 7.1	24 1.2	174 8.4	342 16.6	68 3.3	78 3.8	135 6.6	15 0.7
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	71 4.4	113 7.0	21 1.3	134 8.3	248 15.4	44 2.7	61 3.8	87 5.4	12 0.7
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	18 4.3	30 7.2	2 0.5	37 8.9	89 21.3	21 5.0	16 3.8	44 10.5	3 0.7
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	0 0.0	4 11.4	1 2.9	3 8.6	5 14.3	3 8.6	1 2.9	4 11.4	0 0.0

		合計	Q12 出産・育児等を機に離職した際の職種							わからない
			生産工程・労務作業	情報システム	サービス(調理、接客等)	専門職・技術職	運輸	保安	その他	
全体		2061 100.0	49 2.4	44 2.1	253 12.3	448 21.7	12 0.6	1 0.0	154 7.5	28 1.4
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	34 2.1	35 2.2	192 11.9	397 24.7	10 0.6	1 0.1	128 8.0	20 1.2
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	14 3.3	7 1.7	55 13.2	50 12.0	2 0.5	0 0.0	24 5.7	6 1.4
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	1 2.9	2 5.7	6 17.1	1 2.9	0 0.0	0 0.0	2 5.7	2 5.7

④従業員規模

離職前の仕事のやりがい別に、離職した勤務先の従業員規模をみると、他と比較して「やりがいを感じていた」は「1,001人以上」(17.0%)、「やりがいを感じていなかった」は「50人以下」(38.8%)、「どちらともいえない、わからない」は「50人以下」(48.6%)、「わからない」(31.4%)の割合が高い。

図表 130 離職前の仕事のやりがい別 出産・育児等を機に離職した勤務先の従業員規模：
単数回答 (Q14)

		合計	Q14 出産・育児等を機に離職した勤務先の従業員規模						
			50人以下	51人～100人	101人～300人	301人～500人	501人～1,000人	1,001人以上	わからない
全体		2061 100.0	706 34.3	251 12.2	269 13.1	137 6.6	152 7.4	324 15.7	222 10.8
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	527 32.8	192 11.9	209 13.0	111 6.9	136 8.5	274 17.0	159 9.9
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	162 38.8	58 13.9	57 13.6	26 6.2	16 3.8	47 11.2	52 12.4
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	17 48.6	1 2.9	3 8.6	0 0.0	0 0.0	3 8.6	11 31.4

⑤出産・育児等を機に離職した理由

離職前の仕事のやりがい別に、出産・育児等を機に離職した理由をみると、他と比較して「やりがいを感じていなかった」は「仕事にやりがいがあった（なくなりそうだった）」（16.5%）の割合が高く、仕事にやりがいがあったことが、離職した理由の一つであったことがわかる。

一方、「離職前にやりがいを感じていた」は、「勤務時間が長い（残業など）・不規則など、時間的に両立が難しかった」（23.9%）及び「配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった」（18.7%）の割合が高い傾向がみられる。

図表 131 離職前の仕事のやりがい別 出産・育児等を機に離職した理由：複数回答（Q16）

		合計	Q16 出産・育児等を機に離職した理由					職場の両立に対する理解や、両立支援制度が不十分だった
			家事・育児に専念するため、自発的にやめた	配偶者・パートナーや、家族がやめることを希望した	配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった	保育園など子どもの預け先がなかった	家族の協力が得られなかった	
全体		2061 100.0	967 46.9	169 8.2	356 17.3	145 7.0	80 3.9	278 13.5
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	744 46.3	143 8.9	301 18.7	112 7.0	64 4.0	226 14.1
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	207 49.5	25 6.0	53 12.7	31 7.4	15 3.6	50 12.0
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	16 45.7	1 2.9	2 5.7	2 5.7	1 2.9	2 5.7

		合計	Q16 出産・育児等を機に離職した理由					その他
			勤務時間が長い（残業など）・不規則など、時間的に両立が難しかった	自分や子どもの体調不良など、体力的に両立が難しかった	仕事にやりがいがあった（なくなりそうだった）	仕事を続けていても、将来的にキャリアの進展が見込めなそうだった	解雇された、もしくは退職勧奨された	
全体		2061 100.0	453 22.0	222 10.8	104 5.0	88 4.3	159 7.7	127 6.2
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	384 23.9	175 10.9	33 2.1	51 3.2	118 7.3	31 7.1
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	66 15.8	42 10.0	69 16.5	36 8.6	37 8.9	4 4.3
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	3 8.6	5 14.3	2 5.7	1 2.9	4 11.4	3 8.6

⑥離職した当時の再就職についての意向

離職前の仕事のやりがい別に、離職した当時の再就職についての意向をみると、他と比較して「やりがいを感じていた」は「(仕事を辞めた後、) すぐにでも就業したいと思っていた」(27.7%)、「子ども(末子)がある程度の年齢になったら就業したいと思っていた」(24.9%)の割合が高い傾向にある。また、「どちらともいえない、わからない」は「特に時期を決めていないが、いずれ就業したいと思っていた」(48.6%)及び「その他、わからない」(11.4%)の割合が高い。

離職前にやりがいを感じていたほど、離職した当時においても、早い時期に再就職を希望する意向が強い傾向がみられる。

図表 132 離職前の仕事のやりがい別 離職した当時の再就職についての意向：単数回答 (Q17)

		合計	Q17 離職した当時の再就職についての意向				
			(仕事を辞めた後、) すぐにでも就業したいと思っていた	子ども(末子)がある程度の年齢になったら就業したいと思っていた	特に時期を決めていないが、いずれ就業したいと思っていた	再び就業するつもりはなかった	その他、わからない
全体		2061 100.0	550 26.7	492 23.9	887 43.0	99 4.8	33 1.6
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	446 27.7	401 24.9	675 42.0	66 4.1	20 1.2
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	97 23.2	85 20.3	195 46.7	32 7.7	9 2.2
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	7 20.0	6 17.1	17 48.6	1 2.9	4 11.4

⑦再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて

離職前の仕事のやりがい別に、再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて、どのように思っていたかをみると、他と比較して「やりがいを感じていた」は「あまり難しいとは思っていませんでした」(29.9%)、「やりがいを感じていなかった」、「どちらともいえない、わからない」は「特に思わなかった」(15.8%、42.9%)の割合が高い。

図表 133 離職前の仕事のやりがい別 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて：単数回答 (Q18)

		合計	Q18 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて					特に思わなかった
			全く難しいと思っていなかった	あまり難しいとは思っていませんでした	やや難しいと思っていた	非常に難しいと思っていた	その他	
全体		2061 100.0	179 8.7	567 27.5	757 36.7	362 17.6	2 0.1	194 9.4
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	143 8.9	481 29.9	603 37.5	268 16.7	0 0.0	113 7.0
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	34 8.1	81 19.4	148 35.4	87 20.8	2 0.5	66 15.8
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	2 5.7	5 14.3	6 17.1	7 20.0	0 0.0	15 42.9

(3) 再就職の状況

①再就職した理由

離職前の仕事のやりがい別に、再就職した理由をみると、他と比較して「やりがいを感じていた」は「社会との関わりを持ちたい、社会の役に立ちたいと思ったから」(35.6%)、「自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから」(18.2%)、「生活を充実させたり、変化をもたせたりしたいと思ったから」(36.1%)の割合が高く、経済的理由及び時間的余裕以外の理由も多くあげられている。

図表 134 離職前の仕事のやりがい別 再就職した理由：複数回答 (Q28)

		合計	Q28 再就職した理由					その他
			子どもの教育費や生活費がかかるなど、経済的理由のため	社会との関わりを持ちたい、社会の役に立ちたいと思ったから	自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから	生活を充実させたり、変化をもたせたりしたいと思ったから	子育てが一段落し、時間の余裕ができたから	
全体		2061 100.0	1629 79.0	680 33.0	333 16.2	696 33.8	254 12.3	81 3.9
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	1272 79.1	573 35.6	293 18.2	580 36.1	209 13.0	56 3.5
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	332 79.4	101 24.2	39 9.3	108 25.8	40 9.6	23 5.5
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	25 71.4	6 17.1	1 2.9	8 22.9	5 14.3	2 5.7

②再就職先を決める際に重視したこと等

離職前の仕事のやりがい別に、再就職先を決める際に重視したことをみると、他と比較して「やりがいを感じていた」は「仕事の内容が希望に合っていること」(64.9%)、「やりがいや責任のある仕事ができること」(23.9%)、「短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること」(44.4%)、「どちらともいえない、わからない」は「特にない、とにかく働ければよい」(14.3%)の割合が高い。

図表 135 離職前の仕事のやりがい別 再就職先を決める際に重視したこと：複数回答 (Q29)

		合計	Q29 再就職先を決める際に重視したこと								
			仕事の内容が希望に合っていること	やりがいや責任のある仕事ができること	希望する雇用形態であること	希望する給与水準であること	残業がない、もしくは少ないこと	短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること	必要に応じて、仕事の時間帯を変えられること	半日や時間単位で有給休暇がとれること	子どもが病気の際、看護休暇が取れること
全体		2061 100.0	1294 62.8	469 22.8	1261 61.2	788 38.2	996 48.3	887 43.0	413 20.0	350 17.0	741 36.0
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	1043 64.9	385 23.9	1003 62.4	631 39.2	792 49.3	714 44.4	330 20.5	289 18.0	593 36.9
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	236 56.5	76 18.2	242 57.9	145 34.7	190 45.5	160 38.3	79 18.9	58 13.9	140 33.5
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	15 42.9	8 22.9	16 45.7	12 34.3	14 40.0	13 37.1	4 11.4	3 8.6	8 22.9

		合計	Q29 再就職先を決める際に重視したこと								
			子育て等生活時間に対して配慮する雰囲気があること	職場が自宅から近いこと	子どもを預ける場所が、職場の近くにあること	保育サービスの利用に対して経済的な支援があること	非正社員から、いずれ正社員に変わること	仕事のプランクに対する研修等の支援があること	両立支援の取組について表彰や認定を受けていること	その他	特にない、とにかく働ければよい
全体		2061 100.0	724 35.1	1104 53.6	353 17.1	80 3.9	174 8.4	66 3.2	37 1.8	11 0.5	54 2.6
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	574 35.7	872 54.2	280 17.4	63 3.9	144 9.0	55 3.4	31 1.9	10 0.6	36 2.2
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	142 34.0	218 52.2	70 16.7	17 4.1	28 6.7	11 2.6	6 1.4	1 0.2	13 3.1
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	8 22.9	14 40.0	3 8.6	0 0.0	2 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 14.3

再就職先を決める際に重視したことのうち、実際に希望通りになったことについても、他と比較して「やりがいを感じていた」は「仕事の内容が希望に合っていること」(42.4%)や「短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること」(32.4%)、「どちらともいえない、わからない」は「特にない、とにかく働ければよい」(14.3%)の割合が高い。

図表 136 離職前の仕事のやりがい別 再就職先を決める際に重視した事のうち、実際に希望通りになったこと：複数回答 (Q29)

		合計	Q29 再就職先を決める際に重視した事のうち、実際に希望通りになったこと								
			仕事の内容が希望に合っていること	やりがいや責任のある仕事ができること	希望する雇用形態であること	希望する給与水準であること	残業がない、もしくは少ないこと	短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること	必要に応じて、仕事の時間帯を変えられること	半日や時間単位で有給休暇がとれること	子どもが病気の際、看護休暇が取れること
全体		2061 100.0	842 40.9	260 12.6	895 43.4	385 18.7	695 33.7	646 31.3	274 13.3	234 11.4	514 24.9
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	682 42.4	211 13.1	713 44.3	309 19.2	554 34.5	521 32.4	216 13.4	193 12.0	400 24.9
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	152 36.4	44 10.5	172 41.1	68 16.3	133 31.8	115 27.5	55 13.2	40 9.6	107 25.6
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	8 22.9	5 14.3	10 28.6	8 22.9	8 22.9	10 28.6	3 8.6	1 2.9	7 20.0

		合計	Q29 再就職先を決める際に重視した事のうち、実際に希望通りになったこと								
			子育て等生活時間に対して配慮する雰囲気があること	職場が自宅から近いこと	子どもを預ける場所が、職場の近くにあること	保育サービスの利用に対して経済的な支援があること	非正社員から、いずれ正社員に変わること	仕事のブランクに対する研修等の支援があること	両立支援の取組について表彰や認定を受けていること	その他	特にない、とにかく働ければよい
全体		2061 100.0	492 23.9	857 41.6	256 12.4	38 1.8	84 4.1	32 1.6	11 0.5	10 0.5	80 3.9
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	394 24.5	677 42.1	210 13.1	31 1.9	66 4.1	26 1.6	8 0.5	9 0.6	54 3.4
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	94 22.5	169 40.4	44 10.5	7 1.7	16 3.8	6 1.4	3 0.7	1 0.2	21 5.0
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	4 11.4	11 31.4	2 5.7	0 0.0	2 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 14.3

(4) 再就職後の働き方

①再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴

離職前の仕事のやりがい別に、再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴をみると、「①従業員の生活やキャリア形成に配慮した業務配分をしている」、「③業務量や重要な仕事特定の人の偏らないよう配慮している」、「⑤上司は、仕事と育児の両立に理解がある」、「⑥同僚は、仕事と育児の両立に理解がある」、「⑧子育てと両立しながら働いている女性が多い」について、他と比較して「やりがいを感じていた」は「あてはまる」、「どちらかというにあてはまる」、「やりがいを感じていなかった」は「あてはまらない」、「どちらかというにあてはまらない」、「どちらともいえない、わからない」は「どちらともいえない」の割合が高い。

離職前にやりがいを感じていた方が、そうでない場合に比べて、現在の職場の両立環境も良好であるという傾向がみられる。

図表 137 離職前の仕事のやりがい別 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴：
単数回答 (Q43)

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_①従業員の生活やキャリア形成に配慮した業務配分をしている				
			あてはまる	どちらかというにあてはまる	どちらかというにあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	198 9.6	690 33.5	434 21.1	455 22.1	284 13.8
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	162 10.1	570 35.4	339 21.1	336 20.9	201 12.5
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	33 7.9	115 27.5	91 21.8	110 26.3	69 16.5
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	3 8.6	5 14.3	4 11.4	9 25.7	14 40.0

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_③業務量や重要な仕事特定の人の偏らないよう配慮している				
			あてはまる	どちらかというにあてはまる	どちらかというにあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	183 8.9	618 30.0	550 26.7	439 21.3	271 13.1
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	144 9.0	502 31.2	428 26.6	329 20.5	205 12.7
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	35 8.4	112 26.8	114 27.3	104 24.9	53 12.7
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	4 11.4	4 11.4	8 22.9	6 17.1	13 37.1

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_⑤上司は、仕事と育児の両立に理解がある				
			あてはまる	どちらかというとはまる	どちらかというとはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	563 27.3	798 38.7	302 14.7	241 11.7	157 7.6
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	449 27.9	645 40.1	226 14.1	173 10.8	115 7.2
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	105 25.1	144 34.4	72 17.2	64 15.3	33 7.9
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	9 25.7	9 25.7	4 11.4	4 11.4	9 25.7

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_⑥同僚は、仕事と育児の両立に理解がある				
			あてはまる	どちらかというとはまる	どちらかというとはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	658 31.9	834 40.5	270 13.1	152 7.4	147 7.1
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	525 32.6	679 42.2	191 11.9	111 6.9	102 6.3
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	125 29.9	142 34.0	75 17.9	38 9.1	38 9.1
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	8 22.9	13 37.1	4 11.4	3 8.6	7 20.0

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_⑧子育てと両立しながら働いている女性が多い				
			あてはまる	どちらかというとはまる	どちらかというとはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	638 31.0	643 31.2	278 13.5	341 16.5	161 7.8
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	522 32.5	511 31.8	201 12.5	252 15.7	122 7.6
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	109 26.1	125 29.9	72 17.2	82 19.6	30 7.2
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	7 20.0	7 20.0	5 14.3	7 20.0	9 25.7

②現在の仕事の満足度

離職前の仕事のやりがい別に、現在の仕事の満足度をみると、離職前にやりがいを感じていた方が、現在の仕事の満足度も高い傾向がみられる。

図表 138 離職前の仕事のやりがい別 現在の仕事の満足度：単数回答（Q44）

		合計	Q44 現在の仕事の満足度				
			満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	353 17.1	1170 56.8	327 15.9	152 7.4	59 2.9
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	289 18.0	944 58.7	227 14.1	110 6.8	38 2.4
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	56 13.4	211 50.5	96 23.0	39 9.3	16 3.8
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	8 22.9	15 42.9	4 11.4	3 8.6	5 14.3

③出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔

離職前の仕事のやりがい別に、出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔をみると、やりがいを感じていたほど、後悔している割合が高い傾向にあり、「やりがいを感じていた」では「とても後悔している」（9.0%）及び「やや後悔している」（18.7%）を合わせて、3割弱が後悔している。一方、「やりがいを感じていなかった」では「まったく後悔していない」が47.6%と半数弱を占めている。

図表 139 離職前の仕事のやりがい別 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔：単数回答（Q45）

		合計	Q45 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔				
			とても後悔している	やや後悔している	あまり後悔していない	まったく後悔していない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	156 7.6	350 17.0	629 30.5	758 36.8	168 8.2
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	145 9.0	301 18.7	502 31.2	545 33.9	115 7.2
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	9 2.2	46 11.0	119 28.5	199 47.6	45 10.8
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	2 5.7	3 8.6	8 22.9	14 40.0	8 22.9

出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由をみると、離職前にやりがいを感じていた方が、そうでない場合に比べて、「経済的に厳しくなった」(58.5%)や「再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなった」(36.5%)の割合が高い傾向がみられる。一方、「やりがいを感じていなかった」は「生活に張り合いがなくなった」(16.4%)の割合が高い。

図表 140 離職前の仕事のやりがい別 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由：
複数回答 (Q46)

		合計	Q46 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由							上記にはあてはまらない
			経済的に厳しくなった	再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなった	今後再就職しようとしても良い就職先がない	キャリア形成が難しくなった	生活に張り合いがない	離職を機に、家庭内での家事や育児の負担が多くなった	その他	
全体		506 100.0	290 57.3	175 34.6	152 30.0	91 18.0	54 10.7	55 10.9	23 4.5	32 6.3
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	446 100.0	261 58.5	163 36.5	134 30.0	81 18.2	45 10.1	48 10.8	18 4.0	27 6.1
	やりがいを感じていなかった	55 100.0	26 47.3	10 18.2	15 27.3	10 18.2	9 16.4	7 12.7	5 9.1	5 9.1
	どちらともいえない、わからない	5 100.0	3 60.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

注)「どちらともいえない、わからない」はサンプル数が10以下と少ないため、留意が必要である。

④キャリア意識

離職前の仕事のやりがい別に、最初の子どもを持つ前のキャリア意識をみると、他と比較して「やりがいを感じていた」は「専門性(専門的な知識・技術など)を高めたい」(18.8%)、「やりがいのある仕事をしたい」(34.7%)、「やりがいを感じていなかった」は「仕事以外の生活を充実させたい」(23.7%)、「どちらともいえない、わからない」は「上記にはあてはまらない」(51.4%)の割合が高い。

図表 141 離職前の仕事のやりがい別 キャリア意識_最初の子どもを持つ前：単数回答 (Q47)

		合計	Q47 キャリア意識_最初の子どもを持つ前					上記にはあてはまらない
			管理職に昇進したい	専門性(専門的な知識・技術など)を高めたい	やりがいのある仕事をしたい	色々な仕事を体験したい	仕事以外の生活を充実させたい	
全体		2061 100.0	115 5.6	345 16.7	688 33.4	174 8.4	416 20.2	323 15.7
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	90 5.6	302 18.8	558 34.7	132 8.2	313 19.5	213 13.2
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	24 5.7	41 9.8	121 28.9	41 9.8	99 23.7	92 22.0
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	1 2.9	2 5.7	9 25.7	1 2.9	4 11.4	18 51.4

現在のキャリア意識をみると、他と比較して「やりがいを感じていなかった」、「どちらともいえない、わからない」は「上記にはあてはまらない」(27.0%、48.6%)の割合が高い。

図表 142 離職前の仕事のやりがい別 キャリア意識_現在：単数回答 (Q47)

		合計	Q47 キャリア意識_現在					上記にはあてはまらない
			管理職に昇進したい	専門性(専門的な知識・技術などを高めたい)	やりがいのある仕事をしたい	色々な仕事を体験したい	仕事以外の生活を充実させたい	
全体		2061 100.0	57 2.8	222 10.8	527 25.6	91 4.4	750 36.4	414 20.1
離職前の仕事のやりがい	やりがいを感じていた	1608 100.0	49 3.0	172 10.7	427 26.6	72 4.5	604 37.6	284 17.7
	やりがいを感じていなかった	418 100.0	8 1.9	49 11.7	94 22.5	18 4.3	136 32.5	113 27.0
	どちらともいえない、わからない	35 100.0	0 0.0	1 2.9	6 17.1	1 2.9	10 28.6	17 48.6

4. 再就職後の職種別

- 現在の就業形態は、他と比較して、人事総務・経理・企画広報及び専門職・技術職は「正社員（フルタイム）」（76.5%、54.1%）の割合が高く、販売・サービスは「パート・アルバイト」（77.3%）の割合が高い。
- 人事総務・経理・企画広報は、勤務先の業種は「建設業」（13.0%）、「その他サービス業」（23.8%）、最終学歴は「大学」（33.2%）の割合が高い。
- 専門職・技術職は、勤務先の業種は「医療・福祉」（81.1%）、最終学歴は「専修学校（専門課程）」（41.6%）の割合が高い。
- 販売・サービスは、勤務先の業種は「卸売業、小売業」（29.0%）、「飲食業」「その他サービス業」（それぞれ23.0%）、最終学歴は「高校」（37.4%）の割合が高い。
- 出産・育児等を機に離職する前と再就職後で、職種は変わらない人が多い傾向にあるが、特に専門職・技術職において、その傾向が強い。
- 専門職・技術職は、出産・育児等により離職した理由として、配偶者の転勤等が多くあげられている。また、離職した当時、再就職の際に自分の能力やキャリアを活かすことを難しくないと考えていた人が多い。
- 再就職した理由は、販売・サービスは「子育てが一段落し、時間の余裕ができたから」（20.5%）、専門職・技術職は「自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから」（36.5%）の割合が高い。専門職・技術職は、再就職先を決める際も、仕事内容ややりがい・責任、給与水準等を重視する傾向がみられる。
- 再就職活動での苦労は、その他一般事務は「なかなか採用されないなど、再就職活動での精神的な負担が大きい」（27.5%）、専門職・技術職は「特にない」（37.0%）の割合が高い。
- 求職活動中に利用した機関・情報サービスは、人事総務・経理・企画広報及びその他一般事務は「ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口」がそれぞれ6割強、販売・サービスは「新聞の折り込みチラシ、新聞の求人欄」「求人情報誌、就職情報誌」がそれぞれ3～5割、専門職・技術職は「人材バンク」が約1割と多い。
- 専門職・技術職は、最初の子どもを持つ前のキャリア意識は「専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい」（39.5%）が高いが、現在のキャリア意識の割合は約半分まで減少している。また、その他一般事務の現在のキャリア意識は、「仕事以外の生活を充実させたい」（41.4%）の割合が高い。

(1) 属性

①現在の就業形態

再就職後の職種別に、現在の就業形態をみると、「人事総務・経理・企画広報」、「専門職・技術職」は「正社員（フルタイム）」（76.5%、54.1%）、「販売・サービス」は「パート・アルバイト」（77.3%）の割合が高い。

図表 143 再就職後の職種別 現在の就業形態：単数回答（SQ2）

		合計	SQ2 現在の就業形態				
			正社員(フルタイム)	正社員(短時間)	パート・アルバイト	契約社員	嘱託社員
全体		2061 100.0	966 46.9	64 3.1	927 45.0	89 4.3	15 0.7
再就職後の 職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	212 76.5	9 3.2	51 18.4	3 1.1	2 0.7
	その他一般事務	432 100.0	208 48.1	23 5.3	172 39.8	28 6.5	1 0.2
	販売・サービス	396 100.0	76 19.2	4 1.0	306 77.3	8 2.0	2 0.5
	専門職・技術職	392 100.0	212 54.1	15 3.8	139 35.5	21 5.4	5 1.3
	その他	564 100.0	258 45.7	13 2.3	259 45.9	29 5.1	5 0.9

注)「その他」は、「人事総務・経理・企画広報」、「その他一般事務」、「販売・サービス」、「専門職・技術職」以外の職種。以下同様。

②職種（専門職・技術職の具体的な内容）

再就職後の職種が「専門職・技術職」の人について、その具体的な内容をみると、「看護職」が41.3%で最も多く、次いで「その他」が39.0%、「介護職」が12.8%となっている。

図表 144 再就職後の職種別 専門職・技術職の具体的な内容：単数回答（Q21）

		合計	Q21 専門職・技術職の具体的な職種				
			介護職	保育士	看護職	教職	その他
再就職後の 職種	専門職・技術職	392	50	24	162	3	153
		100.0	12.8	6.1	41.3	0.8	39.0

③業種

再就職後の職種別に、業種をみると、他と比較して「人事総務・経理・企画広報」は「建設業」(20.2%)及び「その他サービス業」(23.8%)、「その他一般事務」は「建設業」(13.0%)、「販売・サービス」は「卸売業、小売業」(29.0%)、「飲食業」(23.0%)、「その他サービス業」(23.0%)、「専門職・技術職」は「医療・福祉」(81.1%)、「その他」は「製造業」(16.1%)の割合が高い。

図表 145 再就職後の職種別 業種：単数回答 (SQ1)

		合計	SQ1 業種						
			建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業
全体		2061 100.0	158 7.7	221 10.7	39 1.9	38 1.8	67 3.3	270 13.1	107 5.2
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	56 20.2	40 14.4	17 6.1	5 1.8	7 2.5	23 8.3	10 3.6
	その他一般事務	432 100.0	56 13.0	55 12.7	13 3.0	13 3.0	18 4.2	63 14.6	32 7.4
	販売・サービス	396 100.0	5 1.3	20 5.1	1 0.3	2 0.5	7 1.8	115 29.0	8 2.0
	専門職・技術職	392 100.0	7 1.8	15 3.8	0 0.0	3 0.8	2 0.5	4 1.0	0 0.0
	その他	564 100.0	34 6.0	91 16.1	8 1.4	15 2.7	33 5.9	65 11.5	57 10.1

		合計	SQ1 業種						
			不動産業	飲食業	宿泊業	医療・福祉	教育、学習支援業	その他サービス業	その他
全体		2061 100.0	48 2.3	118 5.7	11 0.5	526 25.5	33 1.6	338 16.4	87 4.2
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	14 5.1	1 0.4	2 0.7	25 9.0	2 0.7	66 23.8	9 3.2
	その他一般事務	432 100.0	17 3.9	11 2.5	2 0.5	50 11.6	4 0.9	81 18.8	17 3.9
	販売・サービス	396 100.0	0 0.0	91 23.0	5 1.3	39 9.8	2 0.5	91 23.0	10 2.5
	専門職・技術職	392 100.0	2 0.5	2 0.5	0 0.0	318 81.1	13 3.3	21 5.4	5 1.3
	その他	564 100.0	15 2.7	13 2.3	2 0.4	94 16.7	12 2.1	79 14.0	46 8.2

④子どもの人数

再就職後の職種別に、子どもの人数をみると、他と比較して「人事総務・経理・企画広報」は「1人」(40.8%)、「販売・サービス」は「2人」(52.8%)、「専門職・技術職」は「3人」(21.9%)の割合が高い。

図表 146 再就職後の職種別 子どもの人数：単数回答 (SQ4)

		合計	SQ4 子どもの人数			
			1人	2人	3人	4人以上
全体		2061 100.0	713 34.6	962 46.7	327 15.9	59 2.9
再就職 後の職 種	人事総務・経理・企画 広報	277 100.0	113 40.8	114 41.2	40 14.4	10 3.6
	その他一般事務	432 100.0	159 36.8	208 48.1	56 13.0	9 2.1
	販売・サービス	396 100.0	124 31.3	209 52.8	53 13.4	10 2.5
	専門職・技術職	392 100.0	126 32.1	168 42.9	86 21.9	12 3.1
	その他	564 100.0	191 33.9	263 46.6	92 16.3	18 3.2

⑤子ども（末子）の年齢

再就職後の職種別に、子ども（末子）の年齢をみると、他と比較して「専門職・技術職」は「0歳」(13.9%)の割合が高い。

図表 147 再就職後の職種別 子ども（末子）の年齢：単数回答 (SQ5)

		合計	SQ5 子ども（末子）の年齢						
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳～小 学校就学 前	小学1年 生～3年 生	小学4年 生～6年 生
全体		2061 100.0	113 8.4	94 7.0	116 8.6	119 8.8	300 22.3	310 23.0	296 22.0
再就職 後の職 種	人事総務・経 理・企画広報	277 100.0	14 8.5	15 9.1	11 6.7	13 7.9	32 19.5	44 26.8	35 21.3
	その他一般事 務	432 100.0	15 5.5	20 7.3	18 6.6	27 9.9	62 22.7	59 21.6	72 26.4
	販売・サービ ス	396 100.0	17 6.3	13 4.8	20 7.4	22 8.1	69 25.4	66 24.3	65 23.9
	専門職・技術 職	392 100.0	37 13.9	19 7.1	31 11.7	29 10.9	56 21.1	53 19.9	41 15.4
	その他	564 100.0	30 8.0	27 7.2	36 9.7	28 7.5	81 21.7	88 23.6	83 22.3

⑥最終学歴

再就職後の職種別に、最終学歴をみると、他と比較して「人事総務・経理・企画広報」は「大学」(33.2%)、「販売・サービス」は「高校」(37.4%)、「専門職・技術職」は「専修学校(専門課程)」(41.6%)の割合が高い。

図表 148 再就職後の職種別 最終学歴：単数回答 (Q7)

		合計	Q7 最終学歴						その他
			中学	高校	専修学校 (専門課程)	短大・高専	大学	大学院	
全体		2061 100.0	33 1.6	600 29.1	413 20.0	428 20.8	539 26.2	37 1.8	11 0.5
再就職 後の職 種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	3 1.1	84 30.3	36 13.0	53 19.1	92 33.2	7 2.5	2 0.7
	その他一般事務	432 100.0	2 0.5	136 31.5	56 13.0	106 24.5	127 29.4	4 0.9	1 0.2
	販売・サービス	396 100.0	16 4.0	148 37.4	72 18.2	75 18.9	83 21.0	1 0.3	1 0.3
	専門職・技術職	392 100.0	0 0.0	47 12.0	163 41.6	64 16.3	101 25.8	13 3.3	4 1.0
	その他	564 100.0	12 2.1	185 32.8	86 15.2	130 23.0	136 24.1	12 2.1	3 0.5

(2) 出産・育児等を機に離職した仕事について

①職種

再就職後の職種別に、出産・育児等を機に離職した際の職種をみると、他と比較して「人事総務・経理・企画広報」は「人事・総務」(17.3%)及び「経理」(29.6%)、「その他一般事務」は「その他一般事務」(42.4%)、「販売・サービス」は「販売」(18.7%)及び「サービス(調理、接客等)」(31.1%)、「専門職・技術職」は「専門職・技術職」(84.2%)、「その他」は「その他」(15.6%)の割合が高い。

いずれの職種も、離職前と再就職後の職種が同じ傾向がみられるが、特に「専門職・技術職」でその傾向が強い。

図表 149 再就職後の職種別 出産・育児等を機に離職した際の職種：単数回答 (Q12)

	合計	Q12 出産・育児等を機に離職した際の職種									
		人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発	
全体	2061 100.0	89 4.3	147 7.1	24 1.2	174 8.4	342 16.6	68 3.3	78 3.8	135 6.6	15 0.7	
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	48 17.3	82 29.6	14 5.1	23 8.3	31 11.2	10 3.6	9 3.2	2 0.7	0 0.0
	その他一般事務	432 100.0	13 3.0	28 6.5	6 1.4	40 9.3	183 42.4	12 2.8	22 5.1	23 5.3	1 0.2
	販売・サービス	396 100.0	14 3.5	9 2.3	0 0.0	30 7.6	58 14.6	12 3.0	20 5.1	74 18.7	1 0.3
	専門職・技術職	392 100.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	7 1.8	6 1.5	2 0.5	1 0.3	5 1.3	1 0.3
	その他	564 100.0	14 2.5	27 4.8	4 0.7	74 13.1	64 11.3	32 5.7	26 4.6	31 5.5	12 2.1

	合計									
		生産工程・労務作業	情報システム	サービス(調理、接客等)	専門職・技術職	運輸	保安	その他	わからない	
全体	2061 100.0	49 2.4	44 2.1	253 12.3	448 21.7	12 0.6	1 0.0	154 7.5	28 1.4	
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	3 1.1	3 1.1	23 8.3	18 6.5	1 0.4	0 0.0	10 3.6	0 0.0
	その他一般事務	432 100.0	6 1.4	12 2.8	31 7.2	29 6.7	0 0.0	0 0.0	24 5.6	2 0.5
	販売・サービス	396 100.0	11 2.8	2 0.5	123 31.1	23 5.8	0 0.0	0 0.0	16 4.0	3 0.8
	専門職・技術職	392 100.0	1 0.3	1 0.3	17 4.3	330 84.2	0 0.0	0 0.0	16 4.1	4 1.0
	その他	564 100.0	28 5.0	26 4.6	59 10.5	48 8.5	11 2.0	1 0.2	88 15.6	19 3.4

②出産・育児等を機に離職した理由

再就職後の職種別に、出産・育児等を機に離職した理由をみると、他と比較して「販売・サービス」は「家事・育児に専念するため、自発的にやめた」(57.1%)、「専門職・技術職」は「配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった」(24.0%)の割合が高い。

図表 150 再就職後の職種別 出産・育児等を機に離職した理由：複数回答 (Q16)

		合計	Q16 出産・育児等を機に離職した理由					職場の両立に対する理解や、両立支援制度が不十分だった
			家事・育児に専念するため、自発的にやめた	配偶者・パートナーや、家族がやめることを希望した	配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった	保育園など子どもの預け先がなかった	家族の協力が得られなかった	
全体		2061 100.0	967 46.9	169 8.2	356 17.3	145 7.0	80 3.9	278 13.5
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	118 42.6	23 8.3	42 15.2	22 7.9	9 3.2	44 15.9
	その他一般事務	432 100.0	188 43.5	46 10.6	78 18.1	28 6.5	19 4.4	61 14.1
	販売・サービス	396 100.0	226 57.1	33 8.3	56 14.1	33 8.3	11 2.8	49 12.4
	専門職・技術職	392 100.0	174 44.4	23 5.9	94 24.0	24 6.1	16 4.1	53 13.5
	その他	564 100.0	261 46.3	44 7.8	86 15.2	38 6.7	25 4.4	71 12.6

		合計	Q16 出産・育児等を機に離職した理由					その他
			勤務時間が長い(残業など)・不規則など、時間的に両立が難しかった	自分や子どもの体調不良など、体力的に両立が難しかった	仕事にやりがいなかった(なくなりそうだった)	仕事を続けていても、将来的にキャリアの進展が見込めなそうだった	解雇された、もしくは退職勧奨された	
全体		2061 100.0	453 22.0	222 10.8	104 5.0	88 4.3	159 7.7	127 6.2
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	60 21.7	24 8.7	13 4.7	10 3.6	29 10.5	16 5.8
	その他一般事務	432 100.0	94 21.8	46 10.6	26 6.0	25 5.8	41 9.5	19 4.4
	販売・サービス	396 100.0	76 19.2	36 9.1	21 5.3	14 3.5	21 5.3	25 6.3
	専門職・技術職	392 100.0	98 25.0	43 11.0	17 4.3	10 2.6	30 7.7	19 4.8
	その他	564 100.0	125 22.2	73 12.9	27 4.8	29 5.1	38 6.7	48 8.5

③再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて

再就職後の職種別に、再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて、どのように思っていたかをみると、他と比較して「専門職・技術職」は「全く難しいと思っていなかった」(17.9%)及び「あまり難しいとは思っていなかった」(42.3%)の割合が高く、両者をあわせると、約6割は難しいと思っていなかったことがわかる。

一方、「販売・サービス」は「やや難しいと思っていた」(43.7%)及び「特に思わなかった」(14.4%)の割合が高い。

図表 151 再就職後の職種別 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて：
単数回答 (Q18)

		合計	Q18 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて					特に思わなかった
			全く難しいと思っていなかった	あまり難しいとは思っていなかった	やや難しいと思っていた	非常に難しいと思っていた	その他	
全体		2061 100.0	179 8.7	567 27.5	757 36.7	362 17.6	2 0.1	194 9.4
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	23 8.3	70 25.3	108 39.0	52 18.8	1 0.4	23 8.3
	その他一般事務	432 100.0	30 6.9	112 25.9	172 39.8	96 22.2	1 0.2	21 4.9
	販売・サービス	396 100.0	22 5.6	81 20.5	173 43.7	63 15.9	0 0.0	57 14.4
	専門職・技術職	392 100.0	70 17.9	166 42.3	115 29.3	24 6.1	0 0.0	17 4.3
	その他	564 100.0	34 6.0	138 24.5	189 33.5	127 22.5	0 0.0	76 13.5

(3) 再就職の状況

①再就職活動中に希望していた職種

再就職後の職種別に、再就職活動中に希望していた職種をみると、他と比較して「人事総務・経理・企画広報」は「人事・総務」(30.3%)及び「経理」(41.2%)、「その他一般事務」は「その他一般事務」(86.6%)、「販売・サービス」は「販売」(22.0%)及び「サービス(調理、接客等)」(44.2%)、「専門職・技術職」は「専門職・技術職」(96.4%)、「その他」は「その他」(16.0%)及び「わからない」(19.3%)の割合が高い。

いずれの職種も、再就職後の職種と同じ職種を希望していた傾向がみられるが、「専門職・技術職」や「その他一般事務」で、特にその傾向が強い。

図表 152 再就職後の職種別 再就職活動中に希望していた職種：単数回答 (Q20)

	合計	Q20 再就職活動中に希望していた職種									
		人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発	
全体	2061 100.0	100 4.9	142 6.9	18 0.9	96 4.7	569 27.6	24 1.2	29 1.4	102 4.9	11 0.5	
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	84 30.3	114 41.2	14 5.1	5 1.8	36 13.0	0 0.0	2 0.7	2 0.7	0 0.0
	その他一般事務	432 100.0	4 0.9	11 2.5	1 0.2	6 1.4	374 86.6	1 0.2	2 0.5	4 0.9	1 0.2
	販売・サービス	396 100.0	4 1.0	2 0.5	1 0.3	4 1.0	68 17.2	1 0.3	5 1.3	87 22.0	0 0.0
	専門職・技術職	392 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	8 2.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0
	その他	564 100.0	8 1.4	15 2.7	2 0.4	80 14.2	83 14.7	22 3.9	20 3.5	8 1.4	10 1.8

	合計									
		生産工程・労務作業	情報システム	サービス(調理、接客等)	専門職・技術職	運輸	保安	その他	わからない	
全体	2061 100.0	54 2.6	22 1.1	211 10.2	406 19.7	15 0.7	0 0.0	101 4.9	161 7.8	
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	0 0.0	1 0.4	7 2.5	2 0.7	0 0.0	0 0.0	1 0.4	9 3.2
	その他一般事務	432 100.0	1 0.2	1 0.2	5 1.2	7 1.6	0 0.0	0 0.0	6 1.4	8 1.9
	販売・サービス	396 100.0	4 1.0	0 0.0	175 44.2	6 1.5	1 0.3	0 0.0	4 1.0	34 8.6
	専門職・技術職	392 100.0	1 0.3	1 0.3	1 0.3	378 96.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3
	その他	564 100.0	48 8.5	19 3.4	23 4.1	13 2.3	14 2.5	0 0.0	90 16.0	109 19.3

②現在の勤務先での勤続年数

再就職後の職種別に、現在の勤務先での勤続年数をみると、他と比較して「人事総務・経理・企画広報」は「10年以上15年未満」（13.4％）の割合が高く、勤続年数が高い傾向がみられる。

一方、「販売・サービス」は「1年未満」（25.0％）及び「1年以上3年未満」（36.4％）の割合が高く、勤続年数が短い傾向がみられる。

図表 153 再就職後の職種別 現在の勤務先での勤続年数：単数回答（Q26）

		合計	Q26 現在の勤務先での勤続年数					
			1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上
全体		2061 100.0	382 18.5	643 31.2	412 20.0	478 23.2	130 6.3	16 0.8
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	31 11.2	71 25.6	58 20.9	76 27.4	37 13.4	4 1.4
	その他一般事務	432 100.0	78 18.1	126 29.2	89 20.6	107 24.8	30 6.9	2 0.5
	販売・サービス	396 100.0	99 25.0	144 36.4	69 17.4	71 17.9	12 3.0	1 0.3
	専門職・技術職	392 100.0	76 19.4	120 30.6	76 19.4	95 24.2	21 5.4	4 1.0
	その他	564 100.0	98 17.4	182 32.3	120 21.3	129 22.9	30 5.3	5 0.9

③再就職した理由

再就職後の職種別に、再就職した理由をみると、他と比較して「販売・サービス」は「子育てが一段落し、時間の余裕ができたから」（20.5％）、「専門職・技術職」は「自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから」（36.5％）の割合が高い。

図表 154 再就職後の職種別 再就職した理由：複数回答（Q28）

		合計	Q28 再就職した理由					その他
			子どもの教育費や生活費がかかるなど、経済的理由のため	社会との関わりを持ちたい、社会の役に立ちたいと思ったから	自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから	生活を充実させたり、変化をもたせたりしたいと思ったから	子育てが一段落し、時間の余裕ができたから	
全体		2061 100.0	1629 79.0	680 33.0	333 16.2	696 33.8	254 12.3	81 3.9
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	195 70.4	95 34.3	41 14.8	86 31.0	19 6.9	17 6.1
	その他一般事務	432 100.0	352 81.5	151 35.0	42 9.7	148 34.3	47 10.9	16 3.7
	販売・サービス	396 100.0	332 83.8	102 25.8	32 8.1	125 31.6	81 20.5	16 4.0
	専門職・技術職	392 100.0	302 77.0	147 37.5	143 36.5	150 38.3	30 7.7	7 1.8
	その他	564 100.0	448 79.4	185 32.8	75 13.3	187 33.2	77 13.7	25 4.4

④再就職先を決める際に重視したこと等

再就職後の職種別に、再就職先を決める際に重視したことをみると、他と比較して「人事総務・経理・企画広報」、「その他一般事務」は「残業がない、もしくは少ないこと」(54.5%、54.4%)、「販売・サービス」は「短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること」(60.9%)及び「職場が自宅から近いこと」(61.1%)の割合が高い。

また、「専門職・技術職」は「仕事の内容が希望に合っていること」(71.2%)、「やりがいや責任のある仕事ができること」(31.1%)、「希望する給与水準であること」(44.6%)、「子どもを預ける場所が、職場の近くにあること」(22.2%)の割合が高く、仕事内容や、やりがいや責任があることを重視する傾向が強い。

図表 155 再就職後の職種別 再就職先を決める際に重視したこと：複数回答 (Q29)

		合計	Q29 再就職先を決める際に重視したこと								
			仕事の内容が希望に合っていること	やりがいや責任のある仕事ができること	希望する雇用形態であること	希望する給与水準であること	残業がない、もしくは少ないこと	短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること	必要に応じて、仕事の時間帯を変えられること	半日や時間単位で有給休暇がとれること	子どもが病気の際、看護休暇が取れること
全体		2061 100.0	1294 62.8	469 22.8	1261 61.2	788 38.2	996 48.3	887 43.0	413 20.0	350 17.0	741 36.0
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	185 66.8	63 22.7	164 59.2	111 40.1	151 54.5	72 26.0	42 15.2	46 16.6	92 33.2
	その他一般事務	432 100.0	262 60.6	77 17.8	268 62.0	167 38.7	235 54.4	171 39.6	76 17.6	89 20.6	170 39.4
	販売・サービス	396 100.0	220 55.6	74 18.7	233 58.8	133 33.6	151 38.1	241 60.9	96 24.2	28 7.1	133 33.6
	専門職・技術職	392 100.0	279 71.2	122 31.1	252 64.3	175 44.6	199 50.8	169 43.1	74 18.9	80 20.4	143 36.5
	その他	564 100.0	348 61.7	133 23.6	344 61.0	202 35.8	260 46.1	234 41.5	125 22.2	107 19.0	203 36.0

		合計	Q29 再就職先を決める際に重視したこと								
			子育て等生活時間に対して配慮する雰囲気があること	職場が自宅から近いこと	子どもを預ける場所が、職場の近くにあること	保育サービスの利用に対して経済的な支援があること	非正社員から、いづれ正社員に変われること	仕事のブランクに対する研修等の支援があること	両立支援の取組について表彰や認定を受けていること	その他	特にない、とにかく働ければよい
全体		2061 100.0	724 35.1	1104 53.6	353 17.1	80 3.9	174 8.4	66 3.2	37 1.8	11 0.5	54 2.6
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	79 28.5	127 45.8	47 17.0	8 2.9	26 9.4	9 3.2	7 2.5	2 0.7	7 2.5
	その他一般事務	432 100.0	160 37.0	244 56.5	62 14.4	11 2.5	41 9.5	10 2.3	7 1.6	2 0.5	11 2.5
	販売・サービス	396 100.0	127 32.1	242 61.1	66 16.7	12 3.0	15 3.8	8 2.0	3 0.8	2 0.5	12 3.0
	専門職・技術職	392 100.0	150 38.3	189 48.2	87 22.2	21 5.4	40 10.2	22 5.6	10 2.6	3 0.8	7 1.8
	その他	564 100.0	208 36.9	302 53.5	91 16.1	28 5.0	52 9.2	17 3.0	10 1.8	2 0.4	17 3.0

⑤求職活動中に利用した機関や情報サービス

再就職後の職種別に、求職活動中に利用した機関や情報サービスをみると、他と比較して「人事総務・経理・企画広報」、「その他一般事務」は「ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口」(60.3%、61.1%)、「販売・サービス」は「新聞の折り込みチラシ、新聞の求人欄」(48.2%)及び「求人情報誌、就職関連雑誌」(35.9%)、「専門職・技術職」は「人材バンク」(10.2%)の割合が高い。

図表 156 再就職後の職種別 求職活動中に利用した機関や情報サービス：複数回答 (Q31)

		合計	Q31 再就職に向けた求職活動中に利用した機関や情報サービス						
			新聞の折り込みチラシ、新聞の求人欄	ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口	求人情報誌、就職関連雑誌	求人サイト、就職関連サイト	人材バンク	自治体の相談窓口	女性センターや男女共同参画センターの相談窓口
全体		2061 100.0	776 37.7	1093 53.0	566 27.5	707 34.3	97 4.7	19 0.9	17 0.8
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	94 33.9	167 60.3	63 22.7	90 32.5	18 6.5	6 2.2	4 1.4
	その他一般事務	432 100.0	169 39.1	264 61.1	122 28.2	145 33.6	12 2.8	3 0.7	4 0.9
	販売・サービス	396 100.0	191 48.2	149 37.6	142 35.9	140 35.4	7 1.8	1 0.3	3 0.8
	専門職・技術職	392 100.0	103 26.3	220 56.1	61 15.6	119 30.4	40 10.2	2 0.5	1 0.3
	その他	564 100.0	219 38.8	293 52.0	178 31.6	213 37.8	20 3.5	7 1.2	5 0.9

		合計	女性センターなどで自治体等が開催している就業や起業関連セミナー					再就職に向けた民間の講座、セミナー	NPO等の団体の相談窓口	企業の職場体験やインターンシップに参加	その他	特に利用したものはない
			女性センターなどで自治体等が開催している就業や起業関連セミナー	再就職に向けた民間の講座、セミナー	NPO等の団体の相談窓口	企業の職場体験やインターンシップに参加	その他					
全体		2061 100.0	17 0.8	18 0.9	7 0.3	5 0.2	41 2.0	361 17.5				
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	5 1.8	3 1.1	3 1.1	1 0.4	2 0.7	53 19.1				
	その他一般事務	432 100.0	5 1.2	7 1.6	1 0.2	0 0.0	4 0.9	66 15.3				
	販売・サービス	396 100.0	3 0.8	1 0.3	0 0.0	0 0.0	11 2.8	57 14.4				
	専門職・技術職	392 100.0	2 0.5	1 0.3	2 0.5	3 0.8	13 3.3	82 20.9				
	その他	564 100.0	2 0.4	6 1.1	1 0.2	1 0.2	11 2.0	103 18.3				

⑥再就職活動で苦労した事

再就職後の職種別に、再就職活動で苦労した事をみると、他と比較して「その他一般事務」は「なかなか採用されないなど、再就職活動での精神的な負担感が大きい」(27.5%)の割合が高い一方、「専門職・技術職」は「特にない」(37.0%)の割合が高い。

図表 157 再就職後の職種別 再就職活動で苦労した事：複数回答 (Q36)

		合計	Q36 再就職活動で苦労したこと						
			仕事探しの時間を十分にとれない	相談や面接時に、子どもの面倒をみてくれる人がいない	なかなか採用されないなど、再就職活動での精神的な負担感が大きい	子どもが小さいため、家族などの支援体制がないと断られてしまう	ブランクがあるため、断られてしまう	希望する条件に合う仕事が見つからない	再就職に必要な資格や技術・技能がない
全体		2061 100.0	344 16.7	455 22.1	419 20.3	633 30.7	153 7.4	644 31.2	249 12.1
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	54 19.5	67 24.2	67 24.2	95 34.3	19 6.9	74 26.7	32 11.6
	その他一般事務	432 100.0	78 18.1	93 21.5	119 27.5	144 33.3	50 11.6	144 33.3	70 16.2
	販売・サービス	396 100.0	46 11.6	88 22.2	77 19.4	130 32.8	24 6.1	137 34.6	51 12.9
	専門職・技術職	392 100.0	51 13.0	78 19.9	29 7.4	97 24.7	17 4.3	107 27.3	17 4.3
	その他	564 100.0	115 20.4	129 22.9	127 22.5	167 29.6	43 7.6	182 32.3	79 14.0

		合計	再就職活動で苦労した事						
			自分の経験や能力を活かせる仕事が見つからない	企業の両立支援の取組状況に関する情報がない	求職活動に必要な情報がどこにあるかわからない	起業やSOHO、テレワークの立ち上げや経営のノウハウがない	働くことについて、配偶者・パートナーや家族の理解が得られない	その他	特にない
全体		2061 100.0	169 8.2	54 2.6	42 2.0	18 0.9	60 2.9	26 1.3	589 28.6
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	22 7.9	12 4.3	5 1.8	4 1.4	6 2.2	5 1.8	75 27.1
	その他一般事務	432 100.0	41 9.5	12 2.8	8 1.9	3 0.7	6 1.4	5 1.2	97 22.5
	販売・サービス	396 100.0	34 8.6	6 1.5	5 1.3	3 0.8	9 2.3	5 1.3	108 27.3
	専門職・技術職	392 100.0	15 3.8	7 1.8	11 2.8	2 0.5	17 4.3	3 0.8	145 37.0
	その他	564 100.0	57 10.1	17 3.0	13 2.3	6 1.1	22 3.9	8 1.4	164 29.1

(4) 再就職後の働き方

①再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴

再就職後の職種別に、再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴をみると、「⑧子育てと両立しながら働いている女性が多い」については、他と比較して「人事総務・経理・企画広報」は「あてはまらない」(24.5%)、「その他一般事務」は「どちらともいえない」(13.2%)、「専門職・技術職」は「あてはまる」(40.8%)の割合が高い。

「⑨ロールモデルがいる」についても概ね同様の傾向であり、他と比較して「人事総務・経理・企画広報」は「あてはまらない」(37.2%)、「販売・サービス」は「どちらともいえない」(39.9%)、「専門職・技術職」は「どちらかというにあてはまる」(15.1%)の割合が高い。

図表 158 再就職後の職種別 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴:単数回答(Q43)

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_⑧子育てと両立しながら働いている女性が多い				
			あてはまる	どちらかというにあてはまる	どちらかというにあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	638 31.0	643 31.2	278 13.5	341 16.5	161 7.8
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	53 19.1	79 28.5	47 17.0	68 24.5	30 10.8
	その他一般事務	432 100.0	97 22.5	127 29.4	68 15.7	83 19.2	57 13.2
	販売・サービス	396 100.0	134 33.8	130 32.8	58 14.6	54 13.6	20 5.1
	専門職・技術職	392 100.0	160 40.8	130 33.2	37 9.4	45 11.5	20 5.1
	その他	564 100.0	194 34.4	177 31.4	68 12.1	91 16.1	34 6.0

		合計	Q43 再就職先の仕事や職場の家庭との両立に関する特徴_⑨ロールモデルがいる				
			あてはまる	どちらかというにあてはまる	どちらかというにあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	73 3.5	208 10.1	458 22.2	624 30.3	698 33.9
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	16 5.8	35 12.6	56 20.2	103 37.2	67 24.2
	その他一般事務	432 100.0	16 3.7	32 7.4	83 19.2	148 34.3	153 35.4
	販売・サービス	396 100.0	4 1.0	29 7.3	88 22.2	117 29.5	158 39.9
	専門職・技術職	392 100.0	15 3.8	59 15.1	102 26.0	89 22.7	127 32.4
	その他	564 100.0	22 3.9	53 9.4	129 22.9	167 29.6	193 34.2

②キャリア意識

再就職後の職種別に、最初の子どもを持つ前のキャリア意識をみると、他と比較して「専門職・技術職」は「専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい」（39.5%）、「販売・サービス」は「上記にはあてはまらない」（21.2%）の割合が高い。

図表 159 再就職後の職種別 キャリア意識_最初の子どもを持つ前：単数回答（Q47）

		合計	Q47 キャリア意識_最初の子どもを持つ前					
			管理職に昇進したい	専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい	やりがいのある仕事をしたい	色々な仕事を体験したい	仕事以外の生活を充実させたい	上記にはあてはまらない
全体		2061 100.0	115 5.6	345 16.7	688 33.4	174 8.4	416 20.2	323 15.7
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	21 7.6	39 14.1	95 34.3	19 6.9	58 20.9	45 16.2
	その他一般事務	432 100.0	23 5.3	45 10.4	152 35.2	43 10.0	105 24.3	64 14.8
	販売・サービス	396 100.0	19 4.8	35 8.8	132 33.3	36 9.1	90 22.7	84 21.2
	専門職・技術職	392 100.0	17 4.3	155 39.5	100 25.5	25 6.4	57 14.5	38 9.7
	その他	564 100.0	35 6.2	71 12.6	209 37.1	51 9.0	106 18.8	92 16.3

現在のキャリア意識をみると、他と比較して「その他一般事務」は「仕事以外の生活を充実させた」（41.4%）の割合が高い。

「専門職・技術職」は「専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい」（18.9%）の割合が高いが、最初の子どもを持つ前と比べると、その割合は約半分にまで減少している。

図表 160 再就職後の職種別 キャリア形成に対する意識_現在：単数回答（Q47）

		合計	Q47 キャリア意識_現在					
			管理職に昇進したい	専門性（専門的な知識・技術など）を高めたい	やりがいのある仕事をしたい	色々な仕事を体験したい	仕事以外の生活を充実させたい	上記にはあてはまらない
全体		2061 100.0	57 2.8	222 10.8	527 25.6	91 4.4	750 36.4	414 20.1
再就職後の職種	人事総務・経理・企画広報	277 100.0	15 5.4	21 7.6	76 27.4	7 2.5	101 36.5	57 20.6
	その他一般事務	432 100.0	12 2.8	32 7.4	105 24.3	26 6.0	179 41.4	78 18.1
	販売・サービス	396 100.0	6 1.5	36 9.1	96 24.2	18 4.5	144 36.4	96 24.2
	専門職・技術職	392 100.0	6 1.5	74 18.9	90 23.0	19 4.8	148 37.8	55 14.0
	その他	564 100.0	18 3.2	59 10.5	160 28.4	21 3.7	178 31.6	128 22.7

5. 雇用形態変更（非正社員から正社員、パート・アルバイトから契約社員等）についての希望・経験別の希望・経験別

- 転換を希望し、実際に転換した人は、他と比較して、最終学歴は「大学」（34.5%）、出産・育児等を機に離職した際の就業形態は「正社員（フルタイム）」（80.8%）、離職前に仕事のやりがいを「非常に感じていた」（27.0%）の割合が高い。また、再就職先を決める際、仕事内容ややりがい・責任を重視する傾向がみられる。
- 再就職後の職種は、自分の希望ではないが転換した人は「経理」（13.3%）、転換を希望しているが、転換したことはない人は「その他一般事務」（30.7%）の割合が高い。
- 転換した人（自分の希望ではなかった人も含む）は、離職した当ても「（仕事を辞めた後、）すぐにでも就業したいと思っていた」の割合が3～4割と高く、早い時期に再就職を希望していた人が多い。また、現在の勤務先での勤続年数も長い傾向にある。
- 転換の希望はなく、転換もしていない人以外は、再就職先を決める際に「非正社員から、いずれ正社員に変われること」を重視する傾向にあり、再就職後に雇用形態の転換ができる可能性を、求職活動中から考慮していたことがうかがえる。
- 転換を希望し、実際に転換した人は、再雇用制度の利用割合が高く、再雇用制度を利用して非正社員として再就職し、その後正社員に転換した人が一定程度いることがうかがえる。
- 同じ転換経験者でも、希望通りに転換した人は、現在の仕事に「満足している」割合が25.3%と高いが、希望ではなかったが転換した人は同11.7%にとどまっている。また、転換を希望しているが、転換したことはない人も、現在の仕事の満足度が低い傾向にあり、出産・育児等により離職したことを後悔している（とても後悔している」と「やや後悔している」の合計）割合は、39.6%を占めている。

(1) 属性

①最終学歴

非正社員から正社員、パート・アルバイトから契約社員等の雇用形態変更についての希望・経験別に、最終学歴をみると、他と比較して「転換を希望し、転換した」は「大学」（34.5%）、「希望はなく、転換もしていない」は「高校」（34.4%）の割合が高い。

図表 161 雇用形態変更の希望・経験別 最終学歴：単数回答（Q7）

		合計	Q7 最終学歴						
			中学	高校	専修学校 (専門課程)	短大・高専	大学	大学院	その他
全体		2061 100.0	33 1.6	600 29.1	413 20.0	428 20.8	539 26.2	37 1.8	11 0.5
雇用形態 変更の希 望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	2 0.7	72 25.6	57 20.3	46 16.4	97 34.5	6 2.1	1 0.4
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	2 1.6	40 31.3	24 18.8	28 21.9	32 25.0	2 1.6	0 0.0
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	6 2.8	55 25.9	38 17.9	53 25.0	57 26.9	3 1.4	0 0.0
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	18 2.3	265 34.4	149 19.3	177 23.0	152 19.7	8 1.0	2 0.3
	もともと正社員で採用	669 100.0	5 0.7	168 25.1	145 21.7	124 18.5	201 30.0	18 2.7	8 1.2

(2) 出産・育児等を機に離職した仕事について

①就業形態

雇用形態変更についての希望・経験別に、出産・育児等を機に離職した際の就業形態をみると、「転換を希望し、転換した」、「もともと正社員で採用」は「正社員（フルタイム）」（80.8%、83.3%）、「希望はなく、転換もしていない」は「パート・アルバイト」（30.5%）の割合が高い。

図表 162 雇用形態変更の希望・経験別 出産・育児等を機に離職した際の就業形態：単数回答(Q11)

		合計	Q11 出産・育児等を機に離職した際の就業形態								
			正社員(フルタイム)	正社員(短時間)	パート・アルバイト	契約社員	嘱託社員	派遣社員	内職	起業・自営・家族従業	その他
全体		2061 100.0	1427 69.2	20 1.0	385 18.7	107 5.2	17 0.8	91 4.4	0 0.0	12 0.6	2 0.1
雇用形態変更の希望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	227 80.8	2 0.7	28 10.0	10 3.6	1 0.4	13 4.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	89 69.5	3 2.3	15 11.7	8 6.3	2 1.6	9 7.0	0 0.0	2 1.6	0 0.0
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	134 63.2	3 1.4	40 18.9	17 8.0	2 0.9	16 7.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	420 54.5	4 0.5	235 30.5	52 6.7	10 1.3	43 5.6	0 0.0	6 0.8	1 0.1
	もともと正社員で採用	669 100.0	557 83.3	8 1.2	67 10.0	20 3.0	2 0.3	10 1.5	0 0.0	4 0.6	1 0.1

②離職前の仕事のやりがい

雇用形態変更についての希望・経験別に、離職前の仕事のやりがいをみると、他と比較して「転換を希望し、転換した」は「非常に感じていた」（27.0%）、「自分の希望ではないが、転換した」は「あまり感じていなかった」（21.1%）の割合が高い。同じ転換経験者でも、転換を希望していた人の方が、離職前にやりがいを感じていた傾向がみられる。

図表 163 雇用形態変更の希望・経験別 離職前の仕事のやりがい：単数回答 (Q15)

		合計	Q15 離職前の仕事のやりがい				
			非常に感じていた	ある程度感じていた	あまり感じていなかった	まったく感じていなかった	どちらともいえない、わからない
全体		2061 100.0	439 21.3	1169 56.7	325 15.8	93 4.5	35 1.7
雇用形態変更の希望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	76 27.0	146 52.0	41 14.6	17 6.0	1 0.4
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	28 21.9	66 51.6	27 21.1	4 3.1	3 2.3
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	52 24.5	114 53.8	32 15.1	8 3.8	6 2.8
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	132 17.1	460 59.7	121 15.7	44 5.7	14 1.8
	もともと正社員で採用	669 100.0	151 22.6	383 57.2	104 15.5	20 3.0	11 1.6

③離職した当時の再就職についての意向

雇用形態変更についての希望・経験別に、離職した当時の再就職についての意向をみると、他と比較して「転換を希望し、転換した」、「自分の希望ではないが、転換した」、「もともと正社員で採用」は「(仕事を辞めた後、) すぐにでも就業したいと思っていた」(36.7%、34.4%、35.9%)、「希望はなく、転換もしていない」は「特に時期を決めていないが、いずれ就業したいと思っていた」(49.4%)の割合が高い。

図表 164 雇用形態変更の希望・経験別 離職した当時の再就職についての意向：単数回答 (Q17)

		合計	Q17 離職した当時の再就職についての意向				
			(仕事を辞めた後、) すぐにでも就業したいと思っていた	子ども(末子)がある程度の年齢になったら就業したいと思っていた	特に時期を決めていないが、いずれ就業したいと思っていた	再び就業するつもりはなかった	その他、わからない
全体		2061 100.0	550 26.7	492 23.9	887 43.0	99 4.8	33 1.6
雇用形態変更の希望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	103 36.7	64 22.8	104 37.0	7 2.5	3 1.1
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	44 34.4	23 18.0	57 44.5	4 3.1	0 0.0
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	55 25.9	59 27.8	89 42.0	5 2.4	4 1.9
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	108 14.0	211 27.4	381 49.4	61 7.9	10 1.3
	もともと正社員で採用	669 100.0	240 35.9	135 20.2	256 38.3	22 3.3	16 2.4

④再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて

雇用形態変更についての希望・経験別に、再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて、どのように思っていたかをみると、他と比較して「転換を希望し、転換した」は「全く難しいと思っていなかった」(14.6%)の割合が高い。一方、「希望しているが、転換したことはない」は「非常に難しいと思っていた」(23.1%)の割合が高い。

図表 165 雇用形態変更の希望・経験別 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて：単数回答 (Q18)

		合計	Q18 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて					特に思わなかった
			全く難しいと思っていなかった	あまり難しいとは思ってなかった	やや難しいと思っていた	非常に難しいと思っていた	その他	
全体		2061 100.0	179 8.7	567 27.5	757 36.7	362 17.6	2 0.1	194 9.4
雇用形態変更の希望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	41 14.6	85 30.2	95 33.8	42 14.9	0 0.0	18 6.4
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	10 7.8	37 28.9	47 36.7	25 19.5	0 0.0	9 7.0
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	8 3.8	58 27.4	82 38.7	49 23.1	0 0.0	15 7.1
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	41 5.3	187 24.3	311 40.3	136 17.6	0 0.0	96 12.5
	もともと正社員で採用	669 100.0	79 11.8	200 29.9	222 33.2	110 16.4	2 0.3	56 8.4

(3) 再就職の状況

①再就職後の職種

雇用形態変更についての希望・経験別に、再就職後の職種をみると、他と比較して「自分の希望ではないが、転換した」は「経理」(13.3%)、「希望しているが、転換したことはない」は「その他一般事務」(30.7%)、「希望はなく、転換もしていない」は「サービス(調理、接客等)」(20.4%)の割合が高い。

図表 166 雇用形態変更の希望・経験別 再就職後の職種：単数回答 (Q20)

		合計	Q20 再就職後の職種								
			人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発
全体		2061 100.0	104 5.0	156 7.6	17 0.8	113 5.5	432 21.0	60 2.9	41 2.0	143 6.9	12 0.6
雇用形態変更の希望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	24 8.5	26 9.3	6 2.1	24 8.5	60 21.4	11 3.9	4 1.4	9 3.2	2 0.7
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	8 6.3	17 13.3	2 1.6	9 7.0	26 20.3	4 3.1	0 0.0	8 6.3	2 1.6
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	5 2.4	7 3.3	2 0.9	11 5.2	65 30.7	2 0.9	7 3.3	15 7.1	0 0.0
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	17 2.2	32 4.2	1 0.1	21 2.7	141 18.3	9 1.2	20 2.6	85 11.0	1 0.1
	もともと正社員で採用	669 100.0	50 7.5	74 11.1	6 0.9	48 7.2	140 20.9	34 5.1	10 1.5	26 3.9	7 1.0

		合計	生産工程・労務作業	情報システム	サービス(調理、接客等)	専門職・技術職	運輸	保安	その他	わからない
			全体	2061 100.0	72 3.5	23 1.1	253 12.3	392 19.0	31 1.5	0 0.0
雇用形態変更の希望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	7 2.5	8 2.8	18 6.4	66 23.5	1 0.4	0 0.0	10 3.6	5 1.8
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	9 7.0	1 0.8	6 4.7	18 14.1	0 0.0	0 0.0	12 9.4	6 4.7
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	6 2.8	3 1.4	28 13.2	38 17.9	4 1.9	0 0.0	15 7.1	4 1.9
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	34 4.4	6 0.8	157 20.4	118 15.3	19 2.5	0 0.0	75 9.7	35 4.5
	もともと正社員で採用	669 100.0	16 2.4	5 0.7	44 6.6	152 22.7	7 1.0	0 0.0	31 4.6	19 2.8

②再就職時の末子年齢

雇用形態変更についての希望・経験別に、再就職時の末子年齢をみると、他と比較して「転換を希望し、転換した」は「0歳」(29.2%)及び「1歳」(28.1%)、「自分の希望ではないが、転換した」は「2歳」(18.8%)、「希望しているが、転換したことはない」は「4歳～小学校就学前」(19.3%)、「希望はなく、転換もしていない」は「小学1年生～3年生」(16.2%)の割合が高く、転換の希望・経験がある人ほど、再就職時の末子年齢が低い傾向がみられる。

図表 167 雇用形態変更の希望・経験別 再就職時の末子年齢：単数回答 (Q25)

		合計	Q25 再就職時の末子年齢							
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳～ 小学校 就学前	小学1 年生～ 3年生	小学4 年生～ 6年生	中学生 以上
全体		2061 100.0	474 23.0	459 22.3	273 13.2	231 11.2	289 14.0	220 10.7	113 5.5	2 0.1
雇用形態 変更の希 望・経験	転換を希望し、転換 した	281 100.0	82 29.2	79 28.1	28 10.0	23 8.2	41 14.6	17 6.0	11 3.9	0 0.0
	自分の希望ではない が、転換した	128 100.0	32 25.0	28 21.9	24 18.8	11 8.6	20 15.6	8 6.3	5 3.9	0 0.0
	希望しているが、転 換したことはない	212 100.0	39 18.4	52 24.5	27 12.7	27 12.7	41 19.3	15 7.1	11 5.2	0 0.0
	希望はなく、転換も していない	771 100.0	96 12.5	149 19.3	110 14.3	106 13.7	131 17.0	125 16.2	54 7.0	0 0.0
	もともと正社員で採 用	669 100.0	225 33.6	151 22.6	84 12.6	64 9.6	56 8.4	55 8.2	32 4.8	2 0.3

③現在の勤務先での勤続年数

雇用形態変更についての希望・経験別に、現在の勤務先での勤続年数をみると、他と比較して「転換を希望し、転換した」は「5年以上10年未満」(29.2%)、「自分の希望ではないが、転換した」は「3年以上5年未満」(28.9%)及び「5年以上10年未満」(30.5%)、「希望はなく、転換もしていない」は「1年未満」(24.1%)及び「1年以上3年未満」(37.0%)の割合が高く、転換の希望・経験があるほど、勤続年数が長い傾向がみられる。

図表 168 雇用形態変更の希望・経験別 現在の勤務先での勤続年数：単数回答 (Q26)

		合計	Q26 現在の勤務先での勤続年数					
			1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上
全体		2061 100.0	382 18.5	643 31.2	412 20.0	478 23.2	130 6.3	16 0.8
雇用形態 変更の希 望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	34 12.1	69 24.6	68 24.2	82 29.2	26 9.3	2 0.7
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	16 12.5	29 22.7	37 28.9	39 30.5	5 3.9	2 1.6
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	43 20.3	75 35.4	31 14.6	51 24.1	12 5.7	0 0.0
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	186 24.1	285 37.0	154 20.0	127 16.5	18 2.3	1 0.1
	もともと正社員で採用	669 100.0	103 15.4	185 27.7	122 18.2	179 26.8	69 10.3	11 1.6

④再就職先を決める際に重視したこと等

雇用形態変更についての希望・経験別に、再就職先を決める際に重視したことをみると、他と比較して「転換を希望し、転換した」、「自分の希望ではないが、転換した」、「希望しているが、転換したことはない」は、「非正社員から、いずれ正社員に変わること」の割合が高く、再就職の際に転換できる可能性があることを考慮していたことがわかる。また、「転換を希望し、転換した」は他と比較して「仕事の内容が希望に合っていること」及び「やりがいや責任のある仕事ができること」、「希望しているが、転換したことはない」、「希望はなく、転換もしていない」は、「短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること」及び「職場が自宅から近いこと」などの割合が高い。

図表 169 雇用形態変更の希望・経験別 再就職先を決める際に重視したこと：複数回答（Q29）

		合計	Q29 再就職先を決める際に重視したこと								
			仕事の内容が希望に合っていること	やりがいや責任のある仕事ができること	希望する雇用形態であること	希望する給与水準であること	残業がない、もしくは少ないこと	短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること	必要に応じて、仕事の時間帯を変えられること	半日や時間単位で有給休暇がとれること	子どもが病気の際、看護休暇が取れること
全体		2061 100.0	1294 62.8	469 22.8	1261 61.2	788 38.2	996 48.3	887 43.0	413 20.0	350 17.0	741 36.0
雇用形態変更の希望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	194 69.0	91 32.4	168 59.8	117 41.6	131 46.6	77 27.4	48 17.1	60 21.4	102 36.3
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	86 67.2	37 28.9	70 54.7	50 39.1	64 50.0	44 34.4	19 14.8	31 24.2	43 33.6
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	130 61.3	52 24.5	115 54.2	89 42.0	112 52.8	103 48.6	50 23.6	41 19.3	92 43.4
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	455 59.0	110 14.3	480 62.3	259 33.6	347 45.0	506 65.6	199 25.8	76 9.9	280 36.3
	もともと正社員で採用	669 100.0	429 64.1	179 26.8	428 64.0	273 40.8	342 51.1	157 23.5	97 14.5	142 21.2	224 33.5

		合計	Q29 再就職先を決める際に重視したこと								
			子育て等生活時間に対して配慮する雰囲気があること	職場が自宅から近いこと	子どもを預ける場所が、職場の近くにあること	保育サービスの利用に対して経済的な支援があること	非正社員から、いずれ正社員に変わること	仕事のプランクに対する研修等の支援があること	両立支援の取組について表彰や認定を受けていること	その他	特にない、とにかく働ければよい
全体		2061 100.0	724 35.1	1104 53.6	353 17.1	80 3.9	174 8.4	66 3.2	37 1.8	11 0.5	54 2.6
雇用形態変更の希望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	80 28.5	128 45.6	51 18.1	13 4.6	54 19.2	9 3.2	5 1.8	2 0.7	5 1.8
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	40 31.3	62 48.4	24 18.8	5 3.9	23 18.0	5 3.9	5 3.9	0 0.0	1 0.8
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	83 39.2	130 61.3	43 20.3	7 3.3	48 22.6	9 4.2	5 2.4	3 1.4	5 2.4
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	300 38.9	473 61.3	120 15.6	19 2.5	29 3.8	26 3.4	8 1.0	3 0.4	18 2.3
	もともと正社員で採用	669 100.0	221 33.0	311 46.5	115 17.2	36 5.4	20 3.0	17 2.5	14 2.1	3 0.4	25 3.7

⑤再雇用制度の利用状況

雇用形態変更についての希望・経験別に、再雇用制度の利用経験をみると、他と比較して「転換を希望し、転換した」は「制度があり、実際に利用して再就職した」(14.9%)割合が高く、再雇用制度を利用して非正社員で再就職し、その後、正社員に転換した人が一定程度いると考えられる。

また、「自分の希望ではないが、転換した」は「制度はあったが、利用条件に当たらず、利用できなかった」(10.9%)、「希望しているが、転換したことはない」は「制度はなかったが、あれば使いたかった」(12.7%)、「希望はなく、転換もしていない」は「制度はなく、利用希望もなかった」(31.0%)、「もともと正社員で採用」は「制度があったかどうかわからない」(55.5%)の割合が高い。

図表 170 雇用形態変更の希望・経験別 以前勤めていた会社の再雇用制度の利用経験：単数回答 (Q37)

		合計	Q37 以前勤めていた会社の再雇用制度の利用経験					制度があつたかどうかわからない
			制度があり、実際に利用して再就職した	制度はあつたが、利用条件に当たらず、利用できなかった	制度はあつたが、利用しなかった	制度はなかったが、あれば使いたかった	制度はなく、利用希望もなかった	
全体		2061 100.0	112 5.4	78 3.8	187 9.1	155 7.5	505 24.5	1024 49.7
雇用形態変更の希望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	42 14.9	16 5.7	32 11.4	29 10.3	46 16.4	116 41.3
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	6 4.7	14 10.9	12 9.4	9 7.0	37 28.9	50 39.1
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	9 4.2	8 3.8	28 13.2	27 12.7	42 19.8	98 46.2
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	23 3.0	23 3.0	53 6.9	44 5.7	239 31.0	389 50.5
	もともと正社員で採用	669 100.0	32 4.8	17 2.5	62 9.3	46 6.9	141 21.1	371 55.5

雇用形態変更についての希望・経験別に、再雇用制度を利用した理由／利用したい理由をみると、他と比較して「転換を希望し、転換した」は「以前勤めていた会社に、愛着がある（あった）から」（50.7%）、「希望しているが、転換したことはない」は「退職前のスキルや知識を活かして働くことができるから」（75.0%）、「退職前の人脈を活かして働くことができるから」（41.7%）、「もともと正社員で採用」は「雇用形態や就労条件が自分の希望に近い（近かった）から」（38.5%）及び「両立支援の取組状況や職場の雰囲気などがあらかじめわかり、両立の不安が少ないから」（25.6%）の割合が高い。

図表 171 雇用形態変更の希望・経験別 再雇用制度を利用した/利用したいと思う理由：複数回答 (Q38)

		合計	Q38 再雇用制度を利用した/利用したいと思う理由					その他
			以前勤めていた会社に、愛着がある（あった）から	退職前のスキルや知識を活かして働くことができるから	退職前の人脈を活かして働くことができるから	雇用形態や就労条件が自分の希望に近い（近かった）から	両立支援の取組状況や職場の雰囲気などがあらかじめわかり、両立の不安が少ないから	
全体		267 100.0	121 45.3	148 55.4	79 29.6	79 29.6	47 17.6	3 1.1
雇用形態変更の希望・経験	転換を希望し、転換した	71 100.0	36 50.7	36 50.7	13 18.3	16 22.5	5 7.0	0 0.0
	自分の希望ではないが、転換した	15 100.0	7 46.7	6 40.0	4 26.7	5 33.3	3 20.0	0 0.0
	希望しているが、転換したことはない	36 100.0	18 50.0	27 75.0	15 41.7	9 25.0	8 22.2	0 0.0
	希望はなく、転換もしていない	67 100.0	24 35.8	39 58.2	20 29.9	19 28.4	11 16.4	2 3.0
	もともと正社員で採用	78 100.0	36 46.2	40 51.3	27 34.6	30 38.5	20 25.6	1 1.3

(4) 再就職後の働き方

①現在の仕事の満足度

雇用形態変更についての希望・経験別に、現在の仕事の満足度をみると、「転換を希望し、転換した」は「満足している」(25.3%)、「自分の希望ではないが、転換した」は「満足していない」(13.3%)の割合が高い。同じ転換経験者でも、自分の希望通りかどうかで、現在の満足度に大きな差がみられる。

図表 172 雇用形態変更の希望・経験別 現在の仕事の満足度：単数回答 (Q44)

		合計	Q44 現在の仕事の満足度				
			満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	353 17.1	1170 56.8	327 15.9	152 7.4	59 2.9
雇用形態 変更の希 望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	71 25.3	147 52.3	40 14.2	15 5.3	8 2.8
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	15 11.7	73 57.0	19 14.8	17 13.3	4 3.1
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	20 9.4	124 58.5	44 20.8	17 8.0	7 3.3
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	141 18.3	459 59.5	108 14.0	44 5.7	19 2.5
	もともと正社員で採用	669 100.0	106 15.8	367 54.9	116 17.3	59 8.8	21 3.1

②出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔

雇用形態変更についての希望・経験別に、出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔をみると、「希望しているが、転換したことはない」は「とても後悔している」(12.7%)及び「やや後悔している」(26.9%)、「希望はなく、転換もしていない」は「まったく後悔していない」(43.1%)の割合が高い。同じ転換非経験者でも、転換の希望がある人では、出産・育児等を機に仕事を辞めたことを後悔している人が多い傾向がみられる。

図表 173 雇用形態変更の希望・経験別 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔：単数回答 (Q45)

		合計	Q45 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔				
			とても後悔している	やや後悔している	あまり後悔していない	まったく後悔していない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	156 7.6	350 17.0	629 30.5	758 36.8	168 8.2
雇用形態 変更の希 望・経験	転換を希望し、転換した	281 100.0	28 10.0	52 18.5	93 33.1	93 33.1	15 5.3
	自分の希望ではないが、転換した	128 100.0	10 7.8	20 15.6	34 26.6	53 41.4	11 8.6
	希望しているが、転換したことはない	212 100.0	27 12.7	57 26.9	60 28.3	48 22.6	20 9.4
	希望はなく、転換もしていない	771 100.0	39 5.1	110 14.3	239 31.0	332 43.1	51 6.6
	もともと正社員で採用	669 100.0	52 7.8	111 16.6	203 30.3	232 34.7	71 10.6

6. 再就職時に正社員を希望していた人の実現状況別

- 正社員での再就職を希望し、実現した人は、他と比較して、離職した当時、「(仕事を辞めた後、)すぐにでも就業したいと思っていた」(42.7%)、再就職の際に、キャリアや自分の能力を活かすことについては「全く難しいと思っていなかった」(14.2%) 割合が高い。
- 正社員での再就職を希望し、実現した人は、再就職した理由として、「自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思った」(21.2%) 割合が高く、実際に再就職先を決める際も、「やりがいや責任のある仕事ができること」(30.2%) を重視する割合が高い。
- 正社員を希望していたが、非正社員で再就職した人は、短時間勤務で正社員として就業することを希望していた割合が高い。また、再就職後の職種について、求職活動中に「その他一般事務」を希望した人が34.8%に対して、実際に就職できたのは25.7%となっている。
- 正社員を希望していたが、非正社員で再就職した人は、再就職の際の不安が大きく、その理由として、「自分のキャリアプランなど、将来がみえない」(27.0%) や、「自分が何に向いているのかわからない」(28.9%) が多くあげられている。再就職活動でも苦労が多く、情報収集等は行っているものの、結果に結びついていない様子がうかがえる。
- 正社員を希望していたが、非正社員で再就職した人は、現在の仕事に満足していない(「あまり満足していない」と「満足していない」の合計) 割合が33.0%と高い。また、離職したことによって、「今后再就職しようとしても良い就職先がない」(39.8%) や、「再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなった」(45.8%) ことを後悔している割合も高い。

(1) 属性

①現在の就業形態

再就職時の正社員希望の実現状況別に、現在の就業形態をみると、「正社員希望→非正社員」では、「契約社員」(16.1%) の割合が高い。

図表 174 再就職時の正社員希望の実現状況別 現在の就業形態：単数回答 (SQ2)

		合計	SQ2 現在の就業形態				
			正社員(フルタイム)	正社員(短時間)	パート・アルバイト	契約社員	嘱託社員
全体		2061 100.0	966 46.9	64 3.1	927 45.0	89 4.3	15 0.7
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	659 91.1	41 5.7	15 2.1	6 0.8	2 0.3
	正社員希望→非正社員	230 100.0	73 31.7	6 2.6	108 47.0	37 16.1	6 2.6

注)「正社員希望→正社員」は、正社員として再就職することを希望し、実際に正社員として再就職できた人。
「正社員希望→非正社員」は、正社員として再就職することを希望していたが、非正社員として再就職した人。以下同様。

②業種

再就職時の正社員希望の実現状況別に、業種をみると、「正社員希望→正社員」では「医療・福祉」(31.7%)の割合が高い。

図表 175 再就職時の正社員希望の実現状況別 業種：単数回答 (SQ1)

		合計	SQ1 業種						
			建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業
全体		2061 100.0	158 7.7	221 10.7	39 1.9	38 1.8	67 3.3	270 13.1	107 5.2
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	69 9.5	85 11.8	22 3.0	15 2.1	21 2.9	62 8.6	53 7.3
	正社員希望→非正社員	230 100.0	19 8.3	30 13.0	5 2.2	5 2.2	9 3.9	30 13.0	9 3.9

		合計	SQ1 業種						
			不動産業	飲食業	宿泊業	医療・福祉	教育、学習支援業	その他サービス業	その他
全体		2061 100.0	48 2.3	118 5.7	11 0.5	526 25.5	33 1.6	338 16.4	87 4.2
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	21 2.9	7 1.0	4 0.6	229 31.7	4 0.6	113 15.6	18 2.5
	正社員希望→非正社員	230 100.0	6 2.6	11 4.8	1 0.4	54 23.5	5 2.2	37 16.1	9 3.9

③今後、子どもをもうける希望

再就職時の正社員希望の実現状況別に、今後、子どもをもうける希望をみると、「正社員希望→正社員」では、「ある」(39.3%)の割合が高い。

図表 176 再就職時の正社員希望の実現状況別 今後、子どもをもうける希望：単数回答 (Q2)

		合計	Q2 今後、子どもをもうける希望	
			ない	ある
全体		2061 100.0	1450 70.4	611 29.6
再就職時の正社員希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	439 60.7	284 39.3
	正社員希望→非正社員	230 100.0	157 68.3	73 31.7

(2) 出産・育児等を機に離職した仕事について

① 出産・育児等を機に離職した理由

再就職時の正社員希望の実現状況別に、出産・育児等を機に離職した理由をみると、「正社員希望→非正社員」は「勤務時間が長い（残業など）・不規則など、時間的に両立が難しかった」（28.3%）及び「解雇された、もしくは退職勧奨された」（13.9%）の割合が高い。

図表 177 再就職時の正社員希望の実現状況別 出産・育児等を機に離職した理由:複数回答(Q16)

		合計	Q16 出産・育児等を機に離職した理由					職場の両立に対する理解や、両立支援制度が不十分だった
			家事・育児に専念するため、自発的にやめた	配偶者・パートナーや、家族をやめることを希望した	配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった	保育園など子どもの預け先がなかった	家族の協力が得られなかった	
全体		2061 100.0	967 46.9	169 8.2	356 17.3	145 7.0	80 3.9	278 13.5
再就職時の正社員希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	289 40.0	62 8.6	139 19.2	43 5.9	21 2.9	99 13.7
	正社員希望→非正社員	230 100.0	83 36.1	19 8.3	43 18.7	18 7.8	10 4.3	38 16.5

		合計	Q16 出産・育児等を機に離職した理由					その他
			勤務時間が長い（残業など）・不規則など、時間的に両立が難しかった	自分や子どもの体調不良など、体力的に両立が難しかった	仕事にやりがいがあった（なくなりそうだった）	仕事を続けていても、将来的にキャリアの進展が見込めなそうだった	解雇された、もしくは退職勧奨された	
全体		2061 100.0	453 22.0	222 10.8	104 5.0	88 4.3	159 7.7	127 6.2
再就職時の正社員希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	156 21.6	70 9.7	34 4.7	29 4.0	49 6.8	40 5.5
	正社員希望→非正社員	230 100.0	65 28.3	21 9.1	15 6.5	12 5.2	32 13.9	21 9.1

②離職した当時の再就職についての意向

再就職時の正社員希望の実現状況別に、離職した当時の再就職についての意向をみると、「正社員希望→正社員」は「(仕事を辞めた後、) すぐにでも就業したいと思っていた」(42.7%)、「正社員希望→非正社員」は「子ども(末子)がある程度の年齢になったら就業したいと思っていた」(27.0%)の割合が高い。

図表 178 再就職時の正社員希望の実現状況別 離職した当時の再就職についての意向：単数回答 (Q17)

		合計	Q17 離職した当時の再就職についての意向				
			(仕事を辞めた後、) すぐにでも就業したいと思っていた	子ども(末子)がある程度の年齢になったら就業したいと思っていた	特に時期を決めていないが、いずれ就業したいと思っていた	再び就業するつもりはなかった	その他、わからない
全体		2061 100.0	550 26.7	492 23.9	887 43.0	99 4.8	33 1.6
再就職時の正社員希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	309 42.7	130 18.0	246 34.0	21 2.9	17 2.4
	正社員希望→非正社員	230 100.0	77 33.5	62 27.0	89 38.7	2 0.9	0 0.0

③再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて

再就職時の正社員希望の実現状況別に、再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて、どのように思っていたかをみると、「正社員希望→正社員」は「全く難しいと思っていなかった」(14.2%)の割合が高い。一方、「正社員希望→非正社員」は「非常に難しいと思っていた」(26.1%)の割合が高い。

図表 179 再就職時の正社員希望の実現状況別 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて：単数回答 (Q18)

		合計	Q18 再就職の際にキャリアや自分の能力を活かすことについて					
			全く難しいと思っていなかった	あまり難しいとは思っていなかった	やや難しいと思っていた	非常に難しいと思っていた	その他	特に思わなかった
全体		2061 100.0	179 8.7	567 27.5	757 36.7	362 17.6	2 0.1	194 9.4
再就職時の正社員希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	103 14.2	218 30.2	243 33.6	114 15.8	2 0.3	43 5.9
	正社員希望→非正社員	230 100.0	9 3.9	56 24.3	91 39.6	60 26.1	0 0.0	14 6.1

(3) 再就職の状況

①求職活動中に希望していた就業形態

再就職時の正社員希望の実現状況別に、求職活動中に希望していた就業形態をみると、「正社員希望→正社員」は「正社員（フルタイム）」（92.4%）、「正社員希望→非正社員」は「正社員（短時間）」（31.3%）の割合が高い。

図表 180 再就職時の正社員希望の実現状況別 求職活動中に希望していた就業形態：単数回答 (Q19)

		合計	Q19 求職活動中に希望していた就業形態	
			正社員（フルタイム）	正社員（短時間）
全体		2061 100.0	832 40.4	130 6.3
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	668 92.4	55 7.6
	正社員希望→非正社員	230 100.0	158 68.7	72 31.3

②再就職活動中に希望していた職種

再就職時の正社員希望の実現状況別に、再就職活動中に希望していた職種をみると、「正社員希望→正社員」は「経理」（11.2%）及び「専門職・技術職」（25.6%）、「正社員希望→非正社員」は「その他一般事務」（34.8%）の割合が高い。

再就職後の職種と比較すると、「その他一般事務」で正社員として再就職を希望していた人で、希望が実現しなかった人が比較的多いことがうかがえる。

図表 181 再就職時の正社員希望の実現状況別 再就職活動中に希望していた職種：単数回答(Q20)

		合計	Q20 再就職活動中に希望していた職種								
			人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発
全体		2061 100.0	100 4.9	142 6.9	18 0.9	96 4.7	569 27.6	24 1.2	29 1.4	102 4.9	11 0.5
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	67 9.3	81 11.2	13 1.8	47 6.5	181 25.0	17 2.4	5 0.7	16 2.2	5 0.7
	正社員希望→非正社員	230 100.0	11 4.8	13 5.7	2 0.9	15 6.5	80 34.8	4 1.7	3 1.3	5 2.2	3 1.3

		合計								わからない
			生産工程・労務作業	情報システム	サービス（調理、接客等）	専門職・技術職	運輸	保安	その他	
全体		2061 100.0	54 2.6	22 1.1	211 10.2	406 19.7	15 0.7	0 0.0	101 4.9	161 7.8
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	8 1.1	10 1.4	31 4.3	185 25.6	1 0.1	0 0.0	27 3.7	29 4.0
	正社員希望→非正社員	230 100.0	6 2.6	2 0.9	19 8.3	44 19.1	1 0.4	0 0.0	7 3.0	15 6.5

③再就職後の職種

再就職時の正社員希望の実現状況別に、再就職後の職種をみると、「正社員希望→正社員」は「経理」(13.1%)及び「専門職・技術職」(24.3%)、「正社員希望→非正社員」は「サービス(調理、接客等)」(14.3%)の割合が高い。

図表 182 再就職時の正社員希望の実現状況別 再就職後の職種：単数回答 (Q20)

	合計	Q20 再就職後の職種									
		人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発	
全体	2061 100.0	104 5.0	156 7.6	17 0.8	113 5.5	432 21.0	60 2.9	41 2.0	143 6.9	12 0.6	
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	70 9.7	95 13.1	10 1.4	57 7.9	152 21.0	37 5.1	6 0.8	14 1.9	8 1.1
	正社員希望→非正社員	230 100.0	7 3.0	11 4.8	3 1.3	16 7.0	59 25.7	8 3.5	6 2.6	10 4.3	1 0.4

	合計	再就職後の職種								
		生産工程・労務作業	情報システム	サービス(調理、接客等)	専門職・技術職	運輸	保安	その他	わからない	
全体	2061 100.0	72 3.5	23 1.1	253 12.3	392 19.0	31 1.5	0 0.0	143 6.9	69 3.3	
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	9 1.2	9 1.2	26 3.6	176 24.3	4 0.6	0 0.0	32 4.4	18 2.5
	正社員希望→非正社員	230 100.0	12 5.2	2 0.9	33 14.3	40 17.4	3 1.3	0 0.0	11 4.8	8 3.5

④再就職時の末子年齢

再就職時の正社員希望の実現状況別に、再就職時の末子年齢をみると、「正社員希望→正社員」では「0歳」(32.2%)の割合が高い。

図表 183 再就職時の正社員希望の実現状況別 再就職時の末子年齢：単数回答 (Q25)

	合計	Q25 再就職時の末子年齢								
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳～小学校就学前	小学1年生～3年生	小学4年生～6年生	中学生以上	
全体	2061 100.0	474 23.0	459 22.3	273 13.2	231 11.2	289 14.0	220 10.7	113 5.5	2 0.1	
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	233 32.2	183 25.3	86 11.9	72 10.0	69 9.5	51 7.1	28 3.9	1 0.1
	正社員希望→非正社員	230 100.0	61 26.5	52 22.6	38 16.5	22 9.6	32 13.9	13 5.7	12 5.2	0 0.0

⑤再就職後、仕事に慣れるまでの期間

再就職時の正社員希望の実現状況別に、再就職後、仕事に慣れるまでの期間をみると、「正社員希望→正社員」は「再就職後、比較的すぐ」（15.2%）、「正社員希望→非正社員」は「まだそのような状態になっていない」（11.7%）の割合が高い。

図表 184 再就職時の正社員希望の実現状況別 再就職後、仕事に慣れるまでの期間：単数回答（Q27）

		合計	Q27 再就職後、仕事に慣れるまでの期間							
			再就職後、比較的すぐ	再就職後、3か月くらい	再就職後、半年くらい	再就職後、1年くらい	再就職後、2年くらい	再就職後、3年以上	まだそのような状態になっていない	わからない
全体		2061 100.0	278 13.5	565 27.4	526 25.5	325 15.8	98 4.8	83 4.0	147 7.1	39 1.9
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	110 15.2	195 27.0	167 23.1	112 15.5	45 6.2	42 5.8	36 5.0	16 2.2
	正社員希望→非正社員	230 100.0	23 10.0	71 30.9	61 26.5	24 10.4	15 6.5	6 2.6	27 11.7	3 1.3

⑥再就職した理由

再就職時の正社員希望の実現状況別に、再就職した理由をみると、「正社員希望→正社員」は「自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから」（21.2%）の割合が高い。

図表 185 再就職時の正社員希望の実現状況別 再就職した理由：複数回答（Q28）

		合計	Q28 再就職した理由					
			子どもの教育費や生活費がかかるなど、経済的理由のため	社会との関わりを持ちたい、社会の役に立ちたいと思ったから	自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから	生活を充実させたり、変化をもたせたりしたいと思ったから	子育てが一段落し、時間の余裕ができたから	その他
全体		2061 100.0	1629 79.0	680 33.0	333 16.2	696 33.8	254 12.3	81 3.9
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	540 74.7	265 36.7	153 21.2	237 32.8	33 4.6	23 3.2
	正社員希望→非正社員	230 100.0	188 81.7	79 34.3	34 14.8	77 33.5	18 7.8	8 3.5

⑦再就職先を決める際に重視したこと等

再就職時の正社員希望の実現状況別に、再就職先を決める際に重視したことをみると、「正社員希望→正社員」は「やりがいや責任のある仕事ができること」(30.2%)及び「希望する給与水準であること」(44.7%)の割合が高い。

一方、「正社員希望→非正社員」は「残業がない、もしくは少ないこと」(59.1%)、「短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること」(39.6%)、「子どもを預ける場所が、職場の近くにあること」(23.0%)、「非正社員から、いずれ正社員に変わること」(18.3%)の割合が高い。

図表 186 再就職時の正社員希望の実現状況別 再就職先を決める際に重視したこと：複数回答 (Q29)

		合計	Q29 再就職先を決める際に重視したこと								
			仕事の内容が希望に合っていること	やりがいや責任のある仕事ができること	希望する雇用形態であること	希望する給与水準であること	残業がない、もしくは少ないこと	短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること	必要に応じて、仕事の時間帯を変えられること	半日や時間単位で有給休暇がとれること	子どもが病気の際、看護休暇が取れること
全体		2061 100.0	1294 62.8	469 22.8	1261 61.2	788 38.2	996 48.3	887 43.0	413 20.0	350 17.0	741 36.0
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	487 67.4	218 30.2	462 63.9	323 44.7	363 50.2	140 19.4	99 13.7	160 22.1	234 32.4
	正社員希望→非正社員	230 100.0	147 63.9	54 23.5	120 52.2	97 42.2	136 59.1	91 39.6	51 22.2	49 21.3	92 40.0

		合計	Q29 再就職先を決める際に重視したこと								
			子育て等生活時間に対して配慮する雰囲気があること	職場が自宅から近いこと	子どもを預ける場所が、職場の近くにあること	保育サービスの利用に対して経済的な支援があること	非正社員から、いずれ正社員に変わること	仕事のブランクに対する研修等の支援があること	両立支援の取組について表彰や認定を受けていること	その他	特にない、とにかく働ければよい
全体		2061 100.0	724 35.1	1104 53.6	353 17.1	80 3.9	174 8.4	25 3.5	16 2.2	4 0.6	16 2.2
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	226 31.3	308 42.6	121 16.7	36 5.0	48 6.6	8 3.5	7 3.0	2 0.9	5 2.2
	正社員希望→非正社員	230 100.0	83 36.1	127 55.2	53 23.0	8 3.5	42 18.3	25 3.5	16 2.2	4 0.6	16 2.2

⑧離職期間中、求職活動を始める前に取り組んでいたこと

再就職時の正社員希望の実現状況別に、離職期間中、求職活動を始める前に取り組んでいたことをみると、「正社員希望→非正社員」は「雑誌や書籍で企業情報や求人情報を収集」(23.5%)及び「ネットなどで、企業情報や求人情報を収集」(42.6%)の割合が高い。

図表 187 再就職時の正社員希望の実現状況別 離職期間中、求職活動を始める前に取り組んでいたこと：複数回答 (Q30)

		合計	Q30 離職期間中、求職活動を始める前に取り組んでいたこと								
			家族に相談	友人、知人、親戚等に相談	雑誌や書籍で企業情報や求人情報を収集	ネットなどで、企業情報や求人情報を収集	再就職に関する口コミ情報を収集	再就職に関するセミナーや研修・講習等を受講	就職に役立つスキルや資格取得のための勉強	その他	特に何もしていなかった
全体		2061 100.0	1127 54.7	464 22.5	372 18.0	748 36.3	108 5.2	76 3.7	95 4.6	14 0.7	397 19.3
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	406 56.2	177 24.5	103 14.2	223 30.8	49 6.8	38 5.3	43 5.9	9 1.2	130 18.0
	正社員希望→非正社員	230 100.0	138 60.0	62 27.0	54 23.5	98 42.6	19 8.3	11 4.8	13 5.7	3 1.3	38 16.5

⑨求職活動中に利用した機関や情報サービス

再就職後の職種別に、求職活動中に利用した機関や情報サービスをみると、「正社員希望→正社員」「正社員希望→非正規社員」とともに「ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口」（57.8%、70.4%）及び「新聞の折り込みチラシ、新聞の求人欄」（25.9%、43.5%）の割合が高い。

図表 188 再就職時の正社員希望の実現状況別 求職活動中に利用した機関や情報サービス：複数回答（Q31）

		合計	Q31 求職活動中に利用した機関や情報サービス						女性センターや男女共同参画センターの相談窓口
			新聞の折り込みチラシ、新聞の求人欄	ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口	求人情報誌、就職関連雑誌	求人サイト、就職関連サイト	人材バンク	自治体の相談窓口	
全体		2061 100.0	776 37.7	1093 53.0	566 27.5	707 34.3	97 4.7	19 0.9	17 0.8
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	187 25.9	418 57.8	161 22.3	216 29.9	45 6.2	12 1.7	12 1.7
	正社員希望→非正規社員	230 100.0	100 43.5	162 70.4	67 29.1	80 34.8	15 6.5	0 0.0	1 0.4

		合計						特に利用したものはない
			女性センターなどで自治体等が開催している就業や起業関連セミナー	再就職に向けた民間の講座、セミナー	NPO等の団体の相談窓口	企業の職場体験やインターンシップに参加	その他	
全体		2061 100.0	17 0.8	18 0.9	7 0.3	5 0.2	41 2.0	361 17.5
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	7 1.0	10 1.4	5 0.7	3 0.4	6 0.8	167 23.1
	正社員希望→非正規社員	230 100.0	3 1.3	3 1.3	0 0.0	1 0.4	4 1.7	22 9.6

⑩再就職にあたっての不安

再就職時の正社員希望の実現状況別に、再就職にあたっての不安をみると、「正社員希望→非正社員」では「とても不安だった」(42.6%)の割合が高い。

図表 189 再就職時の正社員希望の実現状況別 再就職にあたっての不安：単数回答 (Q33)

		合計	Q33 再就職にあたっての不安			
			とても不安だった	やや不安だった	あまり不安はなかった	まったく不安はなかった
全体		2061 100.0	550 26.7	1083 52.5	364 17.7	64 3.1
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	182 25.2	362 50.1	148 20.5	31 4.3
	正社員希望→非正社員	230 100.0	98 42.6	106 46.1	24 10.4	2 0.9

再就職にあたって不安だったことの内容をみると、全ての項目で、「正社員希望→非正社員」の方が「正社員希望→正社員」よりも割合が高く、特に「自分のキャリアプランなど、将来が見えない」や「自分が何に向いているのかわからない」などにおいて、両者の差が大きくなっている。

図表 190 再就職時の正社員希望の実現状況別 再就職にあたって不安だったこと：単数回答(Q35)

		合計	Q35 再就職にあたって不安だったこと							
			仕事についていけるか	子育てと両立できるか	職場の人とうまくやれているか	働く自信が持てない	職場での服装や、振る舞い	自分のキャリアプランなど、将来が見えない	自分が何に向いているのかわからない	その他
全体		2061 100.0	1072 65.6	1334 81.7	1060 64.9	229 14.0	238 14.6	261 16.0	340 20.8	22 1.3
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	347 63.8	436 80.1	326 59.9	88 16.2	72 13.2	96 17.6	96 17.6	4 0.7
	正社員希望→非正社員	230 100.0	133 65.2	170 83.3	139 68.1	36 17.6	47 23.0	55 27.0	59 28.9	4 2.0

⑪再就職活動で苦労した事

再就職時の正社員希望の実現状況別に、再就職活動で苦労した事をみると、ほぼ全ての項目で「正社員希望→非正社員」の方が「正社員希望→正社員」よりも割合が高く、特に「なかなか採用されないなど、再就職活動での精神的な負担感が大きい」や「希望する条件に合う仕事が見つからない」などにおいて、両者の差が大きくなっている。

図表 191 再就職時の正社員希望の実現状況別 再就職活動で苦労した事：複数回答（Q36）

		合計	Q36 再就職活動で苦労したこと						
			仕事探しの時間を十分にとれない	相談や面接時に、子どもの面倒をみてくれる人がいない	なかなか採用されないなど、再就職活動での精神的な負担感が大きい	子どもが小さいため、家族などの支援体制がないと断られてしまう	ブランクがあるため、断られてしまう	希望する条件に合う仕事が見つからない	再就職に必要な資格や技術・技能がない
全体		2061 100.0	344 16.7	455 22.1	419 20.3	633 30.7	153 7.4	644 31.2	249 12.1
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	148 20.5	155 21.4	141 19.5	224 31.0	54 7.5	200 27.7	76 10.5
	正社員希望→非正社員	230 100.0	66 28.7	67 29.1	81 35.2	94 40.9	19 8.3	91 39.6	50 21.7

		合計							
			自分の経験や能力を活かせる仕事が見つからない	企業の両立支援の取組状況に関する情報がない	求職活動に必要な情報がどこにあるかわからない	起業やSOHO、テレワークの立ち上げや経営のノウハウがない	働くことについて、配偶者・パートナーや家族の理解が得られない	その他	特になし
全体		2061 100.0	169 8.2	54 2.6	42 2.0	18 0.9	60 2.9	26 1.3	589 28.6
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	65 9.0	26 3.6	15 2.1	10 1.4	14 1.9	9 1.2	210 29.0
	正社員希望→非正社員	230 100.0	31 13.5	9 3.9	10 4.3	3 1.3	9 3.9	6 2.6	31 13.5

(4) 再就職後の働き方

①現在の仕事の満足度

再就職時の正社員希望の実現状況別に、現在の仕事の満足度をみると、「正社員希望→非正社員」では「あまり満足していない」(20.4%)及び「満足していない」(12.6%)の割合が高い。

図表 192 再就職時の正社員希望の実現状況別 現在の仕事の満足度：単数回答 (Q44)

		合計	Q44 現在の仕事の満足度				
			満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	353 17.1	1170 56.8	327 15.9	152 7.4	59 2.9
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	120 16.6	407 56.3	115 15.9	61 8.4	20 2.8
	正社員希望→非正社員	230 100.0	29 12.6	119 51.7	47 20.4	29 12.6	6 2.6

②出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔

再就職時の正社員希望の実現状況別に、出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔をみると、「正社員希望→非正社員」は「やや後悔している」(24.3%)の割合が高く、正社員での再就職を希望し実現した人に比べて、後悔している人が多い傾向がみられる。

図表 193 再就職時の正社員希望の実現状況別 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔：単数回答 (Q45)

		合計	Q45 出産・育児等を機に仕事を辞めたことについての後悔				
			とても後悔している	やや後悔している	あまり後悔していない	まったく後悔していない	どちらともいえない
全体		2061 100.0	156 7.6	350 17.0	629 30.5	758 36.8	168 8.2
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	58 8.0	128 17.7	211 29.2	255 35.3	71 9.8
	正社員希望→非正社員	230 100.0	27 11.7	56 24.3	69 30.0	54 23.5	24 10.4

離職したことを後悔している理由をみると、ほぼ全ての項目で「正社員希望→非正社員」の方が「正社員希望→正社員」よりも割合が高く、特に「今後再就職しようとしても良い就職先がない」や「再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなった」などにおいて、両者の差が大きくなっている。

図表 194 再就職時の正社員希望の実現状況別 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由：複数回答（Q46）

		合計	Q46 出産・育児等を機に離職したことを後悔している理由							
			経済的に厳しくなった	再就職したが、希望の仕事に就けなかったり、就労条件が悪くなった	今後再就職しようとしても良い就職先がない	キャリア形成が難しくなった	生活に張り合いがない	離職を機に、家庭内での家事や育児の負担が多くなった	その他	上記にはあてはまらない
全体		506 100.0	290 57.3	175 34.6	152 30.0	91 18.0	54 10.7	55 10.9	23 4.5	32 6.3
再就職時の希望の実現状況	正社員希望→正社員	723 100.0	108 58.1	72 38.7	51 27.4	38 20.4	17 9.1	14 7.5	12 6.5	8 4.3
	正社員希望→非正社員	230 100.0	55 66.3	38 45.8	33 39.8	19 22.9	9 10.8	13 15.7	1 1.2	4 4.8

7. 出産前後でのキャリア意識の変化別

- 出産後に、キャリア意識が「仕事以外の生活を充実させたい」に変化した人は、配偶者・パートナーの労働時間が「週 50～59 時間」の割合が高い。
- 出産・育児等を機に離職した際の職種は、他と比較して「専門職・技術職」（27.3%）の割合が高い。
- 出産後に、キャリア意識が「仕事以外の生活を充実させたい」に変化した人は、両立支援制度の利用ニーズが高い傾向がみられる。具体的には、利用を希望する両立支援制度として、「短時間勤務制度」及び「子の看護休暇制度」がそれぞれ3割前後、「始業または就業時間の繰上げ・繰下げ」及び「休日勤務の免除」がそれぞれ2割前後あげられている。

(1) 属性

① 配偶者・パートナーの週当たりの平均労働時間

出産前後でのキャリア意識の変化別に、配偶者・パートナーの週当たりの平均労働時間をみると、『仕事以外の生活を充実させたい』に変化した人は、「週 50～59 時間」（26.1%）の割合が高い。

図表 195 出産前後でのキャリア意識の変化別 配偶者・パートナーの週当たりの平均労働時間：単数回答 (Q6)

		合計	Q6 配偶者・パートナーの週当たりの平均労働時間						わからない
			週 20 時間未満	週 20～29 時間	週 30～39 時間	週 40～49 時間	週 50～59 時間	週 60 時間以上	
全体		2061 100.0	134 6.6	81 4.0	139 6.9	708 35.1	424 21.0	348 17.2	184 9.1
キャリア意識の変化	「仕事以外の生活を充実させたい」に変化した人	479 100.0	29 6.1	18 3.8	34 7.2	163 34.3	124 26.1	78 16.4	29 6.1
	上記以外に変化した人	585 100.0	35 6.1	25 4.4	35 6.1	203 35.5	110 19.2	106 18.5	58 10.1
	変化しなかった人	997 100.0	70 7.2	38 3.9	70 7.2	342 35.2	190 19.6	164 16.9	97 10.0

注) 『仕事以外の生活を充実させたい』に変化した人は、最初の子どもを持つ前のキャリア意識が「仕事以外の生活を充実させたい」以外を選択し、現在のキャリア意識で「仕事以外の生活を充実させたい」を選択した人。

「上記以外に変化した人」は、最初の子どもを持つ前と現在でキャリア意識が変化した人のうち上記に該当しない人。

「変化しなかった人」は、最初の子どもを持つ前と現在のキャリア意識が同じ人。

以下同様。

(2) 出産・育児等を機に離職した仕事について

①職種

出産前後でのキャリア意識の変化別に、出産・育児等を機に離職した際の職種をみると、『「仕事以外の生活を充実させたい」に変化した人』は「専門職・技術職」(27.3%)の割合が高い。

図表 196 出産前後でのキャリア意識の変化別 出産・育児等を機に離職した際の職種：単数回答 (Q12)

		合計	Q12 出産・育児等を機に離職した際の職種								
			人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発
全体		2061 100.0	89 4.3	147 7.1	24 1.2	174 8.4	342 16.6	68 3.3	78 3.8	135 6.6	15 0.7
キャリア意識の変化	「仕事以外の生活を充実させたい」に変化した人	479 100.0	24 5.0	40 8.4	5 1.0	31 6.5	61 12.7	18 3.8	18 3.8	32 6.7	2 0.4
	上記以外に変化した人	585 100.0	22 3.8	32 5.5	7 1.2	44 7.5	97 16.6	22 3.8	27 4.6	33 5.6	7 1.2
	変化しなかった人	997 100.0	43 4.3	75 7.5	12 1.2	99 9.9	184 18.5	28 2.8	33 3.3	70 7.0	6 0.6

		合計	生産工程・労務作業	情報システム	サービス(調理、接客等)	専門職・技術職	運輸	保安	その他	わからない
			全体		2061 100.0	49 2.4	44 2.1	253 12.3	448 21.7	12 0.6
キャリア意識の変化	「仕事以外の生活を充実させたい」に変化した人	479 100.0	12 2.5	10 2.1	54 11.3	131 27.3	3 0.6	0 0.0	33 6.9	5 1.0
	上記以外に変化した人	585 100.0	11 1.9	17 2.9	83 14.2	132 22.6	2 0.3	1 0.2	38 6.5	10 1.7
	変化しなかった人	997 100.0	26 2.6	17 1.7	116 11.6	185 18.6	7 0.7	0 0.0	83 8.3	13 1.3

②従業員規模

出産前後でのキャリア意識の変化別に、離職した勤務先の従業員規模をみると、他と比較して「『仕事以外の生活を充実させたい』に変化した人」は、「1,001人以上」（18.6%）、「変化しなかった人」は「50人以下」（36.2%）の割合がやや高い。

図表 197 出産前後でのキャリア意識の変化別 出産・育児等を機に離職した勤務先の従業員規模：単数回答（Q14）

		合計	Q14 出産・育児等を機に離職した勤務先の従業員規模						
			50人以下	51人～100人	101人～300人	301人～500人	501人～1,000人	1,001人以上	わからない
全体		2061 100.0	706 34.3	251 12.2	269 13.1	137 6.6	152 7.4	324 15.7	222 10.8
キャリア意識の変化	「仕事以外の生活を充実させたい」に変化した人	479 100.0	144 30.1	50 10.4	56 11.7	41 8.6	46 9.6	89 18.6	53 11.1
	上記以外に変化した人	585 100.0	201 34.4	75 12.8	81 13.8	39 6.7	45 7.7	86 14.7	58 9.9
	変化しなかった人	997 100.0	361 36.2	126 12.6	132 13.2	57 5.7	61 6.1	149 14.9	111 11.1

③離職前の仕事のやりがい

出産前後でのキャリア意識の変化別に、離職前の仕事のやりがいをみると、他と比較して「『仕事以外の生活を充実させたい』に変化した人」は「非常に感じていた」（25.7%）の割合がやや高い。

図表 198 出産前後でのキャリア意識の変化別 離職前の仕事のやりがい：単数回答（Q15）

		合計	Q15 離職前の仕事のやりがい				
			非常に感じていた	ある程度感じていた	あまり感じていなかった	まったく感じていなかった	どちらともいえない、わからない
全体		2061 100.0	439 21.3	1169 56.7	325 15.8	93 4.5	35 1.7
キャリア意識の変化	「仕事以外の生活を充実させたい」に変化した人	479 100.0	123 25.7	270 56.4	71 14.8	9 1.9	6 1.3
	上記以外に変化した人	585 100.0	127 21.7	318 54.4	100 17.1	35 6.0	5 0.9
	変化しなかった人	997 100.0	189 19.0	581 58.3	154 15.4	49 4.9	24 2.4

(3) 再就職の状況

①再就職後の職種

出産前後でのキャリア意識の変化別に、再就職後の職種をみると、他と比較して「『仕事以外の生活を充実させたい』に変化した人」は「専門職・技術職」(23.0%)の割合がやや高い。

図表 199 出産前後でのキャリア意識の変化別 再就職後の職種：単数回答 (Q20)

	合計	Q20 再就職後の職種									
		人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発	
全体	2061 100.0	104 5.0	156 7.6	17 0.8	113 5.5	432 21.0	60 2.9	41 2.0	143 6.9	12 0.6	
キャリア意識の変化	「仕事以外の生活を充実させたい」に変化した人	479 100.0	20 4.2	41 8.6	1 0.2	20 4.2	109 22.8	14 2.9	14 2.9	25 5.2	1 0.2
	上記以外に変化した人	585 100.0	20 3.4	40 6.8	7 1.2	38 6.5	117 20.0	24 4.1	10 1.7	35 6.0	4 0.7
	変化しなかった人	997 100.0	64 6.4	75 7.5	9 0.9	55 5.5	206 20.7	22 2.2	17 1.7	83 8.3	7 0.7

	合計									
		生産工程・労務作業	情報システム	サービス(調理、接客等)	専門職・技術職	運輸	保安	その他	わからない	
全体	2061 100.0	72 3.5	23 1.1	253 12.3	392 19.0	31 1.5	0 0.0	143 6.9	69 3.3	
キャリア意識の変化	「仕事以外の生活を充実させたい」に変化した人	479 100.0	14 2.9	4 0.8	58 12.1	110 23.0	9 1.9	0 0.0	30 6.3	9 1.9
	上記以外に変化した人	585 100.0	20 3.4	10 1.7	72 12.3	116 19.8	12 2.1	0 0.0	44 7.5	16 2.7
	変化しなかった人	997 100.0	38 3.8	9 0.9	123 12.3	166 16.6	10 1.0	0 0.0	69 6.9	44 4.4

(4) 再就職後の働き方

①利用を希望する両立支援制度

出産前後でのキャリア意識の変化別に、利用を希望する両立支援制度をみると、他と比較して「『仕事以外の生活を充実させたい』に変化した人」は「短時間勤務制度」(28.4%)、「子の看護休暇制度」(30.3%)、「始業または終業時間の繰上げ・繰下げ」(22.8%)、「休日勤務の免除」(16.1%)の割合が高く、両立支援制度に対するニーズが高い傾向がみられる。一方、「変化しなかった人」は、「特にない」(60.8%)の割合が高い。

図表 200 出産前後でのキャリア意識の変化別 利用を希望する両立支援制度：複数回答 (Q42)

		合計	Q42 利用を希望する両立支援制度							
			短時間勤務制度	所定外労働の免除	子の看護休暇制度	始業または終業時間の繰上げ・繰下げ	週または月の所定労働日数を短縮する制度	半日単位、時間単位等の休暇制度	フレックスタイム制度	休日勤務の免除
全体		2061 100.0	457 22.2	152 7.4	502 24.4	317 15.4	151 7.3	233 11.3	216 10.5	218 10.6
キャリア意識の変化	「仕事以外の生活を充実させたい」に変化した人	479 100.0	136 28.4	46 9.6	145 30.3	109 22.8	51 10.6	70 14.6	55 11.5	77 16.1
	上記以外に変化した人	585 100.0	142 24.3	54 9.2	163 27.9	99 16.9	47 8.0	78 13.3	61 10.4	63 10.8
	変化しなかった人	997 100.0	179 18.0	52 5.2	194 19.5	109 10.9	53 5.3	85 8.5	100 10.0	78 7.8

		合計	Q42 利用を希望する両立支援制度						特にない
			テレワークなどの在宅勤務制度	サテライトオフィスなどの在宅勤務場所以外の勤務場の設定	事業所内託児施設	転勤の免除	介護休暇	その他	
全体		2061 100.0	117 5.7	44 2.1	160 7.8	53 2.6	52 2.5	4 0.2	1089 52.8
キャリア意識の変化	「仕事以外の生活を充実させたい」に変化した人	479 100.0	33 6.9	10 2.1	43 9.0	12 2.5	14 2.9	1 0.2	211 44.1
	上記以外に変化した人	585 100.0	37 6.3	16 2.7	65 11.1	20 3.4	18 3.1	1 0.2	272 46.5
	変化しなかった人	997 100.0	47 4.7	18 1.8	52 5.2	21 2.1	20 2.0	2 0.2	606 60.8

SQ5 **SQ5** 一番上の子(長子)の年齢と、一番下の子(末子)の現在の年齢をおうかがいします。あてはまる年齢をそれぞれお答えください。※縦方向にお答えください。

		1	2	3	4	5	6	7	8
		0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳 〜 小学 校 就 学 前	小学 1 年 生 〜 3 年 生	小学 4 年 生 〜 6 年 生	中 学 生 以 上
SQ5S1	1.	一番上の子(長子)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
SQ5S2	2.	一番下の子(末子)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

SQ6 **SQ6** 離職の経験(仕事を辞めた経験)についておうかがいします。あてはまるものすべてをお答えください。※内職などは含めずにお答えください。

- 1. 初めて仕事に就いて以来、一度も離職することなく働いている
- 2. 結婚を機に仕事を辞めたことがある
- 3. 出産を機に仕事を辞めたことがある(産前・産後休業中の退職、または産後休業復帰後間もない時期の退職を含む)
- 4. 育児を機に仕事を辞めたことがある(育児休業中の退職、または育児復帰後まもない時期の退職を含む)
- 5. 上記(結婚・出産・育児)以外の理由で仕事を辞めたことがある
- 6. 学校卒業後、一度も働いたことがない
- 7. その他

SQ7 **SQ7** 直近の就職をする前の離職期間は、どのくらいでしたか。あてはまるものをお答えください。

- 1. 3か月未満
- 2. 3か月以上半年未満
- 3. 半年以上1年未満
- 4. 1年以上3年未満
- 5. 3年以上5年未満
- 6. 5年以上(具体的に:【 】年)

<本調査>

Q1 **Q1** 婚姻関係についておうかがいします。(1つ選択)

- 1. 現在、配偶者もしくは事実上婚姻関係にあるパートナーがいる(以下、「配偶者・パートナー」と略)
- 2. 配偶者・パートナーとの離別・死別

Q2 **Q2** 今後、さらに「子どもをもうけたい」という希望はありますか。「ある」と回答した方は、希望する人数もご記入ください。(1つ選択)

- 1. ない
- 2. ある →(今後、さらに【 】人)

Q3 **Q3** あなたの同居・近居の状況についておうかがいします。(1つ選択)

- 1. 自分または配偶者・パートナーの父母と同居している
- 2. 自分または配偶者・パートナーの父母と同居していないが、近く(30分程度で行くことができる場所)に住んでいる
- 3. 上記いずれにも該当しない

Q4 **Q4** あなたの世帯全体の年間収入についておうかがいします。(1つ選択)

- 1. 100万円未満
- 2. 100万円以上150万円未満
- 3. 150万円以上300万円未満
- 4. 300万円以上500万円未満
- 5. 500万円以上700万円未満
- 6. 700万円以上1,000万円未満
- 7. 1,000万円以上1,300万円未満
- 8. 1,300万円以上
- 9. わからない

Q17 **Q17** あなたは、結婚・出産・育児等を機に離職した当時、また仕事に就きたいと思っていましたか。(1つ選択)

- 1. (仕事を辞めた後、)すぐにでも就業したいと思っていた
- 2. 子ども(末子)がある程度の年齢になったら就業したいと思っていた(具体的に:【 】歳)
- 3. 特に時期を決めていないが、いずれ就業したいと思っていた
- 4. 再び就業するつもりはなかった
- 5. その他、わからない

Q18 **Q18** 結婚・出産・育児等を機に離職した当時、将来再就職する際に、それまでのキャリアや自分の能力を活かせるような仕事に就くことについて、どのように思っていましたか。(1つ選択)

- 1. 全く難しいとっていなかった
- 2. あまり難しいとは思ってなかった
- 3. やや難しいとっていた
- 4. 非常に難しいとっていた
- 5. その他(具体的に:【 】)
- 6. 特に思わなかった

Q18_5FA

Q19 **Q19** 結婚・出産・育児等による離職後、再就職したお仕事の就業形態と、求職活動中にあなたが希望していた就業形態について、おうかがいします。(それぞれ、1つずつ選択)※結婚・出産・育児等による離職後、再就職のご経験が複数ある方は、最も直近の再就職についてお答えください(以下同様)。※この質問は縦方向にお答えください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	正社員 (フルタイム)	正社員 (短時間)	パート・アルバイト	契約社員	嘱託社員	派遣社員	内職	起業・自営・家族従業	その他(具体的に:)
Q19S1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q19S2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q19FA **Q19F** 結婚・出産・育児等による離職後、再就職したお仕事の就業形態と、求職活動中にあなたが希望していた就業形態について、おうかがいします。(それぞれ、1つずつ選択)※結婚・出産・育児等による離職後、再就職のご経験が複数ある方は、最も直近の再就職についてお答えください(以下同様)。※この質問は縦方向にお答えください。

Q19S1_9FA 1. Q19S1_9 再就職後の就業形態/その他(具体的に:):【 】

Q19FA **Q19F** 結婚・出産・育児等による離職後、再就職したお仕事の就業形態と、求職活動中にあなたが希望していた就業形態について、おうかがいします。(それぞれ、1つずつ選択)※結婚・出産・育児等による離職後、再就職のご経験が複数ある方は、最も直近の再就職についてお答えください(以下同様)。※この質問は縦方向にお答えください。

Q19S2_9FA 1. Q19S2_9 求職活動中に希望していた就業形態/その他(具体的に:):【 】

Q20 **Q20** 再就職したお仕事の職種と、再就職活動中にあなたが希望した職種について、おうかがいします。(それぞれ、1つずつ選択)※この質問は縦方向にお答えください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	人事・総務	経理	企画・広報	営業事務	その他一般事務	営業	窓口業務	販売	研究開発	生産工程・労務作業	情報システム	サービス(調理、接客等)	専門職・技術職	運輸	保安	その他(具体的に:)	わからない
Q20S1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q20S2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q20FA **Q20F** 再就職したお仕事の職種と、再就職活動中にあなたが希望した職種について、おうかがいします。(それぞれ、1つずつ選択)※この質問は縦方向にお答えください。

Q20S1_16FA 1. Q20S1_16 再就職後の職種/その他(具体的に:)[]

Q20FA **Q20F** 再就職したお仕事の職種と、再就職活動中にあなたが希望した職種について、おうかがいします。(それぞれ、1つずつ選択)※この質問は縦方向にお答えください。

Q20S2_16FA 1. Q20S2_16 再就職活動中に希望していた職種/その他(具体的に:)[]

Q21 **Q21** 「再就職後の職種」について専門職・技術職を選択した人は、さらに具体的な職種について、選択肢から該当するものを選択してください。

- 1. 介護職
- 2. 保育士
- 3. 看護職
- 4. 教職

Q21_5FA 5. その他[]

Q22 **Q22** 現在の役職について、おうかがいします。(1つ選択)

- 1. 部長クラス以上
- 2. 課長クラス
- 3. 主任・係長クラス
- 4. 一般

Q22_5FA 5. その他(具体的に:[])[]

Q23 **Q23** 再就職したお勤め先の従業員規模について、おうかがいします。(1つ選択)※会社全体(国内の本社・支社・営業所などを合わせた)の従業員数をお答えください。※パート・アルバイト等の非正社員は含めずに、正社員数でお答えください。

- 1. 50人以下
- 2. 51人~100人
- 3. 101人~300人
- 4. 301人~500人
- 5. 501人~1,000人
- 6. 1,001人以上
- 7. わからない

Q24 **Q24** 再就職にあたって、求職期間(お仕事を探し始めてから、再就職するまでの期間)はどのくらいでしたか。(1つ選択)

- 1. 2週間未満
- 2. 2週間以上1か月未満
- 3. 1か月以上3か月未満
- 4. 3か月以上半年未満
- 5. 半年以上1年未満
- 6. 1年以上2年未満
- 7. 2年以上(具体的に:[]年)

Q25 **Q25** 再就職したときの、一番下のお子さん(末子)の年齢をおうかがいします。(1つ選択)

- 1. 0歳
- 2. 1歳
- 3. 2歳
- 4. 3歳
- 5. 4歳~小学校就学前
- 6. 小学1年生~3年生
- 7. 小学4年生~6年生
- 8. 中学生以上

Q26 **Q26** 現在のお勤め先での勤続年数(2014年11月時点)について、おうかがいします。(1つ選択)

- 1. 1年未満
- 2. 1年以上3年未満
- 3. 3年以上5年未満
- 4. 5年以上10年未満
- 5. 10年以上15年未満
- 6. 15年以上(具体的に:約[]年)

Q27

Q27

再就職後、あなたが「仕事に慣れた、仕事をこなせるようになった」と感じるようになるまで、どのくらいかかりましたか。(1つ選択)

- 1. 再就職後、比較的すぐ
- 2. 再就職後、3か月くらい
- 3. 再就職後、半年くらい
- 4. 再就職後、1年くらい
- 5. 再就職後、2年くらい
- 6. 再就職後、3年以上
- 7. まだそのような状態になっていない
- 8. わからない

Q28

Q28

あなたが再就職をした理由をおうかがいします。(いくつでも選択)

- 1. 子どもの教育費や生活費がかかるなど、経済的理由のため
- 2. 社会との関わりを持ちたい、社会の役に立ちたいと思ったから
- 3. 自分の技術や能力、勉強したことを社会で活かしたいと思ったから
- 4. 生活を充実させたり、変化をもたせたりしたいと思ったから
- 5. 子育てが一段落し、時間の余裕ができたから
- 6. その他(具体的に【 】)

Q28_6FA

Q29

Q29

再就職先を決める際に重視したこと、そのうち実際に希望通りになったことについて、おうかがいします。(それぞれ、いくつでも選択)※この質問は縦方向にお答えください。

Q29S1

1. 再就職先を決める際に重視したこと

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
仕事の内容が希望に合っていること	やりがいや責任のある仕事ができること	希望する雇用形態であること	希望する給与水準であること	残業がない、もしくは少ないこと	短時間勤務や、希望する時間・日数だけ働けること	必要に応じて、仕事の時間帯を変えられること	半日や時間単位で有給休暇がとれること	子どもが病気の際、看護休暇が取れること	子育て等生活時間に対して配慮する雰囲気があること	職場が自宅から近いこと	子どもを預ける場所が、職場の近くにあること	保育サービスの利用に対して経済的な支援があること	非正社員(パート・アルバイト・契約社員・派遣社員など)から、いずれ正社員に変われること	仕事のプランクに対する研修等の支援があること	仕事と育児等との両立支援の取組について、表彰や認定(「くるみん」マーク等)を受けていること	その他(具体的に：)		

Q29S2

2. 実際に希望通りになったこと

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

Q29FA

Q29F

再就職先を決める際に重視したこと、そのうち実際に希望通りになったことについて、おうかがいします。(それぞれ、いくつでも選択)※この質問は縦方向にお答えください。

Q29S1_17FA

1. Q29S1_17 再就職先を決める際に重視したこと/その他(具体的に:)【 】

Q29FA

Q29F

再就職先を決める際に重視したこと、そのうち実際に希望通りになったことについて、おうかがいします。(それぞれ、いくつでも選択)※この質問は縦方向にお答えください。

Q29S2_17FA

1. Q29S2_17 実際に希望通りになったこと/その他(具体的に:)【 】

Q30 Q30 離職期間中、実際に求職活動を始める前に、取り組んでいたことはありますか。(いくつでも選択)

- 1. 家族に相談
- 2. 友人、知人、親戚等に相談
- 3. 雑誌や書籍で企業情報や求人情報を収集
- 4. ネットなどで、企業情報や求人情報を収集
- 5. 再就職に関する口コミ情報を収集
- 6. 再就職に関するセミナーや研修・講習等を受講
- 7. 就職に役立つスキルや資格取得のための勉強
- 8. その他(具体的に:【 】)[]
- 9. 特に何もしていなかった

Q30_8FA

Q31 Q31 再就職に向けた求職活動中に利用したサービスや機関についておうかがいします。(いくつでも選択)

- 1. 新聞の折り込みチラシ、新聞の求人欄
- 2. ハローワークやマザーズハローワークの相談窓口
- 3. 求人情報誌、就職関連雑誌
- 4. 求人サイト、就職関連サイト
- 5. 人材バンク
- 6. 自治体の相談窓口
- 7. 女性センターや、男女共同参画センターの相談窓口
- 8. 女性センターや公民館などで、自治体等が開催している就業や起業関連セミナー
- 9. 再就職に向けた民間の講座、セミナー
- 10. NPO等の団体の相談窓口
- 11. 企業の職場体験やインターンシップに参加
- 12. その他(具体的に:【 】)[]
- 13. 特に利用したものはない

Q31_12FA

Q32 Q32 再就職に向けた求職活動中に利用した支援、もしくは利用しなかった支援についておうかがいします。(それぞれ、いくつでも選択)※この質問は縦方向にお答えください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1	再就職について、気軽に相談できる窓口	家庭と仕事の両立支援に関する情報提供(法律に基づく、育児短時間勤務などの制度、保育施設や保育サービスの情報など)	病院や健診場所、幼稚園、スーパード、子連れで行く身近な場での就業支援に関する情報提供	公民館や女性センターなど身近な場での就業に備えた職業訓練、職業教育	求人情報の収集に関する支援	求人への応募や面談に対する支援	職業訓練者資格取得のための講座等を受講するための資金的な支援(奨学金や教育ローンなど)	資格取得のための支援(情報提供など経済的支援以外のもの)	就業している女性からの情報発信	ライフプランやキャリア設計に関する相談・研修	就業している女性や起業家女性とのネットワークづくりの支援	起業や自己雇用等の立ち上げや経営、運営のノウハウの修得支援	再就職に際して、知りたい情報を収集するための支援	その他(具体的に:)	特にない、わからない

Q32S1

1.	利用した支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2.	利用しなかった支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q32S2

Q32FA Q32F 再就職に向けた求職活動中に利用した支援、もしくは利用しなかった支援についておうかがいします。(それぞれ、いくつでも選択)※この質問は縦方向にお答えください。

Q32S1_14FA 1. Q32S1_14 利用した支援／その他(具体的に:)【 】

Q32FA Q32F 再就職に向けた求職活動中に利用した支援、もしくは利用しなかった支援についておうかがいします。(それぞれ、いくつでも選択)※この質問は縦方向にお答えください。

Q32S2_14FA 1. Q32S2_14 利用しなかった支援／その他(具体的に:)【 】

Q33 Q33 再就職にあたって不安はありましたか。(1つ選択)

- 1. とても不安だった
- 2. やや不安だった
- 3. あまり不安はなかった
- 4. まったく不安はなかった

Q34 Q34 再就職前に不安を感じていた方について、実際に仕事をしてみてどうでしたか。(1つ選択)

- 1. 思っていたほど、心配はなかった
- 2. 思っていたとおり大変だった
- 3. 思っていた以上に大変だった
- 4. どちらともいえない、わからない

Q35 Q35 「再就職前に不安だったこと」と、そのうち「実際に働いてみると心配なかったこと」は、具体的にどのようなことですか。(いくつでも選択)※この質問は縦方向にお答えください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	仕事についていけるか	子育てと両立できるか	職場の人とうまくやっていけるか	働く自信が持てない	職場での服装や、振る舞い	自分のキャリアプランなど、将来が見えない	自分が何に向いているのかわからない	その他(具体的に:)	特にない
Q35S1	1. 再就職前に不安だったこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q35S2	2. 実際に働いてみると心配なかったこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q35FA Q35F 「再就職前に不安だったこと」と、そのうち「実際に働いてみると心配なかったこと」は、具体的にどのようなことですか。(いくつでも選択)※この質問は縦方向にお答えください。

Q35S1_8FA 1. Q35S1_8 再就職前に不安だったこと／その他(具体的に:)【 】

Q35FA Q35F 「再就職前に不安だったこと」と、そのうち「実際に働いてみると心配なかったこと」は、具体的にどのようなことですか。(いくつでも選択)※この質問は縦方向にお答えください。

Q35S2_8FA 1. Q35S2_8 実際に働いてみると心配なかったこと／その他(具体的に:)【 】

Q36 **Q36** 再就職活動で、苦労したのはどのようなことですか。(いくつでも選択)

- 1. 仕事探しの時間を十分にとれない
- 2. 相談や面接時に、子どもの面倒をみてくれる人がいない
- 3. なかなか採用されないなど、再就職活動での精神的な負担感が大きい
- 4. 子どもが小さいため、家族などの支援体制がないと断られてしまう
- 5. ブランクがあるため、断られてしまう
- 6. 希望する条件に合う仕事が見つからない
- 7. 再就職に必要な資格や技術・技能がない
- 8. 自分の経験や能力を活かせる仕事が見つからない
- 9. 企業の両立支援の取組状況に関する情報がない
- 10. 求職活動に必要な情報がどこにあるかわからない
- 11. 起業やSOHO、テレワークの立ち上げや経営のノウハウがない
- 12. 働くことについて、配偶者・パートナーや家族の理解が得られない
- 13. その他(具体的に:【 】)[]
- 14. 特になし

Q36_13FA

Q37 **Q37** 再就職にあたって、以前勤めていた会社の再雇用制度を利用しましたか。(1つ選択)

- 1. 再雇用制度があり、実際に制度を利用して再就職した
- 2. 再雇用制度はあったが、利用条件に当たらず、利用できなかった
- 3. 再雇用制度はあったが、利用しなかった
- 4. 再雇用制度はなかったが、制度があれば使いたかった
- 5. 再雇用制度はなく、利用希望もなかった
- 6. 再雇用制度があったかどうかわからない

Q38 **Q38** あなたが再雇用制度を利用した理由、もしくは利用したいと思う理由について、おうかがいします。(いくつでも選択)

- 1. 以前勤めていた会社に、愛着がある(あった)から
- 2. 退職前のスキルや知識を活かして働くことができるから
- 3. 退職前の人脈を活かして働くことができるから
- 4. 雇用形態や就労条件が自分の希望に近い(近かった)から
- 5. 両立支援の取組状況や職場の雰囲気などがあらかじめわかり、子育てとの両立の不安が少ない(少なかった)から
- 6. その他(具体的に:【 】)[]

Q38_6FA

Q39 **Q39** あなたが、再雇用制度の利用条件に当てはまらなかった理由を、具体的におうかがいします。(いくつでも選択)

- 1. 離職時に登録が必要だったが、登録しなかったから
- 2. 離職の理由が、制度の対象外だったから
- 3. 離職時の雇用形態が、制度の対象外だったから
- 4. 離職時の勤続年数が短かったから
- 5. 離職期間が長かったから
- 6. その他(具体的に:【 】)[]

Q39_6FA

Q40 **Q40** 非正社員から正社員への転換、あるいはパート・アルバイトから契約社員への転換などについて、ご希望やご経験がありますか。(1つ選択)
※直近の再就職先についてのみ、ご回答ください。(以下同様)

- 1. 正社員や契約社員への転換を希望し、実際に転換した
- 2. 自分の希望ではないが、正社員や契約社員に転換した
- 3. 正社員や契約社員への転換を希望しているが、転換したことはない
- 4. 正社員や契約社員への転換希望はなく、転換もしていない
- 5. もともと正社員で採用されたため、上記のいずれにも該当しない

Q41 **Q41** 採用後の研修や、職務分担・シフト編成等のサポートなど、再就職先で受けた支援についておうかがいします。(いくつでも選択)

- 1. 職務内容に関する研修
- 2. パソコン操作やITに関する研修
- 3. 職務分担・シフト編成等におけるサポートや配慮
- 4. キャリアに関する相談
- 5. その他(具体的に:【 】)[]
- 6. 特になし

Q41_5FA

Q42

Q42

短時間勤務制度をはじめとした両立支援制度について、「利用したことがある/利用しているもの」と、「利用したいもの/利用しなかったもの」について、お答えをお願いします。(いくつでも選択)※この質問は縦方向にお答えください。

		1 短時間勤務制度	2 所定外労働の免除	3 子の看護休暇制度	4 始業または終業時間の繰上げ・繰下げ（時差出勤制度）	5 週または月の所定労働日数を短縮する制度	6 半日単位、時間単位等の休暇制度	7 フレックスタイム制度	8 休日勤務の免除	9 テレワークなどの在宅勤務制度	10 サテライトオフィスなどの在宅以外の勤務場所の設定	11 事業所内託児施設	12 転勤の免除	13 介護休暇	14 その他（具体的に：）	15 特になし
Q42S1	1. 利用したことがある/利用しているもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Q42S2	2. 利用したいもの/利用しなかったもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

Q43

Q43

再就職先の仕事や職場の特徴について、お答えをお願いします。【職場の特徴】ごとに、それぞれ1つずつ選択

		1 あてはまる	2 どちらかというにあてはまる	3 どちらかというにあてはまらない	4 あてはまらない	5 どちらともいえない
Q43S1	1. 従業員の生活やキャリア形成に配慮した業務配分をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q43S2	2. 所定時間内で仕事を終わることを奨励している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q43S3	3. 業務量や重要な仕事特定の人に偏らないよう配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q43S4	4. 人材育成に力を入れている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q43S5	5. 上司は、仕事と育児の両立に理解がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q43S6	6. 同僚は、仕事と育児の両立に理解がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q43S7	7. 男性で、育児や介護をしている人がいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q43S8	8. 子育てと両立しながら働いている女性が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q43S9	9. ロールモデルがいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q48

Q48

(希望・理想の働き方)あなたは、それぞれのライフステージにおいて、どのような働き方を希望しますか。(働き方の現状)それぞれのライフステージにおいて、実際の働き方はいかがですか。なお、お子さんの年齢が設問より小さい場合は、現実にもなりそうな働き方をお答えください。([ライフステージ]ごとに、それぞれ1つずつ選択)※[ライフステージ]のc~fについては、子どもが複数の場合は、末子についてお答えください。

		1	2	3	4	5	6
		残業もあるフルタイムの仕事	フルタイムだが残業のない仕事	短時間勤務・短日勤務制度	フレックスタイム制、裁量労働制	家でできる仕事	働いていない / 働きたくない
Q48S1	1. a.結婚していない時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q48S2	2. b.結婚して子どもがいない時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q48S3	3. c.子どもが3歳以下の時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q48S4	4. d.子どもが4歳以上小学校入学前の時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q48S5	5. e.子どもが小学生の時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q48S6	6. f.子どもが中学生以上の時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q48S7	7. a.結婚していない時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q48S8	8. b.結婚して子どもがいない時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q48S9	9. c.子どもが3歳以下の時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q48S10	10. d.子どもが4歳以上小学校入学前の時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q48S11	11. e.子どもが小学生の時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Q48S12	12. f.子どもが中学生以上の時	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q49

Q49

あなたは現在、配偶者控除や社会保険料の適用を理由として、就業調整を行っていますか。(1つ選択)

- 1. 配偶者控除や社会保険の適用を理由に、就業調整している(年収を103万円以下、130万円以下などにおさえるようにしている)
- 2. 配偶者控除や社会保険の適用を理由とした就業調整は行っていない